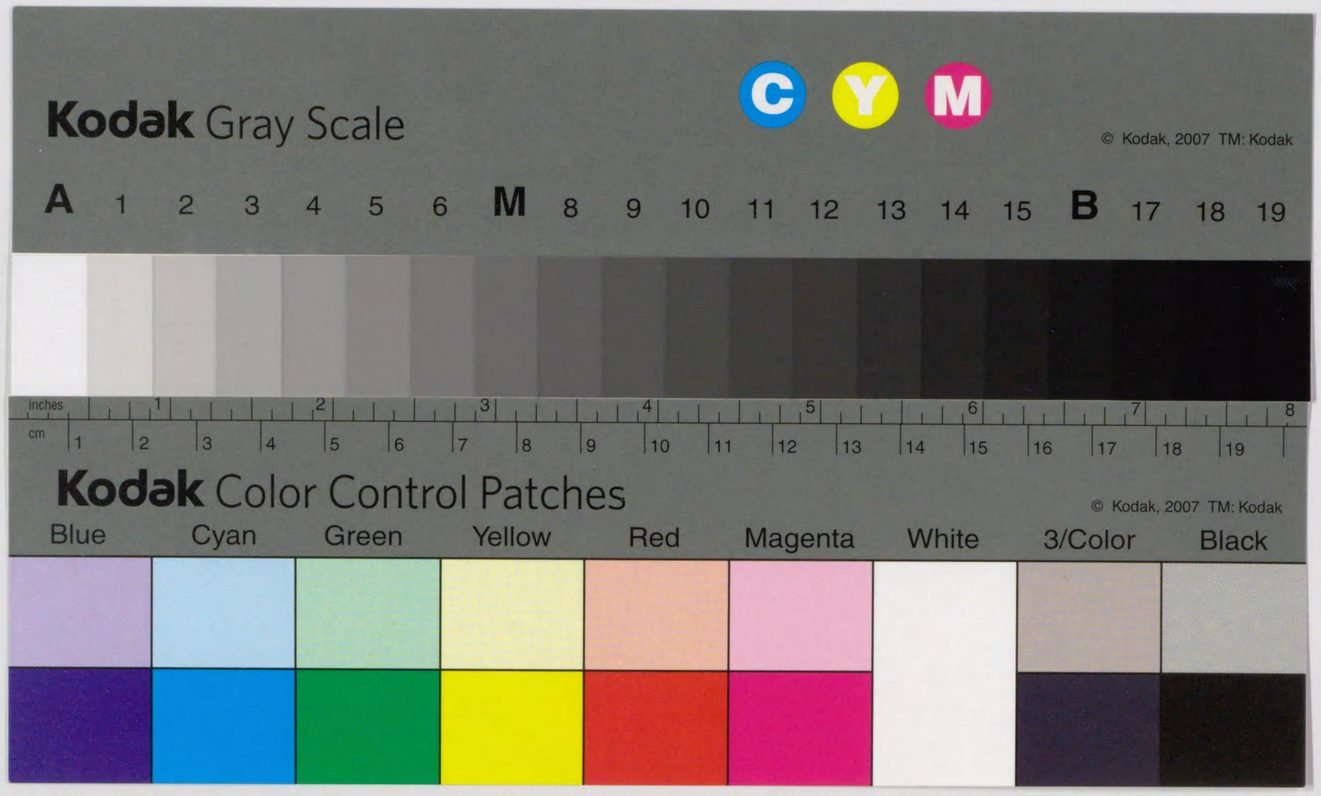

562
43
562-43
12005015125 47

56
4
漢

昭和十六年十二月末現在

早稲田大學圖書館和漢圖書分類目録 (五)

語學之部

早稲田大學圖書館

早稲田大學圖書館

和漢圖書分類目録（五）

昭和十六年十二月末現在

語學之部

早稲田大學圖書館

發行所寄贈本

562
43

例言

一　本編ハ本館所藏和漢圖書分類目錄ノ五(ホ)ニシテ昭和十六年十二月末現在ニ係ル語學ノ部ヲ收錄ス

一　一群中竝ニ書名索引ノ排列ハ大約書名ノ發音假名ノ五十音順ニ依ル

一　撰者・編者・譯者等ノ詳ナラザルモノニハ刊行者ヲ擧グ

一　括弧(　)ヲ以テ圖ミタル刊年ハ之ヲ序跋例言ノ類ニ採リタルコトヲ表示ス

一　刊年ノ徵スベカラザルモノト叢書中ヨリ分出セルモノニシテ該書ガ他ノ部分ト合シテ一冊ヲ成セルモノトニハ刊年ヲ記サズ

一　叢書類書等ノ細目ノ下方ニ記シタル數字竝ニ圖書番號ノ左旁ニ附シタル數字ハ圖書番號ノ附屬番號ナレバ當該圖書借覽ノ場合ニハ其ノ圖書番號ノ傍ニ附記セラルベシ

一　圖書番號ノ上部ニ星標＊ヲ附シタルモノハ特別圖書トス

一　本編卷末ニ書名索引ヲ附ス

一　索引中ノ頁數ニシテ「ゴシック」ヲ以テ示セルモノハ本文中ノ附錄又ハ別名ヲ擧ゲタルモノトス

イ　總類
ロ　哲學
ハ　宗教
ニ　理學
ホ　語學
ヘ　文學
ト　教育
チ　藝術
リ　歷史
ヌ　傳記
ル　地理
ヲ　社會
ワ　法律
カ　政治
ヨ　經濟
タ　財政
レ　交通
ソ　商業
ネ　農林附水產
ナ　工業
ム　醫學
ヤ　兵事
ケ　統計
ヒ　ゴルドン文庫(宗教)
モ

目次

一　國語學

一　總記・雜書……頁一

總記……一

雜書……六

雜誌……六

二　國語……六

總記……六

論文……一三

書目類……一八

辭書……一八

假名引辭書……一八

分類辭書……二四

畫引辭書……二五

叢書……二六

全集・選集……二九

讀本……二九

文典……三一

口語法……四二

文字附速記……四三

速記……四九

音韻・假名遣……四九

音韻……四九

假名遣……五三

語原・語釋……五八

語原……五八

語釋……六〇

俗語・方言……六三

俗語……六三

方言……六三

アイヌ語……六六

琉球語……六七

樺太語……六八

演說法・演說集……六八

演說法……六八

演說集……六九

雜書……七〇

雜誌……七一

三　朝鮮語・臺灣語……七二

朝鮮語……七二

臺灣語……七三

四　漢語……七三

總記……七三

辭書……七四

畫引辭書……七四

音引辭書……七八

分類辭書……八二

雜辭書……八四

漢字……八六

音韻……九四

讀本……九九

文典……一〇一

雜書……一〇三

五　近代支那語……一〇三

總記……一〇三

辭書……一〇四

讀本……一〇五

文典……一〇六

會話……一〇七

滿洲語……一〇八

蒙古語……一〇九

西藏語……一〇九

目次

雜書……一〇
雜誌……一〇
六　英語……一〇
總記……一〇
辭書……一一六
發音・習字……一一九
發音……一一九
習字……一二〇
譯解……一二〇
文典……一二二
作文……一二四
會話……一二五
雜書……一二五
雜誌……一二六
七　佛語……一二六
八　獨語……一二八
九　露語……一三二
一〇　其他諸國語……一三三
書名索引

木語學

一　總記・雜書

總記

批判的解說　一般文法の原理　小林英夫撰　昭和七　洋・中　冊一　木一　號一八五八
意味論　文法の原理　中島文雄撰　昭和一四　洋・小　一　木一　一八七五
同　ガーディナー氏の文の定義　神保格撰　洋・中（安藤教授記念論文集）　一　木二　四七二八
環境と言語の發達　山下俊郎撰　洋・中（關大國語教育）　一　木二　四四四七
基本語彙の調査　石黒修撰　洋・中（標準語と國語教育）　一　木二　四六一三
言語　人間に於ける言語の地位　落合太郎撰　洋・中（岩波講座哲學）　一　ロ一　二九七七
言語　その本質・發達及び起原　丁・イエスペルセン撰・市河三喜・神保格譯　昭和二　洋・中　一　木一　一八四六
言語　象徴形式の哲學第一　獨・カッシラア撰・矢田部達郎譯　昭和一六　洋・小　一　木一　一八九一
言語　第四輯　東北帝國大學言語學談話會編　昭和一一　洋・中　一　木一　一八九五
シルレルの言語觀（中野賢明）　民族主義の言語哲學（奥水實）
原始言語に於ける意味の問題（田中明）　韻律學の基本問題（湯山清）
ソヴエート言語學の輪廓（高木弘）　經驗の性質（山口秀夫譯）
The Psycology of Language (Thomas Daniel H. Jones)
言語一元說　鈴木芳松撰　洋・中（日大三中研究年報）　一　イ四　一三九〇

言語運動性と言語表象過程とに就いて　陶晶孫　洋・中（心理學論文集）　一　ロ七　三一二〇
言語及び讀書の心理　武政太郎撰　洋・中（關大國語教育）　一　木二　四四四七
言語解釋學概說　石山脩平撰　洋・中（關大國語教育）　一　木二　四四四七
言語學　藤岡勝二講（哲學館講義錄）　洋・中　一　木一　五九三
言語學　保科孝一講（早稻田大學文學科明治三六年度講義錄）　洋・中　一　木一　一〇一
言語學　保科孝一講（早稻田大學文學科明治三七年度講義錄）　洋・中　一　木一　三八七
言語學　保科孝一講（早稻田大學文學科明治四二年度講義錄）　洋・中　一　木一　一二六八
言語學　保科孝一講（早稻田大學文學科明治四三年度講義錄）　洋・中　一　木一　一二四五
言語學　英・マクス・ミューラー撰・金澤庄三郎・後藤朝太郎譯　明治三九・四〇　洋・中（帝國百科全書）　二　イ四　一四〇一―一四一一
言語學　英・マクス・ミューラー撰・金澤庄三郎・後藤朝太郎譯　明治三九・四〇　洋・中（帝國百科全書本）　二　木一　六八〇
言語學　佛・メイエ撰・藤岡勝二譯　洋・中（佛蘭西科學）　一　イ四　一二八八
言語學概說　神保格撰　洋・中（國語科學講座）　一　木二　四四二六
言語學概論　安藤正次撰　昭和二　洋・小（文化科學叢書本）　一　木一　一八四四
同
言語學概論　小林淳男撰　洋・中（英語英文學講座）　一　木六　一九〇四
言語學概論　神保格撰　洋・中（關大國語教育）　一　木二　四四四七
言語學概論　新村出撰　洋・中（岩波講座日本文學）　一　ヘ二　四三一八
ヴァンドリエス言語學概論　言語研究と歷史（昭和一三）　洋・中　佛・ヴァンドリエス撰・藤岡勝二譯　一　木一　一八七二
言語學原論　附インドゲルマン言語族一覽外三篇　佛・ソッスユール述・小林英夫譯　昭和三　洋・中　一　木一　一八四七

言語學講話　保科孝一述　明治三五　洋・中　一冊　ホ一類　六三號
同　一　ホ一　五一六
言語學史　小林淳男撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六
言語學史　その主要點を辿りて　高谷信一譯　昭和一二　洋・小　一　ホ一　一八六九
同　一　ホ一　一八七
言語學大意　保科孝一講　明治三三（國語傳習所講義錄）　洋・中　一　ホ一　三二六
言語學通論　小林英夫撰　昭和一二　洋・中　一　ホ一　一八六七
言語學に於ける目的論　小林英夫撰　洋・中（京城帝國大學記念論文集）　一　ヘ一　四四三四
言語學方法論考　神・憑神・神人・人間外二三篇　小林英夫譯並撰　昭和一〇　洋・中　一　ホ一　一八六五
藤岡博士言語學論文集　藤岡博士功績記念會編　昭和一〇　洋・中　一　ホ一　一八九四
藤岡博士言語學論文集　不可能を意味する「知らず」について（有坂秀世）　言語活動の諸相（石黒魯平）　一　ホ一　一八九四
　疊音・疊語の一研究（安藤正次）　甕蛹の琉球語（伊波普猷）
　數詞に就いて（市河三喜）
「三韻通考」及び「增補三韻通考」に就いて（小倉進平）
　ヘレニスト時代ギリシア語（神田盾夫）　言語及び言語學（金田一京助）
　言葉の意味と理解（小林淳男）　動作態と國語の文法的範疇（小林好日）
　攝譯の問題（小林英夫）　音聲的描寫による語構成（佐久間鼎）
　所謂音韻學と音聲學（神保格）　支那語原研究法の一試察（東條操）
　國語の形容動詞について（橋本進吉）
　朝鮮語動詞の使役形と受身・可能形（服部四郎）
　韻鏡の內外轉について（峯村三郎）　德川前期の珍しい言ひ方（湯澤幸吉郎）
　熟語の研究（特に身體の部分的名稱を應用したものに就いて）（橫山辰次）
　藤岡勝二博士略年譜
　藤岡勝二博士著作要目
　Réflexions sur le développment d'aspect du verbe slave (Y. Igeta)

On the designation-problem of the so-called Tokharian language (N. Fukushima)
О значении выражения тахарскій славянскихъ языковъ(C. Жеуru)
Rise and progress of Semitic philology (S. Bandô)

言語形象學　教育的國語學序說上　昭和一五　洋・小　飛田隆撰　一冊　ホ二類　四六〇六號
言語形象學の成立　飛田隆撰　洋・中（日本文學論攷）　一　ヘ二　四四三八
言語研究　鄉土の言語と傳說外一七篇　昭和八　洋・中　金田一京助撰　一　ホ一　一八六三
言語研究　應慶篇・問題篇（個別者としての語外二四篇）　小林英夫譯並撰　昭和一二　洋・中　二　ホ一　一八七〇
言語研究　第一至三號　昭和一四　洋・中　日本言語學會編　三　ホ一　一八七三
　第一號
　創刊にあたりて（新村出）　一　鴨と哉（柳田國男）
　ソシュールの言語理論について（神保格）
　文獻學・言語學・語源學（福島直四郎）
　突厥語における數詞の組織について（泉井久之助）
　Baeriidaporiの（高津春繁）
　第二號
　朝鮮語「蝸牛」名義考（小倉進平）　二
　日本語に及ぼした和蘭語の影響について（齋藤靜）　二
　格と時稱との一つの場合について（泉井久之助）　二
　詩經の唐音に反映した鎌倉時代の音韻狀態（有坂秀世）　二
　第三號
　蒙古語文語の起源について（服部四郎）　三
　朝鮮漢字音の一特質（河野六郎）　三
　印歐語母音變化の研究と Laryngales の發見（高津春繁）　三
言語研究　第二號　昭和一四　洋・中　日本言語學會編　一　ホ一　一八八六
ストロンゲ氏言語史綱要　八杉貞利撰　洋・中（東京專門學校講義錄本名著綱要）　一　ホ一　一八三七

言語史講話　石黒魯平撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六
言語社會學　田邊壽利撰　昭和一一　洋・小　一　ヲ二　三四三三
言語社會學　田邊壽利撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六
イエスペルセン氏言語進歩論　新村出撰（明治三五）　和・中（東京專門學校講義錄本名著綱要）　一　ホ一　一〇八四
言語心理學　神保格撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六
言語心理學　波多野完治撰　洋・中（岩波講座國語教育）　一　ホ二　四五〇一
言語地理學　泉井久之助撰　洋・中（地理學講座）　一　ル一　一九四四
言語地理學　江實撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六
言語地理學　東條操撰　洋・中（國語教育の科學的研究）　一　ホ二　四四二九
言語哲學　附文藝學の哲學　昭和一〇　洋・中　奧水實撰　一　ホ一　一八六六
言語哲學　小林淳男撰　洋・中（岩波講座國語教育）　一　ホ二　四五〇一
言語哲學　池上鎌三撰　洋・中（岩波講座倫理學）　一　ロ九　三七〇四
言語と教育　城戸幡太郎撰　洋・中（岩波講座教育科學）　一　ト一　三四三九
言語と思考　中島文男撰　昭和一六　洋・中（英米文學語學講座）　二　ヘ二三　五二六九
言語における水準轉移　佐久間鼎撰　洋・中（淺野博士心理學哲學論文集）　一　ロ一　三六五
「言語の起源」附記　森林太郎撰　洋・中（鷗外全集）　一　イ四　一〇三五
言語の教育的環境に就いて　城戸幡太郎撰　洋・中（心理學論文集）　一　ロ七　三一二〇
言語的歷史　民國・程石平撰　洋・小（現代科學評論集）　一　ニ一　三三〇七
言語美學　金原省吾撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六

言語美學　小林英夫撰　洋・中（岩波講座國語教育）　一　ホ二　四五〇一
言語美論　小林英夫撰　洋・中（岩波講座世界文學）　一　ヘ一　四三八四
言語・文學論纂　京城帝國大學法文學會編（京城帝國大學法文學會第二部論纂本）　昭和七　洋・中　一　ホ一　一八五七
The Treatment of *es* before *t*+Consonant, in the South-Eastern Dialects of English (Haworth)
英語學とは何か（中島文雄）
一般文法成立の可能性について（その序說）（小林英夫）
英國小說の傳統を辿る（寺井邦男）
言語文化體系　晩翠會編　昭和一二　洋・中（晩翠會紀要本）　一　ホ一　一八七一
　言語の世界と思惟の世界（小林淳男）　言語哲學の諸問題（奧水實）
　ゲシタルトの社會理論（波多野完治）　符號言語と暗示言語（田邊壽利）
　文法論上の根本問題（菊澤季生）　國語美學（金原省吾）
　ギリシヤに於ける言葉と教育（石山脩平）
語彙の研究　泉井久之助撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六
國家語の問題について　保科孝一撰　洋・大（東京文理科大學文科紀要）　一　サイ　四三
ことばのいのち　佛・ダルメステテル撰・金澤庄三郎譯述　明治三〇　洋・中　一　ホ一　六七三
語文論叢　京城帝國大學文學會編　昭和一四　洋・中（京城帝國大學文學會論纂本）　一　ヘ一　四四五四
　曲亭馬琴の著述生活と思想の傾向（瘋生磯次）
　朝鮮のユーモア（高橋亨）　キーツの特徵（佐藤清）
　敬語法及び敬辭法の研究（時枝誠記）　間投詞の意味論的考察（中島文雄）
同　一　ヘ一　四四五七
誤用の文法　機能言語學的研究　佛・フレエ撰・小林英夫譯　一　ホ一　一八九三
思考と言語との發生的研究　聯想過程の實驗　松本金壽撰　一　ロ七　三一二〇

史的言語學語學に於ける比較の方法　佛・メイエ撰・泉井久之助譯　昭和九　洋・中　朔一　ホ一　類一八六三　號

兒童語彙　松本金壽撰　洋・中（標準語と國語教育）　一　ホ二　四六一三

兒童語の表現　松本金壽撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　九

社會學より見たる言語　田邊壽利撰　洋・中（岩波講座國語教育）　一　ホ二　四五〇一　二

諸國語の系統　小林英夫撰　洋・中（岩波講座世界文學）　一　ヘ一　四三八四　一

東方言語史叢考　國語及び朝鮮語の數詞について外三篇　新村出撰　昭和二　洋・中　一　ホ一　一八五二

東洋言語學の建設　日本語の大陸還元外一篇　中島利一郎撰　昭和一六　洋・中　一　ホ一　一八九二

人間と言葉　稻富榮次郎撰　昭和一六　三版　洋・中　一　ホ一　一八九〇

人類と言語　丁・イェスペルセン撰・須貝清一・眞鍋義雄譯　昭和七　洋・小　一　ホ一　一八五六

シャルル・バイイ生活表現の言語學　小林英夫譯　昭和四　洋・小　一　ホ一　一八五三

人間の進化と言語の進化　侗・澤田昭和四　洋・大（學術研究報告）　一　ニ一　二二〇一　九

比較言語學　福島直四郎撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　一一

表現學序說　城戸幡太郎撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　九

表出と言語及び其の研究　神保格撰　洋・大（東京文理科大學文科紀要）　一　サイ　四三　一

文法の原理　小林英夫撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　六

法と言語　松山茂顯撰　洋・中（臺北帝國大學文政學部研究年報）　一　カ一　三六九八　一

マルティの言語學　小林智賀平撰　昭和一二　洋・小（英友叢書本）　一　ホ一　一八六八

ヤペテ言語學　露・メシチャニノフ撰・早川二郎譯　洋・中（N・Y・マル氏の四十五年紀念論叢に據る）　一　リ二　四七一九

幼兒の言語の發達　考古學概論附錄）　久保良英撰　洋・大（兒童研究所紀要）　一　ト　四　二三五四　四

○

埃漢文字同源考　一名東洋「ロセッタ」石　附歐洲の「アルファベット」文字起原　朔一　ホ　類四　二〇二一　號

說に就て　坂津七三郎撰　昭和八　洋・中

Alphabetを論じL音を我假字にて表はすべき方法を述ぶ　桑原羊次郎撰　洋・大　一　ホ一　一三〇八

繪文字及源始文字　田崎仁義撰　昭和三　洋・小（日本民俗叢書本）　一　ホ一　一八四八

世界文字學　高橋龍雄撰　明治四一　洋・中　一　ホ一　八六〇

日本盲人用點字の起原　石川倉次撰（聾啞兒の國語教順ト同刊）　一　ト八　一六二〇

比喩的形象主義之世界文字論概要　古谷榮一述（大正二）　洋・小　一　ホ一　一七二五

比喩的形象主義之世界文字論概要　附ローマ字排斥に付いて同派との論難　古谷榮一述　三版　洋・小　一　ホ一　一八三九

ブレーユ點字沿革の概要　東京盲學校刊　大正一四　洋・小　一　ホ一　一八四〇

同　一　ホ一　一八四一

文字學概說　後藤朝太郎撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　八

文字の沿革　後藤朝太郎撰　大正一五　洋・小　一　ホ一　一八四三

○

一般音聲學　神保格撰　昭和一五　洋・中（英米文學語學講座）　一　ヘ三　五三六九　六二

親話應用音韻新論　附親話應用清國官話韻鑑　音字解說書外二篇　伊澤修二撰　明治三九　洋・中　一　ホ一　五八三

同　一　ホ一　九二六

音韻論　有坂秀世撰　昭和一五　洋・中　一　ホ一　一八八八

音聲學概說　佐久間鼎撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　二

音聲學史　大西雅雄撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　二

音聲心理學　佐久間鼎撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　二

音聲生理學　岡田和一郎撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　二

音聲の研究　第一輯（日本語に現れたる父音について）佐伯功介外一〇篇　昭和一　洋・中　一　ホ一　一八五一　二

音聲物理學　小幡重一撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　二

教育音聲學　大西雅雄撰　昭和一一　洋・小（文學社叢書本）　一　ホ二　四四八四

視話法　伊澤修二撰　明治三四　再版　洋・中　一　ホ一　六七六

同　一　ホ一　九二五

同　一　ホ一　九九五

視話音字發音學　遠藤隆吉撰　明治三九　洋・中（帝國百科全書）　一　イ四　一五一　一三四

母音の混合の問題　廣瀨錦一撰　洋・中（心理學論文集）　一　ロ七　三一二〇　五

朗讀學　教育的言語學序說　附オプライエンの讀方教育研究　大西雅雄撰　昭和一五　洋・小　一　ホ一　一八八四

朗讀の理・法を見直す　石黑魯平撰　洋・中（國語教育の科學的研究）　一　ホ二　四四二九

朗讀法につきての爭　森林太郎撰　洋・中（鷗外全集）　一　イ四　一〇三五　二

讀法を興さんとする趣意　坪內雄藏撰　洋・中（逍遙選集）　一　イ四　二一一三

逍遙子の朗讀說　森林太郎撰　洋・中（鷗外全集）　一　イ四　一〇三五　二

朗讀問題　森林太郎撰　洋・中（鷗外全集）　一　イ四　一〇三五　二

朗讀法の理論と實際　日下部重太郎撰　洋・中（國語教育の科學的研究）　一　ホ二　四四二九

○

英獨佛露四國語對照文法　乾輝雄撰　昭和一〇　洋・小　一　ホ一　一八六四

英單語便覽　桂川甫策撰　慶應四　和・小　一　ホ一　八〇九

三語便覽　三卷（嘉永七）　村上英俊撰　和・大　三　ホ一　一三二〇

三語便覽　三卷　安政四　村上英俊撰　和・大　三　ホ一　一三八三

スラヴ語比較文法　音韻及語形論　大正一五　久保田滿年撰　洋・中　一　ホ一　一八四二

日英圖解辭典　三省堂編輯所編　昭和一五　洋・中　一　ホ一　一八七九

獨佛圖解辭典　三省堂編輯所編　昭和一五　洋・中　一　ホ一　一八八二

同　一　ホ一　一八八五

日清英語學教科書　川田鐵彌編　明治四〇　洋・中　一　ホ一　九二九

佛獨文例　葛良修編（昭和五）　洋・中　一　ホ一　一八五五

○

和漢英對照文法　附接頭辭及び接尾辭　田森長次郎撰　大正二　洋・小　一　ホ一　一二六一

同　一　ホ一　一二六二

同　一　ホ一　一三四三

愛あるところ神あり　附エスペラント研究用書解題　露・トルストイ撰・シドロヴスカヤ譯・川崎眞一譯註　昭和五　洋・小（エスペラント對譯詳註叢書本）　一　ホ一　一八五四

組織的研究 エスペラント講習書 日本エスペラント協會臺灣支部編 大正四 洋・中 一冊 ホ一 一六二〇

エスペラント捷徑 小坂狷二撰 昭和三 七版 洋・小 ホ一 一八五〇

エスペラント全程 千布利雄撰 大正九 四版 洋・小 ホ一 一六三四

エスペラントの基礎 石黒修撰 昭和八 洋・中 ホ一 一八五九

エスペラントの話 長谷川辰之助撰 洋・中（二葉亭全集） ヘ一 三一二五 三

獨修自在國際語エスペラント講義 金田常三郎撰 大正一一 洋・小 ホ一 一六七八

世界語 エスペラント 洋・小（二葉亭四迷全集） 長谷川辰之助撰 ヘ一 四四三九 八

世界語讀本 長谷川辰之助撰 洋・小（二葉亭四迷全集） ヘ一 四四三九 八

模範エスペラント獨習 小坂狷二・秋田雨雀撰 昭和二 一八版 洋・小 ホ一 一八四九

雜書

維新前後外國語圖書目錄 東京外國語學校編 昭和五 和・中 ホ一 一八六一

歐洲に於ける國語競爭 新村出撰 洋・中（東方言語史叢考） ホ一 一八五二

歐洲に於ける國語競爭 新村出撰 洋・中（國語問題正義） ホ二 四七〇四

外國語研究者の爲めに 英・バーマ撰・加茂正一譯 大正一二 三版 洋・小 ホ一 一七二〇

外國語研究法 英・マーセル撰・吉田直太郎譯 明治二〇 洋・小 ホ一 二

外國語研究要論 井上哲次郎・和田垣謙三述 明治二四 洋・小 ホ一 一一

外國語之研究 内村鑑三撰 明治三二 洋・小 ホ六 二〇〇二

辭書を中心とせる日歐文化交涉史科展覽會陳列品目錄 勝俣銓吉郎授記念祝賀會刊（昭和一四） 洋・小 ホ一 一八七六

音聲的描寫による語構成 佐久間鼎撰 洋・中（藤岡博士言語學論文集） 一 ホ一 一八九四

かなのしをり 五巻 環隆太郎編 明治一九 和・小 五 ホ二 五六五

二 國語

總記

辭書を中心とせる日歐文化交涉史科展覽會寫眞 二葉 洋・中（國外全集） 一 ホ一 一三九五 二〇九七―二〇九八

當流比較言語學 森林太郎撰 洋・中（國外全集） 一 イ四 一〇三五 二

飜譯の問題 小林英夫撰 洋・中（勝岡博士言語學論文集） 一 ホ一 一八九四

和漢獨英飜譯文例 竹内大治編 明治二五 和・大 一 ホ一 一七

飜譯論 飜譯の理論と實際 昭和一三 野上豐一郎撰 洋・小 一 ヘ一 四四四一

譯業必要之書籍目錄 高野長英撰 洋・中（高野長英全集） 一 イ四 一一八三 四

雜誌

音聲學協會々報 號一（大正一五年一一月）ヨリ 同協會刊 洋・中 サホ 三四

外國語雜誌 卷一號一至四 博文館刊 明治三〇年七至一〇月 洋・中 一 サホ 一

言語 輯一至四 東北帝國大學言語學談話會編 昭和八年四月至九年一二月 洋・中 四 サホ 四四

言語研究 號一至三 日本言語學會編 昭和一四年一至九月 洋・中 三 ホ一 一八七三

語學 輯一 卷一至輯二 號一八（有缺） 語學協會事務所刊 明治三九年一一月至四二年一〇月 洋・中 五 サホ 一三

國際語エスペラント Japan Esperanto 卷一號一至卷五號五（有缺） 日本エスペラント協會刊 明治三九年九月至四三年五月 洋・大 二 サホ 二〇

漢語と國語 岡井慎吾撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ二 四四二六 四

基本語彙學 上 垣内松三撰 昭和一三 洋・中（國民言語文化體系本） 一 ホ二 四五六六

言語形象學 教育的國語學序說 上 飛田隆撰 昭和一五 洋・小 一 ホ二 四六〇六

言語哲學 濱田健次郎撰 明治二〇 洋・小 一 ホ二 六一四

言語美學 金原省吾撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ二 四四二六 三

現代の國語 日下部重太郎撰 大正二 洋・中 一 ホ二 二三四六

現代の國語 日下部重太郎撰 大正四 三版 洋・中 一 ホ二 一二八四

國語解釋學 勝部謙造撰 洋・中（國語教育叢書） 一 ホ二 四五〇一 二

國語解釋學概說 垣内松三撰 昭和九 洋・中（國語教育科學） 一 ホ二 四四四四 六

國語教育のための國語概說 山田正紀撰 昭和一〇 洋・中 一 ホ二 四四七二

國語學 關根正直撰 明治二四 洋・中 一 ホ二 一四四

同 一 ホ二 四八九

國語學 三石甚夫講（早稲田大學文學科明治三六年度講義錄） 洋・中 一 ホ二 三三〇

國語學 三矢重松撰 洋・中（文法論と國語學） 一 ホ二 四四二九二

同 一 ホ二 四四一五

國語學 八杉貞利講（哲學館講義錄） 洋・中 一 ホ二 五九一

國語學 八杉貞利講（哲學館講義錄合本） 洋・中 一 ロ一 九四三一

國語學概論 小林好日撰 昭和五 洋・中 一 ホ二 四三一六

國語學概論 橋本進吉撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ二 四七五一 二

國語學概論 保科孝一撰 洋・中（國語教育叢書） 一 ホ二 四四七一

基本語彙學 上 垣内松三撰 昭和一三 洋・中（國民言語文化體系本） 一 ホ二 四五六六

言語形象學 教育的國語學序說 上 飛田隆撰 昭和一五 洋・小 一 ホ二 四六〇六

言語哲學 濱田健次郎撰 明治二〇 洋・小 一 ホ二 六一四

言語美學 金原省吾撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ二 四四二六 三

現代の國語 日下部重太郎撰 大正二 洋・中 一 ホ二 二三四六

現代の國語 日下部重太郎撰 大正四 三版 洋・中 一 ホ二 一二八四

國語解釋學 勝部謙造撰 洋・中（國語教育叢書） 一 ホ二 四五〇一 二

國語解釋學概說 垣内松三撰 昭和九 洋・中（國語教育科學） 一 ホ二 四四四四 六

國語教育のための國語概說 山田正紀撰 昭和一〇 洋・中 一 ホ二 四四七二

國語學 關根正直撰 明治二四 洋・中 一 ホ二 一四四

同 一 ホ二 四八九

國語學 三石甚夫講（早稲田大學文學科明治三六年度講義錄） 洋・中 一 ホ二 三三〇

國語學 三矢重松撰 洋・中（文法論と國語學） 一 ホ二 四四二九二

同 一 ホ二 四四一五

國語學 八杉貞利講（哲學館講義錄） 洋・中 一 ホ二 五九一

國語學 八杉貞利講（哲學館講義錄合本） 洋・中 一 ロ一 九四三一

國語學概論 小林好日撰 昭和五 洋・中 一 ホ二 四三一六

國語學概論 橋本進吉撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ二 四七五一 二

國語學概論 時枝誠記撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ二 四三一八 二

國語學概論 岡井慎吾撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ二 四四二六 四

國語學原論 言語過程說の成立とその展開 時枝誠記撰 昭和一六 洋・中 一 ホ二 四七七六

國語學新講 東條操撰 昭和一二 洋・中 一 ホ二 四五四〇

國語學新論 磯西忠吉撰 昭和一三 洋・中 一 ホ二 四五五五

國語學總說 安藤正次撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ二 四四二六 三

國語學通考 附口語文の起伏外二篇 安藤正次撰 昭和六 洋・中 一 ホ二 四三六三

國語學通論 金澤庄三郎講（早稲田大學文學科第二〇回講義錄） 洋・中 一 ホ二 一五七七

國語學通論 金澤庄三郎講（早稲田大學文學科第二一回講義錄） 洋・中 一 ホ二 一五七八

國語學通論 金澤庄三郎講（早稲田大學文學科第二三回講義錄） 洋・中 一 ホ二 一五八〇

國語學通論 金澤庄三郎講（早稲田大學文學科第二四回講義錄） 洋・中 一 ホ二 一五八一

國語學讀本 菊澤季生撰 昭和一四 洋・小 一 ホ二 四五九四

國語學形態論序說 松本金壽撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ二 四四二六 九

國語研究法 藤岡勝二撰 明治四〇 洋・中 一 ホ二 七二六

同 一 ホ二 八九七

國語と民間傳承 金田一京助撰 洋・中（岩波國語教育講座） 一 ホ二 四五〇一 五

國語とは何ぞや 山田孝雄撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ二 四七五一 二

國語の語根と其の分類 大島正健撰 昭和六 洋・中 一 ホ二 四三五一

國語の心理學 波多野完治撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ二 四七五一 二

國語の特質 時枝誠記撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ二 四七五一 二

國語の中に於ける漢語の研究 山田孝雄撰 昭和一五 洋・中 一 ホ 二 四六〇三
國語の匂ひと韻 淺野信撰 昭和一〇 洋・中 一 ホ 二 四四六七
國語表現 金原省吾撰 昭和一四 洋・中（實踐國語教育研究叢書本） 一 ホ 二 四七六三
國語表現學 城戸幡太郎撰 洋・中（岩波國語講座） 一 ホ 二 四五〇一 二
國語表現學概說 城戸幡太郎撰 洋・中（岩波講座國語教育） 一 ホ 二 四四四七 二
國語表現學概說 垣内松三撰 昭和九 洋・中（國語教育科學） 一 ホ 二 四四四四 七
國語美學 金原省吾撰 洋・中（言語文化體系） 一 ホ 一 一八七一
國語便覽 木場喜一郎・山田寅之助撰 明治四〇 洋・小 一 ホ 二 一一一一
國文國語の話 本居豐穎撰 和・中（本居雜考） 一 イ 五 一一四三 二
國文國語の話 本居豐穎撰 洋・中（本居雜考） 一 イ 五 一二九四
言靈妙用論 二卷 堀秀成撰 明治一〇 和・大 二 ホ 二 四二九七
新興國語學序說 菊澤季生撰 昭和一一 洋・小（文學社叢書本） 一 ホ 二 四四八五
新語篇 柳田國男撰 昭和一一 洋・小（國語史） 一 ホ 二 四五〇三 六
新語論 柳田國男撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ 二 四四三六 七
歌人必携 世界的日本語 長澤子妙撰 大正九 洋・小 一 ホ 二 一五九一
愛兒のための正しい國語の教へ方 飛田多喜雄撰 昭和一五 洋・中 一 ホ 二 四六八三
正しい國語の知識 漢字と送假名の遣ひ方 附常用漢字一覽表 昭和一二 洋・小 佐伯常麿撰 一 ホ 二 四五五三
日本言語學 附證歌釋義 松岡靜雄撰 大正一五 洋・小 一 ホ 二 四二二一
日本言語學 宮澤甚三郎撰 明治三八 再版 洋・中 一 ホ 二 四五〇

日本言語說 黒川眞頼撰 洋・中（國書刊行會叢書本黒川眞頼全集） 一 イ 四 七三四 六
日本言語說 黒川眞頼撰 洋・中（國書刊行會叢書ノ内黒川眞頼全集） 一 イ 四 七三五 八
日本語學新論 佐藤寛撰 明治二四 洋・小 一 ホ 二 四六〇
日本語と英語の比較 澤村寅二郎撰 昭和一五 洋・中（英米文學語學講座） 一 ヘ 三 五三六九 六〇
日本語の特質 佐久間鼎撰 昭和一六 洋・小 一 ホ 二 四七一一
文教溫故 二卷 山崎美成撰 和・中（百萬塔） 一 イ 四 一三五 四
文教溫故批考 三卷 狩谷望之・屋代弘賢撰 洋・中（國書刊行會叢書ノ内百家隨筆） 一 イ 四 八八二 八

○〔國語教授法ハ教育ノ教育學附教育法（トニ）ヲ參照〕

海外に於ける國語教育 佐野保太郎撰 洋・中（岩波講座國語教育） 一 ホ 二 四五〇一 五
解釋學と國語教育の問題 教育的解釋學（石山脩平）外一七篇 厚生閣書店刊 昭和九 洋・中（教育・國語教育特別號） 一 ホ 二 四四六〇
岩波講座國語教育 九卷 岩波書店刊 昭和一一・一二 洋・中 九 ホ 二 四五〇一

第一卷

日本學の體系と國民教育

日本學の樹立（藤村作） 一 日本儒教と教育（西晉一郎） 一
茶道と教育（奥田正造） 一 國學と教育（山田孝雄） 一
俳諧道と教育（小宮豐隆） 一 神道と教育（河野省三） 一
西洋思想と教育（安倍能成） 一 日本佛教と教育（花山信勝） 一
歌道と教育（久松潛一） 一 能と教育（野上豐一郎） 一
科學的精神と教育（石原純）
國語教育思潮
國語教育問題史（海後宗臣） 一 論理主義と心理主義（石山脩平） 一
文藝主義と言語活動主義（西尾實） 一
文化主義と民族主義（岩永胖） 一 文藝主義と言語活動主義（西尾實） 一

第二卷

國語教育の學的機構

日本文學史（島津久基） 二 國文學の文藝學的研究（高木市之助） 二
國語學と國語教育（橋本進吉） 二 日本文法學（福井久蔵） 二
國語表現學（城戸幡太郎） 二 日本文法史（小林好日） 二
日本文獻學（久松潛一） 二 文藝哲學（垣内松三） 二
言語哲學（小林淳男） 二 國語史（安藤正次） 二
昔の國語教育（柳田國男） 二 國語解釋學（勝部謙造） 二
言語美學（小林英夫） 二 國語教授の根本問題（長田新） 二
言語心理學（波多野完治） 二 社會學より見たる言語（田邊壽利） 二
方言學（東條操） 二
第三卷
國語教育の方法的機構

讀方教授體系（古田東） 三 綴方教授體系（西尾實） 三
話方教授體系（岩田九郎） 三 書方教授體系（各務虎雄） 三
國語教育の實際的機構

教師論（西尾實） 三 兒童論（松本金壽） 三
小學讀本編纂史（井上赳） 三 學習論（青木誠四郎） 三
學校論（岩永胖） 三 教室論（古田東） 三
第四卷
國語教材の形態的研究

神話（倉野憲司） 四 童話（金田鬼一） 四
傳說（島津久基） 四 和歌（尾上八郎） 四
俳諧（岩田九郎） 四 史話（山岸德平） 四
謠曲・狂言（能勢朝次） 四 歌謠（藤田德太郎） 四
日記・紀行・隨筆（玉井幸助） 四 物語（池田龜鑑） 四
軍記（高木市之助） 四 歌舞伎（守隨憲治） 四
淨瑠璃（高野辰之） 四 現代文（片岡良一） 四
童謠（葛原齒） 四 現代詩（湯地孝） 四

第五卷

國語教育の諸問題

國語運動と國語教育（新村出） 五 古典及古典教育について（岡崎義惠） 五
諸家國語教育論敍說（石山脩平） 五 海外に於ける國語教育（佐野保太郎） 五
國語學力測定法（武政太郎） 五 國民生活と國語教育（藤村作） 五
現代社會と國語教育（保科孝一） 五 中世以降に於ける國語教育の發達（石川謙） 五
現代教育と國語教育（佐々木秀一） 五 綴々深義を含んで全體はさらりと（五十嵐力） 五
國語國字諸問題（安藤正次） 五 國語と民間傳承（金田一京助） 五
漢字の話（附・新讀本の字體）（大岡保三） 五
ラヂオによる國語教育（崎山正毅） 五
第六至九卷
國語教育の方法的機構

小學國語讀本綜合研究（卷一至九） 六—九
師範大學講座國語教育 八卷 保科孝一・田中寛一編 昭和九・一〇 洋・中 八 ホ 二 四四四七
國語學概論（保科孝一） 一 國語史概要（同上） 一
國文學史要（能勢朝次） 一 言語學概論（神保格） 二
言語及び讀書の心理（武政太郎） 二 國語表現學概說（城戸幡太郎） 二
言語解釋學概說（石山脩平） 二 近古文學（玉井幸助） 三
國語の心理學的研究（田中寛一・丸山良二） 三 現代文學（岩城準太郎） 三
上古文學（石井庄司） 三 謠曲概說（同上） 三
近世文學（鈴木敏也） 三 國語學書目要解（同上） 四
連歌俳諧概說（能勢朝次） 三
鎌倉和歌史上の二三の問題（久松潛一） 四
國語法講說（日下部重太郎） 四
國文學書目要解（玉井幸助） 四
中等學校の國語教育に對する要望（保科孝一） 五
中等學校に於ける國語・漢文教育（岩井良雄） 五
中等學校に於ける講讀教授（和田邦五郎） 五
中學校に於ける漢文講讀（田口福司朗） 五
中學校に於ける國文法（中西浩） 五

中等學校に於ける作文（低學年）（長谷川敏正）　三
中等學校に於ける作文（高學年）（小野左恭）　五
國語教育の學力測定（丸山良二）　五
小學國語教育に對する要望（保科孝一）　六
小學校に於ける國語教育（丸山林平）　六
小學校に於ける聽方（高橋喜藤治）　六
小學校に於ける話方（小林佐源治）　六
小學校に於ける低學年讀方（野村基）　六
小學校に於ける中學年讀方（田中武烈）　六
小學校に於ける高學年讀方（佐藤末吉）　六
小學校高等科に於ける讀方指導（山内才治）　六
小學校に於ける綴方（低學年）（田中豐太郎）　六
小學校に於ける高學年綴方（飯田恒作）　六
小學校に於ける書方教育（水島修三）　七
漢文の訓讀法（内野台嶺）　七
漢字の書法（田代秋鶴）　七
假名の書方（尾上八郎）　七
國語の音聲研究の進歩（石黒魯平）　七
國語國字問題（日下部重太郎）　七
日本精神と教育（加藤仁平）　七
兒童詩概説（百田宗治）　七
日本神話の性質（丸山林平）　七
童話の心理（依田新）　七
綴方の心理學的研究（坂本一郎）　八
日本語のアクセント（神保格）　八
詩歌のリズム（相良守次）　八
テニヲハの心理學的研究（松本金壽）　八
文の表現（波多野完治）　八
環境と言語の發達（山下俊郎）　八
作業教育と國語教育（淺黄俊夫郎）　八
職業指導と國語教育（水野常吉）　八
文檢國語科について（大島庄之助）　八
國語教育への期待　柳田國男撰　洋・小（國語の將來）　一
國語教育概説　八波則吉撰　昭和三　洋・小　一
國語教育科學　一二卷（卷六・九・一二未刊）　垣内松三撰・文學社刊　昭和九・一〇　洋・中　九
國語教育科學概説　一
國語指導論　二
國語教材論　三
國語學習論　三
國語教育論史　五
國語解釋學概説　六
國語表現學概説　七
國語教育の諸問題　八―九
國語教育科學史　飛田隆撰　洋・中（國語科學講座）　一
小學校に於ける話方（小林佐源治）　六
國語教育學　石山脩平撰　洋・中（國語科學講座）　一
國語教育學　附國語教育研究所目錄外一篇　丸山林平撰　昭和七　洋・中　一
國語教育史　渡邊茂撰　洋・中（國語科學講座）　一
國語教育と宗教教育　守屋貫秀撰　洋・中（宗教教育講座）　一
國語教育の科學的研究　千葉春雄編　昭和八　洋・中　一
國語教育の科學的研究（佐久間鼎）　一
國語の科學的研究に就て（菊澤季生）　一
國語教育と國語學（山本信道）　一
現代日本語法の自律性（佐久間鼎）　一
常用漢字・新假名遣及び文體統一問題について（保科孝一）　一
日本語に於ける助詞の位置（松本金壽）　一
朗讀法の理論と實際（日下部重太郎）　一
朗讀の理・法を見直す（石黒魯平）　一
清音・濁音の本質（高野劉）　一
國語教育と國字教育（多田サイ）　一
國語と感情の表現（澤田慶輔）　一
體驗としての「ことば」（大脇義一）　一
兒童語の發達段階について（依田新）　一
幼稚園に於ける國語教育の可能性（波多野いそ子）　一
新しい文章への考察（伊藤整）　一
詩の藝術學的研究（外山卯三郎）　一
詩に關する三つの問題（百田宗治）　一
リズムと時間（安部三郎）　一
言語地理學（東條操）　一
鄉土體驗の構造と鄉土讀本（石山脩平）　一
日本文學と個性（齋藤清衛）　一
明治文學と國語教育（舟橋聖一）　一
讀方教材の個性について（新屋敷幸繁）　一
綴方教育の根本原理（佐々木秀一）　一
綴方の科學・序説（前本一男）　一
國語教育の諸問題　西尾實撰　洋・中（國文學講座）　一

國語教育の新領域　西尾實撰　昭和一四　洋・小　一
國語教育の方法學的研究　現象學と國語教育の問題　（山内得立外二三篇　厚生閣書店刊　昭和八　洋・中　（國語・國語教育臨時號）　一
國語教育論　石山脩平撰　昭和一二　洋・小　（現代教育學大系）　一
國語教育論　藤村作撰　洋・中（岩波講座日本文學）　一
國語教育論　八波則吉撰　洋・中（日本文學講座）　一
國語の教育　西尾實撰　洋・中（岩波講座教育科學）　一
國民精神の陶冶と國語教育　主として小學校に於ける實際的立場より考察す　宮川菊芳撰　洋・中（日本諸學振興委員會研究報告）　一
朝鮮の國語教育について　高木市之助撰　洋・中（京城帝國大學記念論文集）　一
日本語の問題　國語問題と國語教育　石黒修撰　昭和一五　洋・小　一
標準語と國語教育　國語教育學會編　昭和一五　洋・中（國語教育學會叢書本）　一
國語と國民性（久松潛一）　二
東京語批判（柳田國男）　二
國語アクセントの地方的分布（金田一春彦）　二
訛音の性質（小幡重一）　二
現代語の表現（佐久間鼎）　二
小學國語讀本の語法（今泉忠義）　二
語法の變遷史（小林好日）　二
兒童語彙（松本金壽）　二
國語教育の動向（西尾實）　二
文法教育に關する調査（土井忠生）　二
ラヂオと標準語（小尾範治）　二
國語調査事業について（保科孝一）　二
平安朝中期に於ける言語教育　川口久雄撰　洋・中（日本文學論攷）　一
昔の國語教育　柳田國男撰　洋・小（國語の將來）　一
明治中期までの國語教育と國語學　松尾捨治郎編　洋・大（國學院大學紀要）　一
讀む・綴る心理と國語教育　厚生閣刊　昭和一〇　洋・中（教育・國語教育臨時號）　一

總説

語法の心理と文章の口語化（佐久間鼎）　一
讀む・綴ることの精神作用（丸山林平）　一
讀む・綴る心理と國語教育（若園隆夫）　一

讀む心理

解釋の心理過程（小野島右左雄）　一
讀みと意味（中野佐三）　一
讀みの作用の構造原理（坂本一郎）　一
讀みと心理（華岡鎭藏）　一
讀方の心理的意義竝に教育的價値（西山唐平）　一
讀方の心理學的考察（小澤恒一）　一
讀方の心理學的に於ける注目の問題（多田淑夫）　一
綴る心理　一
綴る心理と鑑賞の心理（重松信弘）　一

綴る心理

文字の移調性（波多野完治）　一
象徴と言語的表現（澤田慶輔）　一
作品の持つ生理（伊藤整）　一
兒童語に於ける「言ひ誤り」について（依田新）　一

國語教材論

國語學史　小島好治撰　昭和一四　洋・中　一
國語學史　重松信弘撰　洋・中（國語科學講座）　一
國語學史　時枝誠記撰　洋・中（岩波講座日本文學）　一

國語學習論

國語教育論史　五
國語表現學概説　七
國語教育の諸問題　八―九

國語解釋學概説

標準語と方言（東條操）　六
標準語の發音について（神保格）　六
アクセントについて（三宅武郎）　六
口語と文語（安藤正次）　六
敬讓表現（湯澤幸吉郎）　六
基本語彙の調査（石黒修）　六
假名遣要覽（松尾捨治郎）　六
國語學の動向（岩淵悦太郎）　六
海外に於ける日本語教育（山口喜一郎）　六

國語教育の諸問題

言語學史上におけるシーボルト先生　新村出撰　洋・中（シーボルト研究）　一
國語學史　小島好治撰　昭和一四　洋・中　一
國語學史　重松信弘撰　洋・中（國語科學講座）　一
國語學史　時枝誠記撰　洋・中（岩波講座日本文學）　一

○

言語學史上におけるシーボルト先生　新村出撰　洋・中（シーボルト研究）　一
國語學史　小島好治撰　昭和一四　洋・中　一
國語學史　重松信弘撰　洋・中（國語科學講座）　一
國語學史　時枝誠記撰　洋・中（岩波講座日本文學）　一

			冊	類	號
國語學史	時枝誠記撰 昭和一五 洋・中		一	ホ	二四六七九
國語學史	保科孝一講（早稻田大學文學科明治三五年度講義錄） 洋・中		一	ホ	二二八九
國語學史	保科孝一講（早稻田大學文學科明治三七年度講義錄） 洋・中		一	ホ	二五一六
國語學史	保科孝一講（早稻田大學文學科明治三九年度講義錄） 洋・中		一	ホ	二七七二
國語學史	保科孝一撰 明治四〇 洋・中		一	ホ	二八五三
同					
國語學史	吉澤義則撰（國文學講座） 洋・中		一	ホ	二四二七二
國語學史概說	金澤庄三郎撰 洋・中（日本文學講座）		一	ヘ	二四三六〇
國語學史概說	重松信弘撰 昭和一四 洋・中		一	ホ	二四五八八
國語學史上に於ける鈴木朖	服部正義撰 洋・中（鈴木先生記念論文集）		一	ホ	二四七二八
國語學史要	山田孝雄撰 昭和一〇 洋・小（岩波全書本）		一	ホ	二四四六八
國語學小史	保科孝一撰 明治三七 再版 洋・中		一	ホ	二一一五四
國語學の手びき	龜井孝撰 洋・中（國語文化講座）		一	ホ	二四七五一
新體國語學史	保科孝一撰 昭和九 洋・中		一	ホ	二四四六一
日本語學史	長連恒撰 明治四一 洋・中（帝國百科全書）		二	イ	四一一五一（一六九―一七〇）
○〔文典・口語法・文字・音韻・假名遣等參照〕					
近古の國語	土井忠生撰 洋・中（國語科學講座）		一	ホ	二四四二六
近世の國語	佐藤鶚吉撰 洋・中（國語科學講座）		一	ホ	二四四二六
近世の國語	中島唯一撰 洋・中（日本文學講座）		一	ヘ	二四三六〇（一六）

			冊	類	號
元始日本語	中村烏堂撰 昭和三 三版 洋・中		一	ホ	二四二七八
國語史「未完」	刀江書院刊 昭和一一至一三 洋・小		六	ホ	二四五〇三
第一卷	序說（安藤正次）	一	第二卷	系統篇（金田一京助）	二
第三卷	上古篇（佐伯梅友）	三	第六卷	近世篇（湯澤幸吉郎）	四
第九卷	文字篇（山田孝雄）	五	第一二卷	新語篇（柳田國男）	六
國語史 第二・九卷 昭和一一・一三	刀江書院刊 洋・小		二	ホ	二四五〇四
同			二	ホ	二四五三〇
國語史	安藤正次撰 洋・中（岩波講座國語教育）		一	ホ	二四五〇一（二）
國語史	春日政治撰 洋・中（國文學講座）		一	ヘ	二四三七三（一）
國語史概要	保科孝一撰 洋・中（師範大學講座國語教育）		一	ホ	二四四四七（一）
國語史上の一劃期	春日政治撰 洋・中（日本文學講座）		一	ヘ	二四三五七（一）
國語史に就いて	吉澤義則撰 洋・中（國語文化講座）		一	ヘ	二四三一七（一）
國語史の方言的研究	奥里將建撰 昭和八 洋・小		一	ホ	二四七五一（二）
國語の建國時代	安藤正次撰 洋・中（日本建國の研究）		一	ホ	二四四二八
國語發達史序說	安藤正次撰 洋・中（國語科學講座）		一	リ	四四八三七
國語發達史大要	今泉忠義撰 昭和一四 洋・中		一	ホ	二四四二六（五）
國語略史	藤岡勝二撰 洋・中（開國五十年史）		一	ホ	二四五七九
國風暗黑時代に於ける女子をめぐる國語上の諸問題	吉澤義則撰 洋・中（岩波講座日本文學）		一	リ	四二七〇六（二）

			冊	類	號
古代國語の研究	安藤正次撰 大正一三 洋・小		一	ホ	二一七四四
古代の國語	安藤正次撰 洋・中（日本文學講座）		一	ヘ	二四三六〇（一六）
上古の國語	佐伯梅友撰 洋・中（國語科學講座）		一	ホ	二四四二六（五）
上代國語概說	吉澤義則撰 洋・中（上代日本文學講座）		一	ヘ	二四三六〇（一六）
中古の國語	安田喜代門撰 洋・中（國語科學講座）		一	ホ	二四四二六（五）
中古の國語	土井忠生撰 洋・中（日本文學講座）		一	ヘ	二四三六〇（一六）
中世の國語	湯澤幸吉郎撰 洋・中（日本文學講座）		一	ヘ	二四三六〇（一六）
天平時代の國語	新村出撰 洋・中（東亞語原志）		一	ホ	二四三二〇
○					
天草版金句集の研究	附長崎版日葡辭書に見える格言外四篇 吉田澄夫共著 昭和一三 洋・中（東洋文庫論叢本）		一	ホ	二一七四四
國語史系統篇	金田一京助撰 昭和一三 洋・小		一	ホ	二四五〇三（一六）
朝鮮語と日本語	小倉進平撰 洋・中（國語科學講座）		一	ホ	二四四二六（五）
東洋言語學の建設	日本語の大陸還元外一九篇 中島利一郎撰 昭和一六 洋・中		一	ホ	一一八九二
日韓兩國語同系論	金澤庄三郎撰 明治四二 洋・大（東洋協會調査部學術報告）		一	イ	四一二七九
日韓兩國語同系論	附同英譯 明治四三 金澤庄三郎撰 洋・小		一	ホ	二一二六
日鮮同祖論	金澤庄三郎撰 昭和四 洋・中		一	ニ	一六二三九
日本語の系統	特に數詞に就いて 白鳥庫吉撰 洋・中（岩波講座東洋思潮）		一	ロ	一〇二九三七（一）
日本語の根本的研究	附追補一卷 北里闌撰 昭和六・八 初・再版 洋・中		二	ホ	二四五九三
日本古代語音組織考	圖表一帙（二六枚）・解說一卷 北里闌撰 大正一五 洋・中	帙 一・一	ホ	二四五九〇	
日本古代語と國民精神	北里闌撰 昭和一四 再版 洋・小		一	ホ	二四五九一
日本人と南洋	日本語に於ける南方要素管見 新村出撰 洋・中（東方言語史叢考）		一	ホ	一一八五二
我が國民國語の曙	倭人考外一三篇 坪井九馬三撰 昭和二 洋・中		一	リ	四四六八九
論文					
安藤教授還曆祝賀記念論文集	安藤教授還曆記念會編 昭和一五 洋・中		一	ホ	二四七二八
校本日本譯語	（淺井惠倫）	語頭グライド臆說（石黑魯平）			
寢殿造殿舍考	（伊藤愼吾）				
方位名稱と民族移動竝に地形	（移川子之藏）				
南島古代史管見	（太田亮）	視覺文法と聽覺文法（大西雅雄）			
桂本萬葉集の文字の考察	（澤瀉久孝）				
御本聖語藏唐寫阿毗達磨雜集論の古點について	（春日政治）				

			冊	類	號
アイヌ語と國語	金田一京助撰 洋・中（國語科學講座）		一	ホ	二四四二六（四）
國語系統の問題	新村出撰 洋・中（東方言語史叢考）		一	ホ	一一八五二
國語系統論	新村出撰 洋・中（國語科學講座）		一	ホ	二四四二六（四）

神道研究上より見たる本居宣長大人と慈雲尊者（加藤玄智）　日本書紀古訓攷證（神田喜一郎）
貸借と賣買（金澤庄三郎）　日本書紀に見える假字用法に就て（菊澤季生）
韻律論（工藤好美）　福惠と筑波（倉野憲司）
新古今集歌風に於ける感傷性と象徴性とに就いて（小島吉雄）
平家物語文章私見（後藤丹治）　二つの「ばや」（小林好日）
玉緒變格考（酒井秀夫）　日本語の論理的表現（佐久間鼎）
本邦人と臺灣（幣原坦）　日本に於ける英文學研究（島田謹二）
ガーディナー氏の文の定義（神保格）　國體觀念の消長（鈴木暢幸）
すうちうま（琉球數碼）（須藤利一）　「はすは」の考（瀧田貞治）
我が國名の研究（田中義能）
上田秋成の「冠辭考續貂」について（都留長彦）
長野縣に於ける土語分布例（東條操）
懸詞の語學的考察とその表現美（時枝誠記）
こぼれ松葉（西村眞次）　地名傳説について（野村八良）
「きふらふ」か「さうらふ」か（橋本進吉）
國語學史上に於ける鈴木朖（服部正義）
日本書紀神代巻本文に現はれたる合理主義（濱田聰助）
支那現代文の所謂新式標點符號の得失を論じ併せて最新式標點符號の採用を提唱す（原田季清）
文獻學的研究と考證學（久松潜一）
上代に於ける「所」字の特殊的用法に就いて（福田良輔）
かにかくに欲しきまにまに考（松村一雄）
安南史料に表はれたる印度支那山地民族（松本信廣）
青森・秋田兩縣方言に於けるP音の研究（宮良當壯）
方言の成立（柳田國男）　ワーヅワースの詩語論（矢野禾積）
天兩屋島考（山田孝雄）　「報ふ」（八四）の用例（湯澤幸吉郎）
品詞建設に關する二つの答（吉澤義則）　句讀紙抄について（吉田澄夫）
Isaac Titsingh, Eenige Japansche Woorden（吉町義雄）
紫式部宮仕年代私考（岡一男）　Calamianan語とAgootaya語（小川尚義）
朝鮮に於ける韻書と玉篇との關係（小倉進平）

石塚龍麿の萬葉研究（小山正）　沖繩考（伊波普猷）
安藤教授略年譜　安藤教授主要論著年表
Communication and Interpretation (Arundel del Re)
黒川眞頼全集 日本語學篇（日本文典大意外八篇）　黒川眞頼撰・同位道編　洋・中（國書刊行會叢書本）　一　イ　四　七二四　六
黒川眞頼全集 日本語學篇（日本文典大意外八篇）　黒川眞頼撰・同位道編　洋・中（國書刊行會叢書）　一　イ　四　七三五　六

言語文化と國語教育　厚生閣刊　昭和一三　洋・中（教育・國語教育臨時號）　一　サ　ト　六八　一七ノ八

第一部　國語と精神

國語と國意（河野省三）　母國語の力（石井庄司）
敬語法と新語の心理（波多野完治）
日本語より見たる國語及國語教育（小野正康）
日本語―日本語教育―日本語學（田邊壽利）
日本文藝學の再建（辰宮繁）

第二部　國語の發展

國語の發展と新歌謡（日下部重太郎）　世界に於ける日本語の發展（神崎清）
在外第二世の國語教育（佐野保太郎）　在留第二世の日本語教育（名取順一）
外地に於ける國語教育（黒川蕙）
歐米人と日本に於ける文字の問題（關美枝子）
各國の母國語教育（石中象治）

第三部　國語運動

最近の國語運動（石黒修）　國字としてのカナ（岡崎常太郎）
國語問題と綴り方教育（高倉テル）　國語國字改良運動の狀勢（上野陽一）
ローマ字運動の歴史（菊澤季生）
支那語教育におけるローマ字の利用（齋藤秀一）
現代文と外來語（清田武夫）
漢字の整理と漢字教育の改善（井之口有一）

第四部　時局國語教育

日本の將來と國語教育（藤野重次郎）　國語教育の恒久的努力點（田中豐太郎）
時局と國語教育（白鳥千代三）　日本的な國語教材（裏田勝利）

國語讀本に入れられた源氏物語（後藤興善）
解釋主義への一つの批判（大久保正太郎）　國語教師論（鈴木睿順）
國民精神と綴方教育（田中信）　時局下の綴方教育（石川峡）

國語學の諸問題 音韻の變遷外一八篇　昭和一六　洋・中　小林好日撰　一　ホ　二　四七五〇
國語學論考 口語史料としての抄物外二一篇　昭和一五　洋・中　湯澤幸吉郎撰　一　ホ　二　四五九六
國語國文の研究 本邦音符考外三二篇　昭和二　洋・中　吉澤義則撰　一　ホ　二　四二六一
國語說鈴 布留乃能外二六篇　昭和六　洋・中　吉澤義則撰　一　ヘ　二　四三二一

論集國語尊重の根本義 國語尊重の根本義外五篇　山田孝雄撰　昭和一三　洋・中　一　ホ　二　四五七〇
國語の愛護 國語の愛護外五篇　出版部刊　五十嵐力撰・早稲田大學　昭和三　洋・小　一　ホ　二　四二七三

同

國語の愛護 子供を相手のつもりで試みに國語を大事にすべきことを語る外三篇　五十嵐力撰・白水社刊　昭和一三　洋・中　一　ホ　二　四五七三
國語の將來 國語の將來外八篇　柳田國男撰　昭和一四　洋・小　（創元選書本）　一　ホ　二　四五八二
國語の新研究 作歌と副詞外八篇　三矢重松撰・安田喜代門・同靜雄編　昭和七　洋・中　一　ホ　二　四〇〇四
國語のため 第一・二國語と國家と外二八篇　上田萬年撰　明治三六　初・再版　洋・中　二　ホ　二　四三六〇　一六
國語文法篇 國語の本質（保科孝一）外二〇篇　改造社編　昭和一〇　洋・中　（日本文學講座）　一　ヘ　二　四三一三　三
國文叢話 國文を習ふ人の心得べき事ども外四三項　物集高見撰　洋・中　（物集高見全集）　一　イ　四　一一三六
古典と古語 古典以前から古典時代へ外一七篇　安藤正次撰　昭和一〇　洋・中　一　ヘ　二　四四七〇
上代の國語國文學 天孫降臨神話の發生形と完成形外八篇・附注言の本質　三矢重松撰・安田喜代門・同靜雄編　昭和七　洋・中　一　ヘ　二　四三四三
東亞語原誌 東北に系統を引く日本語外二六篇・附著者撰述他書散見東語誌要目　新村出撰　昭和五　洋・中　一　ホ　二　四三三〇

同

日本諸學振興委員會研究報告 第三編國語國文學　文部省教學局刊　昭和一三　洋・中　一　イ　四　一三六八
日本の言葉 日本人と南洋外二五篇　新村出撰　昭和一六　洋・小　（創元選書本）　一　ホ　二　四七〇七
日本の言葉 日本人と南洋外二五篇　新村出撰　昭和一六　洋・小　（創元選書本）　一　ホ　二　四七二七
日本の言葉 日本人と南洋外二五篇　新村出撰　昭和一六　洋・小　（創元選書本）　一　ホ　二　四七二七
文法論と國語學 口語の研究外七篇　三矢重松撰・安田喜代門・同靜雄編　昭和七　洋・中　一　ホ　二　四三九二

東方言語史叢考 國語及朝鮮語の數詞について外三三篇　新村出撰　昭和二　洋・中　一　ホ　一　一八五二
東洋言語學の建設 日本語の大陸還元外一九篇　中島利一郎撰　昭和一六　洋・中　一　ホ　一　一八九二
金澤博士還曆記念・東洋語學乃研究　金澤博士還曆祝賀會編　昭和七　洋・中　一　ホ　二　四四二八

所謂「ヲ」に通ずる助詞「ガ」に就いて（吉澤義則）
形容詞の論（その一）（武田祐吉）　形容詞の論（その二）（折口信夫）
助動詞「き」の連體形（今泉忠義）　「デアル」と「デアリマス」と（岩橋小彌太）
萬葉時代の枕詞について（豊田八千代）　「宇禮牟曾」考（安藤正次）
安寧天皇御陵名義私考（生田耕一）　そほ考（筑紫豊）
「わりなき」「入・芭蕉（萩原藤吉）　國語に宿る尋い心理（高橋龍雄）
明治以後の方言研究（東條操）
九州方言及び琉球方言に於ける代名詞の研究（安田喜代門）
語音釋譯（伊波普猷）　虹の語學的研究（宮良當壯）
北奥地名考（金田一京助）　朝鮮の眞言集（小倉進平）
臺灣蕃語の數詞用法の二例（小川尚義）　小學に就いて（小柳司氣太）
説文五百四十部の次序に就いて（池田四郎次郎）
文字から見た支那古代文化（後藤朝太郎）
漢字の性質を論じて對句の發生に及ぶ（尾川敬三）
悉曇相通説と活用研究に及ぼせる其の影響（竹田鐵仙）
宗教學上の言靈私考（加藤玄智）

○

懸詞の語學的考察とその表現美 時枝誠記撰 洋・中 (安藤教授還暦祝賀記念論文集) ホ 二 四七八 號

漢文漢語の影響によりて生じたる國語の諸相 山田孝雄撰 洋・中 (國語尊重の根本義) ホ 二 四五七 一

言語學より見たる日本語の地位 小倉進平撰 洋・中 (夏期日本文化講座講演集) リ 四 四八七四 一

國語尊重の根本義 山田孝雄撰 洋・中 (日本諸學振興委員會研究報告) イ 四 一三六八 一

國語と國民性 日本精神の闇明 昭和一五 菊澤季生撰 洋・小 ホ 二 四五七〇 一

國語と國民性 芳賀矢一撰 洋・中 (芳賀矢一遺著) ヘ 一 一三〇〇 一

國語と國民性 久松潛一撰 洋・小 (標準語と國語教育) ホ 二 四六一三 一

國語と國民性 三井透撰 洋・中 (國語科學講座) ホ 二 四四二六 一

國語と國民性 山田孝雄撰 洋・中 (論集國語尊重の根本義) ホ 二 四五七〇 一

國語と社會性 澤田慶輔撰 洋・中 (國語科學講座) ホ 二 四四九〇 一

國語と日本精神 保科孝一撰 昭和一一 洋・小 ホ 二 四五八〇 一

國語と日本精神 松尾捨治郎撰 昭和一四 洋・中 ホ 二 四五九六 一

國語と和歌 上田萬年撰 洋・中 (短歌講座) ヘ 四 四四一八 一

國語に現はれた日本精神 保科孝一撰 洋・中 (日本精神講座) リ 四 四八七四 一

國語の進展と國民思想の一斷面 奥里將建撰 洋・中 (日本諸學振興委員會研究報告) イ 四 一三六八 一

國語の心理學的研究 田中寛一・丸山良二撰 洋・中 (醫學博士講座) ホ 二 四四七〇 一

國語の成長といふこと 柳田國男撰 洋・小 (國語の將來) ホ 二 四五八二 一

國語の本質 保科孝一撰 洋・中 (日本文學講座) ヘ 二 四三六〇 一

國語の論理的性格 杉本勇三撰 洋・中 (日本諸學振興委員會研究報告) イ 四 一三六八 一

國民言語文化の統一性 垣内松三撰 (日本諸學振興委員會研究報告) イ 四 一三六八 一

國民性の反映としての國語 湯澤幸吉郎撰 洋・中 (國語學論考) ホ 二 四五九六 一

古典註釋に現れた語學的方法 時枝誠記撰 洋・中 (日本文化叢考) リ 五 五二四一 一

言靈信仰と上代文藝意識 小山龍之輔撰 洋・中 (國文學と日本精神) ヘ 二 四四一八 一

語の本意と語感 山田孝雄撰 洋・中 (論集國語尊重の根本義) ホ 二 四五七〇 一

日本語の原始形態 城戸幡太郎撰 洋・中 (心理學論文集) ロ 七 三一二〇 一

日本語の純粹性 山田孝雄撰 洋・小 (論集國語尊重の根本義) ホ 二 四五七〇 一

日本語の論理的表現 佐久間鼎撰 洋・中 (安藤教授記念論文集) ホ 二 四七一八 一

日本詩歌と上代語の相關 橫山青娥撰 洋・中 (國文學研究) ヘ 二 四三六九 一

日本文學の言語學的考察 保科孝一撰 洋・中 (日本文學講座) ヘ 二 四二五七 一

同 萬葉期以前の國語研究に關する卑見 上田萬年撰 洋・中 (萬葉集講座) ヘ 四 四四七三 一

論理學的見地より見たる國語の研究 今福忍撰 洋・中 (中島教授在職二十五年記念論文集) ロ 九 二五三九 一

○【國字問題ハ 文字參照】

漢文の國語化 純漢文習得の準備について 五十嵐力撰 洋・小 ホ 二 四六七六 一

外來語の問題 重久篤太郎撰 洋・中 (日本近世英學史) ホ 二 四六八〇 一

基礎日本語 土居光知撰 昭和九 洋・中 ホ 二 四四四五 一

基礎日本語の試み 土居光知撰 洋・中 (國語文化講座) ホ 二 四七五一 一

國語運動と國語教育 新村出撰 洋・中 (岩波國語教育講座) ホ 二 四五〇一 五

國語及び國字問題シムポジウム 山田孝雄等撰 洋・中 (岩波教育科學講座) ト 二 一七五二 二

國語及國字問題の經過 保科孝一撰 洋・中 (日本文學講座) ヘ 二 四二五七 五

同

國語觀 その歴史的概觀と本質 岡本千万太郎撰 洋・中 (國文學と日本精神) ヘ 二 四三一七 一

國語國字諸問題 安藤正次撰 洋・中 (岩波講座國語教育) ホ 二 四五〇一 五

國語・國字・文章 服部嘉香撰 昭和一六 洋・小 ホ 二 四七五三 二

國語國字問題 日下部重太郎撰 洋・中 (師範大國語教育) ホ 二 四四四七 七

國語國字問題と日本精神 南弘撰 洋・中 (日本精神講座) リ 四 四七六九 五

國語政策論 保科孝一撰 洋・中 (國語科學講座) ホ 二 四四二六 二

國語陶冶とラジオ 岡倉由三郎撰 洋・中 (國語科學講座) ホ 二 四四二六 二

國語の純化と基本語 土居光知撰 洋・中 (國語科學講座) ホ 二 四四二六 二

國語の將來 柳田國男撰 洋・小 (國語の將來) ホ 二 四五八二 二

國語問題覺書 島崎藤村(春樹)撰 洋・中 (國語文化講座) ホ 二 四七五一 二

國語問題正義 新村出撰 昭和一六 洋・中 ホ 二 四七〇四 二

國語問題と英語科問題 藤村作撰 昭和一五 洋・中 ホ 二 四六〇四 二

同

國語問題篇 國語の政策(安藤正次)外一五篇 朝日新聞社刊 昭和一六 洋・中 (國語文化講座) ホ 二 四七五一 一

國字及び國文に關する論說 坪内雄藏撰 洋・中 (逍遙選集) イ 四 一二一三 一

國字國語改良論說年表 國語調査委員會編 明治三七 洋・大 ホ 二 七八九 一

國字國語問題文獻目錄 平岡伴一編 昭和七 洋・中 ホ 二 四四〇八 一

國字國文改良建議書 小西信八編 洋・小 ホ 二 四二〇 一

新東亞建設と日本語の問題 新村出撰 洋・中 (啓明會講演集) イ 四 一二八二 一

內地雜居に使用すべき言語 谷田部梅吉撰 洋・小 (社會問題叢書 未來政治家之覺悟) カ 一 三五一〇 一

日本語の問題 國語問題と國語教育 昭和一五 石黑修撰 洋・小 ホ 二 四六〇七 一

日本に第二の日本語を作るべし 肥塚龍撰 洋・小 (社會問題叢書 未來政治家之覺悟) カ 一 三五一〇 一

日本文體文字新論 矢野文雄撰 明治一九 洋・小 ホ 二 一三五 一

同

標準語と國語教育 國語教育學會編 昭和五 洋・中 (國語教育學會叢書本) ホ 二 四六一三 一

標準語と方言 東條操撰 洋・中 (標準語と國語教育) ホ 二 四六一三 一

標準語の發音について 神保格撰 洋・中 (標準語と國語教育) ホ 二 四六一三 一

標準語の問題 石黑魯平撰 洋・中 (國語科學講座) ホ 二 四四二六 一二

明日の日本語 民族と言葉外四篇 島田春雄撰 昭和一六 洋・小 ホ 二 四七〇五 一

文字文章改良論 菅沼岩藏撰 明治二八 洋・小 (言文一致 桃太郎話附錄) ホ 二 二六八 一

同

ラヂオと標準語 小尾範治撰 洋・中(標準語と國語教育) 一冊 ホ二類 四六一三號

書目類

刊行方言書目 東條操撰 昭和一三 洋・小(方言と方言學附錄) 一 ホ二 四五六三

明治國語學書目解說 土井忠生撰 洋・中(岩波講座日本文學) 一 ヘ二 四三一八 二

大正國語學書目解題 赤堀又次郎撰 明治三五 洋・中 一 ホ二 六三二

同 一 ホ二 一〇六〇

國語學書目解題 龜田次郎撰 洋・中(國語科學講座) 一 ホ二 四四二六 三

國語學書目解題 吉田澄夫撰 洋・中(日本文學講座) 一 ヘ二 四三六〇 一七

國語學書目要解 日下部重太郎撰 洋・中(師大國語教育學講座) 一 ホ二 四四四七 四

國語國文學年鑑 第一二輯(昭和一三・一四年) 久松潛一編 昭和一四・二六 洋・中 二 ヘ二 四四七三

國語國文研究雜誌索引 浪速高等學校編 洋・中(國語國文の研究特輯號合本) 一 ヘ二 四四二六

國語辭書史 龜田次郎撰 洋・中(日本文學講座) 一 ヘ二 四三六〇 一六

國字國語問題文獻目錄 附本朝年號西曆對照表(菊澤季生編) 平岡伴一編 昭和七 洋・中 一 ホ二 四四〇八

初期耶蘇教徒編述日本語學書研究 菊・フレイタス編・岡本良知譯 昭和四 洋・中 一 ホ二 一七七三

德川時代節用集展觀書目錄 龜田次郎所藏 大谷大學圖書館編 (昭和一〇年一〇月) 洋・中 一 イ 二 二〇二八

色葉字類抄 花山院家本 三卷 寫本 和・大 三 ホ二 五九六

伊呂波字類抄 一〇卷 山田孝雄校訂本影印—昭和三至五 洋・小(日本古典全集) 八 イ 四 一三二〇 一七一二四

十三門部分音訓正誤 惠洲編 安政五 再版 和・小 一 イ 三 二一六

早引永代節用集 山崎美成編 天保一四 和・小 一 イ 三 一七八六

改正增編江戸大節用海內藏 高井伊宮增補・中村經年續補・英山畫 文久三 補刻 和・大 二 イ 三 九六

古本節用集の研究 上田萬年・橋本進吉撰 大正五 洋・大(東京帝國大學文科大學紀要本) 一 冊 イ 三 類 八五〇

辭書 松井簡治撰 洋・中(國語文化講座) 一 ホ二 四七五一 二

德川時代節用集展觀書目錄 龜田次郎所藏 大谷大學圖書館編 (昭和一〇年一〇月) 昭和一〇 洋・中 一 イ 二 二〇二八

大全早引節用集 入澤達吉撰 洋・中(シーボルト研究) 一 又二 一〇 四七五一

日本辭書の現實と理想 新村出撰 洋・中(國語問題正義) 一 ホ二 四七〇四

日本大辭書編纂に就きて 上田萬年撰 洋・中(國語のため) 一 ホ二 六〇八 一

假名引辭書

新しい外來語の字引 田中孝一郎編 大正一三 洋・小 一 ホ二 一七六三

新らしい言葉の字引 服部嘉香・植原路郎編 大正七 再版 洋・小 一 ホ二 一五〇二

實用新しい時代語の字引 附新聞造語 昭和三 實業之日本社編 一 ホ二 四二七四

伊京集 別册解題(新村出添) 帝國圖書館藏舊鈔本複製—昭和一六 和・大 二 ホ二 四四二六

袖珍石版和漢雅俗いろは辭典 高橋五郎編 明治三五 五版 洋・小 一 ヘ二 四三六〇 一六

色葉字類抄 三卷(卷中缺)・解說一册 橋忠義編・育德財團刊 前田家藏舊鈔本複製—大正一五至昭和三 和・大(尊經閣叢刊本) 一 ホ二 四四〇八

色葉字類抄 三卷(卷中缺)・解說一册 黑川本複製—大正一五至昭和三 和・中(古典保存會刊) 一 ホ二 一七七三

色葉字類抄 花山院家本 三卷 寫本 和・大 四 ホ二 四二七五

伊呂波字類抄 一〇卷 山田孝雄校訂本影印—昭和三至五 洋・小(日本古典全集) 八 イ 四 一三二〇 一七一二四

十三門部分音訓正誤 惠洲編 安政五 再版 和・小 一 イ 三 二一六

早引永代節用集 山崎美成編 天保一四 和・小 一 イ 三 一七八六

改正增編江戸大節用海內藏 高井伊宮增補・中村經年續補・英山畫 文久三 補刻 和・大 二 イ 三 九六

溫故知新書 三卷・解說一册 大岩廣公撰・育德財團刊 前田家藏舊鈔本複製—昭和一四 和・大・中(尊經閣叢刊本) 四 ホ二 四五九三

魁本大字類苑 四卷 谷口松軒編・同安定補 明治二三 洋・大 一 ホ二 七九

外來語辭典 荒川惣兵衛編 昭和一六 洋・小 一 ホ二 四七四九

訂正增補外來語辭典 附新語及神話小解 勝屋英造編 大正八 一〇版 洋・小 一 ホ二 一六六三

雅言解 四卷 鈴木重嶺編 明治一二 和・中 四 ホ二 四四三四

增補雅言集覽 五七卷・石川雅望編・中島廣足補 明治三六・三七 初・再版 洋・中 三 ホ二 二一五

增補雅言集覽 五七卷・石川雅望編・中島廣足補 明治三七 再版 洋・中 三 ホ二 一五四七

雅言通載抄 三卷 城戶千楯編 文久元 和・小 四 ホ二 六〇六

雅言童喻 河崎清厚編 天保一五 和・中 一 ホ二 六四四

同

雅言略解 二卷 臼井憲成編 明治一四 和・小 二 ホ二 六四八

雅語譯解 一卷・附拾遺(村上忠順編) 一卷 鈴木朖編 昭和二 和・小 一 ホ二 六九

雅言譯解 一卷・附拾遺(村上忠順編) 一卷 鈴木朖編 和・小 二 ホ二 六五一

雅言略解 二卷 臼井憲成編 明治一四 和・小 二 ホ二 六四八

雅語譯解 一卷・附拾遺(村上忠順編) 一卷 鈴木朖編 昭和二 和・小 一 ホ二 六九

雅言譯解 一卷・附拾遺(村上忠順編) 一卷 鈴木朖編 和・小 二 ホ二 六五一

歌辭要解 二卷 伴資規編 文化三 和・小(清水濱臣手鈔訂誤本) 一 ヘ四 *一二六

雅俗幼學新書 二卷 森源愿編 (安政二) 和・中 二 ホ二 一七二二

雅俗幼學新書 二卷 森源愿編 (安政元) 和・中 一 ホ二 三九五

國語漢文要語詳解 國語之部 佐藤仁之助撰 明治三八 洋・小 二 ホ二 一七八三

同 一 ホ二 四四四

同 二 ホ二 四二八七

雅俗幼學新書 卷一 森源愿編 (安政元) 和・中 一 ホ二 三九五

歌林樸樕 二八卷 松永貞德編(日本古典全集) 洋・小 一 イ 四 一三二〇 一七〇

同

中等國語辭典 石井喜十郎編 讀本 明治四四 洋・小 一 ホ二 三三〇四

中等讀本國語辭典	石井喜十郎編 明治四四	洋・小	冊 一	ホ 二	號 三三〇五	
ローマ字で引く國語辭典	上田萬年編 大正一〇	增補三一版 洋・小	一	ホ 二	一六四二	
國書辭典	落合直文編 明治三六	再版 洋・小	一	ホ 二	四二七〇	
古言梯	樺取魚彥編（明和二）	和・大	一	ホ 二	四二五一	
同			一	ホ 二	四四五五	
增補古言梯標註	樺取魚彥編・山田常助增補	和・中	一	ホ 二	六二八	
古言譯通 四卷・目一卷（天保八）	鹿持雅澄編	和・大	五	ホ 二	三八九	
國語漢語梵語故事熟語詳解	佃清太郎撰 明治二七	再版 洋・小	一	ホ 二	七三	
訂正增補日本大辭典 ことはの泉	落合直文編 明治三六	二〇版 洋・大	一	ホ 二	二一九	
日本大辭典 言泉 第一至三卷（あ—ち） 大正一〇・一一	落合直文編・芳賀矢一改修	洋・大	三	ホ 二	一六三九	
日本大辭典 言泉 五卷・索引一卷 昭和三至五	落合直文編・芳賀矢一改修	洋・大	六	ホ 二	四二八三	
日本大辭典 言泉 五卷・索引一卷 昭和四	落合直文編・芳賀矢一改修	洋・大	六	ホ 二	四三一三	
同			六	ホ 二	四二九三	
日本大辭典 言泉 五卷・索引一卷 昭和六・七	落合直文編・芳賀矢一改修	洋・大	六	ホ 二	四四二二	
詞の重波	足代弘訓編 寫本	和・中	一〇	ホ 二	六二九	
言葉の園	近藤眞琴編 明治二六	再版 和・小	六	ホ 二	一二六二	
日本大辭典 ことばのはやし	物集高見編 明治二一	洋・小	一	ホ 二	九	
語林類葉 二〇卷	寫本 清水濱臣編	和・大	一〇	ホ 二	三九八	
語林類葉 二〇卷	寫本 清水濱臣編	和・中	二〇	ホ 二	五〇二	
雜字類編 七卷	柴野貞穀重修 天明六	和・中	一	ホ 二	號 八八八	
雜字類編 七卷（文政七）—後刷	柴野貞穀重修	和・中	二	ホ 二	一二五	
雜字類編 七卷（文政七）明治後刷	柴野貞穀重修	和・中	二	ホ 二	八八七	
同			二	ホ 二	七七	
雜字類編 七卷	柴野貞穀重修 明治九	和・中	一	ホ 二	七五	
同			二	ホ 二	一三三一	
同			一	ホ 二	四三一七	
參考古語辭典	江波熙編 昭和七	洋・小	一	ホ 二	四四一四	
參考古語辭典	江波熙編 昭和一一	洋・小	一	ホ 二	四四八〇	
辭苑	新村出編 昭和一〇	洋・小	一	ホ 二	四四六六	
同			一	ホ 二	四四七〇	
辭苑	新村出編 昭和一三	一八二版 洋・小	一	ホ 二	四五七一	
四聲解環 二卷	源文伯撰 文化元	和・小	一	ホ 二	四七四一	
事物異名類編 七卷	荒井公履編 文久元	和・大	二	イ 三	一八〇三	
新しい言葉通な言葉故事熟語 社交用語の字引	鈴木一意編 大正一四	洋・小	一	ホ 二	四二一七	
授幼難字訓 三卷	井澤長秀編 享保一二	和・中	一	ホ 二	四七四六	
常語藪 二卷	岡田挺之編 寬政七	和・中	二	ホ 二	六四三	
同			二	ホ 二	四三〇九	
同			二	ホ 二	四三一八	

匠材集 四卷	洋・小（日本古典全集）		一	イ	四 一三二〇 二〇八	
詞葉新雅	富士谷成章編 寬政四	和・小	一	ホ 二	五七六	
辭林	金澤庄三郎編 明治四〇	洋・小	一	ホ 二	七四九	
同			一	ホ 二	七六〇	
同			一	ホ 二	八九八	
同			一	ホ 二	一七〇七	
辭林	金澤庄三郎編 明治四四	洋・小	一	ホ 二	一六四三	
同			一	ホ 二	一六四五	
同			一	ホ 二	一七〇六	
同			一	ホ 二	四二八五	
辭林	金澤庄三郎編 大正一一	洋・小	一	ホ 二	一七二四	
詩聯大成以呂波韻 二卷	元祿一二 宵柏亭編	和・中	二	ホ 一八	三二八二	
字籠 九卷・附單語・畫引索引一卷	昭和八・九 田澤仲舒編・野口恒重校	和・大	一〇	ホ 二	四七一〇	
新刊節用集大全 七卷	惠空編 延寶八	和・大	二	イ 三	三五六	
每日新語辭典 昭和一六年版	英文大阪每日學習號編輯局編 昭和一六	洋・小	一	ホ 二	四七七三	
新式いろは引節用辭典	龜頭古今名數・附錄俚諺 明治三八	大町芳衛等編 再版 洋・小	一	ホ 二	四二六九	
新式辭典	芳賀矢一編 大正元	洋・小	一	ホ 二	一二四一	
新辭典	芳賀矢一編 大正五	一四版 洋・小	一	ホ 二	一四七五	
新增大和詞大成	中村富丸編 再刻	和・小	一	ホ 二	四四〇七	
新增大和詞大成	中村富丸編 寬政四年版後刷—嘉永七	和・小	一	ヘ 四	四六七九	
新編日本古語辭典	松岡靜雄編 昭和一二	洋・中	一	ホ 二	四五四六	
水上語彙	幸田成行編	洋・中（露伴全集）	一	ヘ 二	四二九六 一二	
節用集 伊勢本 古寫本		和・大	一	イ 三	六〇八	
節用集 天正一八年本 複製	二卷（解說（岡田希雄）一册添 昭和一二	和・大	三	イ 三	一八四九	
節用集 黑川本 複製	解說（橋本進吉）一册添 昭和一二	育德財團刊（尊經閣叢刊本） 和・小	二	イ 三	＊一八五四	
節用集 饅頭屋本	洋・中（倭訓栞附錄）		一	ホ 二	二三三 三	
節用集 饅頭屋本ノ補刻再印	四三葉表迄	和・小	一	イ 三	＊七七九	
節用集 易林本	影印—大正一五 洋・小（日本古典全集）		一	イ 四	一三二〇 四五	
節用文字	古典保存會刊 成簣堂藏舊鈔本複製—昭和七	和・大	一	ホ 二	＊四六八七	
仙源抄	長慶天皇御撰 和・大（群書類從）		二	イ 四	四八八 三九八—三九九	
仙源抄	長慶天皇御撰 洋・小（經濟雜誌社本群書類從）	星野鼇吉編 明治一一 和・小	一	イ 四	二三五 一一	
饅頭熟字 增補伊呂波韻集成			一	イ 一三	一〇五七	帖
增補語林	井上頼圀・小杉榲邨編 洋・小（倭訓栞頭書）		三	ホ 二	二三三	
增補新令字解	荻田嘯編・東條永胤補 明治三	增補 和・小	一	ホ 二	六九七	
俗語考	橘守部撰（橘守部全集）	洋・中	二	イ 四	一一六七 九一一〇	
俗語辭海	松平圓次郎等編 明治四二	洋・小	一	ホ 二	一三五三	
園圃のぬき栄 二卷	竹村茂雄編 弘化二	和・中	二	ホ 二	六三六	
大言海 四卷・索引一卷	大槻文彥編 昭和七至一二	洋・大	五	ホ 二	四四〇七	

大言海 四卷・索引一卷 大槻文彦編 昭和七至一二 洋・大
同
同
大言海 四卷・索引一卷 大槻文彦編 昭和一五 八九至一〇一版 洋・大
大辭典 二六卷 平凡社刊 昭和九至一一 洋・大
同
大成正字通 享和二 和・小
大全早引節用集 天保七 和・小
大日本國語辭典 四卷・索引一卷 上田萬年・松井簡治編 大正五至昭和三 初至九版 洋・大
大日本國語辭典 四卷 上田萬年・松井簡治編 大正四至九 再至四版 洋・大
大日本國語辭典 四卷 上田萬年・松井簡治編 大正九・一〇 七至一二版 洋・大
大日本國語辭典 四卷 上田萬年・松井簡治編 大正一〇一一〇・一二版 洋・大
同
修訂大日本國語辭典 五卷 松井簡治・上田萬年編 昭和一四・一六 洋・大
多都可豆惠 三卷 寺田長興編 嘉永二 和・大
同
同
近松語彙 附典據解說外八項 上田萬年・樋口慶千代撰 昭和五 洋・大
同

册	類	號		
五	木	二	四四〇九	
五	木	二	四四一一	
五	木	二	四四一二	
五	木	二	四六八四	
二六	木	二	四四四八	
二六	木	二	四五〇五	
一	木	二	一三二六	
一	イ	三	一五六二	
五	木	二	一四六一	
四	木	二	四二六三	
四	木	二	一六二四	
四	木	二	一六四四	
一	木	二	一六七一	
五	木	二	四五八六	
三	木	二	二八一	
三	木	二	六一八	
三	木	二	四三〇五	
一	ヘ	七	四三六四	
一	木	二	四五五〇	
一	木	二	一四八一	

日本小辭典 大和田建樹編 明治三〇 三版 洋・小
雅俗日本小辭典 附文法階梯外二項 服部元彥編 俗雅 明治二三 洋・小
日本小辭典 附文字・物集高見編 明治一一 洋・小
日本辭林 大宮宗司編 明治二六 洋・小
日本新辭林 棚橋一郎・林甕臣編 明治三五 一八版 洋・小
日本大辭典 大和田建樹編 明治二九 洋・小
日本大辭林 物集高見編 明治二七 洋・大
日本類語大辭典 附地名異名類聚等 志田義秀等編 明治四二 洋・中
最新百科社會語辭典 永木練次郎編 昭和七 洋・中 (改造第一四卷第一號附錄)
文藻行潦 七卷 山本信有編 天明二 和・小
同
同
モダン用語辭典 麹町幸二編 昭和五 九版 洋・小
モダン流行語辭典 麹町幸二編 昭和八 洋・小
增廣倭節用悉改袋 音訓兩點 俵野通尚編・字便 西川祐信等畫 和・大
蘭例節用集 外題蘭例語典 廣川獺等編・行志齋書 文化一二 和・大
增俚言集覽 村田了阿編・井上頴圃・近藤瓶城補 明治三二・三三 洋・中
增俚言集覽 村田了阿編・井上頴圃・近藤瓶城補 明治四二 四版 洋・中
增俚言集覽 村田了阿編・井上頴圃・近藤瓶城補 大正一三 五版 洋・中

册	類	號		
一	木	二	二七五	
一	木	二	五〇	
一	木	二	五四	
一	木	二	四二八一	
一	木	二	八九五	
一	木	二	八一	
一	木	二	一一	
一	木	二	一四〇	
一	木	二	四四七九	
三	木	二	四七四二	
三	木	二	四七四三	
三	木	二	四七四四	
一	木	二	四三三三	
一	木	二	四四一九	
一	イ	三	一八六二	
一	イ	三	三一八	
三	木	二	一八三	
三	木	二	一六四八	
三	木	二	四二七九	

俚諺大辭典 中野吉平編 昭和八 洋・中
同
猥褻廢語辭彙 宮武外骨編 大正八 和・中
和歌吳竹集 一〇卷 寬文一三 和・大
和歌吳竹集 一〇卷 寬政九 和・小
和歌吳竹集 明治二六 和・小
和歌新吳竹集 二卷 池永泰良撰 (文化一二) 和・小
和哥八重垣 三・七 元祿一三 有賀長伯撰 和・小
和哥八重垣 七卷 寬政三 有賀長伯撰 和・小
同
和訓解 水野清夫編 明治二九 和・中
和訓指掌略 海北若冲編 寫本 和・大 (和訓類林附錄)
和訓指掌略 海北若冲編 寫本 和・大
和訓指掌略 海北若冲編 洋・小 (日本古典全集ノ內倭訓類林附錄)
伴信友倭訓栞 三編・頭書增補語林・附錄撮壤集等 谷川士清編・井上賴圀・小杉榲邨增補 明治三六 三版 洋・中
伴信友倭訓栞 三編・頭書增補語林・附錄撮壤集等 谷川士清編・井上賴圀・小杉榲邨增補 明治三一 洋・中
同
和訓類林 七卷・附和訓指掌略一卷 海北若冲編 寫本 和・大
倭訓類林 七卷・附和訓指掌略一卷 海北若冲編 (日本古典全集) 昭和一〇 洋・小 田中大秀筆寫本影印

册	類	號		
一	ヘ	一	四四九八	
一	ヘ	一	四四九九	
一	木	二	*一五三一	
一〇	ヘ	四	四一二五	
二	ヘ	四	一二五六	
一	ヘ	四	三一五二	
二	ヘ	四	一二五七	
二	イ	一三	一一三三	
七	ヘ	四	一五一三	
二	ヘ	四	一五一三	
一	木	二	五六二	
一	木	二	三七一	
一	木	二	一二八一 四	
一	イ	四	一三二〇 一八九	
三	木	二	二三三	
三	木	二	四三八二	
二	イ	四	一三二〇 一八八—一八九	

○

三韻通考 清・謝有煇・陳培脈箋 文化四 和・小
續字袖珍略韻大成 郭山編 和・中
聚分韻略 五巻 「音訓書入アリ」師錬撰 （德治二） 和・大 （五山版）
便蒙續字聚分韻略 苗村丈伯撰 （延寶四） 和・中

分類辭書

異名分類鈔 四巻 入江昌喜編 文政一一 求版 和・小
下學集 二巻 破納編 和・大
增補下學集 二巻 破納編・山脇重顯補 寛文九 和・大
雅言俗語翌檜 二巻 越谷吾山撰・田来央删補 （アスナラフ） 安永八 和・小
綺語抄 三巻 藤原仲實編 洋・小 （續群書類從）
綺語抄 三巻 藤原仲實編 洋・中 （歌學文庫）
廣益字盡重寶記綱目 洛東隱士編 享保八 改刻 和・小
侯鯖一臠 五巻 龜田長興編・同保補 天保一三 和・中
龜頭節用集大全 香取哲齋補 （貞享五） 和・大
古名錄 八五巻・索引附 伴田伴存編 昭和九至一二 洋・小 （日本古典全集）
言塵集 七巻・附索引 今川了俊撰 昭和一三 洋・小 （日本古典全集）
撮壤集 三巻 飯尾永祥編 洋・中 （倭訓栞附錄）
撮壤集 三巻 飯尾永祥編 洋・小 （續群書類從）

書言俗解 六巻 貞享二 和・中
詞林三知抄 二巻 和・大
續字袖珍略韻大成 郭山編 和・中
新刊多識編 五巻 林信勝編 寛永八 和・大
新刊多識編 五巻 林信勝解 慶安二 和・大
齊東俗談 七巻 松浦默撰 貞享二 和・中
桑家漢語抄 一〇巻 洋・中 （倭訓栞附錄）
桑家漢語抄 一〇巻 洋・中 （國書刊行會叢書ノ內三十輯）
桑家漢語抄 一〇巻 寫本 和・中
東雅 二〇巻・總論一巻・解題目次等附 新井君美撰・大槻修二校 明治三六 和・中

同

東雅 二〇巻・總論一巻 新井君美撰 洋・中 （新井白石全集）
動植名彙 九巻・附錄一巻 伴信友撰 洋・中 （伴信友全集）
頓要集 古典保存會刊 瀧田英二氏藏舊鈔本複製—昭和九 和・中
平他字類抄 洋・小 （續群書類從）
本草和名 二巻・訓纂一巻 深根輔仁撰 寛政版影印—昭和二 洋・小 （日本古典全集）
萬葉集品物解 四巻・目一巻 鹿持雅澄撰 和・大 （萬葉集古義附錄）
無言抄 三巻 （巻中缺） （慶長八） 和・小 應其撰
無言抄 三巻 應其撰 洋・小 （日本古典全集）
類集文字抄 洋・中 （續群書類從）

書言俗解 六巻 貞享二 和・中	冊	一	ヘ	一八	三二七	類	二	ホ	一七九	號
詞林三知抄 二巻 和・大		二	ホ	四	一八五〇		一	ヘ	五	二二〇四
新刊多識編 五巻 林信勝編 寛永八 和・大		一	ホ	二	三七二		一	ホ	二	三七二
新刊多識編 五巻 林信勝解 慶安二 和・大		二	ホ	四	＊四五一		二	ホ	二	四四四一
齊東俗談 七巻 松浦默撰 貞享二 和・中		六	ホ	二	二一六		六	ホ	二	二一六
桑家漢語抄 一〇巻 洋・中 （倭訓栞附錄）		一	ホ	二	二三三		一	ホ	二	二三三
桑家漢語抄 一〇巻 洋・中 （國書刊行會叢書ノ內三十輯）		一	イ	四	八八二		三			
桑家漢語抄 一〇巻 寫本 和・中		一	ホ	二	六〇五		一	ホ	二	六〇五
東雅 二〇巻・總論一巻・解題目次等附 新井君美撰・大槻修二校 明治三六 和・中		五	ホ	二	二〇四		三	ホ	二	二〇四
同		五	ホ	二	四三三六		二	ホ	二	四三三六
東雅 二〇巻・總論一巻 新井君美撰 洋・中 （新井白石全集）		一	イ	四	二一七九		一	イ	四	二一七九
動植名彙 九巻・附錄一巻 伴信友撰 洋・中 （伴信友全集）		一	イ	四	大四六 五		一	イ	四	大四六 五
頓要集 古典保存會刊 瀧田英二氏藏舊鈔本複製—昭和九 和・中		一	ホ	二	＊四四五一		一	ホ	二	＊四四五一
平他字類抄 洋・小 （續群書類從）		一	イ	四	二八二 四二		一	イ	四	二八二 四二
本草和名 二巻・訓纂一巻 深根輔仁撰 寛政版影印—昭和二 洋・小 （日本古典全集）		二	イ	四	一三二〇 二一—二二		二	イ	四	一三二〇 二一—二二
萬葉集品物解 四巻・目一巻 鹿持雅澄撰 和・大 （萬葉集古義附錄）		五	ヘ	四 一〇五	三七九 一〇九		五	ヘ	四 一〇五	三七九 一〇九
無言抄 三巻 （巻中缺） （慶長八） 和・小 應其撰		二	ヘ	五	＊九一三		二	ヘ	五	＊九一三
無言抄 三巻 應其撰 洋・小 （日本古典全集）		一	イ	四	一三二〇 二〇八 三		一	イ	四	一三二〇 二〇八 三
類集文字抄 洋・中 （續群書類從）		一	イ	四	二八二 四二		一	イ	四	二八二 四二

和漢音釋書言字考節用集 外題增合類大節用集 一〇巻 瓢島昭武編 享保二 和・中 | 一三 | イ | 三 | 一五六一
和漢音釋書言字考節用集 外題增合類大節用集 一〇巻 瓢島昭武編 享保二—後刷 和・中 | 一三 | イ | 三 | 一八九四
和漢音釋書言字考節用集 外題增合類大節用集 一〇巻 瓢島昭武編 明和三 再刻 和・中 | 一三 | イ | 三 | 一七九九
和漢音釋書言字考節用集 外題增和漢合類大節用集 一〇巻 瓢島昭武編 萬延元 三刻 和・中 | 一三 | イ | 三 | 一八九五
和爾雅 八巻 元祿七 和・中 | 四 | ホ | 二 | 四三二四
和爾雅 八巻 貝原好古編 洋・中 （益軒全集） | 一 | イ | 四 | 七四〇 七
和名類聚抄 五巻 源順撰 天文鈔本寫 和・大 | 五 | ホ | 二 | 三九九
和名類聚抄 一〇巻・本巻一二・二幾缺・同抄紙背文書經 藏福寺藏舊鈔本複製—大正一五 和・中 （源順撰・古典保存會刊） | 二 | ホ | 二 | ＊四三三三
尾州大須寶生院藏倭名抄殘篇 稻葉通邦寫刊 享和元 和・大 | 一 | ホ | 二 | 二五六
箋注倭名類聚抄 一〇巻 狩谷棭齋（望之）撰・印刷局刊 明治一六 和・中 | 一〇 | ホ | 二 | 一〇
同 | 一〇 | ホ | 二 | 一一七
箋注倭名類聚抄 一〇巻・附校譌異體字辨一〇巻・索引一巻 （望之）撰・嚫社刊 昭和六 初・再版 洋・小 （狩谷棭齋） | 二 | ホ | 二 | 四三六二
同 | 二 | ホ | 二 | 四三九四
三音四聲字貫 一二巻 高井伴寬編・市川清流校 明治一一 和・小 | 四 | イ | 四 | 一一〇〇 一一—一四
字鏡 別冊解說（岡田希雄）添 岩崎文庫藏舊鈔本複製—昭和八 和・大 | 四 | イ | 四 | 一三三〇 一五一—一五四
字鏡集 二〇巻・字訓索引添 菅原爲長撰・野口恆重校 昭和七・八 和・大 | 一〇 | ホ | 二 | 四四二〇
首書大廣益四聲玉篇和訓大成 六巻 中野棭編 寬政四 和・中 | 六 | ホ | 二 | 四六九八
新撰字鏡 一二巻・校異竝和訓索引添 昌住撰・大槻文彥校 天治鈔本複製—大正五 和・大 | 七 | ホ | 二 | 四七〇九
倭名類聚鈔 二〇巻 源順撰 貞享五 重梓 和・大 | 三 | ホ | 二 | 一八〇
倭名類聚鈔 二〇巻 源順撰 和・大 | 五 | ホ | 二 | 九九
同 | 五 | ホ | 二 | 四三一二

○

日本一鑑 一六巻 明・鄭舜功撰 舊鈔本影印—民國二八 唐・小 | 五 | ル | 三 | 三二〇六
日本寄語 明・薛俊撰 唐・大 （說郛） | 一 | イ | 一二 | ＊ 二七 大
本日本譯語 淺井惠倫校 洋・中 （安藝文化協會記念論文集） | 一 | ホ | 二 | 四七二八
畫引辭書 | | | | | | | | | |
音韻授幼文選字引 和・小 | 一 | ホ | 二 | 四六九三
畫引增字分韻便覽 和・小 | 一 | イ | 一三 | 九五六
漢語字類 庄原謙吉編 明治二 和・小 | 一 | ホ | 二 | 四七一三
日基本漢字 大西雅雄編 昭和一六 洋・小 | 一 | ホ | 二 | 四七七四
經典熟字辨 四書之部 文化六 和・小 （鎌田玄同撰） | 一 | ロ | 一二 | 二八一三
廣益會玉篇 二巻 大塚子成編 明治三四 和・小 （鎌田玄同編） | 二 | ホ | 二 | 四六九六
平仄附韻訓譯字義 廣益正字通 謙田玄同編 安政二 和・小 | 一 | ホ | 二 | 四七〇三
平仄附韻訓譯字義 廣益正字通 鎌田玄同編 明治八 再版 和・小 | 一 | ホ | 二 | 四七〇二
語彙 文部省編輯寮編 明治四至一七 和・大 | 一三 | ホ | 二 | 四七〇六
三音四聲字貫 一二巻 高井伴寬編・市川清流校 明治一一 和・小 | 一六 | ホ | 二 | 四七一二
字鏡 別冊解說（岡田希雄）添 岩崎文庫藏舊鈔本複製—昭和八 和・大 | 三 | ホ | 二 | ＊四六九〇
同 | 三 | ホ | 二 | 四七五八
字鏡集 二〇巻・字訓索引添 菅原爲長撰・野口恆重校 昭和七・八 和・大 | 一〇 | ホ | 二 | 四四二〇
首書大廣益四聲玉篇和訓大成 六巻 中野棭編 寬政四 和・中 | 六 | ホ | 二 | 四六九八
新撰字鏡 一二巻・校異竝和訓索引添 昌住撰・大槻文彥校 天治鈔本複製—大正五 和・大 | 七 | ホ | 二 | 四七〇九
倭名類聚鈔 二〇巻 源順撰 貞享五 重梓 和・大 | 三 | ホ | 二 | 一八〇
倭名類聚鈔 二〇巻 源順撰 和・大 | 五 | ホ | 二 | 九九
同 | 五 | ホ | 二 | 四三一二

類聚名義抄　附索引　一冊　昭和一三至一四　一〇
類聚名義抄　和伊太利・墨・川崎村校合本寫　昭和四六年　一〇
類聚名義抄　別冊　智院藏古寫本影印　昭和四六年　一〇
類聚名義抄　智院藏古寫本（山田孝雄）　和裝　一冊　昭和四六年　一〇
類聚名義抄　智院藏古寫本（山田孝雄）　和裝　二冊　昭和四六年　一〇
類聚名義抄　智院藏古寫本（山田孝雄）　和裝　三冊　昭和四六年　一〇
類聚名義抄　智院藏古寫本（山田孝雄）　洋

國語學大系　第一卷　昭和・洋中編　三尾砂・井上久雄

國語學　二　國語叢書

ホ

混効驗集（二卷・附・混効驗集に漏れて伊波普猷）　菊池倍音考（二卷）（永田直行）　他所問答（布施御贈）　新撰大阪同大全　古語古路言葉　方言（新編常陸國誌方言之部）（中山信名）　御國通辭（服部貳香）　尾張方言（山本格安）　みたこと（五卷）（安原貞室）

ヘ

仙源抄說（妄慶天皇）　定家卿假名遣　假名字使（蜆縮涼波集（二卷）（鴨眞淵校）　和字正濫鈔（五卷）（契沖）

第九卷　假名遣（一）

下官集　假名文字遣（源親行撰・同行阿補）　人丸祕鈔　假名遣近道（一條兼良）

第一四卷　手爾波（一）

鳥丸本東本悦目抄　春樹顯祕抄（二卷）（有賀長伯）　手爾葉大概抄　氏邇乎波傳授憶斷鈔（雀部信頭）

第一九卷　方言（一・二）

ホ

志不可起（七卷・卷一缺）　盛言養以呂波等（猪苗代兼紹）　仙盛言養以呂波等（猪苗代兼紹）　常陸國誌方言（新編常陸國誌方言之部）（中山信名撰・色川三中修・栗田寬補）　加賀なまり（谷中邦臣）　秋長夜話抜抄（帚川藹臣）　筑紫方言

國語叢書

ホ

和訓栞（五十音引）　和訓栞（補遺）　和訓栞（後編）　和訓栞（補遺）　和訓栞（後編）　和訓栞（補遺）　和訓栞（後編

新編國文讀本 三卷 國語研究會編 明治二八 和・中 | 木 二 四八一 | 一
國文讀本 一〇卷 新保寅次等編 明治三三 和・中 | 木 二 四二七 | 一〇
尋常自習讀本 一至六・平ノ巻 玉井幸助編 大正一〇・一一 洋・中 | 木 二 三五三七 | 三
實業新讀本 六卷(卷三缺) 豫科用共 古谷知新編 明治四五 和・中 | 木 二 四六四九 | 六
新實業讀本 三卷 定金右源二編 大正七・八 初・再版 和・中 | 木 二 三〇八三 | 三
新潟縣用斯民讀本 二卷 高賀訣三郎編 明治四二 和・中 | 木 二 四四二三 | 二
純正國語讀本 一〇卷 五十嵐力編 昭和八 四版 和・中 | 木 二 四四二四 | 一〇
純正國語讀本編纂趣意書 五十嵐力撰 (昭和七) 洋・中 | 木 二 四四二四 | 一
小學中等讀本 三卷 木澤成肅編 明治一五至一七 再・三版 和・中 | イ 一三一 一〇三 | 三
小學讀本 巻一 洋・中 田中義廉編 (明治文化全集) | イ 四一 一一三一〇 | 一
尋常小學讀本 巻七 文部省編 大正一〇 洋・中 | 木 二 四二三三 | 一
新選現代文 二・三學年用 三省堂編輯所編 昭和五 修正再版 洋・中 | 木 二 四三六八 | 一
校訂新撰國語讀本 一〇卷・教授資料卷一・三共 佐々政一編・大町芳衛等補修 大正一〇 再版 和・洋・中 | 木 二 四六五〇 | 一二
新撰國文講本 一〇卷 和田萬吉・永井一孝編 明治三二 再版 和・中 | 木 二 三三三 | 一〇
補訂新體國語教本 一〇卷 藤岡作太郎編・藤井乙男補訂 大正元 修正五版 和・中 | 木 二 四六五一 | 一〇
訂新編國文讀本 五卷 國語研究會編 明治三二 訂正再版 和・中 | 木 二 四一六 | 一〇
大正國語讀本 一〇卷・參考書一〇卷共 保科孝一編 大正五至九 修正再版 和・中 | 木 二 四六五三 | 二〇
新體中學國文教程 一〇卷 大町芳衛・上田敏編 明治三二 和・小 | 木 二 四三六 | 一〇
國語漢文 中學讀本 一〇卷 中學科研究會編 明治三六 和・中 | 木 二 三五六三 | 一〇

中古文鑑 二卷・參考書共 中村秋香編 明治二七・二八 和・中 | 木 二 四三一九 | 六
中等國語漢文讀本 一五卷 三省堂編 明治三五 和・中 | 木 二 三一七一 | 一五
中等國語讀本 上級用 二卷 上田萬年・內海弘藏編 大正四 訂正再版 和・中 | 木 二 四六六二 | 二
新中等國語讀本 一〇卷(卷三缺)・參考書共 (卷一・二共 落合直文編・森林太郎・萩野由之補) 大正一〇・一一 初・再版 和・中 | 木 二 四六五二 | 一一
新制中等國語讀本 一〇卷 開成館編輯所編 大正一〇・一一 初・再版 和・中 | 木 二 四六五六 | 一〇
中等國文教科書 一〇卷 松井簡治編 大正一〇 修正再版 和・中 | 木 二 四六五五 | 一〇
新撰中等國文讀本 一〇卷 西田敬止編 明治三四 訂正再版 和・中 | 木 二 五九七 | 一〇
同 | 木 二 四三七九 | 一〇
中等國文讀本 卷八 藤井乙男編 大正五 再版 和・中 | 木 二 三六七二 | 一
改訂中等國文讀本 一〇卷(卷九缺)・參考共 藤井乙男編 大正八 初・訂正四版 和・中 | 木 二 四六五八 | 一〇
帝國讀本 一〇卷(卷二・四・六・八缺) 芳賀矢一編 大正一一 三訂五版 和・中 | 木 二 四六六一 | 六
東文讀本 二編 小山左文二編 明治三九 洋・中 | 木 二 五五〇 | 一
高等小學讀書教本 八卷 今泉定介・須永和三郎編 明治二九 和・中 | 木 二 三一七〇 | 八
日文補充讀本 卷一 北京近代科學圖書館編纂部編 昭和一二 洋・小 | 木 二 四五五四 | 一
日本語讀本 卷二(一九〇七) 露・エ・スパリウキン編・前田清嗣校 大正元 修正五版 和・中 | 木 二 九五九 | 一
修訂日本實業讀本 五卷 內海弘藏編 明治四五 和・中 | 木 二 三五三八 | 五
普通國文 二卷 畠山健・佐藤定介編 明治二三 和・中 | 木 二 二三五 | 五
再訂明治讀本 卷一〇 芳賀矢一編 明治四三 四版 和・中 | 木 二 三二五 | 一
夜學讀本 瀧江秀雄撰 明治三六 洋・中 | 木 二 四八一 | 一

新しい文法意識を持て 山崎泰雄撰 洋・中 (現代詩論集) | ヘ 六 四五九二 | 一
姉小路家手似葉傳 一三卷 洋・中 (國語學大系) | 木 二 四五九一 | 一
綱の綱手 (前田益齋(利保)編 (嘉永六) 和・小 | 木 二 五七八 | 一
脚結玄義 富士谷御杖撰 昭和一五 洋・中 (富士谷御杖集) | イ 四 一三五七 五 | 一
あゆひ抄 五卷 富士谷成章撰 (安永二) 和・中 | 木 二 一五二〇 | 六
同 | 木 二 四三三八 | 六
あゆひ抄 五卷 富士谷成章撰 安永七 和・中 | 木 二 九四八 | 一
脚結抄について 田中健三撰 洋・中 (立命館三十五論文集) (周年記念) | イ 四 一三二六 一一 | 一
脚結翼草稿 二卷 富士谷御杖撰 昭和一五 洋・中 (富士谷御杖集) | イ 四 一三五七 五 | 一
所謂「ヲ」に通ずる助詞「ガ」に就いて 吉澤義則撰 洋・中 (吉澤博士東洋語學乃研究) (金澤博士還暦記念) | 木 二 四四一八 | 一
所謂カ行延言に關する諸說の批判 望月世教撰 洋・中 (日本文學論攷) | ヘ 二 四四三八 | 一
王朝時代に於ける「かも」 吉澤義則撰 洋・中 (國語國文の研究) | 木 二 四二六一 | 一
大日本語之學 瀧江秀雄撰 明治一六 和・中 | 木 二 四七六 | 一
歌學と文法 松尾捨治郎撰 洋・中 (短歌講座) | ヘ 四 四四三四 九 | 一
かさし抄 三卷 富士谷成章撰 (明和四) 和・中 | 木 二 九四七 | 三
同 | 木 二 四二四八 | 三
かさし抄 三卷 富士谷成章撰 洋・中 (國語學大系) | 木 二 四五五九 一 | 一
かさし抄 三卷 富士谷成章撰 寫本 和・中 | 木 二 三〇一八 | 一
插頭抄增補 三卷 保田光則撰 洋・中 (國語學大系) | 木 二 四五五九 一 | 一

夜學讀本 瀧江秀雄撰 明治三六 洋・中 | 木 二 四八一 | 一
和文教科書 八卷 下田歌子編 明治二〇 和・中 | 木 二 二一八 | 八
和文讀本 三卷 稻垣千穎編 和・中 | 木 二 四九〇 | 三

○

國語教材の變遷 佐々木一二撰 洋・中 (國語科學講座) | 木 二 四四二六 一一 | 一
三段練磨式國語讀本の學習 尋常小學國語讀本卷五・七・九至一二 橋本爲次撰 昭和二・三 洋・中 | 木 二 四六五一 | 六
國定小學讀本につきて 芳賀矢一撰 洋・中 (思想善導教育夏・冬期講習錄) | ト 四 一六六三 一 | 一
國定讀本文章の研究 五十嵐力撰 明治四五 洋・中 | 木 二 四二六五 | 二
小學校高等科に於ける讀方指導 山內孝治撰 洋・中 (國語教育學講座) | 木 二 四四七一 六 | 一
小學校に於ける高學年讀方 佐藤末吉撰 洋・中 (國語教育學講座) | 木 二 四四七一 六 | 一
小學校に於ける中學年讀方 田中武烈撰 洋・中 (國語教育學講座) | 木 二 四四七一 六 | 一
小學校に於ける低學年讀方 野村基撰 洋・中 (國語教育學講座) | 木 二 四四七一 六 | 一
小學國語讀本綜合研究 卷一至九 岩波書店刊 洋・中 (岩波講座國語教育) | 木 二 四五〇一 六一九 | 四
小學讀本編纂史 井上赳撰 洋・中 (岩波講座國語教育) | 木 二 四五〇一 三 | 一
讀方教育論 西尾實撰 洋・中 (國語科學講座) | 木 二 四四二六 一一 | 一
模範讀方獨習 荒井忠吉撰 大正六 再版 洋・小 | 木 二 四二五四 | 一
解說讀方の自習と準備 尋常小學讀本卷九至一二 淡路龍三郎・橋本爲次撰 大正一五 洋・中 | 木 二 四二六六 | 四
三段練磨式讀方の自習と準備 尋常小學讀本卷九至一二 淡路龍三郎・橋本爲次撰 大正一五 洋・中 | 木 二 四二六六 | 四

文典 〔修辭學・作文ハ文學ノ總記(ヘ一)・散文(ヘ一〇)ヲ參照〕

新しい文法意識を持て 山崎泰雄撰 洋・中 (現代詩の新研究) | ヘ 六 四五九二 | 一

かたはみ艸 殿村常久撰 文政一三 和・小 帖 ホ二 五二四

活語雜話 初至三編 東條義門撰 明治二六 和・大 三 ホ二 六一七

活語自他捷覽 横山由清撰 (安政四) 和・小 一 ホ二 九二四

活語指南 二卷 東條義門撰・平井重民補 天保一五 和・大 二 ホ二 一三二

活語新論 藤原淑蔭撰 (文久三) 和・大 一 ホ二 四五三

活語圖說 藤原淑蔭撰 和・小 一 ホ二 四三四六

活語大成圖 附改正附圖 落合眞澄撰 和・大 一 ホ二 五五八

活語本因圖・詞辭全圖 逸見仲三郎編 明治二六 和・小 一 ホ二 七〇六

「がてら」と「がてり」に就いて 金澤庄三郎撰 洋・中 (國文學論究) 一 ヘ二 四三七五

「假名書論語」の言語について 湯澤幸吉郎撰 洋・中 (日本文學論攷) 一 ヘ二 四四三八

鴨と哉 柳田國男撰 洋・中 (言語研究) 一 ホ一 一八七三

鴨と哉 柳田國男撰 洋・小 (國語の將來) 一 ホ二 四五八二

「か」より「や」へ 澤瀉久孝撰 洋・中 (日本諸學振興委員會研究報告) 一 イ四 一三六八三

烏丸本異本悅目抄 洋・中 (國語學大系) 一 ホ二 四五五九二四

悅目抄 正保二 和・大 二 ヘ四 九四四九

同

悅目抄 和・大 (群書類從) 一 イ四 四八八三六七

悅目抄 洋・小 (經濟雜誌社本群書類從) 一 イ四 二三五一〇

悅目抄 洋・中 (歌學文庫) 一 ヘ四 四二九六二

悅目抄 洋・小 (日本歌學全書) 一冊 ヘ四 一四二一二

漢文訓讀と國文法 山田孝雄撰 洋・中 (國語科學講座) 一 ホ二 四四二六三

漢文の訓讀によりて傳へられたる語法 附錄浦鹽斯德 大學教授オヴィディエフ氏の問に答ふ 山田孝雄撰 昭和一〇 洋・中 一 ホ二 四六七七

同 一 ホ二 四六七八

義門と活用研究の展開 仮田正一撰 洋・中 (國文學研究) 一 ヘ二 四三六九七

近世國語文典 屋代熊太郎・杉田勝太郎撰 明治四四 訂正一〇版 和・中 一 ホ二 一三七八

草野氏日本文法 草野清民撰 明治三四 洋・中 一 ホ二 五五九

蜘のすかき 二卷 樽井道敏撰 安永一〇 和・中 二 ホ二 六二一

敬語法及び敬辭法の研究 時枝誠記撰 洋・中 (語文論叢) 一 ヘ一 四四五七

同 一 ヘ一 四四五七

敬語法の研究 山田孝雄撰 昭和一五 訂正七版 洋・中 一 ホ二 四七六六

形狀言五種活用圖 梅園春男編 (明治七) 和・大 一 ホ二 五六〇

形容詞考 上田萬年撰 洋・中 (國語のため) 一 ホ二 六〇八二

形容詞の近世史 柳田國男撰 洋・小 (國語の將來) 一 ホ二 四五八三

形容詞の論 折口信夫撰 洋・中 (金澤博士還曆記念 東洋語學乃研究) 一 ホ二 四四一八

現行普通文法改定案調査報告ノ一 國語調査委員會編 明治三九 洋・大 一 ホ二 四八八

言語活用抄 本居宣長撰・同清造再校 洋・中 (増補本居宣長全集) 一 イ四 一二〇八一〇

言語四種論 鈴木朖撰 洋・中 (國語學大系) 一 ホ二 四五五九一

源氏物語から見た平安朝時代の形容詞 宮田和一郎撰 洋・中 (京都帝國大學文學會 國文學論叢二十五周年記念論文集) 一 ヘ二 四三九三

源氏物語の價値 三矢重松撰 洋・中 (國文學の新研究) 一 ヘ二 四三五二

源氏物語の敬語小考 佐伯梅友撰 洋・中 (日本諸學振興委員會研究報告) 一 イ四 一三六八三

中等教科 現代文典 芳賀矢一撰 明治四五 訂正再版 和・中 二 ホ二 一三九一

語典活語指掌 岡本保孝等撰・文部省編輯寮刊 明治四 和・大 一 ホ二 四五五

語彙活語指掌 岡本保孝等撰 明治一六 刻 和・小 一 ホ二 六四

語彙活語指掌 岡本保孝等撰 明治一七 刻 和・大 一 ホ二 五

語彙活語指掌 岡本保孝等撰 明治一八 刻 和・小 一 ホ二 五二

語彙別記 二卷 加部巖夫編 明治四 和・大 一 ホ二 四五六

語彙別記 二卷 岡本保孝等撰 明治一六 刻 和・小 一 ホ二 二三三

語彙別記 二卷 岡本保孝等撰 明治一七 刻 和・大 一 ホ二 六

語彙別記 二卷 岡本保孝等撰 (明治一八) 刻 和・小 一 ホ二 五三

語彙別記 二卷 岡本保孝等撰 明治二〇 刻 和・小 一 ホ二 四六四

語彙別記 二卷 岡本保孝等撰 明治二二 刻 和・小 一 ホ二 四六七三

皇國小文典 渡邊約郎撰 明治七 和・小 一 ホ二 四六七

同

皇國文典 秦政治郎撰 明治二六 洋・中 一 ホ二 一五八

同

高等國文法講義 附國文法參考書他一項 木枝增一撰 昭和四 再版 洋・中 一 ヘ二 四三九一

高等日本文法 三矢重松撰 大正一五 增訂改版 洋・中 一 ホ二 四三五六

高等日本文典 三矢重松撰 昭和七 七版 洋・中 一 ホ二 四三九七

廣日本文典 大槻文彥撰 明治三二 七版 和・中 一 ホ二 四四五〇

廣日本文典 大槻文彥撰 明治三二 八版 和・中 一 ホ二 三〇七

廣日本文典 大槻文彥撰 大正三 四一版 和・中 一 ホ二 一三九〇

廣日本文典別記 大槻文彥撰 大正一五・昭和二 復興初・再版 和・中 二 ホ二 四二六二

語學究理九品九格總括圖式 鶴峰戊申撰 洋・中 (國語學大系) 一 ホ二 四五五九二

語學教授本 附錄共 加部巖夫編 明治二六 和・中 二 イ一三 九八八

語學訓蒙 二卷 加部巖夫撰 明治一二 和・中 一 ホ二 四五一

語學自在 二卷 纐纈直助編 和・小 (續史籍集覽) 二 リ四 三〇〇一 六一一七

語學指南 四卷 佐藤誠實撰 明治一二 和・中 一 ホ二 四三九

語學初步 二卷 芳賀直哉撰 明治一六 和・中 二 ホ二 五三八

語學新書 一名西洋假字必讀 二卷 鶴峰戊申撰・齋藤泰昌校 (大保四) 和・大 一 ホ二 四二一

同

語學新書 一名西洋假名必讀 二卷 鶴峰戊申撰・齋藤泰昌校 洋・中 (國語學大系) 一 ホ二 四五五九一

語格全圖 堀秀成編 寫本 和・中 (文範ト合綴) 一 ホ二 六二六

語學入門 川上廣樹撰 明治二一 洋・小 一 ホ二 四五九

語格要覽 東宮鐵眞呂撰 明治二三 一折 ホ二 一二八

語格要覽 東宮鐵眞呂撰 明治二三 折 一 ホ 二 二三五
國語學論考 國語史料としての抄物外二一篇 湯澤幸吉郎撰 昭和一五 洋・中 一 ホ 二 四五九
國語學論考 國語史料としての抄物外二一篇 湯澤幸吉郎撰 昭和一五 洋・中 一 ホ 二 一一〇三
國語教授式 吉川榮平編 明治一〇 和・中 一 ホ 二 四七五
同 一 ホ 二 四六六九
國語國文法要義 小林好日撰 昭和二 洋・中 一 ホ 二 四二六〇
國語單語論 今泉忠義撰 洋・中 (日本文學講座) 一 ヘ 二 四三六〇 一六
國語の形容動詞について 橋本進吉撰 洋・中 (藤岡博士言語學論文集) 一 ホ 一 一八九四
國語の新研究 作歌と助辭外八篇 三矢重松撰・安田喜代門・同靜雄編 昭和七 洋・中 一 ホ 二 四〇〇四
國語の人稱代名詞に就いての考察 黒田亮撰 洋・中 (心理學論文集) 一 ロ 七 三一二〇 五
國語法概說 安田喜代門撰 昭和三 洋・中 一 ホ 二 四二六八
國語法階梯 永井一孝撰・岡田正美補 明治三三 洋・中 一 ホ 二 三三六
國語法階梯 永井一孝撰・岡田正美補 明治三四 訂正版 洋・中 一 ホ 二 五四八
國語法講說 日下部重太郎撰 洋・中 (師範大國語教育) 一 ホ 二 四四四七 四
國語法に於けるSyntaxの發達について 日下部重太郎撰 洋・中 (松井博士古稀記念言語學論文集) 一 ヘ 二 四三四五
國語法要說 橋本進吉撰 洋・中 (國語科學講座) 一 ホ 二 四四二六 六
國語法論攷 附中等學校國語法教授改善案 松尾捨治郎撰 昭和一一 洋・中 一 ホ 二 四五九七
同 一 ホ 二 四五三一
國文 木村正辭講 洋・中 一 ホ 二 一五一
國文法解義 林治一撰 明治四三 洋・小 一 ホ 二 一二五三

語 三四

國文法講義 橫地清次郎講 (明治三九年度早稻田中學講義) 洋・中 一册 ホ 類 九三三
國文法講義 橫地清次郎講 (明治四一年度早稻田中學講義) 洋・中 一 ホ 二 一一〇三
國文法講義 橫地清次郎講 (明治四二年度早稻田中學講義) 洋・中 一 ホ 二 一二八九
國文法と音象徵 酒井秀夫撰 洋・中 (日本文學論叢) 一 ヘ 二 四三四〇
國文法要義 第一編 永井一孝撰 明治三六 洋・中 一 ホ 二 五四九
國文法要義 三編 永井一孝撰 明治三七 洋・中 一 ホ 二 二五七
同 一 ホ 二 九三二
國文法要義 三編 永井一孝撰 明治三八 再版 洋・中 一 ホ 二 一四五〇
古事記に於ける特殊なる訓法の研究 三矢重松撰 洋・中 (國文學の新研究) 一 ヘ 二 四三五二
五十音小說 橋守部撰 洋・中 (橋守部全集) 一 イ 四 一一六七 一二
言靈のしるべ 上・中 黒澤翁滿撰・田中千村・木村御綱校 洋・中 (國語學大系) 一 ホ 二 四五五九 二
詞遣合鏡 岩雲花香・柳澤信鄕編 天保二 折 二 ホ 二 六三八
詞之緒 四卷・目一卷 大正一四 田近陽一郎撰 和・大 四 ホ 二 四二一六
詞のかけはし 蹶鬼翁(嘉平)撰・志水主計校 昭和一一 (謄寫版) 洋・小 二 ホ 二 四五三三
詞通路 三卷 本居春庭撰 (文政一一) 和・大 三 ホ 二 三七〇
同 三 ホ 二 一二一三
詞通路 三卷 本居春庭撰・同豐穎校 洋・中 (本居宣長全集ノ內春庭全集) 一 イ 四 四〇四 七
詞通路 三卷 本居春庭撰・同清造校 洋・中 (補本居宣長全集ノ內春庭全集) 一 イ 四 一二〇八 一一
詞のもとすゑ 元木綱撰 寬政一〇 和・小 二 ホ 二 五四五九 二
詞の玉緒 七卷 本居宣長撰 洋・中 (本居宣長全集) 一 イ 四 一二〇八 一一
詞の玉緒 七卷 本居宣長撰 洋・中 (補本居宣長全集) 一 ホ 二 一一五一
詞の玉緒 七卷 本居宣長撰 洋・中 (補標註本居宣長全集) 一 ホ 二 一二五三
詞の經緯圖解 櫻田直助撰 和・中 (體言眞澄鏡解ト合綴) 一 ホ 二 五四四

詞の栞 附詞格對照再刷 黒川眞頼撰 折 二 ホ 二 四九六
詞の栞打聽 黒川眞頼述・鈴木弘恭編 明治二三 和・大 一 ホ 二 六三一
同 一 ホ 二 一二一一
詞の栞打聽 黒川眞頼撰 洋・中 (國書刊行會叢書本黒川眞頼全集) 一 イ 四 七三四 六
詞直路 二卷 山田直溫編・久米千壽校 (嘉永五) 和・小 二 ホ 二 五七九
辭玉襷 富樫廣蔭撰 洋・中 (國語學大系) 一 ホ 二 四五五九 一
詞瓊綸 七卷 本居宣長撰 (安永八) 和・大 七 ホ 二 五四三
詞瓊綸 七卷 本居宣長撰 文政一二 再刻 和・大 七 ホ 二 一四三
詞瓊綸 七卷 本居宣長撰 明治二六 再版 和・小 一 ホ 二 五二三
詞瓊綸 七卷 本居宣長撰 洋・中 (本居宣長全集) 一 イ 四 四〇四 六
詞瓊綸 七卷 本居宣長撰 洋・中 (補本居宣長全集) 一 イ 四 一二〇八 九
詞瓊綸 七卷 本居宣長撰 明治二七 再版 和・小 二 ホ 二 三六五
玉緒繰分 四卷・序目一卷 (天保一二) 東條義門撰 和・大 五 ホ 二 六四三
同 一 ホ 二 四七二八
玉緒變格考 酒井秀夫撰 洋・中 (安藤教授記念論文集) 一 ホ 二 一二一〇
玉の緒變格辨 黒川眞頼・三田葆光撰 明治一六 和・大 一 イ 四 七三四 六
玉の緒變格辨 黒川眞頼・三田葆光撰 洋・中 (國書刊行會叢書本黒川眞頼全集) 一 ホ 二 四六一三
弖爾乎波係辭辨 萩原廣道撰 (弘化三) 和・大 一 ホ 二 四五五九 一
詞玉橋 二卷 富樫廣蔭撰 洋・中 (國語學大系) 一 ホ 二 四五五九 一
詞捷徑 三卷 鈴木重胤撰・佐々木春夫校 和・大 三 ホ 二 二四一
同 三 ホ 二 四三〇三
詞乃橋立 初・二篇 明治一七・一八 弘鴻編 和・中 二 ホ 二 五六一
詞のもとすゑ 元木綱撰 寬政一〇 和・小 一 ホ 二 五七四
詞のやちくさ 一卷 珠阿彌撰 和・中 三 ホ 二 六三九
詞八衢 二卷 本居春庭撰 (文化三) 和・大 二 ホ 二 七
同 二 ホ 二 三六九
詞八衢 二卷 本居春庭撰 (文化三) 和・小 二 ホ 二 一四三
詞八衢 二卷 本居春庭撰・同豐穎校 洋・中 (本居宣長全集ノ內春庭全集) 一 イ 四 四〇四 七
詞八衢 二卷 本居春庭撰・同清造校 洋・中 (補本居宣長全集ノ內春庭全集) 一 イ 四 一二〇八 一一
詞八衢 二卷 本居春庭撰 明治二七 再版 和・小 二 ホ 二 一〇九八
詞の八衢講義 黒川眞頼撰 洋・中 (國書刊行會叢書本黒川眞頼全集) 一 イ 四 七三四 六
詞の八衢語釋 二卷 渡邊弘人撰 明治一七 和・小 二 ホ 二 四三八三
語の意味の體系的組織は可能であるか 時枝誠記撰 洋・中 (日本文學研究) 一 ヘ 二 四四〇八
語法指南 大槻文彥撰 (言海附錄別刷) 一 ホ 二 四七八
語法の任務に就いて 吉澤義則撰 洋・中 (國語說鈴) 一 ヘ 二 四三二一
語法の變遷史 小林好日撰 洋・中 (標準語と國語教育) 一 ホ 二 四六一三
コリヤード日本文典の成立 土井忠生撰 洋・中 (日本諸學振興委員會研究報告) 一 イ 四 一三六八 三
佐喜艸 橋守部撰 洋・中 (橋守部全集) 一 イ 四 一一六七 一二

視覺文法と聽覺文法	大西雅雄撰 洋・中 (安藤教授記念論文集)	一冊	ホ	二類	四七二八號
實用日本文典	明治書院編輯部編 明治四五 訂正再版 和・中	一	ホ	二	一三七九
兒童における時間的・論理的關係をあらはす語の用法について	小木曾恩撰 洋・中 (心理學論文集)	一	ロ	七 五	三一二〇
熟語構成法から觀察した語根論の斷簡	折口信夫撰 洋・中 (川合教授還曆記念論文集)	一	ロ	一	二九七九
春樹顯祕抄	洋・中 (國語學大系)	一	ホ	二	四五五九 一四
春樹顯祕增抄 二卷	有賀長伯撰 洋・中 (國語學大系)	一	ホ	二	四五五九 一四
小學日本文典 二卷	大槻修二撰 明治一四 和・中	一	ホ	二	四二四一
小學日本文典 三卷	田中義廉撰 明治七 和・大	二	ホ	二	四三五
小學日本文典入門	林甕臣撰 明治一四 和・中	一	ホ	二	五〇〇
小學文法書 三卷	中島操編 明治一二 和・大	一	ホ	二	四九二
上代國語法の分化性の一考察	中島悅次撰 洋・中 (國文學と日本精神)	一	ヘ	二	四四一八
上代文法史概說	岡澤鈕治撰 洋・中 (上代日本文學講座)	一	ヘ	三	四二八七 三
初學日本文典 二卷	物集高見撰・根本眞苗校 明治二一 和・中	一	ホ	二	四三七
同		一	ホ	二	四六六八
初學日本文典 二卷	物集高見撰・根本眞苗校 (明治二一) 和・中	二	ホ	二	一四〇
書紀に見えてゐる「之」字について	福田良輔撰 洋・中 (富北學會文學部文學科研究年報)	一	ヘ	一	四四一二 一
舒言三轉例	鹿持雅澄撰 和・大	一	ホ	二	四四三三

助言例	佐藤信夫述 明治二三 和・中	一冊	ホ	二類	四七二四號
助辭頌 附假字頌 慶應元	萩原守拙撰 再刻 和・小	一	ホ	二	一三七九
助詞と助動詞の研究 二篇	大塚悅三撰 昭和九 洋・中	一	ホ	二	四四五三
助詞の考察	遠藤嘉基撰 洋・中 (京都帝國大學文學會國文學會)	一	ヘ	二	四三九三
助詞の未決定性に就て	金原達吉撰 洋・中 (國文學研究)	一	ヘ	二	四三六九 一〇 五
助辭本義一覽 二卷	橘守部述・同冬照撰 (天保八) 和・中	二	ホ	二	四八〇
同		一	ホ	二	七三四
助字本義一覽 二卷	橘守部述・同冬照撰 洋・中 (橘守部全集)	一	イ	四	二六七 一二
助動詞「き」の連體形	今泉忠義撰 洋・中 (金澤博士還曆記念東洋語學乃研究)	一	ホ	二	四四二八
新國文法	金田一京助撰 昭和一六 洋・中	一	ホ	二	四七二一
新式日本文法 上卷	岡田正美撰・永井一孝補 明治三三 洋・中	一	ホ	二	三三三
同		一	ホ	二	一一二三
新撰國語法	鴻巢盛廣撰 大正九 再版 洋・小	一	ホ	二	一六五九
新撰國文典	和田萬吉編 明治三二 三版 洋・中	一	ホ	二	四三八一
新撰國文典	和田萬吉編 明治三三 五版 洋・中	一	ホ	二	三二五
同		一	ホ	二	四三五五
新撰大和詞一名大和詞口義 二卷	東華坊撰 (享保五) 和・大	二	ホ	二	九六
專順法眼之詞祕之事	洋・中 (國語學大系)	一	ホ	二	四五五九 一四
總主語說覺書	吉澤義則撰 洋・中 (國文學と日本精神)	一	ヘ	二	四四一八

續日本文典 二卷	佐々政一撰 明治三六 訂正再版 和・中	二	ホ	二	四〇二
體言眞澄鏡解 附詞の經緯圖解	穗田直助撰 寫本 和・中	一	ホ	二	五四四
たむけの說	若林進居撰 洋・中 (少年必讀日本文庫)	一	イ	四	一二五 一
同		一	イ	四	一二五 一
中學校に於ける國文法	中西清撰 洋・中 (師範學校講座)	一	ホ	二	四四四七 五
中等國文典 三卷	三土忠造撰 明治三一至三三 三至訂正一一版 和・中	三	ホ	二	一〇二五
中等國文典 三卷	三土忠造撰 明治三二 七版 和・中	三	ホ	二	一九九
中等國文典 三卷	三土忠造撰 明治三一・三二・三三 訂正一〇版 和・中	三	ホ	二	六三三
訂中等國文典 三卷	三土忠造撰 明治三五 訂正二二版 和・中	三	ホ	二	六〇〇
蘿鷺 二卷	寫本 堀秀成撰	二	ホ	二	一二八〇
「都良久」「去良久」などについての考	安藤正次撰 洋・中 (日本文學論纂)	一	ヘ	二	四三四〇 一
「都良久」「去良久」などについての考	安藤正次撰 洋・中 (古典と古語)	一	ヘ	二	四四七〇
旦爾乎波	物集高見撰 洋・中 (物集高見全集)	一	イ	四	一三三六 三
天爾遠波鏡	本居宣長撰・同清造校 洋・中 (本居宣長全集)	一	イ	四	一三〇八 九
氏邇乎波義慣鈔	雀部信頬撰 洋・中 (國語學大系)	一	ホ	二	四五五九 一四
てにをは童訓	橘守部撰 洋・中 (橘守部全集)	一	イ	四	一二六七 一二
てにをはの研究	廣池千九郎撰 明治三九 洋・中	一	ホ	二	六七四
同		一	ホ	二	六七七
同		一	ホ	二	一〇四一

テニヲハの心理學的研究	松本金壽撰 洋・中 (師範學校講座國語教育)	一	ホ	二	四四四七 八
てにをは廢止論	廣池千九郎講 (早稻田大學文學科明治三七年度講義錄) 洋・中	一	ホ	二	一二三七
てにをは廢止論	廣池千九郎講 (早稻田大學文學科講義錄) 洋・中	一	ホ	二	五一八
天爾遠波飛毛鏡	本居宣長撰 明治一七	一	ホ	二	三六六
天爾遠波飛母鏡	本居宣長撰	一	ホ	二	八八一
天尓遠波飛毛鏡	本居宣長撰	一	ホ	二	五一五
天爾遠波飛母鏡	本居宣長撰・同豐顏校 洋・中 (本居宣長全集)	一	イ	四	四〇四 三
紐鏡うつし辭	市岡孟彥撰 (享和四) 和・小	一	ホ	二	四四五四
紐鏡中の心 附飛毛鏡	太田豐年撰 (嘉永元) 和・小	二	ホ	二	六四一
手爾葉大概抄並手爾葉大概抄之抄	洋・中 (國語學大系)	一	ホ	二	四五五九 一四
動作態と國語の文法的範疇	小林好日撰 洋・中 (藤岡博士言語學論文集功勳記念)	一	ホ	二	一八九四
動詞から出た名詞	笹谷良造撰 洋・中 (東洋學叢編)	一	リ	七	四六九〇
友鏡底の影について	保科孝一撰 洋・中 (松井博士古稀記念論文集)	一	ヘ	二	四三四五
ともゝと 續・續續共	森林太郎撰 洋・中 (鷗外全集)	一	イ	四	一〇三五 二
奈良朝文法概說	山田孝雄撰 洋・中 (短歌講座)	一	ヘ	四	四四三四 九
奈良朝文法史	山田孝雄撰 大正二 洋・中	一	ホ	二	四七五六
「去通都」考	安藤正次撰 洋・中 (古典と古語)	一	ヘ	二	四四七〇
日本活語法	谷垣勝藏撰 大正九 洋・小	一	ホ	二	一五六八

日本語典 前波仲尾撰 明治三四 訂正三版 和・中 ホ 二 六八四
日本語の構造 堀重彰撰 昭和一六 洋・中 ホ 二 四三五九 一
日本語法 大宮兵馬撰 明治二九 洋・中 ホ 二 四四一
日本小文典 大宮宗司・星野三郎撰 明治二五 洋・中（女學全書本） ホ 二 四四七
同
日本小文典 岡崎遠光撰 明治二八 洋・中 ホ 二 四三八六
日本小文典 岡崎遠光撰 明治二八 再版 洋・中 ホ 二 四三五
日本小文典 黒川眞頼撰 洋・中（國書刊行會叢書本黒川眞頼全集） イ 四 七三四 六
日本小文典 英・チャンブレン撰 明治二〇 洋・中 ホ 二 二一七
同
日本小文典 二卷 中根淑撰 明治九 和・中 ホ 二 四三六六
同
日本新文典 富山房編 明治二四 洋・小（普通學全書本） ホ 二 四三四二
日本大文典 第一編 落合直文撰 明治二七 洋・大 ホ 二 一六六
日本大文典 四編 落合直文撰 明治三四 四版 洋・中 ホ 二 三五五
日本の敬語について 春日政治撰（日本語學振興委員會研究報告） 洋・中 イ 四 一三六八 三
日本文語 物集高見撰（物集高見全集） 洋・中 イ 四 一二三六 三
日本文章法初步 黒川眞頼撰（國書刊行會叢書本黒川眞頼全集） 洋・中 イ 四 七三四 六
日本小文典 二卷 中根淑撰 明治九 和・中 ホ 二 四三七
初等日本文典 前編二卷 岡澤鉦次郎撰 明治三三 和・中 ホ 二 三三七

解說批評日本文典 岡田正美編 洋・中（帝國百科全書） 二 ホ 四 一五一 七六一七七
日本文典 落合直文撰 和・中（國文） 一 ヘ 二 四三五九 一
日本文典 落合直文・小中村義象撰 明治二三 洋・小 一 ホ 二 四二四〇
日本文典 三卷 佐々政一撰 明治三六 訂正再版 和・中 三 ホ 二 四〇一
新定教科日本文典 新村出編 大正元 再版 洋・中 一 ホ 二 一四二一
開發新式日本文典 林甕臣講 明治二四至二六 洋・中（國文語學院講義錄本） 一五 ホ 二 二三一
小學科用日本文典 二卷 春山弟彦撰 明治一〇 和・中 二 ホ 二 四大七一
同
日本文典 藤井鑛編 明治三三 洋・中 二 ホ 二 四大七二
日本文典 明治三三 洋・中 一 ホ 二 四二四七
日本文典 洋・中 一 ホ 二 五九二
新日本文典原理 一名理論的日本文典 岡澤鉦次郎撰 明治四〇 洋・中 一 ホ 二 六八二
日本文典講義 和田萬吉講（早稻田大學文學科明治三六年度講義錄） 洋・中 一 ホ 二 六一三
日本文典講義 和田萬吉講（早稻田大學文學科講義錄） 洋・中 一 ホ 二 二八八
日本文典講義 和田萬吉撰 明治三八 洋・中 一 ホ 二 四四二
同
日本文典講義 和田萬吉撰 明治四一 四版 洋・中 一 ホ 二 一〇三九
同 一 ホ 二 一〇四〇
同 一 ホ 二 四三二八
日本文典講義 附文法上許容ニ關スル事項 德田潛撰 昭和六 洋・中 一 ホ 二 四四一三

日本文典初步 黒川眞頼撰 洋・中（國書刊行會叢書本黒川眞頼全集） 一 イ 四 七三四 六
日本文典初步 馬場辰猪撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 二
日本文典大意 黒川眞頼撰 洋・中（國書刊行會叢書本黒川眞頼全集） 一 イ 四 七三四 六
日本文典大綱 岡倉由三郎撰 明治三〇 洋・中 一 ホ 二 一九八
日本文典大綱 鈴木忠孝撰 明治三五 再版 洋・小（普通學要覽本） 一 ホ 二 七〇二
日本文典大綱 鈴木忠孝撰 明治三六 四版 洋・小（普通學要覽本） 一 ホ 二 二五〇
日本文典の兩種 新村出撰 洋・中（國語問題正義） 一 ホ 二 四七〇四
日本文典問答 飯田永夫撰 明治二四 洋・小 一 ホ 二 四五八
教科參考日本文典要義 岡澤鉦次郎撰 明治四一 洋・中 一 ホ 二 四六六七
日本文法 三卷 阿保友一郎撰 明治一六 和・中 一 ホ 二 四四六
日本文法 金澤庄三郎講（早稻田大學文學科明治四〇年度講義錄） 洋・中 一 ホ 二 二一五五
同
日本文法 金澤庄三郎講（早稻田大學文學科明治四三年度講義錄） 洋・中 一 ホ 二 一三六六
日本文法 金澤庄三郎講（早稻田大學文學科講義錄） 洋・中 一 ホ 二 四三六〇 一六
日本文法概說 吉岡郷甫撰 洋・中（日本文學講座） 一 ヘ 二 四三五〇 二
日本文法學 福井久藏撰 洋・中（國語教育） 一 ホ 二 四五四
日本文法學概論 山田孝雄撰 昭和一一 洋・中 一 ホ 二 四四八六
日本文法機構論 堀重彰撰 昭和一六 洋・中 一 ホ 二 四六八二

日本文法教科書 手島春治撰 明治二三 洋・中 一 ホ 二 四三六
日本文法講義 山田孝雄撰 大正一一 洋・中 一 ホ 二 一六五二
日本文法講義 山田孝雄撰 昭和三 訂正六版 洋・中 一 ホ 二 四四〇一
日本文法講義 金澤庄三郎講（早稻田大學文學科明治三〇年度講義錄） 洋・中 一 ホ 二 六〇九
同
日本文法史 小林好日撰 昭和一一 洋・中 一 ホ 二 四五〇〇
日本文法史 小林好日撰 洋・中（岩波講座國語教育） 一 ホ 二 四五〇一 二
日本文法史 小林好日撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ 二 四四三六 六
教育並學術上より見たる日本文法史 附獨逸文法教授史概要 福井久藏撰 明治四〇 洋・中 一 ホ 二 一五九七
日本文法新論 金澤庄三郎撰 大正元 洋・小 一 ホ 二 一二五一
同
日本文法摘要 二卷 林甕臣撰 明治一五 和・中 一 ホ 二 四四〇
日本文法問答 物集高見撰 明治一一 和・小 一 ホ 二 四三八
同
日本文法要論 山田孝雄撰 洋・中（岩波講座日本文學） 一 ヘ 二 四三一八 二
日本文法論 山田孝雄撰 明治四一 洋・中 一 ホ 二 一三一五
日本文法論 山田孝雄撰 昭和四五版 洋・中 一 ホ 二 四四〇三
俳諧 富士谷御杖撰 洋・中（富士谷御杖撰集） 一 イ 四 一三五七 五
俳諧天爾波抄 六卷 富士谷御杖述・浦井有國記 文化四 和・中 六 ヘ 五 四四二二

俳諧天爾波抄 六巻 洋・中	富士谷御杖述・浦井有國記（富士谷御杖集）	一	イ	四	一三五七 五
鍼嚢 一名歌詞三格例（天保九） 和・大	二巻 鹿持雅澄撰	二	ヘ	四	三九一
ヒノモトノコトバノハグミ 根本的革命之日本語法 昭和一二 洋・小	宍戸眞城撰	一	ホ	二	四五四三
標準日本文法 大正一三 洋・中	松下大三郎撰・紀元社刊	一	ホ	二	四五九五
標準日本文法 大正一四 洋・中	松下大三郎撰・紀元社刊 三版	一	ホ	二	一七七八
標準日本文法 昭和五 洋・中	松下大三郎撰・中文館刊	一	ホ	二	四四〇二
品詞建設に關する二つの答 洋・中	吉澤義則撰（吉澤教授記念論文集）	一	ホ	二	四七二八
副詞表情の發生 洋・中	折口信夫撰（國文學論究）	一	ヘ	二	四三七五
二つの「ばや」 洋・中	小林好日撰（吉澤教授還曆記念論文集）	一	ホ	二	四七二八
普通人名詞に就きて 洋・中	上田萬年撰（國語のため）	一	ホ	二	六〇八 一
ふり分かみ 寛政八 和・大	小澤蘆菴撰・小澤蘆菴撰	一	ヘ	四	一五二一
ふりわけ髪 洋・小	小澤蘆菴撰（續日本歌學全書）	一	ヘ	四	一五二一
文語法精說 洋・中	木枝增一撰（國語科學講座）	一	ホ	二	四四二六 六
日本文章法大要 明治三三 洋・中	岡田正美撰	一	ホ	二	三三一
文法及口語法 昭和三 洋・中	木枝增一撰（國文學講座）	一	ヘ	二	四二七二 三
文法概說 洋・中	松尾捨治郎撰（國語文化講座）	一	ホ	二	四七五一 二
實業教育文法教科書 明治四五 和・中	古谷知新撰	一	ホ	二	一三八〇
改正文法口授 一名和文獨案内 明治二〇 和・中	鈴木弘恭撰	一	ホ	二	一二七
文法口授 一名和文獨案内 明治二一 再版 和・中	鈴木弘恭撰	一	ホ	二	四四九
新文法正誤法 明治三九 洋・小	明治書院編輯部編 訂補再版	一册	ホ	二	四九七
文法的決定への疑問 洋・中	木枝增一撰（京都帝國大學國文學會 三五周年記念論文集）	一	ヘ	二	四三九三
文法に於ける意味 洋・中	木枝增一撰（日本語學振興委員會研究報告）	一	イ	四	一三六八 三
文法の立體的研究 洋・中	木枝增一撰（松下博士論文集）	一	ヘ	二	四三四五
文法論 昭和三 洋・中	芳賀矢一撰（芳賀矢一遺著）	一	ヘ	一	四三〇〇 一
文法論と國語學 同靜雄編 昭和七 洋・中	口語の研究外七篇 三矢重松撰・安田喜代門・	一	ホ	二	四三九二
同		一	ホ	二	四四一五
平安朝時代の敬讓語とその語法 洋・中	宮田和一郎撰（日本語學振興委員會研究報告）	一	イ	四	一三六八 三
平安朝文法概說 洋・中	安田喜代門撰（短歌講座）	一	ヘ	四	四三四〇 九
平安朝文法史 大正二 洋・中	山田孝雄撰	一	ホ	二	四七七五
「まし」の語法に就いて 洋・中	田邊正男撰（國文學論究）	三	ホ	二	三三八六
末代無智御文和語說 洋・中	東條義門撰（眞宗全書）	一	ヘ	二	四三七五
萬葉語法研究資料 洋・中	安藤正次撰（萬葉集講座）	一	ハ	五	一六三八 五六
萬葉集に用ひられたる助詞ユリ・ユ・ヨリ・ヨについて 洋・中	吉澤義則撰（國語國文の研究）	一	ヘ	四	四四七三 三
萬葉集の語法二つ 洋・中	宮崎弘撰（京都帝國大學國文學會 三五周年記念論文集）	一	ホ	二	四二六一
萬葉集の「之」字の訓について 洋・中	調田良輔撰（京都帝國大學國文學會 三十五周年記念論文集）	一	ヘ	二	四三九三

萬葉集の助辭 洋・中	橋本德壽撰（短歌講座）	一	ヘ	四	四四三四 九
萬葉集の尊卑表現の研究 洋・中	石坂正藏撰（萬葉集講座）	一	ヘ	四	四四七三 三
萬葉集の「難」「不勝」「不得」の訓について 洋・中	佐伯梅友撰（京都帝國大學國文學會 二十五周年記念論文集）	一	ヘ	二	四三九三
萬葉集品詞概說 洋・中	森本治吉・佐伯梅友撰（萬葉集講座）	一	ヘ	四	四四七三 三
萬葉集「不知」の訓について 洋・中	佐伯梅友撰（松井博士古稀記念論文集）	一	ヘ	二	四三四五
萬葉人の用字意識から見た「者」字の一研究 洋・中	安藤正次撰（古典と古語）	一	ヘ	二	四四
增補訂正御國詞活用抄 明治一九 和・小	本居宣長撰・小田清雄編	一	ホ	二	四四七〇
水火傳 水穗傳（天保五） 和・中	七巻・山口杉庵（志道）撰	七	ホ	二	五九五
「報ふ」（ハ四）の用例 洋・中	湯澤幸吉郎撰（吉澤教授還曆記念論文集）	一	ホ	二	四五六五
結詞例 和・大	鹿持雅澄撰	一	ホ	二	四七二八
もてそ問答 洋・中	黒川眞頼撰（國書刊行會叢書本黒川眞頼全集）	一	イ	四	七三四 六
也哉抄 洋・中	上田秋成撰（上田秋成全集）	一	イ	四	八八二 一一
也哉抄 洋・中	上田秋成撰（日本俳書大系）	一	ヘ	五	四三五五 一〇
也哉抄 寫本	上田秋成撰 和・小	一	ヘ	五	二九八七
八衢大略 安政四 和・中	足代弘訓撰	一	ホ	二	六三七
山口栞 三巻 天保七 和・大	東條義門撰	三	ホ	二	六二七
「ゆる」の古用について 洋・中	橋純一撰（上代の國語國文學）	一	ヘ	二	四三四三
用言變格例 和・大	鹿持雅澄撰	一	ホ	二	三九四
「用」の活用 洋・中	吉澤義則撰（國語國文の研究）	一	ホ	二	四二六一
四段活用動詞の構成について 洋・中	安藤正次撰（臺北帝國大學文政學部文學科研究年報）	一	ヘ	一	四四一二 四
論理的日本文典大意 明治三八 洋・中	宮脇都撰	一	ホ	二	四二九
和歌童蒙抄 寶曆四 和・中	遁危子撰	一	ヘ	四	六三〇
應用東文法教科書 光緒三三 再版 洋・中	清・欒星祖織・李文蔚撰	一	ホ	二	一二九
東語初階 明治三五 唐・中	泰東同文局撰	一	ホ	二	四〇四
應東語法教科書 用明治三九	附俗用語彙 寶閣善敎等撰 訂正再版 洋・中	一	ホ	二	一三〇
文法東文教科書 適用 明治三九 洋・中	小山左文二撰	一	ホ	二	五四七
日語活法 明治四〇 洋・中	大宮貫三撰	一	ホ	二	七四一
同		一	ホ	二	七四二
日語指南 卷一 明治三七 和・中	金井保三撰	一	ホ	二	二四〇
日語大文典 昭和一一 洋・中	曾野一路撰	一	ホ	二	四四九九
日語用法彙編 光緒三二 三版 洋・中	清・畢祖織・李文蔚撰	一	ホ	二	一二七
日本語典 明治三八 洋・中	井上友吉撰	一	ホ	二	三九三
清人適用日本語典		一	ホ	二	四二一
新日本文法教科書 明治三八 洋・中	附練習例題解答 木野崎吉辰・清・楊政撰	二	ホ	二	四三一
韻文と句讀 洋・中	森林太郎撰（鷗外全集）	一	イ	四	一〇三五 二

増補訂正國文句讀法	權田直助撰 明治一八 和・小	冊 一	類 ホ 二	號 四二七		
親鸞上人の寫語法	吉澤義則撰 洋・中（國語國文の研究）	一	ホ 二	四二六一		
口語法						
足利時代の言語に就いて	新村出撰 洋・中（東方言語史叢考）	一	ホ 一	一八五二		
江戸言葉の研究	浮世風呂・浮世床の語法 山田正紀撰 昭和一一 洋・中	一	ホ 二	四四九一		
音聲口語法	三宅武郎撰 洋・中（國語科學講座）	一	ホ 二	四四二六	六	
近世に於ける敬譲の一表現形式	（湯澤幸吉郎撰 洋・中 日本語學振興委員會研究報告）	一	イ 四	一三六八	三	
「近世江戸語の語法」抄	荒川正一撰 洋・中（日本大學文學科研究年報）	一	ヘ 一	四四一五	三	
句雙紙抄について	吉田澄夫撰 洋・中（金澤博士古稀記念論文集）	一	ホ 二	四七二八		
敬譲語について	湯澤幸吉郎撰 洋・中（國語文化講座）	一	ホ 二	四七五一	二	
敬譲表現	湯澤幸吉郎撰 洋・中（標準語と國語教育）	一	ホ 二	四六二三		
現代語の表現	佐久間鼎撰 洋・中（標準語と國語教育）	一	ホ 二	四六一三		
現代語法概論	丸山林平撰 昭和一〇 洋・小	一	ホ 二	四五七四		
現代日本語の表現と語法	佐久間鼎撰 昭和一一 洋・中	一	ホ 二	四四八九		
現代日本語法の研究	佐久間鼎撰 昭和一五 洋・中	一	ホ 二	四六〇〇		
現代日本語法の研究	佐久間鼎撰 昭和一五 三版 洋・中	一	ホ 二	四六八一		
口語と文語	安藤正次撰 洋・中（標準語と國語教育）	一	ホ 二	四六二三		
口語の研究	三矢重松撰 洋・中（文法論と國語學）	一	ホ 二	四三九二		
同						
日本口語法	保科孝一撰 洋・中（國書刊行會叢書ノ内三十輯）	一	ホ 二	一一七〇		
日本口語法	吉岡郷甫撰 明治三九 四版 洋・中	一	ホ 二	六七五		
同		一	ホ 二	七三一		
日本口語法講義	山田孝雄撰 大正一一 洋・中	一	ホ 二	一六七九		
日本口語法講義	山田孝雄撰 昭和六 八版 洋・中	一	ホ 二	四四〇〇		
日本俗語文典	松下大三郎撰 明治三四 訂正三版 洋・中	一	ホ 二	四一九		
日本標準口語法	前田直平撰 昭和七 洋・中	一	ホ 二	四四〇五		
標準日本口語法	松下大三郎撰 昭和五 洋・中	一	ホ 二	四三〇八		
同		一	ホ 二	四四一六		
文法及口語法	木枝増一撰 昭和三 洋・中（國文學講座）	一	ヘ 二	四二七三	三	
室町時代の言語研究	抄物の語法 湯澤幸吉郎撰 昭和四 洋・中	一	ホ 二	四三九四		
文字 附速記						
色葉歌作者考	黒川眞頼撰 洋・中（國書刊行會叢書本黒川眞頼全集）	一	イ 四	七三四	六	
同		一	イ 四	七三五	六	
以呂波音訓傳	五巻 慧眼撰 昭和九 和・大	五	ホ 二	九五〇		
以呂波考	伴直方撰 洋・中（國語學大系）	一	ホ 二	四五九七	七	
以呂波字考錄	二巻 洋・中 全長撰（國語學大系）	一	ホ 二	四五九九	七	
以呂波釋	覺鑁撰・勳潮校 和・大（密嚴諸祕釋）	一	ホ 二	一〇六三	八	
以呂波釋可有事等	覺鑁撰・富田斅純校 洋・中（興教大師全集）	一	ホ 二	二七五二	二	

日本口語法	保科孝一講（早稲田大學文學科明治四二年度講義錄） 洋・中	一	ホ 二	一一七〇		
日本口語法	吉岡郷甫撰 明治三九 四版 洋・中	一	ホ 二	六七五		
同		一	ホ 二	七三一		
日本口語法講義	山田孝雄撰 大正一一 洋・中	一	ホ 二	一六七九		
日本口語法講義	山田孝雄撰 昭和六 八版 洋・中	一	ホ 二	四四〇〇		
日本俗語文典	松下大三郎撰 明治三四 訂正三版 洋・中	一	ホ 二	四一九		
日本標準口語法	前田直平撰 昭和七 洋・中	一	ホ 二	四四〇五		
標準日本口語法	松下大三郎撰 昭和五 洋・中	一	ホ 二	四三〇八		
同		一	ホ 二	四四一六		
文法及口語法	木枝増一撰 昭和三 洋・中（國文學講座）	一	ヘ 二	四二七三	三	
室町時代の言語研究	抄物の語法 湯澤幸吉郎撰 昭和四 洋・中	一	ホ 二	四三九四		
文字 附速記						
色葉歌作者考	黒川眞頼撰 洋・中（國書刊行會叢書本黒川眞頼全集）	一	イ 四	七三四	六	
同		一	イ 四	七三五	六	
以呂波音訓傳	五巻 慧眼撰 昭和九 和・大	五	ホ 二	九五〇		
以呂波考	伴直方撰 洋・中（國語學大系）	一	ホ 二	四五九七	七	
以呂波字考錄	二巻 洋・中 全長撰（國語學大系）	一	ホ 二	四五九九	七	
以呂波釋	覺鑁撰・勳潮校 和・大（密嚴諸祕釋）	一	ホ 二	一〇六三	八	
以呂波略釋	覺鑁撰・富田斅純校 洋・中（興教大師全集）	一	ホ 二	二七五二	二	
伊呂波探玄抄	洋・中（國書刊行會叢書ノ内三十輯）	一	イ 四	八八二	一	
以呂波天理鈔	二巻 良鑁撰 延寶六 和・大	二	ホ 二	四三一一		
以呂波天理鈔	二巻 良鑁撰 和・大	一	ホ 二	四三四六		
伊呂波天理鈔	二巻 良鑁撰（明治後刷） 和・中	二	ホ 二	六五五		
伊呂波童蒙鈔	三巻 盛典撰 延享元 和・大	三	ホ 二	六五六		
以呂波之傳	佐々木臥龍撰 洋・中（國書刊行會叢書ノ内三十輯）	一	イ 四	八八二	一	
いろは萬年艸	三巻（寶暦一一） 大雲撰 和・中	一	ホ 二	六五七		
以呂波問辨	妙龍撰 寶暦一四 和・大	一	ホ 二	四三五三		
同		一	ホ 二	四三四五		
以呂波問辨	妙龍撰 洋・中（國語學大系）	一	ホ 二	四五五九	七	
以呂波略釋	覺鑁撰・勳潮校 和・大（密嚴諸祕釋）	一	ホ 五	一〇六三	八	
以呂波略釋	覺鑁撰・富田斅純校 洋・中（興教大師全集）	一	ホ 五	二七五二	二	
越後伊夜比古社藏神代字	和・大（溫故雜帖）	一	チ 一	＊二七五	二五	
片假名の研究	春日政治撰 洋・中（國語科學講座）	一	ホ 二	四四二六	八	
片假名の研究	春日政治撰 洋・中（日本文學講座）	一	ヘ 二	四三六〇	一六	
片假名ワとンとの字源說附言	吉澤義則撰 洋・中（日本文學論纂）	一	ヘ 二	四三四〇		
方字五十音略圖	鹽川比呂止美編 洋・小	一	ホ 二	五二五		
桂本萬葉集の文字の考察	澤瀉久孝撰 洋・中（安藤教授記念論文集）	一	ホ 二	四七二八		
假名源流考	附表皇漢歷代字音一覽 別冊同考證本寫眞版 明治四四 洋・大（假名通考本編第一篇） 國語調査委員會編	二	ホ 二	一一九八		

口語法	國語調査委員會編 大正六 再版 和・中	冊 一	類 ホ 二	號 一六〇三		
口語法	別記添 國語調査委員會編 昭和一〇 三・一一版 和・中	二	ホ 二	四四七七		
口語法精說	湯澤幸吉郎撰 洋・中（國語科學講座）	一	ホ 二	四四二六	六	
國語法調査報告書	附國語法分布圖（三七枚） 國語調査委員會編 明治三九 洋・大	冊箱 二・一	ホ 二	七三九		
口語法取調に關する事項	國語調査委員會編 明治四一 洋・中	一	ホ 二	九五六		
國語學論考	國語史料としての抄物外二一篇 湯澤幸吉郎撰 昭和一五 洋・中	一	ホ 二	四五九六		
國語國文法要義	小林好日撰 昭和二 洋・中	一	ホ 二	四二六〇		
小學國語讀本の語法	今泉忠義撰 洋・中（標準語と國語教育）	一	ホ 二	四六一三		
莊内語	三矢重松撰 洋・中（國語の新研究）	一	ホ 二	四四〇四		
莊内語及語釋	附莊内方音攷（氏家則太夫・嶺荻・堀季維） 三矢重松撰 昭和五 洋・中（言語誌叢刊本）	一	ホ 二	四三三三		
「ソウロウ」と「サムロウ」	吉澤義則撰 洋・中（國語國文の研究）	一	ホ 二	四二六一		
「デアル」と「デアリマス」と	岩橋小彌太撰 洋・中（金澤博士東洋語學乃研究）	一	ホ 二	四四一八		
德川時代言語の研究	上方篇 昭和一一 湯澤幸吉郎撰 洋・中（言語誌叢刊本）	一	ホ 二	四四九八		
德川前期の珍しい言ひ方	（湯澤幸吉郎撰 洋・中 藤岡博士古言語學論文集）	一	ホ 一	一八九四		
奈良縣中和地方話語法一端	小瀧久雄撰 洋・中（古事記の新研究）	一	ヘ 四	四四五六		
日本口語文典	鈴木暢幸撰 洋・中（帝國百科全書）	一	イ 四	一五一 一三二		
日本口語法	保科孝一講（早稲田大學文學科明治四一年度講義錄） 洋・中	一	ホ 二	一〇七一		
同		一	ホ 二	一〇七二		
日本口語法	保科孝一講（早稲田大學文學科明治四二年度講義錄） 洋・中	一	ホ 二	一一六九		

假字考 二卷 岡田眞澄撰 洋・中（國語學大系） 冊 ホ 類 二 號 四五九 八
假名考 帆足萬里撰 洋・中（帆足萬里先生全集） 一 イ 四 一二五 一
假名考 帆足萬里撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五九 七
假字新說 黑川眞頼撰 洋・中（國書刊行會叢書本黑川眞頼全集） 一 イ 四 七三四 六
同 一 イ 四 七三五 六
假名遣與山路 石塚龍麿撰 昭和四 洋・小（日本古典全集） 二 イ 四 一三二〇 一四一
假名遣及假名字體沿革史料 大矢透編 明治四二 和・大 帖 ホ 二 一〇〇一 二
假名遣及假名字體沿革史料 第二編 大矢透編 大正一〇至一二 和・大 三 ホ 二 *一六二七 二
假名の沿革 春日政治撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ 二 四七五一 二
假名の研究 大矢透撰 大正一五 洋・中（啓明會紀要本） 一 ホ 二 四六一〇 二
假名の研究 大矢透撰 大正一五 洋・中（啓明會紀要） 一 イ 四 一二七七 三
假名の發生に關する考察 春日政治撰 洋・中（松井簡治博士古稀記念國語國文學論文集） 一 ヘ 二 四三四五 二
假字の本末 二卷・附神代字辨一卷 伴信友撰（嘉永三）—後刷 和・大 一 ホ 二 四三三一 二
假字の本末 二卷・附神代字辨一卷 伴信友撰 嘉永三 和・大 四 ホ 二 一三三九 二
假字の本末 二卷・附神代字辨一卷 伴信友撰（嘉永三）—後刷 和・大 四 ホ 二 六四六 三
假名の本末 二卷・附神代字辨一卷 伴信友撰 洋・中（伴信友全集） 一 イ 四 一三五 四
假名の本末 二卷 伴信友撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 七
假名發達史序說 春日政治撰 洋・中（岩波講座日本文學） 一 ヘ 二 四三一八 五
假名類纂 關根雋寶編 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 七
假名の發生に關する考察 春日政治撰 洋・中（松井簡治博士古稀記念國語國文學論文集） 一 ヘ 二 四三四五 二
假字の本末 二卷・附神代字辨一卷 伴信友撰 洋・中（伴信友全集） 四 ホ 二 四三三一 二
假名の本末 二卷 伴信友撰 洋・中（國語學大系） 四 ホ 二 四五五九 七
假字の本末 二卷・附神代字辨一卷 伴信友撰（嘉永三）—後刷 和・大 四 ホ 二 六四六 三
假名の本末 二卷・附神代字辨一卷 伴信友撰 洋・中（伴信友全集） 一 イ 四 一三五 四
假名の本末 二卷 伴信友撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 七
假名の研究 大矢透撰 大正一五 洋・中（啓明會紀要本） 一 ホ 二 四六一〇 二
假名の研究 大矢透撰 大正一五 洋・中（啓明會紀要） 一 イ 四 一二七七 三
假名の發生に關する考察 春日政治撰 洋・中（松井簡治博士古稀記念國語國文學論文集） 一 ヘ 二 四三四五 二
假字の本末 二卷・附神代字辨一卷 伴信友撰 洋・中（伴信友全集） 四 ホ 二 四三三一 二
假名遣及假名字體沿革史料 第二編 大矢透編 大正一〇至一二 和・大 三 ホ 二 *一六二七 二
假名遣及假名字體沿革史料 大矢透編 明治四二 和・大 一 ホ 二 一〇〇一 二
假名遣與山路 石塚龍麿撰 昭和四 洋・小（日本古典全集） 二 イ 四 一三二〇 一四一
同 一 イ 四 七三五 六
假字新說 黑川眞頼撰 洋・中（國書刊行會叢書本黑川眞頼全集） 一 イ 四 七三四 六
假名考 帆足萬里撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五九 七
假名考 帆足萬里撰 洋・中（帆足萬里先生全集） 一 イ 四 一二五 一
假字考 二卷 岡田眞澄撰 洋・中（國語學大系） 二 ホ 類 二 號 四五九 八

漢字の日本化 岡井慎吾撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ 二 四七五一 二
神名書 藤原宪長撰 安永八 和・大 一 ホ 二 五八五 一
疑字篇 平田篤胤編・同鐵胤校（文政二） 和・大（神字日文傳附錄） 一 ホ 二 二七四 一
國語史文字編 山田孝雄撰 昭和一二 洋・小 一 ホ 二 四五〇三 五
國字考 伴直方撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 八
古事記歌謠に於ける假名の通用に就ての一試論 高木市之助撰 洋・中（日本文學研究） 一 ホ 二 四四〇八 一
金剛寺藏寶篋印陀羅尼を因由とする平安朝時代の草假名と文學との關係 尾上八郎撰 洋・中（岩波講座日本文學） 一 ヘ 二 四三一八 五
字志 二卷 榊原芳野編・和・大（文藝類纂） 二 ヘ 二 二一六 一—二
正語假字編 契沖撰 洋・中（契沖全集） 一 ヘ 二 四二四四 七
上代に於ける漢字の用法 安藤正次撰 洋・中（上代日本文學講座） 一 ヘ 三 四二八七 一
上代に於ける「所」字の特殊的用法に就いて 福田良輔撰 洋・中（安藤教授還曆祝賀記念論文集） 一 ホ 二 四七八 折
新乙姫字 高橋武雄撰 一 ホ 二 四二八四
神國神字辨論 安華撰（安永八） 和・大 一 ホ 二 四三三二
神字彙 岩崎長世編（慶應元） 和・大 一 ホ 二 五八六
神字日文傳 二卷 附疑字篇一卷 平田篤胤編（文政二） 和・大 三 ホ 二 四二九 一
同 三 ホ 二 四三二九

懲狂人 二卷 矢野玄道撰 明治二二 和・中 二 ホ 二 二〇
天字讀法考 村田春海撰 和・小（やまと叢誌） 一 イ 四 一二五 一二
同文通考 三卷 新井君美撰 寫本 和・大 七 ホ 二 一〇七
同文通考 四卷 新井君美撰・同祐登校補 洋・中（新井白石全集） 一 イ 四 一一七九 四
同文通考 四卷 新井君美撰・同祐登校補 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五九 八
頓要集 瀧田英二氏藏舊鈔本複製—昭和九 和・大 一 ホ 二 *四四五一 二
日本古代文字考 二卷 落合直澄撰 明治二一 和・大 二 ホ 二 四三八 二
日本書紀に見える假字用法に就て 菊澤季生撰 洋・中（安藤教授記念論文集） 一 ホ 二 四七二八 一
日本神字考 二卷 清・沈文熒譯・園田弘編 明治一七 和・中 二 ホ 二 八
日本文學に於ける用字の意義・特に記紀歌謠に就て 高木市之助撰 洋・中（日本諸學振興委員會研究報告） 一 イ 四 一三六八 三
日本文字學概說 山田孝雄撰 洋・中（日本文學講座） 一 ヘ 二 四三六〇 一六
平假名の研究 吉澤義則撰 洋・中（日本文學講座） 一 ヘ 二 四三六〇 一六
平假名の研究 吉澤義則撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ 二 四四三六 八
布斗麻邇神字教 寫本 和・大 一 ホ 二 四二七一 一
平安朝時代の草假名の研究 尾上八郎撰 大正一五 洋・中 一 ホ 二 四二三三 一
和訓名苑 三卷 滕孔榮撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五三八 二
和字義 寫本 和・大 一 ホ 二 四五三八 二
和字正韻 契沖撰 洋・中（契沖全集） 一 ヘ 二 四二四四 七
和字大觀抄 二卷 文雄撰 寛政七 補刻 和・中 一 ホ 二 七四 一
萬葉假名の研究 遠藤嘉基撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ 二 四四二六 八
萬葉假名の研究 森本健吉撰 洋・中（日本文學講座） 一 ホ 二 四三六〇 一六
萬葉人の用字意識から見た「者」字の一研究 安藤正次撰 洋・中（萬葉集古寫本の新研究） 一 ヘ 四 四四五六 一
萬葉用字格 春登撰 文化一五 和・大 一 ヘ 四 四二四三 一
萬葉集字音辨證 二卷 木村正辭撰 洋・中（早稻田大學文學科明治三七年度講義錄） 一 ホ 四 一二三 一
萬葉集字音辨證 二卷 木村正辭撰 明治三七 洋・中 一 ヘ 四 九一九 一
萬葉集字音辨證 二卷 木村正辭撰 洋・中（萬葉集代匠記附錄） 一 ヘ 四 四三二 六
萬葉集の研究 用字法を中心として 森本治吉撰 洋・中（岩波講座日本文學） 一 ヘ 二 四三一八 六
萬葉集の字訓假名に就いて 森本健吉撰 洋・中（日本文學論纂） 一 ヘ 二 四三四〇 一
萬葉集の用字に關する一考察 橋山英一撰 洋・中（京都帝國大學國文學會二十五周年記念論文集） 一 ヘ 二 四三九三 一
萬葉集の用字法 松山慎一撰 洋・中（短歌講座） 一 ヘ 四 四四三四 九
萬葉集文字辨證 二卷 木村正辭撰 洋・中（早稻田大學文學科明治三七年度講義錄） 一 ヘ 四 一〇一六 一
萬葉集文字辨證 二卷 木村正辭撰 洋・中（早稻田大學文學科明治三八年度講義錄） 一 ヘ 四 一三六五 一
萬葉集文字辨證 二卷 木村正辭撰 明治三七 洋・中 一 ヘ 四 九二〇 一
萬葉集文字辨證 二卷 木村正辭撰 洋・中（萬葉集代匠記附錄） 一 ヘ 四 四二二二 六
萬葉集用字法概說 森本健吉撰 洋・中（萬葉集講座） 一 ヘ 四 四四七三 三
萬葉假名の研究 吉澤義則撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ 二 四四二六 八
萬葉假名の研究 遠藤嘉基撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ 二 四四二六 八
萬葉假名の研究 森本健吉撰 洋・中（日本文學講座） 一 ホ 二 四三六〇 一六

○

一國の文字の輕々しく更ふべからざるを論ず
山田孝雄撰　洋・中（論國語尊重の根本義）　冊一　ホ　類一　號四五七〇

橫文日本綴と社會改造　山本留之助撰　大正九　洋・小　一　ホ　二　一五四六

國字改良意見　片假名ノ讀ミ書キノ難易ニ關スル實驗報告　元良勇次郎・松本亦太郎述　明治三七　洋・大　一　ホ　二　七九〇

假名の會の問答　大槻文彥撰　洋・中（明治文化全集）　一　イ　四　一二三―二二

カナモジ運動　松坂忠則撰　洋・中（國語文化講座）　一　ホ　二　四七五一―一

漢字制限の基礎調査及びこれに基く漢字制限案の研究　岡崎常太郎撰　洋・中（「服部報公會」研究抄錄）　一　イ　四　一二六七―二

漢字と假名　大島正健撰　明治三一　洋・小　一　ホ　二　五一一

漢字に代はる新日本の文字と其の綴字法　附日本の羅馬字と其の綴字法　稻留正吉撰　大正八　洋・中　一　ホ　二　一五三六

漢字の問題　吉田澄夫撰　洋・中（國語文化講座）　二　ホ　二　四七五一―二

漢字問題　藤村作撰　洋・中（國語問題と英語科問題）　一　ホ　二　四六〇四

慶應年中漢字御廢止の儀に付き慶喜公に上る書　前島密撰　洋・中　一　ホ　二　四六七五

國語及び國字問題シンポジウム　山田孝雄等講（岩波講座教育科學）　洋・中　一　ト　二　一七五一―二

國語及國字問題の經過　保科孝一撰　洋・中（日本文學講座）　一　ヘ　二　四三五七―五

國語國字諸問題　安藤正次撰　洋・中（岩波講座國語教育）　一　ホ　二　四五〇一―五

國語國字問題　日下部重太郎撰　洋・中（岩波講座國語教育）　一　ホ　二　四四四七―七

活字ノ字劃ニ關スル研究（松井簡）　一　イ　四　三九九―三
文字ノ大サト其間隔ノ可讀性ニ及ボス影響（内田久雄）　一　イ　四　三九九―三
國字ニ關スル眼科學上ニ三ノ研究（岡本晴一・鹿兒島茂）　一　イ　四　三九九―三
片假名及平假名ノ見エ方ニ就イテ（稻葉六郎・近藤忠雄）　一　ホ　二　二六八
石原式橫書キ片假名文字ニ就テ（石原忍）　一　ホ　二　四三五七
國字の將來　新村出撰　洋・中（東方言語史叢考）　一　ホ　一　一八五二
國字の將來　新村出撰　洋・中（國語問題正義）　一　ホ　二　四七〇四
國字問題　日下部重太郎撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ　二　四四二六―二
國字問題の解決　附國語及國際語問題　大正一五　洋・中　前田直平撰　一　ホ　二　四三五七
國字問題の研究　菊澤季生撰　昭和六　洋・中　一　ホ　二　四三五二
新國字論　上田萬年撰　洋・中（國語のため）　一　ホ　二　六〇八―一
生命の日本字　山崎弘幾撰　大正一二　洋・小　一　ホ　二　一七三七
大日本改良文字　增田乙四郎撰　明治三六　洋・中　一　ホ　二　六〇七

同
日基本漢字　大西雅撰　昭和一六　洋・小　一　ホ　二　四七七四
日本國字論　附古典式ローマ字に依る國語の綴方分類表外一篇　長谷川誠治撰　昭和七　洋・中　一　ホ　二　四四〇六

同
日本文體文字新論　矢野文雄撰　明治一九　洋・小　一　ホ　二　一一五五

同
普通教育の文字お假名とローマ字に　衣笠寬逸　大正一三　洋・小　一　ホ　二　一七三六

國語國字問題と日本精神　南弘撰　洋・中（日本精神講座）　冊一　リ　類四　號四七六九―五

國字及び國文に關する論說　坪内雄藏撰　洋・中（逍遙選集）　一　イ　四　一二三―一

國字改良意見　田口嘉撰（明治三三）　洋・小　一　ホ　二　三四五

同

國字改良運用論　君島當三撰　大正一五　洋・小　一　ホ　二　四三三二

國字改良卑見　君島當三撰　大正一四　洋・小　一　ホ　二　四二一九

國字改良論纂　堀江秀雄編　明治三五　洋・中　一　ホ　二　六六八

國字國語改良論說年表　國語調査委員會編　明治三七　洋・大　一　ホ　二　七六九

國字國語問題文獻目錄　松岡伴一編　昭和七　洋・中　一　ホ　二　四四〇八

前島密君國字國文改良建議書　小西信八編　洋・小　一　ホ　二　四一〇

國字ニ關スル眼科學的研究講演錄　日本眼科學會編　昭和三　洋・大（日本眼科學會雜誌第三卷第五號拔刷）　一　ホ　二　四三一〇

國字改良ノ順序トシテ左橫書ノ實行ニ就テ（井上達二）　一　ホ　二　四三一五
日本片假名及平假名ノ縱列式ト橫列式ノ場合ニ於ケル讀ミ書キノ難易（宮下左右輔）　一　ホ　二　四三一〇
國字ノ縱書キ橫書キニ關スル小實驗（廣瀨季雄）　一　ホ　二　四三一〇
假名文字ノ縱書キト橫書キニ就テ（岡島良一）　一　ホ　二　四三一〇
縱書キト橫書キノ場合ニ於ケル文字ノ運絡（宇山安夫）　一　ホ　二　四三一〇
橫書縱書及活字ノ大サニ就テ（豐田武夫）　一　ホ　二　四三一〇
縱書橫書ニ關スル小實驗（船石晉一・佐々木統一郎）　一　ホ　二　四三一〇
國字研究（大西克知）　一　ホ　二　四三一〇
種々ナル活字（漢字）書體ノ可讀性ニ就イテ（恒川亮彥）　一　ホ　二　四三一〇
活字ノ間隔ハ如何ニスベキカ（向井一）　一　ホ　二　四三一〇
活字優劣批判法（中村文平）　一　ホ　二　四三一〇

第一文字之教　福澤諭吉撰　洋・中（福澤全集）　一　イ　四　三九九―三
第二文字之教　福澤諭吉撰　洋・中（福澤全集）　一　イ　四　三九九―三
文字之教附錄　福澤諭吉撰　洋・中（福澤全集）　一　イ　四　三九九―三
文字文章改良論　菅沼岩藏撰　明治二八　洋・小（言文一致　桃太郎話附錄）　一　ホ　二　二六八
同
和字正俗通　寫本　和・大（玉晁叢書）　一　イ　四　六九六―二五

○

開進國語讀本　卷一　鳴海要吉編　大正七　洋・小　一　ホ　二　一五一六
教育上から見たローマ字　文部省臨時ローマ字調査會への報告　高島直一撰　昭和六　洋・中　一　ホ　二　四三五六
葛の根　田中館愛橘撰　昭和一三　洋・中　一　ホ　二　四五六七
國語ノローマ字綴リ方ニ關スル陳情書　正木義太撰　（昭和六）　洋・中　一　ホ　二　四三六七
國定標準ローマ字綴方決定ニ就イテ　問宮不二雄撰　洋・小（われらの主張本）　昭和五　一　ホ　二　四三一四
國定標準ローマ字綴方決定ニ就イテ　問宮不二雄撰　洋・小（われらの主張本再版）　昭和一一　一　ホ　二　四三四四
國定ローマ字綴り方制定の目標　附日本式ローマ字綴方の改定を勸める　奥中孝三撰　洋・小（ローマ字論に對する中立者の意見と同刊）　一　ホ　二　四三一五

財團法人帝國ローマ字クラブを設ける趣意書外二表　帝國ローマ字クラブ刊　昭和五　洋・中　一　ホ　二　四三三五

新式日本ローマ字論　後藤藏四郎撰　（昭和八）　洋・小　一　ホ　二　四四二五

眞に祖國を愛する同胞に訴ふ　附羅馬字會式と田中館式　宮崎靜二郎　一　ホ　二　四三五四

日本組合ホテル支配人各位ニ呈セル 同文照會狀及回答書 帝國ローマ字クラブ刊 洋・中 （國語ノローマ字綴り方ニ關スル陳情書ト同刊） 一冊 木 二類 四三六七號

日本式ローマ字の末期 向軍治撰 昭和九 洋・小 一 木 二 四四六二

日本ローマ字會パンフレット 第二至七册 昭和三至六 日本ローマ字會刊 洋・小 一 木 二 四三五八

日本語の世界的書き方（田丸卓郎）

假名論とローマ字論（明治文化とローマ字（尾佐竹猛）外一篇）

ローマ字綴方の進化（日本語とローマ字（田中館愛橘）外二篇）

漢字からローマ字へ（日本語の行詰問題（末弘嚴太郎）外二篇）

ローマ字日本語の文獻（土岐善麿） ローマ字綴り座談會（福永恭助）

羅馬式―日本式どちらが讀み易いか？ 附海圖と日本式ローマ字綴り方是非 問宮不二雄撰 昭和一〇 洋・小 一 木 二 四四八一

普通教育の文字お假名とローマ字に 西村安次郎撰 昭和一三 洋・小 一 木 二 四五七七

臨時ローマ字調査會議事錄 二卷 同會刊 昭和一一 洋・大 二 木 二 四五六一

臨時ローマ字調査會の眞相 ローマ字ひろめ會刊 昭和一一 洋・中 （Romaji Rinji Zokan） 一 木 二 四五〇六

羅馬字意見 田中館愛橘撰 洋・中 （明治文化全集） 一 イ 四 一一三三

ローマ字運動 菊澤季生撰 洋・中 （國語文化講座） 一 木 二 四七五一

羅馬字化の原理 特に日本語羅馬字化に就て 附靜止と動位外六篇 昭和八 洋・大 英・パーマ撰・宮田齊譯 一 木 二 四四三七

正則ローマ字講習錄 本科第一・四號 大正一三・一四 東京ローマ字學院刊 洋・小 二 木 二 四五七八

ローマ字國字論 田丸卓郎撰 大正三 洋・小 一 木 二 一三九六

ローマ字正字法と國語內容の民族意識 田中館愛橘撰 （昭和五） 洋・中 （ローマ字世界第二一卷第一號抜刷） 一 木 二 四四四〇

實用上から見たローマ字綴り方の研究 問宮不二雄撰 （昭和六） 洋・中 一冊 木 二類 四三四二號

ローマ字綴り方論 宮崎靜二述 昭和五 洋・小 一 木 二 四三五三

ローマ字綴りの優劣に就いて 櫻根孝之進撰 （昭和五） 洋・中 一 木 二 四三四三

ローマ字日本語の文獻 土岐善麿撰 洋・中 （日本文學講座） 一 ヘ 二 四三一七 一五

ローマ字日本語文獻研究 土岐善麿撰 洋・中 （日本文學講座） 一 ヘ 二 四三五七 五

ローマ字年報 一九三二年版 東大ローマ字會編 昭和六 洋・小 一 木 二 四三六六

ローマ字の研究 日下部重太郎撰 洋・中 （國語科學講座） 一 木 二 四四二六 八

ローマ字の研究 福永恭助撰 洋・中 （日本文學講座） 一 ヘ 二 四三六〇 一六

羅馬字早學び 矢田部良吉撰 洋・中 （明治文化全集） 一 イ 四 一一三二

ローマ字獨げいこ 田中館愛橘等撰 大正三 洋・小 一 木 二 一三九五

ローマ字ひろめ會略史 創立滿二十五年記念 昭和五 洋・小 ローマ字ひろめ會編 一 木 二 四三五五

羅馬字文の書き方 附日本式羅馬字の論 明治三九 洋・小 田丸卓郎撰 一 木 二 六九三

同 一 木 二 一二六四

ローマ字文の研究 田丸卓郎撰 大正九 洋・小 一 木 二 一六六四

ローマ字論に對する中立者の意見 ローマ字のよしあし （小原喜三郎）外一篇 昭和五 洋・小 （われらの主張本） 帝國ローマ字俱樂部刊 （われらの主張） 一 木 二 四三一五

ローマ字論文集 〔われらの主張〕其他 昭和一四 洋・小 櫻根孝之進編 一 木 二 四五九七

われらの主張 第一至二・九・一〇・別册 大正一二至昭和一二 帝國ローマ字俱樂部刊 洋・小 五 木 二 四三三四

ローマ字主張の百個條（櫻井正） 一 ローマ字の反對論を破る（同上） 一

第二 假名國字論の殘蟲（加茂正一） 一 山下氏の假名國字論を讀む（同上） 一

第三 野上君の假名論を嗤ふ（向軍治） 一

第四 似而非ローマ字論者に教ふ（加茂正一） 一

第五 同音異義の語をどうするか？（山下義靜） 一

第六 人の子を損ふ教育（加茂正一） 一

第七 ローマ字綴方の目標（櫻根孝之進） 一

第八 國定標音ローマ字綴方決定ニ就イテ（附標準式―日本式―ヘボン式ノ比較）（問宮不二雄） 一

第九 ローマ字論に對する中立者の意見 （小原喜三郎） 一

第一〇 假名の表音能力 外國語の寫し方（武上辰男） 一

第一一 所謂日本式ローマ字論者に質す（櫻根孝之進） 二

第一九 敢て天下の教育者諸君に訴ふ（櫻根孝之進） 三

第二〇 ローマ字綴論爭の末幕 言靈祭のちの卷 四

ローマ字マゼカエシ運動不滅の功績（櫻根孝之進） 五

調査會式ローマ字綴り案を排撃す（問宮不二雄） 別册

のろはれたる漢字（山下義靜編）

速記

速成實驗應用速記法 丹羽瀧男撰 明治四〇 洋・中 一 木 二 一三六七

最新速記術 熊崎健一郎撰 明治四〇 洋・小 一 木 二 七八八

速記大日本字 林甕臣撰 明治二〇 和・中 一 木 二 九〇七

新日本語速記術 附記號及練習問題の解答 英・ガントレット撰 明治三九 洋・小 二 木 二 七五九

日本新字速記法 一名日本語法文字 林甕臣撰 明治二二 和・小 一 木 二 一二三

日本速記法 毛利高範撰 大正九 洋・小 一 木 二 一五五九

毛利日本速記法詳解 毛利高範撰 昭和二 再版 洋・小 一 木 二 四二七六

議事演說討論傍聽筆記新法 日置益・黒岩大譯補 明治一六 洋・小 一 木 二 一三三

音韻・假名遣

青森・秋田兩縣方言に於けるP音の研究 宮良當壯撰 洋・中 （文藤波先生記念論文集） 外來音の寫し方（笑奎生） 一 木 二 四七二八

アクセントと方言 服部四郎撰 洋・中 （國語科學講座） 一 木 二 四四二六 七

アクセントについて 三宅武郎撰 洋・中 （標準語と國語教育） 一 木 二 四六一三

伊豆母廼美多麻 初篇三卷 川北朝弘撰 和・大 三 木 二 二七六

日韻文組立法 河添一江撰 明治二六 洋・小 冊 ホ 二 類 二五一 號

應用音聲學 大西雅雄撰 洋・中（國語科學講座） ホ 二 四四二六 二

於乎輕重義 二卷 東條義門撰 寫本 和・大 ホ 二 一二七八

音韻啓蒙 二卷 敬田年治撰 明治七 和・大 ホ 二 二八四

音韻史上より見たる「カ」「クヮ」の混同 新村出撰 洋・中（東方言語史叢考） ホ 一 一八五二

音韻調査報告書 附音韻分布圖（二九枚） 國語調査委員會編 明治三八 洋・大 冊 箱 ホ 二 三一六

同 冊 箱 ホ 二 四二七

音韻取調ニ關スル事項 國語調査委員會編 明治四一 洋・中 ホ 二 九五七

音韻分布圖 二九枚 國語調査委員會編（明治三八）（音韻調査報告書附錄本） 箱 ホ 二 一六八九

音韻漫錄 大島正健撰 明治三一 洋・小 ホ 二 五一〇

音義全書 堀秀成撰・藤岡好古校 大正二 洋・中 ホ 二 一三〇七

音義本末考 一 音圖大全解（五卷）

助辭音義考（音圖大全解附錄）（二卷） 一

假字本義考 一 類語或問

濱千鳥（二卷） 一 神名考（二卷）

古言類韻（一二卷） 二 音圖大全

音義本末考 堀秀成撰 明治一〇 和・大 一 ホ 二 六四九

同 二 ホ 二 四二九九

音義本末考 堀秀成撰・藤岡好古校 洋・中（音義全書） 一 ホ 二 一三〇七 一

「音圖及手習詞歌考」を讀む 吉澤義則撰 洋・中（國語國文の研究） 一 ホ 二 四二六一

音聲心理學と國語 佐久間鼎撰 洋・中（岩波教育科學講座） 冊 ト 二 類 一七五二 號

訛音の性質 小幡重一撰 洋・中（標準語と國語教育） 一 ホ 二 四四二六 一三

呵刈葭 二篇 本居宣長撰 寫本 和・大 二 ホ 二 一二七八

呵刈葭 二篇 本居宣長撰・同豐顯校 洋・中（本居宣長全集） 一 イ 四 四〇四 四

呵刈葭 二篇 本居宣長撰・同清造校 洋・中（補本居宣長全集） 一 イ 四 一二〇八 六

呵刈葭 二篇 本居宣長撰 洋・中（上田秋成全集） 一 イ 四 八八二 一〇

衝口發抄 藤井貞幹撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 四

鉗狂人抄 本居宣長撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 四

鉗狂人上田秋成評同辨抄 本居宣長撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 四

上田氏論難之辨 本居宣長撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 四

雅言成濃 二卷（天保六） 鹿持雅澄撰 和・大 二 ホ 二 三九二

雅言成濃 二卷 鹿持雅澄撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 二

假名遣奧山路 石塚龍麿撰 昭和四 洋・小（日本古典全集） 二 イ 四 一三三〇 一四四一

九州方言及び琉球方言に於ける代名詞の研究 安田喜代門撰 洋・中（金澤博士東洋語學乃研究） 一 ホ 二 四四一八

教育音聲學 大西雅雄撰 昭和一一 洋・小（文學社叢書本） 一 ホ 二 四四八四

教行信證の訓點は坂東語か 吉澤義則撰 洋・中（國語國文の研究） 一 ホ 二 四二六一

語意考 賀茂眞淵撰 洋・中（賀茂眞淵全集） 一 ヘ 二 六二三 三

語意考 賀茂眞淵撰 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 一

五韻次第 洋・中（國語學大系） 一 ホ 二 四五五九 四

古今訓點抄 解說添 大島雅太郎氏藏舊鈔本複製 昭和一一 洋・大 一 ヘ 四 ＊四五七四

國語アクセントの講話 佐久間鼎撰 大正一二 洋・小 一 ホ 二 一七二八

國語アクセントの地方的分布 金田一春彥撰 洋・中（標準語と國語教育） 一 ホ 二 四六一三

國語及朝鮮語發音概說 小倉進平撰 大正一二 洋・小 一 ホ 二 一七三三

國語音韻論 菊澤季生撰 昭和一〇 洋・中 一 ホ 二 四四七三

國語音韻論 金田一京助撰 昭和七 洋・中（言語誌叢刊本） 一 ホ 二 四三七五

國語音韻論 佐久間鼎撰 洋・中（日本文學講座） 一 ヘ 二 四三六〇 一六

國語音聲概說 佐久間鼎撰 昭和八 洋・小 一 ホ 二 四四三八

國語音聲學 安藤正次撰 洋・中（岩波日本文學講座） 一 ヘ 二 四三八 五

國語音聲學 神保格撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ 二 四四二六 二

國語音聲學講話 佐久間鼎撰 昭和四 洋・小 一 ホ 二 四二九二

國語音聲學入門 神保格撰 昭和一一 洋・小 一 ホ 二 四四八三

國語音調論 高橋龍雄撰 昭和七 洋・中 一 ホ 二 四三九六

國語に於けるFH兩音の過渡期 新村出撰 洋・大（三宅博士記念論文集） 一 リ 一 四六七六

國語に於けるFH兩音の過渡期 新村出撰 洋・中（東亞語原志） 一 ホ 二 四三三〇

國語の音聲研究の進歩 石黒魯平撰 洋・中（師範大國語教育） 一 ホ 二 四四四七 七

國語の發音 神保格撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ 二 四七五一 二

國語の物理學 兼常清佐撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ 二 四七五一 二

語形と語音 柳田國男撰 洋・小（國語の將來） 一 ホ 二 四五八二

古言清濁考 三卷 石塚龍麿撰 享保元 和・大 三 ホ 二 四七七一

古言清濁考 三卷 石塚龍麿撰 享和元 和・大 一 ヘ 二 四四一八

古語の清濁に就きて 岩淵悅太郎撰 洋・中（國文學と日本精神） 四 ホ 二 一〇五

古史本辭經 一名五十音義訣 四卷 平田篤胤撰・同鐵胤・延胤校 和・大 二 ホ 二 一六

五十音義訣 四卷 平田篤胤撰・同鐵胤・延胤校 寫本 和・大 一 ホ 八五 二三一一 四

五十音圖 喪海撰 洋・中（弘法大師全集） 一 ホ 二 五三九

五十音圖說 龜田鶯谷口授・同英編 明治一一 和・中 一 ホ 二 四四三八

五十音圖といろは歌 岩淵悅太郎撰 洋・中（國語文化講座） 一 ホ 二 四七五一 二

五十音圖に於ける「エ」の音價 小林好日撰 洋・中（日本語學振興委員會研究報告） 一 イ 四 一三六八 三

五十音圖の歷史 山田孝雄撰 昭和一三 洋・中 一 ホ 二 四五六八

五十音靈義 荷田訓之撰 寫本 和・大 一 ホ 二 九七〇

語調の心理的表出 佐久間鼎撰 洋・中（心理學論文集） 一 ロ 七 三一二〇 二

言靈開書 中村孝道撰 寫本 和・中 一 ホ 二 六六六

言靈德用 鹿持雅澄撰 和・大 一 ホ 二 四四三三

言靈或問 中村孝道撰 寫本 和・中 一 ホ 二 四七四七

悉曇相通說と活用研究に及ぼせる其の影響 竹田鐵仙撰 洋・中（金澤博士東洋語學乃研究） 一 ホ 二 四四一八

清濁音 上田萬年撰 洋・中（國語のため） 一 ホ 二 六〇八 一

仙臺方言音韻考　附濱荻昭和七　小倉進平撰　洋・中（言語誌叢刊本）　一冊　ホ　二類　四三七四
仙臺方言音韻論試作　小林秀夫撰　洋・小（言語學方法論考）　一　ホ　一　一八六五
促音考　上田萬年撰　洋・中（國語のため）　一　ホ　二　六〇八　二
濁點源流考　吉澤義則撰　洋・中（國語說鈴）　一　へ　二　四三二一
通略延約辨　野之口隆正撰　和・小（やまと叢誌）　一　イ　四　二七五　一二
同音語類音語　日本放送協會編　昭和一六　洋・中　一　ホ　二　四七六五
東音譜　新井君美撰　洋・中（新井白石全集）　一　イ　四　一七九　四
東音譜　新井君美撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ　二　四五五九　四
東音譜　新井君美撰寫―大田覃　和・中（雜船紀聞ト同綴）　一　ル　二＊　二〇八九
日本音聲學　二篇　佐久間鼎撰　昭和四　洋・中　一　ホ　二　四二八六
日本語音の構音に關する二三考察　藤田祿彦・藤田克昭撰　洋・中（心理學論文集）　一　ロ　七　三一二〇　四
日本古代語音組織考　國表一帙（表紙二目一・本文二四枚）・帙一冊　解說一卷　北里闌撰　大正一五　ホ　二　四五九〇
日本語のアクセント　神保格撰　洋・中（師範學校國語教育）　一　ホ　二　四四四七　八
日本語の音聲學的研究　附語音の表記外二篇　高松義雄譯　昭和一〇　英・エドワーズ撰・洋・中　一　ホ　二　四四七五
日本語の研究　篠常清佐撰　昭和一四　洋・中　一　ホ　二　四五七五
日本語母音のフォルマント及その感情による影響　本宮彌兵衛撰　洋・中（心理學論文集）　一　ロ　七　三一二〇　五
日本の言葉と唄の構造　篠常清佐撰　昭和一三　洋・中　一　ホ　二　四五五六
日本標準語音及アクセント　前田直平撰　昭和八　洋・中　一　ホ　二　四四二七
日本母音の構造に關する實驗的研究　序緒・片岡秀夫撰　洋・中（心理學論文集）　一　ロ　七　三一二〇　三
梅園讀法　三浦脊撰　洋・中（梅園全集）　一　イ　四　一〇八一　二
波行輕唇音沿革考　新村出撰　洋・中（東亞語原志）　一　ホ　二　四三三〇
國語科教授用發音教授法　高橋龍雄撰　明治三四・和・中　一　ホ　二　六六一
同　一　ホ　二　八〇二
反音作法　明覺撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ　二　四五五九　四
P音考　上田萬年撰　洋・中（國語のため）　一　ホ　二　六〇八　二
諷經の唐音に反映した鎌倉時代の音韻狀態　有坂秀世撰　洋・中（言語研究）　一　ホ　一　一八七三　二
本邦音符考　吉澤義則撰　洋・中（國語國文の研究）　一　ホ　二　四二六一
水火傳　水穗傳　七卷（天保五）　山口杉菴（志道）撰　和・大　七　ホ　二　四五六五
倭片假字反切義解　花山院長親撰　和・大（群書類從）　一　イ　四　四八八　六二三
倭片假字反切義解　花山院長親撰　洋・小（經濟雜誌社本群書類從）　一　イ　四　二三五　一八
倭片假字反切義解　花山院長親撰　洋・中（國書刊行會叢書ノ內三十輯）　一　イ　四　八八二　四
倭片假字反切義解　花山院長親撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ　二　四五五九　四
倭片假字反切義解　花山院長親撰　寫本　和・中　一　ホ　二　四三四〇
幼兒の言語　大坂保育會刊　明治三六　洋・中　一　ホ　二　五五一
琉球語の波行音の變遷　新村出撰　洋・中（東方言語史叢考）　一　ホ　一　一八五二
倭語連聲集　盛典撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ　二　四五五九　四

和字正韻　契沖撰　洋・中（契沖全集）　一　へ　二　四二四七
○
鸚鵡囀語例　伴信友撰　寫本　和・中（伴信友雜稿）　一　イ　四　六一〇　八
漢字三音考　本居宣長撰　天明五　和・大　一　ホ　二　四七一七
同　一　ホ　二　四七一八
同　一　ホ　二　四七一九
同　一　ホ　二　四七二〇
漢字三音考　本居宣長撰　同豐順校　洋・中（本居宣長全集）　一　イ　四　四〇四　五
漢字三音考　本居宣長撰　同清造校　洋・中（續本居宣長全集）　一　イ　四　一二〇八　九
漢字三音考　本居宣長撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ　二　四五五九　四
本居宣長の音韻學　漢字三音考に就いて　上田知麿撰　洋・中（國文學論究）　一　へ　二　四三七五
地名字音轉用例　本居宣長撰　和・大　一　ホ　二　四六〇一
同　一　ホ　二　四六〇二
地名字音轉用例　本居宣長撰・同豐順校　洋・中（本居宣長全集）　一　イ　四　四〇四
地名字音轉用例　本居宣長撰・同清造校　洋・中（續本居宣長全集）　一　イ　四　一二〇八　九
地名字音轉用例　本居宣長撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ　二　四五五九　四
奈萬之奈　三卷（天保九）　東條義門撰　和・大　三　ホ　二　六五四
奈萬之奈　三卷　東條義門撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ　二　四五五九　四
撥韻假字攷存疑　岡本保孝質疑・東條義門辨言　洋・中（國語學大系）　一　ホ　二　四五五九　四

男信質疑　關政方撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ　二　四五五九　四
日本に殘存せる支那古韻の研究　飯田利行撰　昭和一六　洋・中　一　ホ　四　二〇四一
假名遣
一步　三卷　洋・中（國語學大系）　一　ホ　二　四五五九　九
上田秋成の靈語通と德川宗武の假名遣說　橋本進吉撰　洋・中（近世文學の研究）　一　へ　二　四四一九
音訓國字格　二卷　高井伴寬撰　文政八　和・中　一　ホ　二　四三〇七
音訓國字格　二卷　高井伴寬撰　天保七　和・中　一　ホ　二　四二四二
音訓國字格　二卷　高井伴寬撰　和・中　一　ホ　二　五四一
雅言假字格　二卷・拾遺一卷　市岡孟彥補訂　文化一一　和・小　一　ホ　二　一一六
同　一　ホ　二　六三三
雅語綴字例　辰巳小次郎編　明治二〇　洋・小　一　ホ　二　一一三三
假名字例　四卷　山崎吉里編　延寶六　和・小　四　ホ　二　六二五
假名遣　村山自彊・中島幹事編　明治二四　洋・小　一　ホ　二　一四八
同　一　ホ　二　七〇五
國語字音假名づかひ　物集高見撰　洋・中（物集高見全集）　一　イ　四　一二三六　三
假字遣「お」「を」の混同　小林好日撰　洋・中（國文學と日本精神）　一　へ　二　四四一八
假字遣奧山路　石塚龍麿撰　昭和四　洋・小（日本古典全集）　三　イ　四　一三二〇　一四〇―一四一　帖
假名遣及假名字體沿革史料　大矢透編　明治四二　和・大　一　ホ　二　一〇〇一

假名遣及假名字體沿革史料　第二篇　大矢透編　大正一〇至一二　和・大　三冊　ホ二類一六三號
地藏十輪經元慶點　一　成貫論天長點　二
願經四分律古點　三

「假名遣及假名字體沿革史料」を讀む　三矢重松撰　洋・中（國語の新研究）　一　ホ二　四四〇四
假名遣概說　石坂正藏撰　洋・中（日本文學講座）　一　ヘ二　四三六〇　一六
假名遣活法　島岡亮太郎編　明治三二　訂正三版　洋・小　一　ホ二　一四五一
假名遣記憶便覽　國語・字音　石岡勇四郎撰　大正三　和・小　一　ホ二　一三六八
假名遣教科書　吉田彌平・小山左文二撰　明治三六　和・中　一　ホ二　七二八
新編假名遣教科書　明治書院編輯部編　明治四五　訂正版　和・中　一　ホ二　一三八一
假名遣研究史　附假名遣の歷史　木枝增一撰　昭和八　洋・中　一　ホ二　四七五五
語原學式假名遣新書　林甕臣撰　明治四二　和・小　一　ホ二　一〇二六
假名遣近道　一條彙良撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ二　四五九九
假名遣ちかみち　蓮二坊撰・博和坊校　享和元　和・中　一　ホ二　四五二
假字遣提要　岡吉胤撰　明治三三　洋・小　一　ホ二　二〇三
同　一　ホ二　四五三二
正しい假名遣と送假名　服部嘉香撰　昭和一一　洋・小　一　ホ二　三一〇
假名遣に關する意見　森林太郎撰　洋・中（鷗外全集）　一　イ四　一〇三五　二
假名遣の研究　三宅武郎撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ二　四四二六　一二
假名遣の歷史　山田孝雄撰　昭和一五　七版　洋・中　一　ホ二　四七六七

小學日本文典入門附錄假名遣早引　林甕臣撰　明治一四　和・中　一冊　ホ二類四九一號
假名遣要覽　松尾捨治郎撰　洋・中（標準語と國語教育）　一　ホ二　四六一三
假字本義考　堀秀成撰・藤岡好古校　洋・中（音義全書）　一　ホ二　一三〇七　一
假字大意抄　村田春海撰（文化四）　和・大　一　ホ二　四三六五
假名文字遣　源親行撰・同行阿補　和・中（古版本）　一　ホ二　四七六八
假名文字遣　源親行撰・同行阿補　寬政三　和・小　一　ホ二　五七五
同　一　ホ二　四三〇二
假名文字遣　源親行撰・同行阿補　洋・中（國語學大系）　一　ホ二　四五五九　九
假名文字遣　附定家卿口傳・人丸祕抄　源親行撰・同行阿補　洋・中（語學叢書）　一　ホ二　三一〇
假名文字使蜆縮涼鼓集　二卷　鴨東萩父撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ二　四五五九　九
觀世元清の假名遣　吉澤義則撰　洋・中（國語國文の研究）　一　ホ二　四二六一
歌文假字格　佐々木弘綱編　洋・小（假名遣詞字典ノ内）　一　ヘ二　四三二九
疑問假名遣　國語調査委員會編　大正元・四　洋・大　二　ホ二　一二三八
今古假字遣　高井八穗撰　慶應三　和・小　一帖　ホ二　四九八
同　一　ホ二　六六二
契沖の文獻學の發展と假名遣說の成長及びその交涉について　時枝誠記撰　洋・中（日本文學論纂）　一　ヘ二　四二四〇
下官集　洋・中（語學叢書）　一　ホ二　三一〇
下官集　洋・中（國語學大系）　一　ホ二　四五五九　九

古言梯　樹取魚彥編（明和二）　和・大　一　ホ二　四三五一
同　一　ホ二　四四五五
增補古言梯標註　樹取魚彥編・山田常助增補　和・中　一　ホ二　六二八
古言類韻　卷一　堀秀成撰　寫本　和・大　一　ホ二　一二七九
古事記歌謠に於ける假名の通用に就ての一試論　高木市之助撰　洋・中（日本文學研究）　一　ホ二　四四〇八
「さふらふ」か「さうらふ」か　橋本進吉撰　洋・中（橋本博士退官紀念國語學論集）　一　ホ二　四七二八
尙古假字用格　山本明清編　明治一三　再版　和・小　一帖　ホ二　六六三
上代假名遣の解說と其應用　遠藤嘉基撰　洋・中（萬葉集講座）　一　ヘ四　四四七三　三
上代に於ける假名遣　安田喜代門撰　洋・中（上代日本文學講座）　一　ヘ三　四二八七　三
上代に於ける特殊假名遣の本質　望月幸教撰　洋・中（日本文學論纂）　一　ヘ二　四三四〇
臨時國語調査會　新假名づかい　報知新聞社編輯局編　大正一四　五版　洋・小　一　ホ二　一七六九
新假名遣と常用漢字の字引　三並良作編　大正一四　洋・小　一　ホ二　四七二三
新假名遣に就いて　福井斗美郎撰（大正一四）　洋・小　一　ホ二　四二一八
新撰假字遣　二卷　岡田正美撰　明治三八　洋・小　一　ホ二　四二八
親鸞上人の寫語法　吉澤義則撰　洋・中（國語國文の研究）　一　ホ二　四二六一
正誤假名遣　賀茂季鷹撰（天明八）　和・小　一　ホ二　五六八
同　一　ホ二　四三〇一
增補大成正誤假名遣　賀茂季鷹撰・鶴峰戊申增補（弘化四）　和・小　一　ホ二　五七二
仙源抄跋　長慶天皇御撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ二　四五五九　九
多都可豆恵　三卷　寺田長興編　嘉永二　和・大　三　ホ二　二八一
同　三　ホ二　六二八
同　三　ホ二　四三〇五
玉の小琴　藏の舍千尋撰（天保二）　和・小　一　ホ二　五四五
定家卿假名遣少々　藤原定家撰　洋・中（國語學大系）　一　ホ二　四五五九　九
定家の假名遣　吉澤義則撰　洋・中（國語國文の研究）　一　ホ二　四二六一
人丸祕鈔　洋・中（國語學大系）　一　ホ二　四五五九　九
文章假字用格　四卷　大藏永常撰（天保四）　和・大　四　ホ二　四一三
文章假字用格　四卷　大藏永常撰（後刷）　和・中　四　ホ二　二六
文章假字用格　大藏永常撰　和・大　四　ホ二　二六
文章假字用格　四卷　大藏永常撰（後刷）　和・中　四　ホ二　二六
國字用法變聲音符　片岡哲撰　明治四三　和・大　一　ホ二　一一〇〇
同　一　ホ二　一五三三
萬葉假名遣　青木鷺水撰　元祿一一　和・小　一　ホ二　四六五
萬葉假名遣　青木鷺水撰（寶曆四）　和・小　一　ホ二　三九七
文字反　洋・中（語學叢書）　一　ホ二　三〇
臨時假名遣調査委員會議事速記錄　文部省刊　明治四二　洋・大　一　ホ二　九七九
類字假名遣　七卷　荒木田盛徵撰　明和七　求版　和・小　一　ホ二　一一三九
類字假名遣　七卷　荒木田盛徵撰（後刷）　和・中　一　ホ二　六二四
靈語通　上田秋成撰　洋・中（上田秋成全集）　一　イ四　八八二　一

靈語通砭鍼	岡本保孝撰 洋・中（上田秋成全集）	一冊	イ	四類	八八二	一
和漢字名錄 二卷	藤井常枝撰 天明六 和・大	四	ホ	二	三一四	一
和字解	貝原篤信撰（元祿一二） 和・小	一	ホ	二	四七三五	一
和字解	貝原篤信撰 洋・中（益軒全集）	一	イ	四	七四〇	一
和字解	貝原篤信撰 洋・中（國書刊行會叢書ノ内三十輯）	一	イ	四	八八二	四
和字解	貝原篤信撰 寫本 和・大（直道翁叢書）	一	イ	四	＊七七五	二七一
和字解 改正增補	貝原篤信撰 延享五 和・小	一	ホ	二	七三〇	一
倭字古今通例全書 八卷	橘成員編 元祿九 和・中	七	ホ	二	五六六	一
和字正濫抄 五卷	契沖撰 元祿八 和・中	五	ホ	二	一〇三	一
和字正濫鈔 五卷	契沖撰 洋・中（語學叢書）	一	ホ	二	三〇	一
和字正濫鈔 五卷	契沖撰 洋・中（契沖全集）	一	イ	四	二四四 七	二
和字正濫鈔 五卷	契沖撰 洋・中（國語學大系）	一	ホ	二	四五九 九	二
倭字正濫通妨抄	契沖撰 洋・中（契沖全集）	一	ヘ	二	四二四 七	二
和字正濫要略清水濱臣書入本 寫本	契沖撰 和・大	一	ホ	二	＊八四八	二
和字正濫要略 寫本	契沖撰 寫本 和・大	二	ホ	二	六五三	二
和字正濫要略	契沖撰 洋・中（契沖全集）	一	ヘ	二	四三四 七	二
和字正濫要略	契沖撰 洋・中（語學叢書）	一	ホ	二	三〇	二
和字大觀鈔 二卷 寬政七	文雄撰 補刻 和・中	一	ホ	二	七四	二
和字便覽 改正增補	渾純齋松月撰・藤原昌敷補 文化八 和・小	一	ホ	二	八一〇	二

○

音訓國字格 二卷	高井伴寬撰 文化八 和・中	一冊	ホ	類 二	八八二	一
音訓國字格 二卷	高井伴寬撰 天保七 和・中	一	ホ	二	四二四二	一
國語假字づかひ	物集高見撰 洋・中（物集高見全集）	一	イ	四	一二三大 三	一
國語假名遣記憶便覽	石岡勇四郎撰 大正三 和・小	一	ホ	二	一三六八	一
字音假字用格	本居宣長撰 安永五 和・大	一	ホ	二	三六八	一
同		一	ホ	二	四三八	一
字音假字用格	本居宣長撰・山崎美成校（天保一三） 和・小	一	ホ	二	四七七〇	一
字音假字用格	本居宣長撰・山崎美成校 和・中	一	ホ	二	四七六九	一
字音假字用格	本居宣長撰・同豐顯校 洋・中（本居宣長全集）	一	イ	四	四〇四 五	一
字音假字用格	本居宣長撰・同清造校 洋・中（補本居宣長全集）	一	イ	四	一二〇八 九	一
字音假字用格辨誤 四卷	大澤貴撰 明治一九 和・中	四	ホ	二	一二〇八	一
字音假名遣便法	大島正健撰 明治二五 洋・小	一	ホ	二	四二三三	一
字音假名遣問題	藤村作撰 洋・中（國語問題と英語科問題）	一	ホ	二	四六八〇	一
字音假名便覽	泊洒舍主人編 和・小（明治三）	一帖	ホ	二	四九九	一
訂字音假字便覽	岡野伊平編 明治一七 和・中	一	ホ	二	一一三	一
字音新假名遣に就いて	三矢重松撰 洋・中（國語の新研究）	一	ホ	二	四四〇四	一
字音問答案	黒川眞頼撰 洋・中（國書刊行會叢書本黒川眞頼全集）	一	イ	四	七三四 六	一
和漢字名錄 二卷 天明六	藤井常枝撰 和・大	四	ホ	二	三一四	一

○

送假名法	內閣官報局編・速記彙報發行所刊（明治二三） 洋・中	一	ホ	二	四七四	一
同		一	ホ	二	四三八八 九	一
送假名法	內閣官報局編・八尾書店刊 明治二七 洋・中	一	ホ	二	四三九〇	一
同		一	ホ	二	七四〇	一
送假名法	國語調查委員會編 明治四〇 洋・小	一	ホ	二	四四七六	一
送假名法	國語調查委員會編 昭和一〇 纏刻二一版 洋・中	一	ホ	二	四四〇四	一
送假名法	三矢重松撰（國語の新研究） 洋・中	一	ホ	二	四五三二	一
假名遣文典 正しい使ひ方	田中濱乎撰 服部嘉香撰 昭和一一 洋・小	一	ホ	二	四六六四	一
同	田中濱乎撰 明治二三 和・小	一	ホ	二	四六六六	一
假名交文典	田中濱乎撰 明治二三 再版 和・小	一	ホ	二	四六六	一
假名交り文の起源	吉澤義則撰 洋・中（國語說鈴）	一	ヘ	二	四三二一	一
副假字法規 一名送り假名用法	濱田健二郎撰 明治二〇 洋・小	一	ホ	二	四七三	一
同		一	ホ	二	四六六五	一
正しい國語の知識 漢字と送假名の遣ひ方	佐伯常麿撰 昭和一三 洋・小	一	ホ	二	四五五三	一

○

王朝時代に於ける博士家使用ヲコト點譜	吉澤義則撰（新村教授支那學論叢） 洋・大	一	イ	四	一四一四	一
王朝時代に於ける博士家使用ヲコト點譜	吉澤義則撰 洋・大（國語說鈴）	一	ヘ	二	四三二一	一
乎古止點譜	寫本 和・中（古點譜ト同綴）	一	ホ	二	＊四七三三	一
乎古止點譜	洋・中（續々群書類從）	一帖	イ	四	五五三 一〇	一
假名遣及假名字體沿革史料 第二編 大正一〇至一二	大矢透編 和・大	一	ホ	二	一〇〇一	一
假名遣及假名字體沿革史料	大矢透編 明治四二 和・大	三	ホ	二	＊一六二七	一
漢文訓讀と國文法	山田孝雄撰（國語科學講座） 洋・中	一	ホ	二	四四二六 三	一
漢字の訓解と校勘の學	岡井愼吾撰（近世日本の儒學） 洋・中	一	口一二		三三五八	一
漢文の訓讀によりて傳へられたる語法 附錄浦鹽斯德	大學教授オヴィデイエフ氏の問に答ふ 山田孝雄撰 昭和一〇 洋・中	一	ホ	二	四六七七	一
同		一	ホ	二	四六七八	一
漢文の訓讀法	內野台嶺撰 洋・中（國語學講座 國語教育）	一	ホ	二	四四七六 七	一
漢文和讀例 二卷	權田直助撰・井上頼圀・逸見仲三郎校 明治三六 洋・小	一	ホ	二	四三九一	一
訓點復古 二卷（天保六）	日尾瑜撰 和・大	二	ホ	二	四七三九	一
桂菴和尙家法倭點 附解題	明治四一 和・中	二	ホ	二	四七三四	一
桂菴和尙家法倭點	寫本 和・中	一	ホ	二	四七三五	一
國語漢文模範 一名和漢文對照 明治三六	長尾永五郎撰 洋・中	一	ホ	二	七七七	一

古點譜 寫本 和・中 （國書刊行會原稿本） 冊 ホ 二 類 ＊四七三 號

古點譜 洋・中 （續々群書類從） 一 イ 四 五五三 一〇

點例 貝原篤信撰 享保六 和・小 一 イ 四 七四〇 一

點例 二卷 貝原篤信撰 洋・中 （益軒全集） 一 イ 四 一三七

金光明最勝王經註釋の古點について 春日政治撰 洋・中 （日本文學論纂） 一 ヘ 二 四三四〇

西大寺本金光明最勝王經の白點について 春日政治撰 洋・中 （九大法文學部哲學史學文學論文集） 一 イ 四 一三七

同 一 イ 四 一三九

聖語藏御本中觀論の古點について 春日政治撰 洋・中 （京都帝國大學二十五周年記念論文集） 一 ヘ 二 四三九三

尚書及び日本書紀古鈔本に加へられたる乎古止點に就て 附日本書紀古文尚書（訓點ヲ加ヘタル眞狀ヲ示ス、岩崎文庫本複製、一・二冊）書紀九枚・僞書三枚） 吉澤義則撰 和・中 ホ 二 ＊四七四〇 包

尚書及び日本書紀古鈔本に加へられたる乎古止點に就きて 吉澤義則撰 洋・中 （國語國文の研究） 一 ホ 二 四三六一

諸家點圖 和・大 （群書類從） 一 イ 四 四八八 六二三

諸家點圖 洋・小 （經濟雜誌社本群書類從） 一 イ 四 二三五 一八

聖語藏本唐寫阿毗達磨雜集論の古點について 春日政治撰 洋・中 （京都帝國大學文學部創設卅年記念論文集） 一 ホ 二 四七二八

眞言宗の乎古止點 吉澤義則撰 洋・中 （國語國文の研究） 一 ホ 二 四三六一

大唐三藏玄奘法師表啓の訓點 吉澤義則撰 洋・中 （國語國文の研究） 一 ホ 二 四三六一

點本書目 吉澤義則撰 洋・中 （岩波講座日本文學） 一 ヘ 二 四三一八 五

語 五八

冊 ホ 二 類 四七三 號

點例 二卷 貝原篤信編 享保五 和・小

點例 貝原篤信撰 享保六 和・小 一 ホ 二 四七三二

點例 二卷 貝原篤信撰 洋・中 （益軒全集） 一 イ 四 七四〇 一

本願寺本教行信證點注の筆者に就いて 吉澤義則撰 洋・中 （國語國文の研究） 一 ホ 二 四二六一

萬葉集の語釋と漢文の古訓點 橋本進吉撰 洋・中 （日本文學論纂） 一 ヘ 二 四三四〇

譯文童のさとし 二卷 伊藤蹊（資芳）撰 寬政六 和・大 一 ホ 二 四七〇〇

同 二 ホ 二 四七三三

論語を中心として觀たる訓點の變遷 內野台嶺撰 洋・中 （松井博士古稀記念論文集） 一 ヘ 二 四三四五

倭點法華經 八卷 心空編 應永廿年刊本影印—昭和九 洋・小 （日本古典全集） 二 イ 四 一三〇 一八三—一八四

倭讀要領 三卷 太宰純撰 享保一三 和・中 三 ホ 二 四七三六

同 三 ホ 二 四七三八

倭讀要領 大宰純撰 寫本 和・中 一 ホ 二 四七三七

語原・語釋

語原

鄕土地名新研究 アイヌ語で見た日本地名 菱沼右一撰 昭和一四 洋・小 一 ル 三 三〇七

アイヌ語と國語 金田一京助撰 洋・中 （國語科學講座） 一 ホ 二 四四二六 四

新しい語原解釋の字引 服部嘉香撰 大正一五 洋・小 一 ホ 二 四二五九

ウタの語原諸說 新村出撰 洋・中 （日本文學論纂） 一 ヘ 二 四三四〇

圓珠庵雜記 契沖撰 洋・中 （契沖全集） 一 ヘ 二 四三一八 八

圓珠庵雜記 契沖撰 洋・中 （百家說林） 一 イ 四 四七六 一

圓珠庵雜記 契沖撰 洋・中 （日本隨筆全集） 一 イ 五 一一三三 二

圓珠庵雜記 契沖撰 洋・小 （日本隨筆大成） 一 イ 五 一一二八 一五

應聲考 伴信友撰 洋・中 （伴信友全集） 一 イ 四 六四六 三

外來語 楳垣實撰 洋・中 （國語文化講座） 一 ホ 二 四七五一 二

訂正增補外來語辭典 附新語及神話小解 大正八 一〇版 勝屋英造編 洋・小 一 ホ 二 一六六三

外來語辭典 荒川惣兵衛編 昭和一六 洋・小 一 ホ 二 四七四九

外來語と俳句 新村出撰 洋・中 （俳句講座） 一 ヘ 五 四三五九 一〇

外來語の研究 新村出撰 洋・中 （南蠻更紗） 一 ホ 二 一六五三

外來語の研究 隱語の話

誤寫の話 聯想の書損ひに及ぼす影響の實例

動物名に因んだ古代の人名

大日本古文書の奴婢帳に現はれたる年齡の錯誤

古代釀酒雜考 附錄・前田君の追憶・著作年表

雅言考 橘守部撰 洋・中 （橘守部全集） 一 イ 四 二一六七

假名名稱考 上田萬年撰 洋・中 （國語のため） 一 ホ 二 六〇八 二

近世輸入服飾品と其名稱 新村出撰 洋・小 （南蠻更紗） 一 ヘ 一〇 一〇九三

言元梯 大石千引撰 天保五 和・大 一 ホ 二 一二〇九

言語哲學 濱田健次郎撰 明治二〇 洋・小 一 ホ 二 六一四

元始日本語 中村烏堂撰 昭和一一 洋・中 一 ホ 二 四四八二

語學 二 國語 語原・語釋（語釋）

語彙の變遷 新村出撰 洋・中 （國語文化講座） 一 ホ 二 四七五一 二

國語溯原 大矢透撰 明治三二 和・中 一 ホ 二 七二九

國語と西洋語 重久篤太郎撰 洋・中 （日本近世英學史） 一 ホ 六 二〇三八

國語に及ぼした英語の影響 楳垣實撰 昭和八 洋・中 （英語英文學講座） 一 ホ 六 一九〇四 四

國辭解便蒙 二卷 大村光枝撰 寬政六 和・大 二 ホ 二 五八一

同 二 ホ 二 六五九

同 二 ホ 二 四二九八

語原雜話 新村出撰 洋・中 （南蠻更紗） 一 ヘ 一〇 一〇九三

古代國語語源論と古傳說 菊澤季生撰 洋・中 （日本語學振興委員會研究報告） 一 イ 四 一三六八 三

語頭グライド臆說 石黑魯平撰 洋・中 （安藤教授支那學論叢） 一 ホ 二 四七二八

溯源語彙 松村任三撰 大正一〇 洋・中 一 ホ 二 一六三七

邇言考 三卷 寫本 道齋中和撰・寔興校訂 一 ホ 二 四一二

西洋語と國語 重久篤太郎撰 洋・中 （國語科學講座） 一 ホ 二 四四二六 四

大言海 四卷・索引一卷 大槻文彥撰 昭和七至一二 洋・大 五 ホ 二 四四〇九

內鮮一體懷古資料 朝鮮の國名に因める名詞考 今村鞆撰 朝鮮總督府中樞院調査課刊 昭和一五 洋・中 一 ホ 二 四七三〇

「邸」の字音と「問」の語原 新村出撰 洋・大 （狩野教授支那學論叢） 一 イ 四 一四一四

東亞語原誌 南北に系統を引く日本語外二六篇・附著者撰述 他書散見單語誌要目 新村出撰 昭和五 洋・中 一 ホ 二 四三三〇

唐音十八考 中山久四郎撰 洋・大 （東京文理科大學文科紀要） 一 サイ 四三 一

唐音の意義功用及び「華音之名師」岡島冠山について　中山久四郎撰（東洋史論叢）　洋・大　一冊　リ　類　四六八　號

東洋言語學の研究　日本語の大陸還元外一九篇　中島利一郎撰　昭和一六　洋・中　一　ホ　一　一八九二

「登陀流」「血垂」考　わが古代國語におけるアウストロネジヤ語系要素の一例　安藤正次撰　洋・中（古典と古語）　一　ホ　二　一三八五

日本外來語辭典　上田萬年等編　大正四　洋・小　一　ホ　二　四四七〇

日本語かアイヌ語か　新村出撰　洋・中（東方言語史叢考）　一　ホ　一　一八五二

日本語原　井口丑二撰　大正一五　洋・中　一　ホ　二　四二二〇

日本語源　二卷　賀茂百樹撰　昭和一四・一五　洋・中　二　ホ　二　四五五〇

日本語原學　林甕臣撰・同武臣編　昭和七　洋・中　一　ホ　二　四四一七

日本語原の研究　林甕臣撰　大正四　三版　洋・中　一　ホ　二　四二一五

日本語原の心理的解釋　安井洋撰　昭和一二　洋・小　一　ホ　二　四五三七

日本古語大辭典　二卷　松岡靜雄編　昭和四　洋・中　二　ホ　二　四二八八

同　增補日本古語大辭典　松岡靜雄編　昭和一二　洋・大　一　ホ　二　四五五〇

日本語となつた英語　（九三年に於ける我國外來語の總記錄）　荒川惣兵衛編註　昭和六　洋・小　一　ホ　二　四七五四

日本語に及ぼした和蘭語の影響について　齋藤靜撰　洋・中（言語研究）　一　ホ　一　一八七三

日本釋名　三卷　貝原篤信撰（益軒全集）　洋・中　一　イ　四　七四〇

日本の言葉　日本人と南洋外二五篇　昭和一六　八版　洋・小　新村出撰（創元選書本）　一　ホ　二　四七〇七

日本の言葉　日本人と南洋外二五篇　昭和一六　二〇版　洋・小　新村出撰（創元選書本）　一　ホ　二　四七二七

比較言語　松本重彥撰　洋・中（岩波講座日本歷史）　一　リ　類　四六八　號

梵語と國語　長井眞琴撰　洋・中（國語科學講座）　一　ホ　二　四四二六

本朝辭源　三卷　宇田甘冥撰・堀越愛國校　（明治五）　和・小　三　ホ　二　六九九

本朝辭源　上・中　宇田甘冥撰・堀越愛國校　（明治四）　和・小　二　ホ　二　六五

本朝辭源　上　宇田甘冥撰・堀越愛國校　（明治四）　和・小　一　ホ　二　四六七四

馬來化した梵語と日本化した南洋語　三吉朋十撰　洋・中　一　ホ　一〇　一七二一

橫濱方言洋語考　重久篤太郎撰　洋・中（日本近世英學史）　一　ホ　六　二〇三八

蘭說辨惑　大槻茂質撰　洋・中（國書刊行會叢書ノ內文明源流叢書）　一　イ　四　七六五　四七

蘭說辨惑　大槻茂質撰　洋・中（磐水存響）　一　イ　四　八二六　一

琅玕記　うぶすな考外六〇篇　昭和五　新村出撰　洋・小　一　ヘ　一〇　四三五二

和訓考　二卷　如是觀撰（文政九）　和・大　二　ホ　二　一二〇七

語釋　「あそぶ」の語義について　安藤正次撰　洋・中（日本文化史論纂）　一　リ　四　四八五〇

「天のみかげ・日のみかげ」の解釋　中島光邑撰　洋・中（國文學と日本精神）　一　ホ　二　四四一八

安寧天皇御陵名義私考　生田耕一撰　洋・中（金澤博士東洋語學乃研究）　一　ホ　二　四四一八

異論のある單語　湯澤幸吉郎撰　洋・中（國語學論考）　一　ホ　二　四五九六

「宇禮牟曾」考　安藤正次撰　洋・中（金澤博士東洋語學乃研究）　一　ホ　二　四四一八

おつとつて・さしわたし　佐藤鶴吉撰　洋・中（松井博士古稀記念論文集）　一　ヘ　二　四三四五

歌詞考　小山田與清撰　洋・小（隨筆文學選集）　一　イ　五　一一二四

かにかくに欲しきまにまに考　松村一雄撰　洋・中（土橋教授記念國文集）　一　ホ　二　四七二八

鐘廼比備起　三卷　橘守部撰　天保一〇和・大　三　ヘ　二　一一八八

鐘廼比備起　三卷　橘守部撰　洋・中（橘守部全集）　一　イ　四　一二六七　八

神奈備考　安藤正次撰　洋・中（古典と古語）　一　ヘ　二　四四七〇

紀元節所感　「いすくはし・くちらの語釋」　新村出撰　洋・小（典籍叢談）　一　イ　一　一七六一

久邇門致考　賀茂眞淵撰　洋・中（賀茂眞淵全集）　一　ヘ　二　六二三　四

語彙論集　言靈のさきはふ國外五項　洋・中（國語の新研究）　三矢重松撰　一　ホ　二　四四〇四

國語異同辯　東亞堂編輯所編　明治三八　再版　和・小　一　ホ　二　三六二

國語に宿る尊い心理　高橋龍雄撰　洋・中（金澤博士還曆記念東洋語學乃研究）　一　ホ　二　四四一八

古語の新研究　（序稱篇（麻呂「麻呂」の關明・其の他）　佐藤仁之助撰　昭和六　洋・中　一　ホ　二　四三五七

同　古言類韻　一二卷　堀秀成撰・藤岡好古校　洋・中　一　ホ　二　一三〇七

胡沙考　金田一京助撰（日本文學論纂）　洋・中　一　ヘ　二　四三六四

「侍」字訓義考　安藤正次撰（國文學研究）　洋・大　一　ヘ　二　四三〇六

「侍」字訓義考　安藤正次撰（古典と古語）　洋・中　一　ヘ　二　四四七〇

袖中抄　二〇卷　顯昭撰（歌學文庫）　洋・中　一　イ　四　四三九六　一

袖中抄　第一至一〇卷　寫本　顯昭撰　和・大　五　ヘ　四　六四六

熟語の研究　特に身體の部分的名稱を應用したものに就いて　橫山辰次撰　洋・中（藤岡博士言語學論文集）　一　ホ　一　一八九四

梨のもと集　三卷　繪入　戸田茂睡撰（元祿一二）　和・大　一　ヘ　四　＊四一四七

梨本集　三卷　戸田茂睡撰（續々群書類從）　洋・中（安藤正次撰（古典と古語））　一　イ　四　五五三　一五

助辭音義考　二卷　堀秀成撰・藤岡好古校　洋・中（音義全書ノ內音圖大全解附錄）　一　ホ　二　一三〇七

神名考　二卷　堀秀成撰・藤岡好古校　洋・中（音義全書）　一　ホ　二　一三〇七

清石問答　清水濱臣問・石川雅望答　寫本　和・中　一　ホ　二　七六六

そほ考　筑紫豐撰　洋・中（金澤博士還曆記念東洋語學乃研究）　一　ホ　二　四四一八

多賀禰考　安藤正次撰　洋・中（古典と古語）　一　ヘ　二　四四七〇

玉あられ　本居宣長撰・同豐穎校　洋・中（本居宣長全集）　一　ホ　二　五六

玉あられ　本居宣長撰　寬政四　和・大　一　ホ　二　三六四

玉あられ　本居宣長撰　寬政一一　和・大　一　ホ　二　三六四

玉あられ　本居宣長撰・同清造校　洋・中（增補本居宣長全集）　一　イ　四　四〇四　六

玉あられ　本居宣長か書る玉あられを見てあはつくろふをちこち・附本居宣長附論　玉霰附論　三井高蔭撰　文化一二　和・大　一　イ　四　一二〇八　九

玉霰窓の小篠　二編五卷　中島廣足撰　明治二一　和・中　五　ホ　二　四〇八

辨玉霰論　三井高蔭撰　寫本　和・大　一　ホ　二　六五八

辨玉霰論　三井高蔭撰　寫本　和・中　一　ホ　二　六六〇

辨玉霰論　三井高蔭撰　寫本　和・大　一　ホ　二　六五八

足土根記　若林進居撰（日本文庫）　洋・小（少部必讀）　一　イ　四　一二五

同　答問雜稿　三卷　清水濱臣撰（日本隨筆大成）　洋・小　一　イ　四　一二五八

奈加張の考　吉田增藏撰（日本文學論纂）　洋・中　一　イ　五　一二二八

木 語學 二 國語 語原・語釋（語釋—一般・枕詞）

南留別志 荻生雙松撰 洋・中（百家說林） 冊一 類四 號四七六 イ 一 四 一二三 二
南留別志 荻生雙松撰 洋・小（日本隨筆大成） 一 イ 五 一二三 二
南留別志 荻生雙松撰 和・大（直道翁叢書） 一 イ 四 ＊七七五 二〇五 四 ＊七七五 二〇五
南留別志の辨 洋・小（近古文藝叢書） 一 イ 四 一二六 五 四 一二六 五
南留別志の辨 洋・小（日本隨筆大成） 一 イ 五 一二三 二 五 一二三 二
非なるべし 二卷 富士谷成章撰 洋・小（日本隨筆大成） 一 イ 五 一二八 二 五 一二八 二
難語十則 湯澤幸吉郎撰 洋・中（國語學論考） 一 ホ 二 四五九六 二 四 四五九六 二
日語古徴 二卷 清・但謀編 宣統二 洋・小 一 ホ 二 一〇九七 二 四 一〇九七 二
「はすは」の考 瀧田貞治撰 洋・中（安藤教授記念論文集） 一 ホ 二 四七 一 四 四七 一
濱千鳥 二卷 堀秀成撰・藤岡好古校 洋・中（音義全書） 一 ホ 二 一三〇 二 四 一三〇 二
「腹ゐ（い）る」とその關係語 湯澤幸吉郎撰 洋・中（國文學と日本精神） 一 ヘ 二 四四 一 四 四四 一
「末爲流」原義考 安藤正次撰 洋・中（古典と古語） 一 ヘ 二 四四 一 四 四四 一
萬葉集の「吾をねし泣く」「吾をねし泣くる」の一解釋 森本治吉撰 洋・中（日本文學論纂） 一 ヘ 二 四四 一 四 四四 一
萬葉卷十四「於可禮」私解 森本治吉撰 洋・中（國文學と日本精神） 一 ヘ 二 四四 一 四 四四 一
無垢衣考 山東京傳撰 洋・中（續燕石十種） 一 イ 四 大一二 二 四 大一二 二
「ものゆゑ」といふ語の意義について 藤繩一撰 洋・中（上代の國語國文學） 一 ホ 二 四 七 四 七
八雲御抄 六卷 順德帝御撰 寬文一〇 和・大 七 ヘ 四 二 四 七
八雲御抄 六卷 順德帝御撰 和・大 七 ヘ 四 二 四 七

同
八雲御抄 六卷 順德帝御撰 洋・中（列聖全集） 冊一 類四 號四七六 イ 四 四 一二三 二
やまとことは 和・小 一 ヘ 四 ＊七七五 二〇五
山響册子 一名難語考・初編三卷 天保一〇 和・大 三 ホ 二 六二〇
山彦册子 一名難語考 三卷 橘守部撰 洋・中（橘守部全集） 一 イ 四 一一六七 八
類語或門 堀秀成撰・藤岡好古校 洋・中（音義全書） 一 ホ 二 一三〇七 一
和訓精要抄 寫本 和・大 一 ホ 二 六六五 二
「わりなき人」、芭蕉 荻原藤吉撰 洋・中（金澤博士東洋語學乃研究） 一 ホ 二 四四一八 二

○
冠辭考 賀茂眞淵撰 寬政七 再刻 和・大 一〇 ヘ 四 一三 二
冠辭考 賀茂眞淵撰 洋・中（賀茂眞淵全集） 一 ヘ 二 六二三 二
冠辭考續貂 七卷 上田秋成撰 寬政八 和・大 七 ヘ 四 四六九三 二
冠辭考續貂 七卷 上田秋成撰 洋・中（上田秋成全集） 一 イ 四 八八二 一一
冠辭考續貂 七卷 上田秋成撰 洋・中（賀茂眞淵全集） 一 ヘ 二 六二三 二
上田秋成の「冠辭考續貂」について 都留長彥撰 洋・中（安藤教授還曆記念論文集） 一 ホ 二 四七二八 二
增補冠辭例 二卷 松山眞主編 天保五 新增補改刻 和・小 一 ヘ 四 四六九七 二
增補冠辭例 二卷 松山眞主撰 洋・小 一 ヘ 四 三八四五 二
枕詞增補詞艸小苑 建部綾足原撰 享保四 求版 和・小 一 ヘ 四 五八〇 二
詞草正採鈔 契沖撰 洋・中（契沖全集） 一 ヘ 二 四二四四 七

續冠辭考 別記共 洋・中 二卷 服部高保撰 賀茂眞淵全集） 一 ヘ 二 六二三 二
續冠辭考 別記共 洋・中 二卷 服部高保撰 賀茂眞淵全集） 一 ヘ 二 六三三 二
枕詞集覽 佐々木弘綱註・岡野伊平編 洋・小（統日本古典文學全集・枕詞字典ノ内） 一 ヘ 二 四三九 二
枕詞燭明抄 三卷 下河邊長流撰 洋・中（長流全集） 一 ヘ 二 四二四四 一〇
枕詞燭明抄 三卷 下河邊長流撰 和・大 三 ヘ 四 一五八七 一
同
枕詞の研究と釋義 福井久藏撰 昭和二 洋・中 一 ヘ 四 四三五七 一
萬葉時代の枕詞について 豐田八千代撰 洋・中（金澤博士東洋語學乃研究） 一 ホ 二 四四 一 四 四四 一
萬葉集枕詞解 鹿持雅澄撰 和・大（萬葉集古義附錄） 五 ヘ 四 一〇〇—一〇四 一 四 三七九 五
和歌枕詞補註 二卷 尾崎雅嘉撰 寬政一〇 和・小 二 ヘ 四 四三四 一 四 四三四 一
和歌枕詞補註 二卷 尾崎雅嘉撰 和・小 二 ヘ 四 一五八 一 四 一五八 一

俗語・方言

俗語（俚諺（總記）〈ハ文學ノ一參照〉）

雅俗語識別の時期 吉澤義則撰 洋・中（國語國文の研究） 一 ホ 二 四四二六 七 一 ホ 二 四四二六 七
諺語大辭典 藤井乙男編 大正一五 一九版 洋・中 一 ヘ 一 四三〇五 一 ヘ 一 四三〇五 一
同 一 ヘ 一 四三〇四 一 ヘ 一 四三〇四 一
國語位相論 菊澤季生撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ 二 四四二六 一 ホ 二 四三一 三
詞葉新雅 富士谷御杖撰 昭和一五 洋・中（富士谷御杖集） 一 イ 四 一三五七 五 一 イ 四 一三五七 五
俗語考 橘守部撰 洋・中（橘守部全集） 二 イ 四 一一六七 九—一〇 二 イ 四 一一六七 九—一〇

方言（琉球語〈參照〉）

アクセントと方言 服部四郎撰 洋・中（國語科學講座） 一 ホ 二 四四二六 七 一 ホ 二 四四二六 七
音韻調査報告書 附音韻分布圖（二九枚） 吉澤義則撰 洋・中（國語國文の研究） 一 ホ 二 三一六 一 ホ 二 三一六 一
音韻分布圖 二九枚 國語調査委員會編 （明治三八）（音韻調査報告書附錄） 冊一 箱一 ホ 二 一六八九 冊一 箱一 ホ 二 一六八九
蝸牛考 附蝸牛異稱分布圖 柳田國男撰 昭和五 洋・中（言語誌叢刊本） 一 ホ 二 四三二一 一 ホ 二 四三二一
刊行方言書目 東條操編 洋・小（方言と方言學附錄） 一 ホ 二 四五六三 一 ホ 二 四五六三
口語法調査報告書 附口語法分布圖（三七枚） 國語調査委員會編 明治三九 洋・大 冊一 箱二 ホ 二 七三九 冊一 箱二 ホ 二 七三九

方言

同 一 ヘ 一 四四九八 一 ヘ 一 四四九八

語學消滴 新村出撰 洋・中 (東方言語史叢考) 一冊 ホ一 類一八五二 號

國語アクセントの地方的分布 金田一春彥撰 洋・中 (標準語と國語教育) 一 ホ二 四六一三

國語史 新語篇 昭和一一 柳田國男撰 洋・小 一 ホ二 四五〇三 六

國語史の方言的研究 奥里將建撰 昭和八 洋・小 一 ホ二 四四二八

國語方言概說 東條操撰 洋・中 (日本文學講座) 一 ヘ二 四四一九

洒落本に現れたる方言の考察 東條操撰 洋・中 (近世文學の研究) 一冊 折一・一 ヘ二 四四六五

大日本方言地圖 國語の方言區劃添 昭和七 三版 東條操撰 洋・中 一 ホ二 四四八八

東西兩京の言葉戰ひ 吉澤義則撰 洋・中 (國語說鈴) 一 ヘ二 四三一

日本諸方言に於ける血緣語彙の展望 宮良當壯撰 洋・中 (日本文化史論纂) 一 リ四 四八五〇

標準語と方言 東條操撰 洋・中 (標準語と國語教育) 一 ホ二 四四二六 七

方言 東條操撰 洋・中 (國語文化講座) 一 ホ二 四四二六 七

方言學 東條操撰 洋・中 (岩波國語教育講座) 一 ホ二 四五〇二

方言學概說 東條操撰 洋・中 (國語科學講座) 一 ホ二 四四二六 七

方言學概論 橋正一撰 昭和一一 洋・小 一 ホ二 四四八八

方言研究と方言文學 東條操撰 洋・中 (日本文學講座) 一 ヘ二 四三八 五

方言研究の概觀 東條操撰 洋・中 (岩波講座日本文學) 一 ヘ二 四三一

方言地理學の方法 赤城南麓方言の分布 昭和一六 上野勇撰 洋・中 一 ホ二 四七二九

方言讀本 橘正一撰 昭和一二 洋・小 一 ホ二 四五二九

標準語と方言 東條操撰 洋・中 (標準語と國語教育) 一 ホ二 四四二六 七

方言と方言學 附刊行方言書目外一篇 昭和一三 東條操撰 洋・小 一 ホ二 四五六三

○

青森・秋田兩縣方言に於けるP音の研究 宮良當壯撰 洋・中 (安藤教授還曆祝賀記念論文集) 一 ホ二 四七一八

Isaac Titsingh, Eenige Japansche Woorden 百六十年前の長崎方言資料 吉町義雄撰 洋・中 (安藤教授還曆祝賀記念論文集) 一 ホ二 四七一八

秋長夜話 抜抄 香川叢臣撰 洋・中 (國語學大系) 一 ホ二 四五五九 二〇

壹岐島方言集 山口麻太郎編 昭和五 洋・中 (言語誌叢刊本) 一 ホ二 四三二〇 一

續壹岐島方言集 附語彙正續索引 昭和一二 山口麻太郎編 洋・中 一 ホ二 四三一〇 二

伊豫松山方言集 一名昭和の濱荻 昭和一三 岡野久胤編 洋・小 一 ホ二 四五五七

越後方言考 小林存撰 昭和一二 洋・中 一 ホ二 四七六

越佐方言集 田中勇吉編 明治二五 和・中 一 ホ二

同

江戶言葉の研究 浮世風呂・浮世床の語法 昭和一一 山田正紀撰 洋・小 一 ホ二 四四一 三

大分縣方言の研究 三ヶ尻浩撰 昭和一二 洋・中 一 ホ二 四五四一

奥州本義經記の考察 湯澤幸吉郎撰 洋・中 (松井博士古稀記念論文集) 一 ヘ二 四三四五

御國通辭 服部武喬撰 洋・中 (南部叢書) 一 イ四 一一二九 一〇

御國通辭 服部武喬撰 洋・中 (國語學大系) 二 ホ二 四五五九 二〇

尾張方言 由本格安撰 洋・中 (國語學大系) 一 ホ二 四五五九 一九

甲斐方言稿本 一名山梨縣方言辭典 洋・中 (甲斐志料集成) 羽田一成編 一 イ四 一三九二 三

加賀なまり 竹中邦香撰 洋・中 (國語學大系) 一 ホ二 四五五九 二〇

鹿角方言集 内田武志編 昭和一一 洋・中 (言語誌叢刊本) 一 ホ二 四四九四

かたこと 五卷 安原貞室撰 洋・小 (日本古典全集) 一 イ四 一三二〇 一七二

かたこと 五卷 安原貞室撰 洋・中 (國語學大系) 一 ホ二 四五五九 一九

關東地方の方言分布 東條操撰 洋・中 (日本諸學振興委員會研究報告) 一 ヘ二 四四二八

關東方言の區劃 東條操撰 洋・中 (日本諸學振興委員會研究報告) 一 イ四 一三六八 三

喜界島方言集 岩倉市郎撰・柳田國男編 昭和一六 洋・中 (全國方言集本) 一 ホ二 四七五七

菊池俗言考 二卷 永田直行撰 洋・中 (國語學大系) 一 ホ二 四五五九 二〇

北飛驒の方言 荒垣秀雄撰 昭和七 洋・中 (言語誌叢刊本) 一 ホ二 四三七六

九州の方言 吉町義雄撰 洋・中 (國語科學語座) 一 ホ二 四四二六 七

九州方言及び琉球方言における代名詞の研究 安田喜代門撰 洋・中 (金澤博士還曆記念東洋語學乃研究) 一 ホ二 四四一八

九州方言通信調査概要 吉町義雄撰 洋・中 (九州帝國大學法文學部十周年記念哲學史學文學論文集) 一 イ四 一三七九

教行信證の訓點は坂東語か 吉澤義則撰 洋・中 (國語國文の研究) 一 ホ二 四三六一

「近世江戶語の語法」抄 荒川正一撰 洋・中 (日本大學文學科研究年報) 一 ヘ一 四四一五 三

神戶方言集 鹿谷典史編 昭和一四 再版 洋・小 一 ホ二 四五八七

國語に於ける東國方言の位置 新村出撰 洋・中 (東方言語史叢考) 一 ホ一 一八五三

滋賀縣方言集 大田榮太郎編 昭和七 洋・中 (言語誌叢刊本) 一 ホ二 四三七七

靜岡縣方言誌 分布調査第一・二輯 内田武志編 昭和一一・一二 洋・中 (アチックミューゼアム彙報本) 二 ホ二 四五九九

動植物篇(分布圖附) 一 童幼語篇(分布圖附) 二

方言と和歌 東條操撰 洋・中 (短歌講座) 一冊 ヘ 類四 四四三四 一〇

方言の調べ方に關する注意 新村出撰 洋・中 (東方言語史叢考) 一 ホ一 一八五二

方言の成立 柳田國男撰 洋・中 (安藤教授記念論文集) 一 ホ二 四七二八

方言の成立 柳田國男撰 洋・小 (國語の將來) 一 ホ二 四五八二

本州西部の方言 東條操撰 洋・中 (國語科學講座) 一 ホ二 四四二六 七

本州東部の方言 橘正一撰 洋・中 (國語科學講座) 一 ホ二 四四二六 七

萬葉集と方言 東條操撰 洋・中 (萬葉集講座) 一 ヘ四 四四七三 三

明治以後の方言研究 東條操撰 洋・中 (金澤博士東洋語學乃研究) 一 ホ二 四四一八

○

居住習俗語彙 柳田國男・山口貞夫編 昭和一四 洋・小 一 ヲ六 三五三

禁忌習俗語彙 柳田國男編 昭和一三 洋・小 一 ヲ六 三二五一

婚姻習俗語彙 柳田國男・大間知篤三編 昭和一二 洋・小 一 ヲ六 三一四〇

歲時習俗語彙 柳田國男編 昭和一四 洋・小 一 ヲ六 三二五三

校本物類稱呼 諸國方言索引 昭和二 吉澤義則編 洋・中 一 ホ二 四四三一

全國方言集 靜岡縣警察部刑事課編 昭和八 洋・小 一 ホ二 四四四六

服裝習俗語彙 柳田國男編 昭和一三 洋・小 一 ヲ六 三二四八

物類稱呼 五卷 越谷秀眞編 安永四 和・中 五 ホ二 六一九

物類稱呼 五卷 越谷秀眞編 洋・小 (日本古典全集) 一 イ四 一三二〇 一七二

方言雜集 小林一茶編 大正一五 再版 洋・小 (一茶叢書) 一 ヘ五 四二五六 二

志不可起 七卷(卷一缺) 洋・中 (國語學大系)		一	ホ	二	四三九三
志布志方言の研究と鹿兒島方言文獻目錄 新谷恒藏撰 洋・中 (京都帝國大學文學會)		一	ホ	二	四五五九 一九
莊內語 三矢重松撰 洋・中 (國語の新研究)		一	ホ	二	四四〇四
莊內語及語釋 附莊內方音攷(氏家剛太夫)・濱荻(堀季雄) 三矢重松撰 昭和五 洋・中 (言語誌叢刊本)		一	ホ	二	四三三三
新撰大阪詞大全 洋・中 (國語學大系)		一	ホ	二	四五五九 二〇
仙臺言葉以呂波寄 猪苗代兼郁撰 洋・中 (國語學大系)		一	ホ	二	四五五九 一九
仙臺の方言 附標準口語と仙臺方言との對照他二篇 土井八枝撰 昭和一三 洋・小		一	ホ	二	四五六二
仙臺方言音韻考 附濱荻(匡子)・同補遺 昭和七 洋・中 (言語誌叢刊本) 小倉進平撰		一	ホ	二	四三七四
仙臺方言音韻論試作 小林秀夫撰 洋・小 (言語學方法論考)		一	ホ	一	一八六五
仙臺方言集 眞山青果(杉)編 昭和一一 洋・中 (言語誌叢刊本)		一	ホ	二	四四九五
丹波通辭 洋・小 (日本古典全集)		一	イ	四	一三二〇 一七二
筑紫方言 洋・中 (國語學大系)		一	ホ	二	四五五九 二〇
東京語批判 柳田國男撰 洋・中 (標準語と國語教育)		一	ホ	二	四六一三
東國方言沿革考 新村出撰 洋・中 (東方言語史叢考)		一	ホ	一	一八五二
東語例 物集高世編 明治三三 和・中		一	ホ	二	四二五二
德川時代言語の研究 上方篇 昭和一一 洋・中 湯澤幸吉郎撰 (言語誌叢刊本)		一	ホ	二	四四九八
登古路言葉 洋・中 (國語學大系)		一	ホ	二	四五五九 二〇
土佐方言集 附もんぢやない集 昭和一二 洋・小 宮地美彥編		一	ホ	二	四五四七
杜陵方言考 洋・中 小本村司撰 (南部叢書)		一	イ	四	一二九 一〇
長野縣に於ける土語分布例 洋・中 東條操撰 (安藤教授還曆祝賀記念論文集)		一	ホ	二	四七二八
浪花聞書 洋・小 (日本古典全集)		一	イ	四	一三二〇 一七二
奈良縣中和地方話語法一端 洋・中 小瀧久雄撰 (右事記の萬葉集の新研究)		一	ヘ	四	四四五六
常陸方言 洋・中 中山信名撰・色川三中修・栗田寬增補 (國語學大系)		一	ホ	二	四五五九 二〇
方言地理學の方法 赤城南鐘方言分布 昭和一六 洋・中 上野勇撰		一	ホ	二	四七二九
三宅島・御藏島方言全集 洋・中 (國語學大系) 淺沼悅・栗原壽編 昭和一二 (謄寫版) 和・中		一	ホ	二	四五四九
他所問答 布施御牆撰 和・中 (長周叢書)		一	イ	四	四六六 一五
他所問答 洋・中 布施御牆撰 (國語學大系)		一	ホ	二	四五五九 二〇
和歌山方言集 洋・中 杉村楚人冠(廣太郎)編 昭和一一 (言語誌叢刊本)		一	ホ	二	四四九三
アイヌ語					
アイヌ語會話字典 和愛 愛和 神保小虎・金澤庄三郎編 明治三一 洋・小		一	ホ	二	二六七
アイヌ語辭典 附雜錄・文法 洋・小 礒部精一編 昭和二		一	ホ	二	四四九六
アイヌ語で見た日本地名 郷土地名新研究 洋・小 菱沼右一撰 昭和一四		一	ル	三	三二〇七
アイヌ語とアイヌ文學 洋・中 金田一京助撰 (日本文學講座)		一	ヘ	二	四三六〇 一五
アイヌ語と國語 洋・中 金田一京助撰 (國語科學講座)		一	ホ	二	四四二六 四
アイヌ語の所謂前置詞の問題 洋・大 金田一京助撰 (人類學論叢)		一	ニ	一六	二二三三
アイヌ語の本質 洋・中 英・バチエラー撰 (財團法人啓明會講演集)		一	イ	四	一二八二 二
アイヌ語法概說 洋・中 金田一京助・知里眞志保撰 昭和一一		一	ホ	二	四四九二

蝦夷ヶ島言語補遺 洋・小 (稿本複製一) 昭和一一 最上德內・秋川滄洲校訂 (論叢多先生文獻蒐影)		一	イ	五	一三〇 九
蝦夷語箋 附魯西亞言語 嘉永七 和・小 上原熊次郎撰		一	ホ	二	七一五
蝦夷品彙譯言 地理之圖附錄 嘉永七 和・小 結城樂撰		一	ル	四	一四六〇
蝦和英三對辭書 明治二二 洋・中 英・バチラー編		一	P		一二八
アイヌ・英・和辭典 明治三八 再版 洋・中 英・バチラー編		一	P		二五五
アイヌ・英・和辭典 昭和一三 四版 洋・中 英・バチラー編		一	P		一〇五〇
言語研究 昭和八 洋・中 金田一京助撰		一	ホ	一	一六八二
言語に映じたる原人の思想 洋・小 (日本文化名著選本) 金澤庄三郎撰 昭和一六		一	ホ	二	四七二六
國語とアイヌ語との關係 洋・中 金田一京助撰 (日本文化史論纂)		一	リ	四	四八五〇
シーボルトとアイヌ語學 洋・中 金田一京助撰 (日獨文化講演集)		一	イ	四	一二八三 八
シーボルト先生とアイヌ語學 洋・中 金田一京助撰 (シーボルト研究)		一	ヌ	一〇	四七五一
シーボルト先生のアイヌ語研究 洋・中 黒田源次撰 (シーボルト研究)		一	ヌ	一〇	四七五一
數詞から見たアイヌ民族 洋・中 (日本民族) 金田一京助撰		一	ニ	一六	二二七〇
北奥地名考 洋・中 (金澤博士還曆記念) 金田一京助撰		一	ホ	二	四四二八
アイヌ叙事詩 ユーカラの研究 昭和六 洋・大 (東洋文庫論叢本) 金田一京助撰並譯		一	ヘ	三三	四二六二
琉球語					
沖繩考 洋・中 (安藤教授記念論文集) 伊波普猷撰		一	ホ	二	四七二八
標準語對照沖繩語の研究 昭和五 洋・小 桑江良行撰		一	ホ	二	四三三五
沖繩對話 二卷 明治一三 和・中 沖繩縣學務課編		二	ホ	二	二七九

同		二	ホ	二	四一八
おもろさうし選釋 附こゑにや外三種 大正一三 洋・小 伊波普猷撰		一	ヘ	七	四二六六
九州方言及び琉球方言における代名詞の研究 (金澤博士還曆記念東洋語學乃研究) 安田喜代門撰 洋・中		一	ホ	二	四四一八
語音飜譯釋義 海島諸國記附載の古琉球語の研究 洋・中 (金澤博士還曆記念東洋語學乃研究) 伊波普猷撰		一	ホ	二	四四一八
混効驗集 一名內裏言葉 二卷 洋・小 (古琉球初版附錄) 桑江良行撰		一	ル	四	二九四四
混効驗集 一名內裏言葉 二卷 洋・小 (古琉球再版附錄)		一	ル	四	三五一二
混効驗集 一名內裏言葉 二卷 洋・小 (古琉球三版附錄)		一	ル	四	三〇二九
混効驗集 二卷 洋・中 (國語學大系)		一	ホ	二	四五五九 二〇
混効驗集に就きて 洋・中 伊波普猷撰 (國語學大系)		一	ホ	二	四五五九 二〇
蠶蛹の琉球語 洋・中 伊波普猷撰 (藤岡博士言語學論文集)		一	ホ	一	一八九四
實用沖繩語便覽 二卷 昭和六 洋・小 桑江良行撰		一	ホ	二	四三六〇
すうちうま 琉球數碼 洋・中 須藤利一撰 (安藤教授還曆記念論文集)		一	ホ	二	四七二八
南島方言史攷 昭和九 洋・中 伊波普猷撰		一	ホ	二	四四六四
南島方言資料 附中山傳信錄音順字海華英譯琉球語對照外二項 洋・中 (言語誌叢刊本) 東條操編 昭和五		一	ホ	二	四三三三
フカダチ考 下痢を意味する琉球語の研究 洋・大 (國文學研究) 伊波普猷撰		一	ヘ	二	四三〇六
萬葉語と琉球語 洋・中 伊波普猷撰 (萬葉集講座)		一	ヘ	四	四四七三
八重山語彙 附八重山語總說 昭和五 洋・大 宮良當壯撰 (東洋文庫論叢本)		一	ホ	二	四三三七
同		一	ホ	二	二七九

八重山語彙 附八重山語總說 昭和五 洋・大	宮良當壯撰	（東洋文庫論叢本）	一	木	二
琉球戲曲辭典 昭和一三 洋・小	伊波普猷編		一	冊	四三五九
琉球語と琉球文學 洋・中	伊波普猷撰	（日本文學講座）	一	へ	八 四二九三
琉球語の波行音の變遷 洋・中	新村出撰	（東方言語史叢考）	一	へ	二 四三六〇 一五
琉球の方言 洋・中	伊波普猷撰	（國語科學講座）	一	木	一 一八五二
			一	木	二 四四二六 七

樺太語

ギリャク族に於ける外來語及び外來文化について 洋・中	高橋盛孝撰	（東洋學叢編）	一	リ	七 四六九〇
ニクブン文典 大正六 洋・中	中目覺撰		一	木	二 一四七六
ニクブン語文典 寫本 和・大	中目覺撰		一	木	二 一三一六

演說法・演說集

演說法

辯士演說學 必讀	英・ベル撰・富岡政矩譯 明治一五 洋・小		一	木	二 四六二一
同			一	木	二 四六二二
演說活法 明治三六	中島氣幹撰	洋・小	一	木	二 四五一一
同			一	木	二 四六一五
同			一	木	二 四六四四
西洋演說軌範 明治一四	眞野觀我譯述	洋・小	一	木	二 四六二九
西洋演說軌範 洋	眞野觀我譯述 明治一五	再版 洋・小	一	木	二 四六二八
演說金針 明治一四	松村操編	洋・小	一	冊	木 類 二 四五一〇 號
政治演說達辯法	三好守雄撰	明治二七 洋・小	一	木	二 四六二六
演說討論軌範 明治三〇	坪谷善四郎編	洋・小	一	木	二 四五一六
現代に活用すべき演說と式辭 大正一二	帝國雄辯研究會編	洋・小	一	木	二 四五三五
演說文章組立法 明治一七	矢野文雄撰	再版 洋・小	一	木	二 四六四一
同			一	木	二 四六四二
同			一	木	二 四六四三
雄辯秘訣 演說法 明治二〇	城山靜一撰	洋・小	一	木	二 四六三七
演說法鑑 增商編 明治一六	米・エルリゴット撰・吉田基譯	洋・小	一	木	二 四六三四
演說練習法 （早稻田大學政治經濟科第三回講義錄）	安部磯雄講	洋・中	一	木	二 四五二一
增補演說文章應用修辭學 大正四	加藤咄堂撰	縮刷 洋・小	一	木	二 四五一八
演說文章應用修辭學	加藤咄堂撰	大正一二 洋・小	一	木	二 四五一三
會議指南 （明治一一）	大井鎌吉譯述	洋・小	一	木	二 四六四五
會議論法 一名應用論理 明治二三	日下部三之介・神作濱吉撰	洋・小	一	木	二 四六三六
同			一	木	二 四六四四
會席演說模範 附討論指南 明治三六	一〇版	後藤本馬撰 洋・中	一	木	二 四五三四
增訂公會演說法 （明治一一）	尾崎行雄譯述	洋・小	一	木	二 四六二五
國會論法 明治二三	千頭清臣・松下丈吉譯	洋・小	一	木	二 四六三三
實驗雄辯學	小室重弘撰 明治三七	三版 洋・中	一	木	二 四五一五

雄辯秘訣 實用演說法 明治二二	日本歐米新編演說集共	伊東洋二郎撰並編 洋・小	一	木	二 四六三八
雄辯秘訣 實用演說法 明治二二	伊東洋二郎撰	洋・小	一	木	二 四六三五
同			一	木	二 四六三九
社交上の談話と演壇上の雄辯 明治四三	蜻蛉子撰	洋・小	一	木	二 四五二三
集會演說法 明治一五	秋葉節三郎譯述	洋・小	一	木	二 四六三一
集會演說法 明治一六	秋葉節三郎譯述	再版 洋・小	一	木	二 四六三二
詔勅類纂 祝辭演說一千題	內山正如編	明治二五 洋・小	一	木	二 四六四〇
祝辭演說法 明治二九	博文館刊	洋・中 （日用百科全書本）	一	木	二 四六四六
應用自在 新時代式辭挨拶例	大日本雄辯會講談社編	昭和九 洋・小 （雄辯第二五卷第四號附錄）	一	木	二 四五二八
眞正能辯精法 明治二二	澤木繁雄撰	洋・小	一	木	二 四五〇八
軍人青年討論演說五千題 明治三六	大畑裕編	四版 洋・中	一	木	二 四五二三
雄辯練習 青年討論大會 明治三七	大畑裕編	洋・小	一	木	二 四六一四
世界大雄辯物語集	遵東還附の彈劾（小久保喜七）外一九篇				
昭和四	大日本雄辯會講談社編	（雄辯第二〇卷第一號附錄）	一	木	二 四五二六
佛教演說 達辯之術 明治二二	伊東洋二郎・坂口鐵撰	洋・小	一	木	二 四六二七
通俗講話の理論及方法 大正元	加藤咄堂撰	再版 洋・中	一	木	二 四六一六
西洋討論軌範 明治一四	讀編共 英・ロートン撰・西村玄道譯述	洋・小	二	木	二 四六三〇
西洋討論軌範 明治一五	英・ロートン撰・西村玄道譯述	五版 洋・小	一	木	二 四五〇九
日本演說討論方法 明治一五	附集會條例類纂	木瀧清類編 洋・小	一	木	二 四五〇七

木 語學 二 國語 演說法・演說集（演說集）

普通演說法 明治二二	聽雨亭靜處撰	洋・小	一	木	二 四六二三
同			一	木	二 四六二四
泰西辯談典型 明治一六	久松義典編譯	洋・小	一	木	二 四六二〇
民衆と宣傳 大正九	加藤咄堂撰	洋・小	一	木	二 四五二〇
明治演說史 大正一五	宮武外骨撰	洋・中 （明治表裏叢書本）	一	木	二 四五二四
雄辯學講座 昭和三	日本雄辯學會編	洋・中	三	木	二 四五二五
雄辯學講話 大正一三	雄辯學會編輯部編	洋・中	一	木	二 四五二九
雄辯活法 明治二四	小室重弘撰	洋・小	一	木	二 四五三六
雄辯術精習	蘆川忠雄撰	洋・中	一	木	二 四五一七
最新雄辯と文章 研究 大正六	遠藤高之丞撰	洋・小	一	木	二 四五二九
演說討論雄辯美辭法 明治三六	遠山淡哉撰	五版 洋・中	一	木	二 四五一二
雄辯法 明治一八	馬場辰猪撰	洋・小	一	木	二 四六一八
雄辯法 明治二〇	馬場辰猪撰	再版 洋・小	一	木	二 四六一九
陸海軍人 送迎演說模範	附祝賀弔祭文例	明治三四 三版 洋・中 岩井正次郎撰	一	木	二 四五一四

演說集 〔譯演集八總記ノ叢書（一四）譯演集參照〕

更始一聽け！この主張この卓見	政黨に與ふ（尾崎行雄）外二六篇				
新の秋 昭和一一	大日本雄辯會講談社刊	（雄辯第二七卷第一〇號附錄）	一	木	二 四七五九
現下の諸問題 是非對抗熱辯集 昭和六	財界の合理化と緊縮政策（安達謙藏）外四九篇	大日本雄辯會講談社刊 洋・小 （雄辯第二二卷第一號附錄）	一	木	二 四五三七

現代名演說集 ウイルソンからムツソリーニまで（永井柳太郎）外三四篇
大日本雄辯會講談社刊 昭和二 洋・小（雄辯第一九卷第一號附錄） 一册 木 二 四四五九號

是非對抗 現代名士大討論集 獨裁政治の必要と限度（北聆吉）外三五篇
大日本雄辯會講談社刊 昭和九 洋・小（雄辯第二五卷第一號附錄） 一 木 二 四七六一

雄辯大家實地演說集 內地雄居論（田口卯吉）外二八篇
赤松市太郎編 明治二一 洋・小 一 木 二 四四五八

昭和名演說集 大日本雄辯會講談社刊 昭和五 洋・小（雄辯第二一卷第一號附錄） 一 木 二 四六一二

諸名家大熱辯集 全國に望む（近衛文麿）外二一篇
大日本雄辯會講談社刊 昭和一三 洋・小（雄辯第二九卷第一號附錄） 一 木 二 四五五八

新興日本大熱辯集 世界史を動かす青年の力（中村孝也）外四一篇
大日本雄辯會講談社刊 昭和八 洋・小（雄辯第二四卷第一號附錄） 一 木 二 一二一六

新時代卓上演說集 大日本雄辯會講談社刊 昭和一二 洋・小（雄辯第二八卷第一號附錄） 一 木 二 四五四二

日本 歐米新編演說集 伊東洋二郎編 （明治三） 洋・小（雄辯實用演說法ト同刊） 一 木 二 四六三八

青年雄辯集 第二集共 大正三・九 大日本雄辯會刊 初・一二版 洋・小 二 木 二 一六三六

非常時日本 全國青年獅子吼集 亞細亞聯盟の結成を提唱す（相良悳）外五五篇
大日本雄辯會講談社刊 昭和八 洋・小（雄辯第二四卷第四號附錄） 一 木 二 一二二〇

全國青年 雄辯選手權大會熱辯集 大日本雄辯會講談社刊 昭和九 洋・小（雄辯第二五卷第七號附錄） 一 木 二 四七六〇

雄辯選手權大會 全國青年熱辯集 第二至六回 昭和一〇至一四 大日本雄辯會講談社刊 洋・小（雄辯附錄） 五 木 二 四四七一

大雄辯家名演說集 宗教は藥か米の飯か（高島米峯）外三八篇 一 木 二 四七六四

泰西名家演說集 上卷・附演說法 栗原亮一譯編 明治一二 洋・小 一册 木 二類 二七三號

濱口雄幸氏大論辯集 附濱口雄幸氏略傳 鍵山誠之祐編 昭和六 洋・小 一 木 二 四七六二

文壇大家演說集 擴充精神の神髓（三上於菟吉）外一八篇
大日本雄辯會講談社刊 昭和八 洋・小（雄辯第二四卷第七號附錄） 一 木 二 四七六一

明治雄辯集 後篇 大日本雄辯會刊 大正元 洋・中 一 木 二 四四五七

改正增補 雄辯大家集 久松義典編譯 明治一五 洋・小 一 木 二 四四五六

雜書

誤りたる文字の讀方 高野弦月撰 大正二 一八版 洋・小 一 木 二 一四五七

延命字學集 元祿版複製—昭和一三 和・中（稀書複製會刊行書） 一 イ 四 一四一八 三六

外國固有名詞及外來語發音整理表 日本放送協會編 昭和一三（謄寫版） 洋・大 一 木 二 四五七四

言語取調所報告 第一回 （明治二三） 洋・小 一 木 二 一六八八

國語學力測定法 武政太郎撰 洋・中（岩波國語講座） 一 木 二 四五〇一 五

國語漢文講話 橫地清次郎等撰 洋・中（早稻田通信講話本） 二 木 二 六七八

同 明治三九 洋・中 一 木 二 六七九

國語講義 永井一孝講 （明治四〇年度早稻田中學講義） 洋・中 一 木 二 一二三〇

國語講話 窪田通治講 （第四九回早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 一 三八四五 六

國語調查委員會取調事項 昭和一三 洋・小（方言と方言學附錄） 一 木 二 四五六三

國語調查事業について 保科孝一撰 洋・中（標準語と國語教育） 一 木 二 四六一三

國語の學力測定 田中寬一撰 洋・中（國語科學講座） 一 木 二 四四二六 一一

國語の世界的進出 海外外地日本語讀本の紹介 厚生閣刊 昭和一四 洋・小（教育・國語第九卷第五號附錄） 一 木 二 四五八一

國文解釋法 塚本哲三撰 大正八 二五版 洋・小 一 木 二 一六三三

國文講義 永井一孝講 （明治四一年度早稻田中學講義） 洋・中 一 木 二 三一四〇

國文講義 永井一孝講 （早稻田中學講義） 洋・中 一 木 二 三四〇四

國文釋義 永井一孝講 （明治三九年度早稻田中學講義） 洋・中 一 木 二 二三二九

國文釋義 永井一孝講 （明治四〇年度早稻田中學講義） 洋・中 一 木 二 二二八六

中學國文熟語詳解 第四學年一冊缺 明治三六・三七 近藤正一編 四 木 二 三三四

法則中心國文新解釋 中村好撰 昭和九 洋・小 一 木 二 四四三九

吾訓悉曇祕書 寫本 和・中 一 木 二 一二五五

言靈傳聞書 寫本 和・小 一 木 二 六二三

實用國文講義 （下村茨・松本洪講） （明治四二年度早稻田商業講義） 洋・中 一 木 二 三四〇八

同 一 木 二 三四〇九

詳注小學入門 柳原芳野編 明治九 和・中 一 木 二 四三九五

美文評釋 五十嵐力講 （明治三九年度早稻田中學講義） 洋・中 一 木 二 三三二七

普通語詳解 小學校國語讀本參考用 高賀詮三郎編 明治三五 洋・小 一 木 二 八一七

中等教科 明治讀本訂正字解 教育研究會編 明治四三 再版 洋・小 二 木 二 一二五六

名文評釋 五十嵐力講 （明治四一年度早稻田中學講義） 洋・中 一 木 二 三一三八

早稻田中學講義難語註解 同講義編輯局編 （第五回早稻田中學講義） 洋・中 一 木 二 一二七六

雜誌

演說及講演 卷一號—卷二號・二 大正一五年一一月至昭和二年二月 洋・中 一 サ ホ 三三

外來語研究 卷一輯一至卷四輯一 外來語研究會編 昭和七年一〇月至一一年六月 洋・中 四 サ ホ 三七

ローマ字ひろめ會刊 卷二號一至一二號・卷三號一至一二號・卷四號一至一二號・卷五號一至一二號（昭和四年一月至七年一二月） 洋・小 二 サ ホ 二四

カナノヒカリ 號一二四（昭和七年四月）ヨリ カナモヂカイ刊 洋・中 三九

國語運動 卷一號一（昭和一二年八月）ヨリ 國語協會刊 洋・中 一 サ ホ 五一

國語教育 卷二號一至卷二六號八 國語研究會編 大正六年一月至昭和一六年一〇月 洋・中 四八 サ ホ 二 一—四八

國語文化 卷一號一（昭和一六年一一月）ヨリ 國語研究會編 洋・中（國語教育ノ改題） 二 四九— サ ホ

國語國文の研究 號一至三六（有缺） 文獻書院刊 大正二年一〇月至昭和四年九月 洋・中 三 サ ヘ 一六

國語と國文學 卷一號一（大正一三年五月）ヨリ 國語と國文學編輯部編 洋・中 九 サ ヘ

語源研究 號一至三九 國語語源研究後援會刊 大正五年三月至昭和二年八月 洋・中 五 サ ホ 二三

國漢 號二至七一 富山房刊 昭和六年一月至一五年六月 洋・中 一〇 サ ホ 三六

方言 卷一號一至卷八號二（有缺） 春陽堂刊 昭和六年九月至一三年五月 洋・中 一三 サ ホ 五三

雄辯 卷一號一至卷三・二號一〇 大日本雄辯會講談社刊 明治四三年二月至昭和一六年一〇月 洋・中 一三一 サ ホ 三五

Romaji 卷一號一至卷三・六號二 ローマ字ひろめ會刊 明治三八年一〇月至昭和一六年三月 洋・大・中 三五 サ ホ 一九

ローマ字世界 卷七號四（大正六年四月）ヨリ 日本のローマ字社刊 洋・中 サ ホ 二五

ローマヂ、ドーシ 卷六號一至卷一〇號一二・ローマ字同志社刊 昭和八年一月至一二年一二月 洋・中 五 サ ホ 四二

ローマ字の日本 卷七號九至卷一三號三・日本のローマ字社刊 昭和六年九月至一二年一二月 洋・大 七 サ ホ 四三

若い日本 號一（昭和八年一一月）ヨリ ローマ字同志社刊 洋・小 サ ホ 四七

三 朝鮮語・臺灣語

朝鮮語

諺文のローマ字表記法 小倉進平撰 洋・中（小田先生頌壽記念朝鮮論集）
雅言覺非 朝鮮・丁若鏞撰・細井肇譯 洋・小（朝鮮叢書）
咸鏡南道及黃海道の方言 小倉進平撰 昭和五 洋・中（京城帝國大學法文學部研究調査本）
獨學韓語大成 伊藤伊吉撰 明治三八 洋・中
韓語通 前間恭作撰 明治四二 洋・中
韓語獨習誌 附最近韓國起業案內 藤戸計太・田中良之撰 明治三八 洋・中
韓語文典 高橋亨撰 明治四二 洋・中
御定奎章全韻 二卷 諺註附 朝鮮・正祖命編 和・中（朝鮮本）
御定奎章全韻 二卷 諺註附 朝鮮・正祖命編 和・小（朝鮮本）
雞林類事麗言攷 前間恭作撰 大正一四 唐・大（東洋文庫論叢本）
同
校訂交隣須知 前間恭作・藤波義貫訂 明治三七 洋・大
鮮譯國語大辭典 船岡獻治編 大正八 洋・中
國語及び朝鮮語の數詞について 新村出撰 洋・中（東方言語史叢考）
朝鮮語及朝鮮語發音概說 小倉進平撰 大正一二 洋・小
實用韓語學 島井浩撰 明治三七 三版 洋・小

西洋人によつて蒐集せられた早い時代の朝鮮語彙 小倉進平撰 洋・中（朝鮮支那文化の研究）
全韻玉篇 二卷 諺註附 和・中（朝鮮本）
全韻玉篇 二卷 諺文附 和・大（朝鮮本）
千字文 諺文附 和・大（朝鮮本）
俗談大辭典 金思燁・方鍾鉉編 昭和一五 洋・小
朝鮮漢字音の一特質 河野六郎撰 洋・中（言語研究）
朝鮮語 洪奭鉉講（大日本實業學會講義錄） 洋・中
朝鮮語 川邊德三郎撰（日英支那語學速修案內附錄） 洋・小
朝鮮語會話獨習 附韓國重要地名及里程 由本治三編 大正三 五五版 洋・小
朝鮮語「蝸牛」名義考 小倉進平撰 洋・中（言語研究）
增訂朝鮮語學史 小倉進平撰 昭和一五 洋・中
朝鮮語辭典 朝鮮總督府編 大正九 洋・大
修正增補朝鮮語辭典 文世榮編 昭和一五 洋・大
朝鮮語綴字法統一案 附標準語外一篇 昭和八 洋・小 朝鮮語學會刊
朝鮮語動詞の使役形と受身・可能形 服部四郎撰 洋・中（小倉博士功績記念言語學論文集）
朝鮮語と日本語 小倉進平撰 洋・中（國語科學講座）
朝鮮語に於ける譲譲法・尊敬法の助動詞 小倉新平撰 昭和一三 洋・中（東洋文庫論叢本）
朝鮮語の系統 小倉進平撰 昭和一〇 洋・中（岩波東洋思想）

朝鮮語の濃音に就て 濱田邦雄撰 昭和九 洋・小
朝鮮の學政當局はなぜ朝鮮語を度外視するか 李完應撰 洋・中（朝鮮及朝鮮民族）
朝鮮の眞言集 小倉進平撰 洋・中（金澤博士還曆記念東洋語學乃研究）
朝鮮文字及語學史 金允經撰 昭和一三 洋・中
同文新辭典 漢字統一會編 明治四二 洋・中
內鮮勞働用語集 崔榮漢・鄭仁奎撰 昭和八 洋・小（大阪市）社會部報告）
南部朝鮮の方言 小倉進平撰 大正一三 洋・小
日漢會話 參謀本部編 明治三七 再版 洋・小
日韓兩國語同系論 附英譯 金澤庄三郎撰 明治四三 洋・小
日韓兩國語同系論 金澤庄三郎撰 洋・大（東洋協會調査部學術報告）
日鮮同祖論 金澤庄三郎撰 昭和四 洋・中
平安南北道の方言 小倉進平撰 昭和四 洋・中（京城帝國大學法文學部研究調査册子本）
吏讀集成 朝鮮總督府中樞院編 昭和一二 洋・小
龍歌故語箋 前間恭作撰 大正一三 唐・大（東洋文庫論叢本）
同
訂正隣語大方 九卷 浦瀨裕校補 明治一五 和・大
類合 和・大（朝鮮本）
我がハングルの世界文字上の地位 崔鉉培撰 洋・中（朝鮮及朝鮮民族）

朝鮮語學雜誌 正音 卷二（昭和一二年一月）ヨリ 朝鮮語學研究會刊

臺灣語〔高砂族語ヲ含ム〕

臺日大辭典 二卷 臺灣總督府刊 昭和六・七 洋・大
日臺大辭典 臺灣總督府民政部總務局學務課刊 明治四〇 洋・大

蕃語集 臺灣總督府民政部警察本署編 明治三九 洋・小
臺灣高砂族傳說集 臺北帝國大學言語學研究室編 原語による 昭和一〇 洋・大
臺灣の人種及言語 移川子之藏・小川尚義撰 洋・大（日本地理大系ノ內臺灣篇）
臺灣蕃語の數詞用法の二例 小川尚義撰 洋・中（金澤博士還曆記念東洋語學乃研究）
臺灣蕃語文書 村上直次郎撰 洋・小（臺灣文化史說）
方位名稱と民族移動竝に地形 移川子之藏撰 洋・中（岩波講座還曆記念論文集）

四 漢語

總記

漢語と國語 岡井愼吾撰 洋・中（國語科學講座）
欽定古今圖書集成 理學彙纂字學典 清・蔣廷錫等編・圖書集成銘版印書局重印 光緒一〇 唐・小
支那言語學概說 民國・王力撰・佐藤三郎治譯 昭和一五 洋・小
支那言語學概論 民國・王力撰・猪俣庄八・金坂博譯 昭和一六 洋・小（語學文庫本）

支那言語學概論 瑞典・カールグレン撰・岩村忍・魚返善雄譯 昭和二五 再版 洋・中 冊 木 五 號 一八九四

支那語原研究法の一考察 東條操撰 洋・中 一 木 一 一八九四

小學彙函 〔四種一二五卷 清・鍾謙鈞編 唐・中 (古經解彙函附刻)〕 三一 口 一三 二八九〇 三三—六四

暢軒使者絕代語釋別國方言(一三卷・校正補遺一卷)(漢・揚雄撰・晉・郭璞注) 三三

釋名(八卷)(漢・劉熙) 三四

廣雅(一〇卷)(魏・張揖撰・隋・曹憲音) 三五

匡謬正俗(八卷)(唐・顏師古) 三六 急就章(漢・史游撰・清・孫星衍考異) 三六

說文解字(一五卷)(漢・許愼) 三七—四〇

說文解字繫傳(南唐・徐鍇)(四〇卷・附校勘記三卷) 四一—四八

說文解字篆韻譜(五卷・附錄一卷)(宋・徐鉉) 四九—五〇

大廣益會玉篇(三〇卷)(梁・顧野王撰・唐・孫强增加・宋・陳彭年等重修) 五一—五五

干祿字書(唐・顏元孫) 五六 五經文字(三卷)(唐・張參) 五六

新加九經字樣(唐・唐玄度) 五六

大宋重修廣韻(五卷)(宋・陳彭年等重修) 五七—六一

廣韻(五卷) 六二—六四

小學考 五〇卷 光緒一五 清・謝啓昆編 洋・中 木 四 七一二

小學に就いて 小柳司氣太撰 (金澤博士東洋語學乃研究) 洋・中 木 二 四四一八

中國語文概論 民國・王力撰 民國二八 洋・小 (國學小叢書本) 木 五 一八六七

童子通 山本蕉逸撰 (天保一〇) 和・小 木 四 一一三五

童子通 山本蕉逸撰 天保一五 和・小 木 四 一九二一

童子通 山本蕉逸撰 明治一三 和・小 木 四 一八九五

辭書 〔總記ノ事彙・辭書(イ三)ヲ參照・華歐・歐華辭書ハ洋書ノ語學辭書(P)ヲ參照〕 一 木 四 二〇三八

玉篇の研究 附玉篇逸文 岡井愼吾撰 昭和八 洋・大 (東洋文庫論叢本) 木 四 二〇二八

三字典引得 Trinder (康熙字典・佩文韻府・Giles) 米・ナッシュ編 (民國二五) 洋・小 冊 P 參 九九二 號

朝鮮に於ける韻書と玉篇との關係 小倉進平撰 (藤岡博士言語學論文集) 洋・中 一 木 二 四七二八

「三韻通考」及び「增補三韻通考」に就いて 小倉進平撰 (藤岡博士言語學論文集) 洋・中 一 木 一 一八九二

書引辭書

音韻授幼文選字引 和・小 一 木 二 四六九三

書引增字分韻便覽 和・小 一 イ 一三 九五六

漢語字類 庄原謙吉編 明治二 一 木 二 四七一三

永字式漢和辭典 恒遠終編 昭和一五 洋・小 一 木 四 二〇二五

漢和新字典 三省堂編輯所編 明治四〇 四四版 洋・小 一 木 四 八五〇

同 一 木 四 八八六

綠音雙引漢和大辭典 後藤朝太郎・上野三郎編 明治四四 三版 洋・小 一 木 四 一七〇三

漢和大字典 三省堂編輯所編 明治三六 洋・中 一 木 四 一九四

漢和大字典 三省堂編輯所編 明治三九 六版 洋・中 一 木 四 一九九六

漢和大字典 三省堂編輯所編 明治四一 八版 洋・中 一 木 四 九〇〇

漢和大字典 三省堂編輯所編 明治四四 一九版 洋・中 一 木 四 一七〇八

熟語集成漢和大辭典 古川喜九郎編 明治四三 八版 洋・小 一 木 四 一〇八七

增補訂正漢和大辭林 都文舍編・芳賀剛太郎增訂 明治四三 洋・小 一 木 四 一〇八三

增補訂正漢和大辭林 都文社編・芳賀剛太郎增訂 大正六 縮刷版五版 洋・小 一 木 四 一四八四

日基本漢字 大西雅雄編 昭和一六 洋・小 一 木 二 四七七四

古鈔本玉篇 卷第八斷簡九・一八後半・一九・二〇・二四斷簡二七 梁・顧野王撰 (複製—昭和七年至一〇) (東方文化叢書本) 卷 八 木 四 *一九二七

原本玉篇 卷第九・一八後半・二一卷 梁・顧野王撰 臨寫本複製 唐・大 (古逸叢書) 二 イ 四 六〇七 二一—二三

古鈔本玉篇 卷第八斷簡 梁・顧野王撰 藤田古梓堂文庫本複製—昭和一〇 (東方文化叢書本) 卷 一 木 四 *一九二七 七

玉篇 卷第九 (紙背金剛界私記—治安元年寫) 梁・顧野王撰 寫本 卷 一 木 四 *三五五五

原本玉篇 卷第九 梁・顧野王撰 早稻田大學本複製—昭和七 (東方文化叢書本) 卷 一 木 四 *四七二

同 國寶 玉篇 卷第九 梁・顧野王撰 早稻田大學本複製—昭和七 (東方文化叢書本) 卷 一 木 四 *一九二八

同 玉篇 卷第一八後半 梁・顧野王撰 (明治一五) 柏木探古藏古鈔本 (東大寺 馬道本) 複製—昭和一〇 (藤田平太郎氏藏本 (東大寺 寺馬道本) 複製—昭和一〇 (東方文化叢書本) 卷 一 木 四 *一九二七 一

同 玉篇 卷第一八後半 梁・顧野王撰 古鈔 寺馬道本複製—昭和一〇 (東方文化叢書本) 卷 一 木 四 一九二七 一

古鈔本玉篇 卷第一九 梁・顧野王撰 道本複製—昭和一〇 (藤田平太郎氏藏本 (東大寺馬 道本) 複製—昭和一〇 (東方文化叢書本) 卷 一 木 四 一九二七 二

玉篇 卷第二二 梁・顧野王撰 神宮司廳延喜鈔本複製—明治二九 和・中 一 木 四 *四九六

延喜玉篇 卷第二二 梁・顧野王撰 鈔本 神宮文庫藏本複製—昭和九 (東方文化叢書本) 卷 一 木 四 *一九二七 四

古鈔本玉篇 卷第二四斷簡 梁・顧野王撰 大福光寺本複製—昭和一〇 (東方文化叢書本) 卷 一 木 四 *一九二七 八

玉篇 卷第二七前半 梁・顧野王撰 高山寺藏古鈔本複製—明治一六 和・大 一 木 四 *一五八八

國寶 玉篇 卷第二七前半 梁・顧野王撰 古鈔本 高山寺本複製—昭和八 (東方文化叢書本) 卷 一 木 四 *一九二七 五

國寶 玉篇 卷第二七後半 梁・顧野王撰 古鈔本 高山寺本複製—昭和八 (東方文化叢書本) 卷 一 木 四 一九二七 六

玉篇 卷第二七後半 梁・顧野王撰 石山寺本寫本 卷 一 木 四 *七一三

玉篇逸文 岡井愼吾編 洋・大 (玉篇の研究附錄) 一 木 四 二〇二八

群經音辨 七卷 宋・賈昌朝撰 影宋鈔本影印—民國二三 唐・小 (四部叢刊續編) 二 イ 四 一一三一 二一八〇—二一八一

群經音辨 七卷 宋・賈昌朝撰 (粵雅堂叢書) 洋・小 一 イ 四 二八九 四九

經典熟字辨 四書之部 鎌田玄同撰 文化六 和・小 一 口 一二 二八一三

廣益會玉篇 三卷 大塚子成編 明治三四 和・小 二 木 二 四九六六

平仄附韻訓譯字義 廣益正字通 鎌田玄同編 安政二 和・小 一 木 二 四七〇三

平仄附韻訓譯字義 廣益正字通 鎌田玄同編 明治八 再版 和・中 一 木 二 四七〇二

康熙字典 一二集・附補遺・備考 清・張玉書等奉勅撰 唐・大 (清版) 四〇 木 四 一六二六

康熙字典 一二集・附補遺・備考 清・張玉書等奉勅撰 唐・小 (清版) 三八 木 四 二〇三三

康熙字典 一二集・附補遺・備考 清・張玉書等奉勅撰 唐・中 (清版) 四〇 イ 一二 三三

康熙字典 一二集・附補遺・備考 清・張玉書等奉勅撰 道光七 重刊 唐・小 三二 イ 九 六三一

同 康熙字典 一二集・附補遺・備考 清・張玉書等奉勅撰 唐・小 (清版) 一三 木 四 一三三〇

康熙字典 一二集・附補遺・備考 清・張玉書等奉勅撰 文久三 和・小 四〇 木 四 一

同 康熙字典 一二集・附補遺・備考 清・張玉書等奉勅撰 四〇 木 四 一七一八

同 鼇頭 康熙字典 一二集・附補遺・備考 清・張玉書等奉勅撰・音釋 石川鴻齋 (英) 音釋 明治一六 和・小 四〇 イ 一三 九七七

同 康熙字典 一二集・附補遺・備考 清・張玉書等奉勅撰・吉川弘文館刊 明治三八 縮刷 洋・小 二〇 木 四 一五四〇

同 一 木 四 四二〇

同 一 木 四 一五四九

康熙字典 一二集・附補遺・備考 清・張玉書等奉勅撰・商務印書館刊 洋・小 一 木 四類 一八三三

攷正字彙 二卷 唐・小 (清版) 一 イ 九 六三

五經文字 三卷 唐・張參撰 (古經解彙函附刻 小學彙函) 一 口 二 二八九〇 五六

五經文字 三卷・附新加九經字樣 (唐・唐玄度) 一卷 唐・張參撰 文化七・和・大 四 口 二 二五〇

國文成語辭典 一二集 民國・莊適編 民國六 三版 洋・小 一 木 四 一六六九

初學故事釋義 西村竹間・金井知義編 明治一一・和・小 一 木 四 三九九

必携

三音四聲字貫 一二卷 高井伴寬編・市川清流校 明治一一・和・小 一六 木 二 四七一二

字彙 四集 (康熙四) 清・梅膺重訂 唐・小 四 イ 一二 三四

辭海 二冊 民國・舒新城等編・中華書局刊 民國二六 初・再版 洋・大 二 木 四 二〇一七

同

辭海 二冊 民國・舒新城等編・中華書局刊 民國二五・二六 洋・小 二 木 四 二〇〇三

同

辭海 二冊 民國・舒新城等編・中華書局刊 民國二六 初・再版 洋・大 二 木 四 二〇一七

辭源 二冊・續編一冊 民國・陸爾奎編・方毅續・商務印書館刊 民國二一・二一 民國・陸爾奎編・方毅續・商務印書館刊 民國二二 民國・陸爾奎編・方毅續・商務印書館刊 民國二一・二一 民國・陸爾奎編・方毅續・商務印書館刊 民國二二 (四角號碼索引附) 民國・陸爾奎編・方毅續・商務印書館刊 民國二二・二四 (四角號碼索引附) 民國・陸爾奎編・方毅續・商務印書館刊 民國二二・二四 難後四・二〇版 洋・小 三 木 四 一九九八

辭源 二冊・續編一冊 (各四角號碼索引附) 民國・陸爾奎編・方毅續・商務印書館刊 民國二六 普及本八・一一版 洋・小 三 木 四 一九八八

字源 附草字彙・隸法彙纂 簡野道明編 大正一二 洋・中 二 木 四 一七〇五

同

字源 附草字彙・隸法彙纂 簡野道明編 大正一二 三版 洋・中 二 木 四 一七一一

字源 附草字彙・隸法彙纂 簡野道明編 大正一四 二三版 洋・中 一 木 四 一九五六

縮刷字源 附草字彙・隸法彙纂 簡野道明編 大正一四 洋・小 一 木 四 一七九〇

同

縮刷字源 附草字彙・隸法彙纂 簡野道明編 昭和二 九七版 洋・小 一 木 四 一七九一

縮刷字源 附草字彙・隸法彙纂 簡野道明編 昭和七 改版一四五版 洋・小 一 木 四 一九四七

縮刷字源 附草字彙・隸法彙纂 簡野道明編 昭和一一 改版 五九版 洋・小 一 木 四 一九六四

縮刷字源 附草字彙・隸法彙纂 簡野道明編 昭和一二 改版 六二版 洋・小 一 木 四 一九八五

縮刷字源 附草字彙・隸法彙纂 簡野道明編 昭和一四 改版 六九版 洋・小 一 木 四 二〇一六

辭通 二四卷・附錄一卷・索引一卷 民國・朱起鳳編・開明書店刊 民國二三 洋・小 二 木 四 一九五一

首書大廣益四聲玉篇和訓大成 六卷 寬政四 中野煥編 和・中 六 木 二 四六九八

詳解漢和大字典 服部宇之吉・小柳司氣太編 大正九 一〇八版 洋・小 一 木 四 一五五四

詳解漢和大字典 服部宇之吉・小柳司氣太編 大正一〇 二七版 洋・中 一 木 四 一五九六

新詳解漢和大字典 服部宇之吉・小柳司氣太編 昭和一一 五〇版 洋・小 一 木 四 一九六三

新詳解漢和大字典 服部宇之吉・小柳司氣太編 昭和一二 一〇一版 洋・小 一 木 四 一九八六

疊語 滿・王岑伯編 康德元 洋・大 一 木 四 一九五九

同

新加九經字樣 唐・唐玄度撰 (古經解彙函附刻 小學彙函) 一 口 二 二八九〇 五六

新加九經字樣 唐・唐玄度撰 (五經文字附刻) 和・大 一 口 二 二五〇 四

新字鑑 鹽谷溫編 昭和一四 七版 洋・小 一 木 四 二〇〇四

新字典 一二集・附檢字・附錄・勘誤表・補編 民國・陸爾奎等編 民國元 唐・小 一 木 四 一七三二

新修漢和大字典 小柳司氣太編 昭和一〇 三〇版 洋・小 一 木 四 一九五八

新撰字鏡 一二卷・校異並和訓索引添 昌住撰・大槻文彥校 天治本複製—大正五 和・大 七 木 二 四七〇九

新撰字鏡 一卷 昌住撰 和・大 (群書類從本) 二 木 四 四七一五

新撰字鏡 一卷 昌住撰 和・大 (群書類從) 二 イ 四 四八八 六二六—六二七

新撰字鏡 一卷 昌住撰 洋・小 (經濟雜誌社本群書類從) 一 イ 四 二三五 一八

新撰字林玉篇 蒔田本也編 明治一七 和・小 一 木 四 一四五三

增修譯漢和大辭典 濱野知三郎編 昭和二 一〇五版 洋・小 三七 木 四 四六九四

正字通 一二集・首一卷 清・張自烈・廖文英編 (康熙九) 唐・中 二 木 四 四六九四

全韻玉篇 二卷 和・中 (朝鮮本) 二 木 四 三一〇

全韻玉篇 二卷 和・大 (朝鮮本) 二 木 四 九九〇

增字文選字引 鳳月莊左衞門編・宇喜田小十郎補 明治一九 再版 和・小 一 木 四 四六九四

增續廣益字典 一〇卷 明・周家棟編 和・大 六 木 四 四六六

新詳解漢和大字典 服部宇之吉・小柳司氣太編 昭和一二 一〇一版 洋・小 一 木 四 一九八六

疊語 滿・王岑伯編 康德元 洋・大 一 木 四 一九五九

同

新加九經字樣 唐・唐玄度撰 (古經解彙函附刻 小學彙函) 一 口 二 二八九〇 五六

新加九經字樣 唐・唐玄度撰 (五經文字附刻) 和・大 一 口 二 二五〇 四

新字鑑 鹽谷溫編 昭和一四 七版 洋・小 一 木 四 二〇〇四

新字典 一二集・附檢字・附錄・勘誤表・補編 民國・陸爾奎等編 民國元 唐・小 一 木 四 一七三二

新修漢和大字典 小柳司氣太編 昭和一〇 三〇版 洋・小 一 木 四 一九五八

新撰字鏡 一二卷・校異並和訓索引添 昌住撰・大槻文彥校 天治本複製—大正五 和・大 七 木 二 四七〇九

新撰字鏡 一卷 昌住撰 和・大 (群書類從本) 二 木 四 四七一五

新撰字鏡 一卷 昌住撰 和・大 (群書類從) 二 イ 四 四八八 六二六—六二七

新撰字鏡 一卷 昌住撰 洋・小 (經濟雜誌社本群書類從) 一 イ 四 二三五 一八

新撰字林玉篇 蒔田本也編 明治一七 和・小 一 木 四 一四五三

增修譯漢和大辭典 濱野知三郎編 昭和二 一〇五版 洋・小 三七 木 四 四六九四

正字通 一二集・首一卷 清・張自烈・廖文英編 (康熙九) 唐・中 二 木 四 四六九四

全韻玉篇 二卷 和・中 (朝鮮本) 二 木 四 三一〇

全韻玉篇 二卷 和・大 (朝鮮本) 二 木 四 九九〇

增字文選字引 鳳月莊左衞門編・宇喜田小十郎補 明治一九 再版 和・小 一 木 四 四六九四

增續廣益字典 一〇卷 明・周家棟編 和・大 六 木 四 四六六

增續大廣益會玉篇大全 一〇卷・首一卷 (元祿四) 和・大 (秋田藩版) 一二 木 二 四六九九

增續大廣益會玉篇大全 一〇卷・首一卷 毛利瑚珀編 享保二〇 和・中 一二 木 二 四七〇一

增續大廣益會玉篇大全 一〇卷・首一卷 毛利瑚珀編 明治五 六刻 和・中 一二 イ 一三 一〇五三

增續大廣益會玉篇大全 一〇卷・首一卷 毛利瑚珀編 明治一六 九刻 和・小 三 イ 一三 一〇五四

新鐫增補字林玉篇大全 三浦茂樹編 安政三 和・小 一 木 二 四六九七

增補文選字引 山崎義成校訂 弘化五 和・小 一 木 二 四六九五

大廣益會玉篇 三〇卷・首一卷・附篆書偏旁目錄 梁・顧野王撰・唐・孫强增加・宋・陳彭年等重修 元刊本影印 唐・小 (四部叢刊) 三 イ 四 一一三一 一六二五—一六二五

大唐益會玉篇 三〇卷・首一卷 梁・顧野王撰・唐・孫强增加・宋・陳彭年等重修・清・張士俊刊 (康熙四三) 唐・大 三 木 四 一七

大唐益會玉篇 三〇卷・首一卷 梁・顧野王撰・唐・孫强增加・宋・陳彭年等重修 唐・大 (古經解彙函附刻 小學彙函) 五 口 二 二八九〇 五一—五五

大唐益會玉篇 三〇卷・首一卷 梁・顧野王撰・唐・孫强增加・宋・陳彭年等重修・陳安四 和・大 一 木 四 三五〇

大唐益會玉篇 三〇卷 (卷二〇至二三缺) 首一卷 梁・顧野王撰・唐・孫强增加・宋・陳彭年等重修 和・大 六 木 四 三五一

大字典 上田萬年等編 大正六 三版 洋・中 一 木 四 一六〇一

增補訂正大字典 上田萬年等編 大正一〇 四〇版 洋・中 一 木 四 一六四六

增補訂正大字典 上田萬年等編 大正一一 四六版 洋・中 一 木 四 一六五七

縮刷大字典 上田萬年等編 大正九 洋・小 一 木 四 一五四八

縮刷大字典 上田萬年等編 昭和三 三〇版 洋・小 一 木 四 一七九五

中華大字典 一二集 民國・徐元誥等編・中華書局刊 民國一六 四版 洋・大 四 木 四 一七九三

同

中華大字典 民國・徐元誥編・中華書局編 民國二六・四版 洋・大 四冊 木四類 一八七三

中山大辭典「一」字長編 民國・王雲五編 民國二七・洋・大 一冊 木四 二〇〇七

篆隸萬象名義 三〇卷 空海撰（崇文叢書） 和・大 一七 イ四 一二一六 二七—四三

增注頭書字彙 一二集・首・附・末各一卷 明・梅膺祚撰・簡室增注 天明七・和・大 一五 木四 二〇三三

同 一五 イ一三 一〇七七

同文新字典 漢字統一會編 明治四二・洋・中 一冊 木四 一五〇八

徒杠字彙 五卷 金内格三編 安政七・和・中 四冊 木二 四三〇六

篆文詳註日本大玉篇 一二卷 石川英編 明治二四・再版・和・小 三冊 木四 一八〇五

發音發 佐藤一齋（坦）編 寫本・和・中 一冊 木四 一二五四

捷見「逸題・柱ニヨル・寬文一一」 和・小 一冊 木二 四七二

詳校重刊篇海 五卷（萬曆三六） 明・趙年伯編 唐・大 一〇冊 木四 七二一

明治字典 三九卷（卷一九以下缺） 猪野中行等編 明治一八至二二・和・大 一九冊 木四 六二

新修龍龕手鑑 四卷 遼・行均撰 宋刊本影印—民國二三（四部叢刊續編） 唐・小 三冊 イ四 一一三一 二一八四—二一八六

新修龍龕手鑑 四卷・附異同頭注（正宗敦夫）古逸叢書本印影—昭和九 遼・行均撰 洋・小（日本古典全集） 一冊 イ四 一一三〇 二一二

龍龕手鑑 四卷 遼・行均撰 唐・中（清版） 六冊 木四 七八九

類聚名義抄 別册解說（山田孝雄）添觀智院藏舊鈔本複製 貴重圖書複製會刊 昭和二二・三 和・大 帖 二一・一 木二

類聚名義抄 伴信友・黑川春村校合 寫本 和・大 一〇冊 木二 四六八六

類篇 一五卷 宋・司馬光等撰・清・曹寅刊 康熙四五 唐・中 一四冊 木四 二〇三三

倭玉篇 三卷 慶長一五年刊本影印—昭和一一 洋・小（日本古典全集） 四冊 木四類 一八七三

倭玉篇 三卷 寬永五 和・小 三冊 木二 二〇〇七

新刊倭玉篇 三卷 正保四 和・大 三冊 木四 二一一六 二七—四三

眞草倭玉篇 五卷 和・小 一冊 木二 二〇三三

音引辭書

韻補 五卷 宋・吳棫編 寫本・和・大 二冊 木四 五三七

韻補正 清・顧炎武撰（亭林遺書） 唐・大（四部叢刊續編） 一冊 イ九 五八〇 四

音韻日月燈 韻母五卷・同文釋三〇卷・音綸三五卷・首四卷・序一卷 明・呂維祺撰・呂維祺詮（崇禎七） 唐・大 二八冊 木四 七三七

諧聲品字箋 九集（三集缺）首二卷・附字彙數求翠一卷 清・慶德升撰（康熙一六） 唐・大 一三冊 イ一三 三三

諧聲品字箋 九集・首一卷 清・慶德升撰 唐・中（清版） 一五冊 木四 七一九

御奎章全韻 二卷 諺註附・朝鮮・正祖命編 和・中（朝鮮本） 一冊 木四 二〇三五

御奎章全韻 二卷 諺註附・朝鮮・正祖命編 和・小（朝鮮本） 一冊 木四 一四九八

經籍纂詁 一〇六卷・首一卷・附補遺 清・阮元編 唐・大（古逸叢書） 四八冊 木四 四八〇

廣韻 五卷 元泰定本複製 唐・大（古逸叢書） 二冊 イ四 六〇七 二六—二七

廣韻 五卷（康熙六） 唐・大 五冊 木四 三八

廣韻 五卷 唐・大（古經解彙函附刻 小學彙函） 三冊 口一二 二八九〇 六二—六四

大宋重修廣韻 五卷 宋・陳彭年等重修 唐・小（四部叢刊） 五冊 イ四 一一三一 六一〇—六一四

大宋重修廣韻 五卷・附校札一卷 宋・陳彭年等重修 宋刊本複製 唐・大（古逸叢書） 二冊 イ四 六〇七 二四—二五

大宋重修廣韻 五卷 宋・陳彭年等重修・清・張士俊刊 唐・大 五冊 木四 一七五七

大宋重修廣韻 五卷 宋・陳彭年等重修 唐・大（古經解彙函附刻 小學彙函） 五冊 口一二 二八九〇 五七—六一

廣韻鵠 五卷 明・袁鳴泰編（和刻） 和・大 一冊 木四 七八三

廣韻校勘記 五卷 民國・周祖謨撰 民國二七・唐・中（國立中央研究院歷史語言研究所專刊） 五冊 木四 二〇〇二

改併五音集韻 一五卷 金・韓道昭撰 正德一〇・重刊 唐・大 五冊 木四 三六

改併五音集韻 五卷・附改併五音類聚四聲篇海（新編篇韻貫珠集）（明・眞空）一卷 金・韓道昭撰 萬曆一七・重刊 和・大 一九冊 木四 三五

古今韻會舉要 三〇卷・首一卷・附禮部韻略七音三十六母通攷一卷 元・黃公紹編・熊忠舉要 唐・大（明版） 一六冊 木四 一三三

古今韻會舉要 三〇卷・首一卷・附禮部韻略七音三十六母通攷一卷 元・黃公紹編・熊忠舉要 和・大（朝鮮本） 一〇冊 木四 一四九七

古今韻會舉要 三〇卷・首一卷 元・黃公紹編・熊忠舉要（古活字本） 一五冊 木四 三六六

古今韻會舉要小補 三〇卷・首一卷 明・方日升編 正保五・和・大 三一冊 木四 三六六

古今韻略 五卷 清・邵長蘅撰（康熙三五） 唐・大 五冊 木四 三九

五方元音 二卷 清・樊騰鳳撰・堯允恭增補 光緒九・重鐫 唐・中 四冊 木四 五五三

三韻聲彙 二卷・補一卷・朝鮮・洪啓禧編 和・大（朝鮮本） 三冊 木四 一〇九〇

三韻通考 清・謝有煇・陳培脉箋 文化四・和・小 一冊 木二 三三七八

集韻 一〇卷 宋・丁度等奉敕修定・清・曹寅刊 康熙四五 唐・中 一〇冊 木四 二一

補集韻 一〇卷 宋・丁度等奉敕修定補刊 嘉慶一九 唐・中 一〇冊 木四 一八

補集韻 一〇卷 宋・丁度等奉敕修定補刊 天保九・和・中（官板） 一〇冊 木四 五三一

補集韻 一〇卷 「朱一新用北宋本朱書校正」刻 宋・丁度等奉敕修定 光緒二・重刊 唐・大 一〇冊 木四 一九

集韻考正 一〇卷 清・方成珪撰（光緒五） 唐・大 一〇冊 木四 二〇

聚分韻略 五卷（德治二） 師錬撰 和・中 二冊 木四 四五一

詞林韻釋 宋・葉夢軒刊 二卷 洋・小（粵雅堂叢書） 一冊 イ四 二八九 四九

中州音韻 附司馬溫公切韻 清・張漢重校 唐・小 一冊 木四 一六六八

中州全韻 二二卷・首一卷 周昂編 唐・大（清版） 六冊 木四 七八八

唐韻佚文 民國・王國維編 唐・小（海寧王忠慤公遺書） 一冊 イ四 一二六一 一四

唐寫本切韻殘卷 民國・王國維手抄（民國一〇） 唐・大 一冊 木四 一六七六

唐寫本唐韻 複製—光緒三四） 唐・大 一冊 木四 一一三

唐寫本唐韻校記 二卷 民國・王國維撰 唐・小（海寧王忠慤公遺書） 二冊 イ四 一一六一 一五—一六

童蒙頌韻 三善爲康撰 明治三四・和・大 一冊 木四 二九四一

童蒙頌韻 三善爲康撰 和・大（群書類從） 一冊 イ四 四八八 一八二

童蒙頌韻 三善爲康撰 洋・小（經濟雜誌社本群書類從） 一冊 イ四 三三五 六

班馬字類 史漢字類 五卷 宋・婁機編 宋淳熙本摸刻 唐・大（清刊） 三冊 木四 五三三

班馬字類 二卷 宋・婁機編 唐・大 二冊 木四 一八二七

班馬字類附補遺 五卷 宋・婁機編・李曾伯補 宋寫本影印—民國二五 唐・小（四部叢刊第三編） 四冊 イ四 一一三一 二六六一—二六六四

文緯 三〇卷 山梨治憲撰 昭和四・洋・中 三冊 木四 一八〇六 一—三

禮部韻略 五卷・附韻略條式一卷 宋・丁度撰 附釋文互註 宋刊本影印—民國三 唐・小（四部叢刊續編） 三冊 イ四 一一三一 二八八一—二九〇

禮部韻略 五卷 宋・丁度撰 附釋文互註 光緒二・重刊 唐・大 五冊 木四 四七

禮部韻略七音三十六母通攷（和大古今韻會舉要前附）（朝鮮本） 一冊 木四 一四九七 一

○

韻偶大成 二卷・姓氏錄一卷 上村才六編 昭和二・三版 和・中 三冊 木四 一八七五

韻府一隅 平聲八卷・仄聲八卷 清・潁懋功編・渡邊昶・中井豐民校(文政一〇・一一) 和・大 | 二冊 | イ | 九號 | 類 | 六二七
韻府一隅 平聲八卷・仄聲八卷 清・潁懋功編・渡邊昶・中井豐民校 天保二 和・小 | 五 | ヘ一八 | 三三五九
韻府一隅 平聲八卷(文政一〇) 清・潁懋功編・渡邊昶・中井豐民校 和・小 | 一 | ヘ一八 | 三三六一
韻府一隅 一六卷 清・潁懋功編 和・小 | 二 | ヘ一八 | 三三五八
韻府一隅 一六卷 清・潁懋功編 和・小 | 四 | ヘ一八 | 三三六〇
韻府一隅 一六卷 明治一三 清・潁懋功編 唐・小 | 二 | ヘ一八 | 三三五七
新增說文韻府群玉 二〇卷 弘治七 重刊 宋・陰時夫編・陰中夫注 唐・大 | 五 | 木 四 | *一九三二
新增說文韻府群玉 二〇卷 康熙五五 宋・陰時夫編・陰中夫注 唐・大 | 一二 | 木 四 | 八六四
新刊校正增補圓機韻學活法全書 四卷 寬文一二 和・小 | 一四 | ヘ一八 | 一五七 二七—四〇
新刊校正增補圓機韻學活法全書 四卷 延寶元 和・小 (圓機活法ノ內) | 七 | ヘ一八 | 二八六 一四—二〇
同 | 七 | ヘ一八 | 二六五三 一四—二〇
鼇頭韻學圓機活法 八卷 山崎昇編 明治一五 唐・小 | 二 | イ一三 | 九四六
同 | 二 | ヘ一八 | 二五八三
海藏略韻 師錬撰 和・中 (五山版) | 二 | 木 四 | *三〇〇
五車韻瑞 一六〇卷・附洪武正韻一卷 明・凌稚隆編 和・大 (邦刻) | 五〇 | 木 四 | 二
詩韻合璧 五卷・附分韻文選題解擇要一卷・詩腋・詩林典腋頭書 清・湯文溯編 咸豐九 唐・小 | 五 | ヘ一八 | 三三六四
詩韻合璧 五卷・附虛字韻藪一卷・詩腋・賦彙要錄・詩林典腋・分韻文選題解擇要頭書 清・湯文溯編 唐・小 | 五 | ヘ一八 | 三三六五
詩韻含英 一八卷・詩韻異同辨頭書 清・劉文蔚編 天保二 和・小 | 二 | ヘ一八 | 三三六三
詩韻含英 一八卷・詩韻異同辨頭書 清・劉文蔚編 和・小 | 二 | イ一三 | 一〇〇四

詩韻含英 一八卷・詩韻異同辨頭書 清・劉文蔚編 和・小 | 一冊 | ヘ一八 | 類 | 三三六二
詩韻含英 一八卷・詩韻異同辨頭書 清・劉文蔚編 明治三—天保版後刷 和・小 | 二 | ヘ一八 | 三三五二
詩韻含英 卷一至八 清・劉文蔚編・秦鼒校 和・小 | 一 | イ一三 | 一〇〇五
詩韻集成 一〇卷・詞林典腋頭書 清・余照編 道光一八 和・小 | 二 | ヘ一八 | 三三一三九
詩韻集成 一〇卷・詞林典腋頭書 清・余照編 同治二 唐・小 | 二 | ヘ一八 | 一二九一
詩韻珠璣 五卷 清・余照編・東條耕校 天保二 和・中 | 八 | ヘ一八 | 三三六六
詩韻精英 七卷・摘注頭書 池田觀編 明治一三 唐・小 | 七 | ヘ一八 | 一三二
同 | 七 | ヘ一八 | 三〇五四
詩法掌韻大成 卷四至六 安藤由越編 享保五 和・小 | 一 | イ一三 | 一〇二六
續字袖珍畧韻大成 郭山編 和・中 | 二 | 木 四 | 一八五〇
便蒙續字聚分韻略 苗村丈伯編 (延寶四) 和・中 | 一 | 木 四 | 三五三
大東韻府羣玉 二〇卷 朝鮮・權文海編 和・大 (朝鮮本) | 二〇 | イ 三 | 一四九五
頭字韻 清・余照編 天保四 和・小 | 四 | 木 四 | 一九三一
佩文韻府 一〇六卷・拾遺一〇六卷 清・張玉書等奉勅編 (康熙五〇) 唐・大 (巖本) | 一〇七 | 木 四 | 一九九七
佩文韻府 一〇六卷・拾遺一〇六卷 清・張玉書等奉勅撰・同文書局刊 光緒一二 唐・小 (石印) | 六〇 | 木 四 | 八一八
佩文韻府 一〇六卷・拾遺一〇六卷 清・張玉書等奉勅撰・點石齋刊 光緒二四 唐・小 (石印) | 二四 | 木 四 | 一九七
佩文韻府 一〇六卷 清・張玉書等奉勅撰・嚴谷修等校・鳳文館刊 明治一七 唐・中 | 九四 | イ 九 | 六三五
佩文韻府 一〇六卷・拾遺一〇六卷 清・張玉書等奉勅撰・嚴谷修等校・共益商社書店刊 明治二九 再版 唐・中 | 六三 | 木 四 | 一三
同 | 六三 | イ一三 | 一〇九四

佩文韻府 一〇六卷・拾遺一〇六卷・索引一卷 清・張玉書等奉勅撰・吉川弘文館刊 明治四一 洋・大 | 三 | 木 四 | 九〇六
同 | 三 | 木 四 | 八八大
佩文韻府 一〇六卷・拾遺一〇六卷 清・張玉書等奉勅撰・吉川弘文館刊 明治四一 洋・大 | 二 | 木 四 | 一五四四
佩文韻府 一〇六卷・拾遺一〇六卷・索隱一卷 清・張玉書等奉勅撰・唐・小 (民國石印) | 一〇〇 | 木 四 | 一八一四
聯珠略韻 敦賀屋久兵衞刊 天保五 和・大 | 四 | 木 四 | *三六五

○

漢語二重引 萩原乙彥補編 明治九 再板 和・小 | 一 | 木 四 | 六六
中等讀本漢文辭典 新田義彥編 明治四五 洋・小 | 一 | 木 四 | 一八二四
同 | 一 | 木 四 | 一八二五
同 | 一 | 木 四 | 一八二六
經史摘語 二卷 鈴木子煥編 和・中 | 一 | 木 四 | 九三
經史摘語 二卷 (安永三) 鈴木子煥編 和・中 | 一 | 木 四 | 一八七〇
模範故事熟語辭典 大島庄之助等編 明治四五 洋・小 | 一 | 木 四 | 一三二九
故事熟語字典 平野彥次郎編 明治三七 訂正四版 洋・小 | 一 | 木 四 | 二二六
故事熟語字典 平野彥次郎編 訂正四版 洋・小 | 一 | 木 四 | 四四九
故事熟語大辭典 池田四郎次郎編 大正二 洋・大 | 一 | 木 四 | 一三四九
故事熟語大辭典 池田四郎次郎編 大正八 三〇版 洋・大 | 一 | 木 四 | 一五五〇
故事熟語大辭典 池田四郎次郎編 大正一〇 五〇版 洋・大 | 一 | 木 四 | 一六四七
同 | 一 | 木 四 | 一六五八
故事成語大辭典 簡野道明編 明治四〇 洋・大 | 一 | 木 四 | 八三七
增修故事成語大辭典 簡野道明編 大正一三 縮刷 五一版 洋・小 | 一 | 木 四 | 一七八九
故事大辭典 近藤元粹編 明治三三 和・小 | 三 | 木 四 | 一五
雜字類編 七卷 柴野貞穀重修 天明六 和・中 | 一 | 木 二 | 八八八
雜字類編 七卷 柴野貞穀重修 和・中 | 一 | 木 二 | 七五
雜字類編 七卷 柴野貞穀重修 明治九 和・中 | 一 | 木 二 | 四七四一
四聲解環 二卷 源文伯撰 文化元 和・小 | 一 | 木 二 | 四七四六
事物異名類編 七卷 荒井公履編 文久元 和・大 | 二 | イ 三 | 一八〇三
授幼難字訓 三卷 井澤長秀編 享保一二 和・中 | 一 | 木 二 | 四七四六
常語藪 二卷 岡田挺之編 寬政七 和・中 | 二 | 木 二 | 六四三
同 | 二 | 木 二 | 四三〇九
同 | 二 | 木 二 | 四三一八
詩聯大成以呂波韻 二卷 宵柏亭編 元祿一二 和・中 | 二 | ヘ一八 | 三二八二
字簏 九卷・附單語・畫引索引一卷 田澤仲舒編・野口恒重校 昭和八・九 和・大 | 一〇 | 木 二 | 四七一〇
新編漢語辭林 一名熟語六萬六千辭典 山田美妙(武太郎)編 明治三七 洋・小 | 一 | 木 四 | 二二八
節用文字 古典保存會刊 和・大 (德富猪一郎氏藏舊鈔本複製—昭和七) | 一 結 | 木 二 | *四六八七
麤頭熟字增補伊呂波韻集成 星野隆吉編 明治一一 和・小 | 一 結 | イ一三 | 一〇五七
增補新令字解 萩田嘯編・東條永補 明治三 和・小 | 一 | 木 二 | 六九七
文藻行潦 七卷 山本信有編 天明二 和・小 | 三 | 木 二 | 四七四二
同 | 三 | 木 二 | 四七四三

文藻行潦 七卷 山本信有編 天明二・和・小
和訓解 水野清衷編 明治二九・和・中

分類辭書

翰林重攷字義京本大板 海篇心鏡 二〇卷 明・劉孔當校 萬曆二四・唐・大
刻京本五音集韻 海篇大全 三一卷 明・鄒德溥編・夏以仁補 萬曆一七・唐・大
陳明卿大史訂邏韻 海篇朝宗 一二卷 明・陳仁錫閱・譚元春訂 (明版)
考古詳訂邏韻 海篇朝宗 一二卷 明・陳仁錫閱・譚元春訂 (明版)
課業餘談 三卷 清・陶燦撰 (學海類編)
錦字箋 四卷 (文政一一) 清・黃濬編 和・小
廣雅 一〇卷 魏・張揖撰・隋・曹憲音 (古經解彙函附刻) 小學彙函
廣雅疏證 一〇卷・附博雅音 一〇卷 清・王念孫撰 (嘉慶元) 唐・大
廣雅疏證 一〇卷 清・王念孫撰 唐・中 (皇清經解)
廣雅疏證補正 清・王念孫撰 唐・大 (廣倉學窘叢書)
候鯖一臠 五卷 安田重兵衛尉刊 天保一三・和・中
國華集 寬文一二 和・小
爾雅 三卷 和・大 (縮刻唐石經)
影覆宋蜀大字本爾雅 三卷 晉・郭璞注 唐・大 (古逸叢書)
爾雅 三卷 晉・郭璞注 宋刊本影印 唐・小 (四部叢刊)
爾雅 一一卷 晉・郭璞注 (十三經註) 唐・小
爾雅音義 晉・郭璞撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
爾雅草木蟲魚鳥獸釋例 民國・王國維撰 唐・大 (廣倉學窘叢書)
爾雅草木蟲魚鳥獸釋例 民國・王國維撰 唐・小 (海甯王忠慤公遺書)
爾雅孫氏音 魏・孫炎撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
爾雅孫氏注 三卷 魏・孫炎撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
爾雅注疏 一〇卷・各卷校勘記附 晉・郭璞注・宋・邢昺疏 唐・大 (重栞宋本十三經注疏)
爾雅注疏 一一卷 晉・郭璞注・宋・邢昺疏 唐・中 (十三經疏)
爾雅註疏 一一卷 晉・璞郭注・宋・邢昺疏・明・曾朝節等重校 和・大
爾雅註疏 一一卷 晉・郭璞注・宋・邢昺疏・明・曾朝節等重校 寬政六—後刷 和・大
爾雅註疏 一一卷 晉・郭璞注・宋・邢昺疏・明・曾朝節等重校 (後刷) 晉・郭璞注・宋・邢昺疏・明・曾朝節等重校 和・大
同治四 唐・中
爾雅漢注 三卷 清・臧鏞編 唐・中 (槐廬叢書)
爾雅義疏 二〇卷 清・郝懿行撰 光緒一三・唐・大
爾雅義疏 二〇卷 清・郝懿行撰 唐・中 (皇清經解)
爾雅匡名 二〇卷 清・嚴元照撰 唐・中 (皇清經解續編)
爾雅經注集證 三卷 清・龍啓瑞撰 唐・中 (皇清經解續編)
爾雅犍爲文學注 三卷 漢・郭舍人撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
爾雅校勘記 八卷 清・阮元撰 唐・中 (皇清經解)
爾雅古義 二卷 清・錢坫撰 唐・中 (皇清經解續編)
爾雅顧氏音 梁・顧野王撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
爾雅釋地四篇注 清・錢坫撰 唐・中 (皇清經解續編)
爾雅謝氏音 陳・謝嶠撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
爾雅疏 一〇卷 宋・邢昺撰 宋刊本重雕—光緒四 唐・大
爾雅疏證 一〇卷 宋・邢昺撰 宋刊本影印 唐・小 (四部叢刊續編)
爾雅小箋 三卷 清・江藩撰 唐・大 (鄦齋叢書)
爾雅新義 二〇卷 宋・陸佃撰 洋・小 (粵雅堂叢書)
爾雅圖贊 二卷・晉・郭璞撰・清・嚴可均編 唐・大 (觀古堂彙刻書)
爾雅圖讚 晉・郭璞撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
爾雅正義 二〇卷 清・郝懿行撰 唐・中 (皇清經解)
爾雅施氏音 陳・施乾撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)

子史精華 言語部 清・張廷玉等編 唐・中
集注爾雅 梁・沈旋撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
新刻事物異名 二卷 明・余庭璧編 延寶二・和・小
事物異名錄 四〇卷 清・厲荃編・關槐增 乾隆五三・唐・中
事物異名錄 四〇卷 清・厲荃編・關槐增 和・大 (昌平叢書)
稱謂錄 三二卷・光緒元至一〇 清・梁章鉅撰 唐・大
疊雅 一三卷・附雙名錄一卷 清・史夢蘭編 同治四・唐・中
小爾雅 漢・孔鮒撰 唐・大 (漢魏叢書)
小爾雅 漢・孔鮒撰 唐・小 (叢苑拾華)
小爾雅 漢・孔鮒撰 唐・大 (說郛)
小爾雅 漢・孔鮒撰 唐・大 (續百川學海)
小爾雅 漢・孔鮒撰 唐・小 (龍威祕書)
小爾雅義證 一三卷・補一卷 清・胡承珙撰 唐・大 (求學軒叢書)
小爾雅訓纂 六卷 清・宋翔鳳撰 唐・中 (皇清經解續編)
小爾雅疏證 五卷 清・葛其仁撰 唐・大 (恕進齋叢書)
書言俗解 六卷・貞享二 和・中
新刻增校切用正音鄉談雜字大全 二卷・寫本 和・大
新刻增校切用正音鄉談雜字大全 二卷・寫本 和・中
聲類 四卷 清・錢大昕撰 洋・小 (粵雅堂叢書)

	册	類	號		
釋名 八卷 明嘉靖翻宋本影印	一	イ	四	一一三	九〇九
釋名 八卷 漢・劉熙撰 唐・大 (古經解彙函附刻 小學彙函)	一	ロ	一三	二九〇	三四
新釋名 八卷 漢・劉熙撰・明・畢效欽校刻 明曆二 和・大	二	ホ	四	一〇六	
同	二	ホ	四	一七九	
釋名 四卷 漢・劉熙撰 唐・大 (漢魏叢書)	一	イ	四	二六五	九
釋名疏證 八卷・補遺一卷・續一卷 清・畢沅撰 唐・小 (經訓堂叢書)	一	イ	四	一四二九	七
釋名疏證 八卷・補遺一卷・續一卷 清・畢沅撰 唐・小 (經訓堂叢書)	一	イ	四	一四二九	八
辨釋名 吳・韋昭撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六四
增補國華集 慶々市兵衛刊 寬文九 和・中	二	ヘ	一八	三一四五	
俗語譯義 留守友信編 寫本	一	ホ	四	一九九五	
續編珠 清・高士奇編 和・小	二	ホ	四	大三五 五—六	
孫氏爾雅正義拾遺 魏・孫炎撰・清・吳騫編 唐・小 (拜經樓叢書)	一	イ	四	一〇三五 一七	
博雅 一〇卷 魏・張揖編・隋・曹憲音釋 唐・大 (漢魏叢書)	一	イ	四	二六五 一〇	
坤雅 二〇卷 宋・陸佃撰 唐・大	四	ホ	四	三九七	
同	四	ホ	四	一八三七	
比雅 一〇卷 唐・大 (洪北江先生遺集)	二	イ	四	三六八 五四—五五	
文鳳鈔 卷一至八(卷二・七缺) 菅原爲長編 寫本	六	ホ	四	八五八	
駢雅訓纂 一六卷・首一卷 清・魏茂林撰 光緒二二 唐・中	八	ホ	四	二〇一〇	
編珠 四卷・續二卷 隋・杜公瞻撰・清・高士奇校補 文政一二 和・小	四	ホ	四	大三五	
御定駢字類編 二四〇卷 清・康熙中勅編 光緒一三 唐・小	四	ホ	四	三一	
使用雜字全書 寫本 和・中	一	ホ	四	六八四	
蒙雅 清・魏源編 唐・大 (廣倉學宭叢書)	一	イ	四	一〇七八	四
文選錦字錄 二一卷・首一卷・明・凌迪知編 文政元 和・大 (官板)	一〇	ヘ	一六	二七四三	
兩漢雋言 一六卷 宋・林越撰・明・凌迪知補 萬曆三六 唐・大	三	リ	八	四七二六	
連文釋義 清・王言編 唐・中 (昭代叢書)	一	イ	四	一二四	一〇
雜辭書					
異字 吳・朱育撰・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六四
韻英 唐・陳(元)廷堅撰・清・汪黎慶編 唐・大 (廣倉學宭叢書)	一	イ	四	一〇七八	六
韻集 晉・呂靜撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六四
韻銓 唐・武元之撰・清・汪黎慶編 唐・大 (廣倉學宭叢書)	一	イ	四	一〇七八	六
韻略 北齊・陽休之撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六五
越語肯綮錄 清・毛奇齡撰 唐・大 (西河全集)	一	イ	四	九四六	八九
音同義異辨 清・畢沅撰 唐・小 (經訓堂叢書)	一	イ	四	一四二九	一六
開元文字音義 唐・元宗撰・清・汪黎慶編 唐・大 (廣倉學宭叢書)	一	イ	四	一〇七八	六
魁本對相四言雜字 舊版複製—大正九 和・小 (稀書複製會刊行書本)	一	ホ	四	一九五五	
魁本對相四言雜字 舊版複製—大正九 和・小 (稀書複製會刊行書)	一	イ	四	八九八	八
雅言覺非 三卷 朝鮮・丁若鏞撰 和・中 (朝鮮叢書)	一	イ	四	二一八五	一一
雅言覺非 三卷 朝鮮・丁若鏞撰・細井肇譯 大正一五 再版 洋・小 (朝鮮研究叢書本)	一	ホ	四	一七七五	
疑字箋要 寫本 和・大	一	イ	一三	九六五	
急就章 皇象本 唐・中 (靈鶼閣叢書) 漢・史游編・清・鈕樹玉校	一	イ	九	五八二	三
急就章 漢・史游撰・清・孫星衍考異 唐・大 (古經解彙函附刻 小學彙函)	一	ロ	一二	二八九〇	三六
急就章 漢・史游撰 唐・大 (古逸叢書)	一	イ	四	六〇七	三八
校松江本急就篇 校補共 唐・小 漢・史游撰・民國・王國維校 (海寧王忠慤公遺書)	一	イ	四	一一六一	一四
急就篇 漢・史游撰・唐・顏師古注 明鈔本影印 唐・小 (四部叢刊續編)	一	イ	四	一一三一	一八二
急就篇四卷 漢・史游撰・唐・顏師古注・宋・王應麟補注 唐・大 (玉海附刻)	二	イ	三	一七四 一〇八—一〇九	
急就篇四卷・附正文一卷 漢・史游撰・唐・顏師古注・宋・王應麟音釋 唐・小 (學津討源)	一	イ	四	一四一二	三九
急就篇四卷・附正文一卷 漢・史游撰・唐・顏師古注・宋・王應麟音釋 唐・小 (津逮祕書)	二	イ	四	一一七〇 四七—四八	
急就篇殘簡考釋 共 唐・大 民國・羅振玉編 (流沙墜簡)	二	チ	六	三七九七 一—二	
匡謬正俗 八卷 唐・大 顏師古撰 (古經解彙函附刻 小學彙函)	一	ロ	一二	二八九〇 三六	
金壺字考 宋・大 適之撰 (說郛)	一	イ	一二	* 六 八二	
訓纂篇 漢・揚雄撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六二
桂苑珠叢 隋・諸葛潁撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六五
廣蒼 梁・樊恭撰・清・馬國翰編 唐・中 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六四
古今字詁 魏・張揖撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六三
五色線 唐・大 (續百川學海)	一	イ	四	一三三〇	二
五色線 唐・小 (津逮祕書)	一	イ	四	一一七〇	一七
五色線 唐・大 (說郛)	一	ロ	一一	一三三六	六二
雅俗故事新編 二卷 明治一八 板井慶次郎編 和・中	一	ホ	四	二〇四七	
古文官書 漢・衛宏撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六二
雜字 魏・張揖撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六三
雜字解詁 魏・周成撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六三
三蒼 秦・李斯等撰・魏・張揖訓詁・晉・郭璞解詁・清・馬國翰編 唐・小 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六二
纂文 宋・何承天撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六四
纂要 宋・顏延之撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六四
字格 唐・竇臮撰 唐・大 (說郛)	一	イ	一二	* 六 八二	
詩語解 二卷 寶曆一三 顧常撰 和・中	二	ヘ	一八	二八四二	
字指 晉・李彤撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六四
字書誤讀 宋・王雱撰 唐・大 (說郛)	一	イ	一二	* 六 八二	
字統 楊承慶撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六四
釋常談 三卷 唐・大 (說郛)	一	イ	一二	* 六 一四	
釋常談 三卷 唐・中 (五朝小說)	一	イ	四	五五七	四一
字林 宋・呂忱撰 唐・大 (說郛)	一	イ	一二	* 六 八二	
誤似明辨新案漢字典 芳賀剛太郎編 明治四〇 洋・小	一	ホ	四	一八〇四	
聲類 魏・李登撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六三
蒼頡訓詁 漢・杜林撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六二
蒼頡篇 秦・李斯等撰・魏・張揖訓詁・晉・郭璞解詁・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)	一	ロ	一一	一三三六	六二

倉頡篇 三卷 唐・大（漢魏叢書）	一	イ	四	九	五六	一	一
蒼頡篇殘簡考釋共 唐・大 民國・羅振玉編（流沙墜簡）	二	チ	六	三七九	一一	二	一
倉頡篇殘簡考釋 民國・羅振玉撰 唐・大（廣倉學宭叢書）	一	イ	四	一〇七	一一	一	一
操風瑣錄 四卷 唐・大 清・劉家謀編（廣倉學宭叢書）	一	イ	四	一〇七八	一一	一	一
俗呼小錄 明・李翊撰（說郛）	一	イ	一二	*	一三	一	一
續釋常談 宋・龔熙正撰 唐・大（說郛）	一	イ	一二	*	一	一	一
續釋常談 宋・龔熙正撰 唐・中（五朝小說）	一	イ	四	五五七	四一	一	一
續方言 二卷 清・杭世駿撰（杭氏七種）	一	イ	九	五六八	五	一	一
續方言又補 二卷 唐・大 清・徐乃昌撰（鄦齋叢書）	一	イ	四	四五八	一〇	一	一
中華古今注 三卷 唐・大 宋・馬縞撰（續百川學海）	二	イ	四	一一三〇	一一二	一	一
中華古今注 三卷 唐・大 宋・馬縞撰（祕書廿一種）	一	イ	四	一二四	一一	一	一
中華古今注 三卷 唐・大 宋・馬縞撰（說郛）	一	イ	一二	*	一	一	一
通俗文 漢・服虔撰 清・馬國翰編（玉函山房輯佚書）	一	ロ	一一	一三三六	六三	一	一
訂譌雜錄 一〇卷 清・胡鳴玉撰（官板）	三	イ	五	五四三	一一	一	一
訂譌雜錄 一〇卷 文久元 和・大 清・胡鳴玉撰（昌平叢書）	三	イ	一四 一一一一	七〇二 一一三	一一	一	一
佩觿 唐・大 唐・郭忠恕撰（說郛）	一	イ	一二	*	八二	一	一
埤蒼 魏・張揖撰 清・馬國翰編 唐・大（玉函山房輯佚書）	一	ロ	一一	一三三六	六三	一	一
分毫字樣 唐・大（玉函山房輯佚書）	一	ロ	一一	一三三六	六三	一	一
駢字分箋 清・程際盛編・林厚德補註 明治一四・和・中	一	ホ	四	五六四	一三三六	一	一

同

方言 一三卷 漢・揚雄撰・晉・郭璞注 唐・大（漢魏叢書）	一	イ	四	二六五	八	一	一
方言 一三卷 唐・大 漢・揚雄撰・晉・郭璞注（子書百家）	一	ロ	一三	九六三	一八	一	一
輶軒使者絕代語釋別國方言 一三卷・校正補遺一卷 漢・揚雄撰・晉・郭璞注 唐・大（古經解彙函附刻・小學彙函）	一	ロ	一二	二八九〇	三二	一	一
輶軒使者絕代語釋別國方言 一三卷 宋刊本影印 漢・揚雄撰・晉・郭璞注 唐・小（四部叢刊）	一	イ	四	一一三一	六〇八	一	一
輶軒絕代語 漢・揚雄撰 唐・大（說郛）	一	イ	一二	*	六 一三	一	一
輶軒絕代語 漢・揚雄撰 唐・中（小朝小說）	一	イ	四	五五七	九	一	一
輶軒絕代語 漢・揚雄撰 唐・小（龍威祕書）	一	イ	四	四九〇	三三	一	一
方言據 二卷 唐・小 明・岳元聲撰（學海類編）	一	イ	四	一四二四	九九	一	一
方言藻 二卷 天保二 和・大 清・李調元撰（官板）	一	ホ	四	四五五		一	一
方言藻 二卷 和・大 清・李調元撰（昌平叢書）	一	イ	四	七〇二	一〇一	一	一
凡將篇 漢・司馬相如撰・清・馬國翰編 唐・大（玉函山房輯佚書）	一	ロ	一一	一三三六	六二	一	一
文字指歸 隋・曹憲撰・清・馬國翰編 唐・大（玉函山房輯佚書）	一	ロ	一一	一三三六	六五	一	一
文字集略 梁・阮孝緒撰・清・馬國翰編 唐・大（玉函山房輯佚書）	一	ロ	一一	一三三六	六五	一	一
要用字苑 晉・葛洪撰・清・馬國翰編 唐・大（玉函山房輯佚書）	一	ロ	一一	一三三六	六四	一	一
聯綿字譜 三卷 唐・小 民國・王國維編（海甯王忠慤公遺書）	一	イ	四	一一六一	一七	一	一

漢字〔藝術ノ書（チ一〇）參照〕

埃漢文字同源考 一名東洋ロセッタ石 附藤洲の「アルファベット」文字起原說を駁て 板津七三郎撰 昭和八・洋・中	一	ホ	四	二〇二一		一	一
異字 吳・朱育撰 清・馬國翰編 唐・大（玉函山房輯佚書）	一	ロ	一一	一三三六	六四	一	一

異體字辨 中根璋編（元祿五） 和・小	二	ホ	四	一七八		一	一
殷虛書契 前編一・二 民國・羅振玉編 宣統三 唐・大（國學叢刊）	二	イ	四	七八〇	一一	一	一
殷虛書契 前編八卷・後編二卷・續編六卷 民國・羅振玉編（民國元至二二） 唐・大（集古遺文本）	一一	ホ	四	一九七六		一	一
殷虛書契續編校記 六卷 唐・大 民國・曾毅公撰（齊魯大學國學研究所國學叢編本）	一	ホ	四	二〇六三		三	一
殷虛書契考釋 一卷 民國・羅振玉撰 民國三 唐・大	一	ホ	四	一四六八		一	一
殷虛書契考釋 一卷 民國・羅振玉撰 民國一二 唐・大	一	ホ	四	一七四二		一	一
殷虛書契考釋 三卷 民國・羅振玉撰 民國一六 增訂 唐・大	一	ホ	四	一九七七		一	一
殷虛書契菁華 民國・羅振玉編（民國三） 唐・大	一	ホ	四	一九八〇		一	一
殷虛書契待問編 一卷 民國・羅振玉編（民國五） 唐・中	一	ホ	四	一四六七		一	一
殷虛書契待問編 一卷 民國・羅振玉編（民國五） 唐・小（書古叢編）	一	チ	一〇	三八六〇	二	一	一
殷虛文字待問編 一三卷 民國・商承祥編 民國一二・唐・大	一	ホ	四	一七四三		一	一
殷虛文字の年代 飯島忠夫撰 洋・中（訂支那古代史論）	一	リ	八	四九八五		一	一
殷虛文字類編 一四卷・檢字一卷 民國・羅振玉考釋・商承祚類次 民國一二 唐・大	六	ホ	四	一七四一		一	一
殷契遺珠 民國・金祖同撰・郭沫若撰並編 民國二八 唐・大（孔德圖書館叢書本）	三	ホ	四	二〇一五		一	一
殷契粹篇 附同考釋 民國・郭沫若撰並編 昭和一二 大	五	ホ	四	一九八〇		一	一
殷商貞卜文字考 清・羅振玉撰 宣統二 唐・大	一	ホ	四	一二四		一	一
韻府古篆彙選 明・陳策編 正德三 和・大	五	ホ	四	五三四		一	一
同	五	ホ	四	一二五一		一	一
同	五	ホ	四	一八四六		一	一

演說文 梁・慶儼撰・清・馬國翰編（玉函山房輯佚書） 唐・大	一	ロ	一一	一三三六	六四	一	一
解字小記 清・程瑤田撰 唐・中（皇清經解）	一	ロ	一二	四七八	一四一	一	一
諧聲圖 二卷 山梨治憲撰 洋・中（山梨稻川集）	一	ホ	四	一八〇六	四	一	一
諧聲補逸 一四卷・附札記一卷 清・宋保撰（許學叢書） 唐・小	三	ホ	四	六二一	五一七	三	一
瓦削文字譜 民國・文素松編 民國一九 唐・大	一	ホ	四	二〇五一		一	一
汗簡 七卷・目一卷 宋・郭忠恕編 手鈔本影印 民國二三 唐・小（四部叢刊續編）	一	イ	四	一一三一	二八三	一	一
汗簡 卷一二・目一卷 宋・郭忠恕編 光緒九 和・小	一	ホ	四	四八三		一	一
漢字 小金澤久吉撰 洋・小	一	ホ	四	七三八		一	一

同

漢字起原の研究 影山修撰 昭和九 洋・中	一	ホ	四	二〇三六		一	一
漢字起原の研究 影山修撰 昭和一四 洋・中	一	ホ	四	二〇〇六		一	一
漢字形聲譜 附漢字・小金澤久吉編 明治四四 洋・中	一	ホ	四	一二六六		一	一
漢字系譜 高田忠周撰 明治四一 洋・小	一	ホ	四	九七一		一	一
漢字系譜 高田忠周撰 洋・中（漢字詳解）	一	ホ	四	一六二八	六	一	一
漢字系譜講義 高田忠周撰 明治四三 洋・中（漢字詳解）	一	ホ	四	一六二八	一	一	一
漢字雜話 樋口銅牛（勇夫）撰 明治四三 洋・小	一	ホ	四	一八〇一		一	一
漢字字原系譜 高田忠周撰 洋・大（漢字の原理ト同刊）	一	ホ	四	三九〇		一	一
漢字詳解 六卷 高田忠周撰 明治四三至大正元 洋・中	六	ホ	四	一六二八		二一六	

漢字詳解全部索引　六　漢字系譜
訂說文解讀表略　六

漢字詳解 二卷·首一卷　高田忠周撰　冊 三　木 四 一八三一 猶
大正一四　訂正再版　洋·中

漢字ノ研究　安達常正撰　木 四 一〇五七
明治四二　洋·中　一

漢字の研究　岡井愼吾撰　木 二 四四三六 八
洋·中（國語科學講座）　一

漢字の原理　高田忠周撰　木 四 三九〇
明治三七　洋·大　一

漢字の性質を論じて對句の發生に及ぶ　尾川敬三撰（金澤博士東洋語學乃研究記念）　洋·中　木 二 四四一八
洋·中（岩波國語教育）　一

漢字の話 附新體本の字體　大岡保三撰　木 二 四五〇一 五
國語調查委員會編　一

漢字要覽　明治四一　洋·大　木 四 九二七
國語調查委員會編　一

漢字要覽　國語調查委員會編　木 四 一六四一
明治四一　訂正再版　洋·大　一

漢晉眞蹟字鑑 二卷·附錄一卷　松田南溟撰·野本白雲編　木 四 二〇〇八
昭和一二　唐·大　三

漢代古文考　民國·王國維撰　イ 四 一〇七八 五
唐·大（廣倉學窘叢書）　一

漢隸字源 五卷·碑目·畫引各一卷　宋·婁機撰　木 四 五三
寬政一〇　再版　和·大　七

漢隸字源 逸題　竊—關雪江　和·中　木 四 ＊四八七
寫　一

漢隸分韻 七卷　明·李宗楓編　木 四 七一八
乾隆三七　唐·大　四

干祿字書 道空本「菱湖朱書校正」　唐·顏元孫撰　木 四 二九〇
（寶永四）　和·大　一

干祿字書　唐·顏元孫撰　木 四 二〇五八
文化一四　和·大（官板）　一

干祿字書　唐·顏元孫撰　木 四 六八九
文化一四—明治後刷本　和·大　一

干祿字書　唐·顏元孫撰（古經解彙函附刻　小學彙函）　冊 一　口 一一二 贈 二八九〇 五六
唐·大　六　漢字系譜

干祿字書　唐·顏元孫撰　木 四 一〇五七
唐·大（說郛）　一

龜甲獸骨文字 二卷　林泰輔撰　木 四 二〇〇九
大正六）　唐·大　二

龜甲獸骨文字 二卷　林泰輔撰·商周遺文會刊　木 四 二〇五三
大正一〇　唐·大　二

訪古攬勝 第四至一〇　葛城理平撰　木 四 一九一八
見聖 昭和六—至九　和·大　七

易字攷　一　肫字攷　一

學倉篇（卷一至一二）

午字攷　二　肇國篇　三
文道篇　三　德字攷　四
申字攷　四　上代作曆法　五
中字攷　五　史字攷　六
聖字攷　六　气類篇　七
天命篇　七

汲古閣說文訂　清·段玉裁編　木 四 三五五
同治一一　唐·大　一

教育勅語字源考釋　葛城理平撰　木 四 二〇二三
昭和六　和·大　一

行書類纂　關克明選·同思亮編　イ 四 一〇七八 五
天保四　和·中　一

同　木 四 五三　七

許學叢書 三集一四種　清·張炳翔編　木 四 七一八
光緒九至一二　唐·小　四

第一集

許君年表（清·陶方琦纂）　一
唐寫本說文解字木部箋異（附摸本）（清·莫友芝）　二
說文疑疑（二卷·附錄一卷）（清·孔廣居）　三—四
諧聲補逸（一四卷·附札記一卷）（清·宋保）　五—七

說文段注撰要（九卷）（清·馬壽齡）　九—一四
說文辨疑（清·顧廣圻）　一五　讀說文樸議（清·許槤）
說文字原韻表（二卷）（清·胡重編）　一六　說文部首歌（清·馮桂芬）　一六

第三集

說文答問疏證（六卷）（清·薛傳均）　一七—一八
說文新坿攷（六卷續攷一卷·附札記一卷）（清·鈕樹玉）　一九—二〇
段氏說文注訂（八卷·附札記一卷）（同上）　二一—二三
說文解訂（二八卷·附札記一卷）（清·苗夔）　二三—二四

金石大字典 三二卷　民國·汪仁壽編　三二　木 四 三八一四
民國一五　唐·大

金石文字辨異 一二卷　清·邢澍撰　九　イ 四 六三〇
唐·大（聚學軒叢書）　一—一九

金文編 五册　民國·容庚編　民國二八　五　木 四 二〇一四
唐·大（國立中央研究院歷史語言研究所專刊本）

金文餘釋　民國·郭沫若撰　チ 一〇 三八五五
唐·大（金文叢考）　一

金文餘釋之餘　民國·郭沫若撰　木 四 二〇五七
昭和七　唐·大　一

經典文字辨證書 五卷　清·畢沅撰　イ 四 一四二九 一六
唐·小（經訓堂叢書）　一

廣金石韻府　清·林尙蔡編·李根校　木 四 七六七
（康熙九）　唐·大　六

廣金石韻府　清·林尙蔡編·李根校　木 四 二〇六二
安永五　和·大　六

甲骨學　民國·朱芳圃編　木 四 一九六八
民國二二至二四　初·再版　唐·大　四

文字編　一—二　商史編　三—四

甲骨書錄解題　民國·邵子風撰　木 四 一九六九
民國二四　唐·大　一

甲骨地名通檢　民國·曾毅公編　木 四 二〇一九
唐·大（商代地理考附編）　一

甲骨年表　民國·董作賓·胡厚宣編　民國二六　一　木 四 一九八九
唐·大（國立中央研究院歷史語言研究所單刊本）

甲骨文斷代研究例　民國·董作賓撰　一　イ 四 一四七四 一
洋·大（國立北京大學國學門週刊·慶祝蔡元培先生六十五歲論文集）

甲骨文編 一四卷·附錄添　民國·孫海波編　五　木 四 一九六七
一九三四　唐·大

甲骨文字研究 二册　民國·郭沫若撰　二　木 四 二〇四八
民國二〇　唐·大

甲骨文字理惑　民國·徐澄宇撰　木 四 一九七九
民國二六　和·大　一

合聲易字　附同後譜竝補訂傳音快字　清·盧靖編　木 四 八一九
（光緒二三）　唐·大　一

考聲微 三卷　山梨治憲撰　木 四 一八〇六 四
洋·中（山梨稻川集）

國字考　伴直方撰　木 二 四五九九 八
洋·中（國語學大系）　一

古今字詁　魏·張揖撰·清·馬國翰編　口 一一 一三六 六三
唐·大（玉函山房輯佚書）　一

古今文字表　後魏·江式撰　口 一一 一三六 六五
唐·大（玉函山房輯佚書）　一

古籀彙編 一四卷　民國·徐文鏡編　木 四 一九六六
民國二四　再版　唐·小　一四

古籀篇 一〇〇卷·首一卷·補遺一〇卷·隸文索引二卷·篆文索引六册·轉注假借說一卷·學古發凡八卷·古籀篇建首檢字（蔡延幹）一卷　高田忠周編　大正一四至昭和二　唐·大　六九　木 四 一七七三

古文官書　漢·衞宏撰·清·馬國翰編　口 一一 一三六 六二
唐·大（玉函山房輯佚書）　一

雜字指　漢·郭顯卿撰·清·馬國翰編　口 一一 一三六 六二
唐·大（玉函山房輯佚書）　一

字學舉隅　清·黃虎癡·龍啓瑞輯　木 四 二九六
光緒一二　唐·小　一

四角號碼檢字法　民國·王雲五撰　木 四 一七七八
（民國一五）　洋·中　一

漢字ノ四隅番號化檢字法　民國·王雲五撰·間宮不三雄譯　木 四 二〇一九
昭和五　洋·中　一

漢字ノ四隅番號化檢字法 民國・王雲五撰・岡宮不二雄譯 昭和五 洋・中 一冊 ホ 四類 一九七一號

同 支那文字の創作者とその製作の法則 飯島忠夫撰 洋・中・(支那學研究) 一 リ 八 四九八五

字學七種 二卷 清・李祕園撰 和・大・(昌平叢書) 一 ホ 四 二〇四五

分毫字辨 一 同音異用 二 イ 四 七〇二 四七—四八

誤讀諸字 一 異音駢字

語窩諸字 一 通用諸字

一字數音 二

四體書勢 晉・衞恒撰・清・馬國翰編 唐・大・(玉函山房輯佚書) 一 ロ 二一 一三六 大四

四體書勢 晉・衞恒撰 唐・大・(說郛) 一 イ 一三 * 大 八三

四體書勢 晉・衞恒撰 唐・中・(五朝小說) 一 イ 四 五五七 二

史籀篇 周・史籀撰・清・馬國翰輯 唐・大・(玉函山房輯佚書) 一 ロ 二一 一三六 大四

史籀篇疏證 民國・王國維撰 唐・大・(廣倉學窘叢書) 一 イ 四 一〇七八 五

史籀篇疏證 民國・王國維撰 唐・小・(海寧王忠慤公遺書) 一 イ 四 一二六一 一三

史籀篇敍錄 民國・王國維撰 唐・大・(廣倉學窘叢書) 一 イ 四 一〇七八 五

支那古代文字研究 八幡圖太郎撰 洋・中・(支那藝苑考) 一 チ 一 三九〇三

支那の文字及び言語に現れたる倫理思想 倉石武四郎撰 岩波講座倫理學 洋・中 一 ロ 九 三七〇四 一

支那文字解說 井原徹山撰 昭和一五 洋・中 一 ホ 四 二〇二三

支那文字學 武內義雄撰 岩波講座日本文學 洋・中 ア ヘ 二 四三八 五

支那文字の研究 中村不折・詫太郎撰 洋・中・(東洋史講座) 一 リ 七 四六五二 五

支那文字の創作者とその製作の法則 飯島忠夫撰 洋・中・(支那學研究) 一 リ 八 四九八五

集殷虛文字楹帖 東方學會刊 和・小 一 ホ 四 二〇四五

集古印篆 外題六書通 四卷 秦鉛編 明和九 和・大 四 ホ 四 一八二〇

集古印篆六書通 四卷・首一卷 田中善明編 印篆拾遺 明治二三 和・小 四 ホ 四 二九八

字樣 唐・顏師古撰・清・汪黎慶編 唐・大・(廣倉學窘叢書) 一 イ 四 一〇七八 大

新集古文四聲韻 五卷・附錄一卷 宋・夏竦編 (乾隆四四) 唐・大 四 ホ 四 三七

書契淵源 一七卷 中島竦撰 昭和九至一二 唐・大 一七 ホ 四 二〇五五

眞行草大字典 一二集(未集以下缺) 書學會編 明治二五・二六 和・小 七 チ 六 三七八四

眞行草大字典 一二集 書學會編 大正九—一三版 洋・小 一 チ 六 三七八七

誠齋殷虛文字 附考釋一卷 民國・孫誠温蒐集・孫海波編 民國二九 唐・大 一 ホ 四 二〇二〇

正俗字辨 寬延元 和・大 一 ホ 四 一八四五

說文易檢 一四卷・附卷二冊 清・史恩緜編 光緒版影印—民國一二再版 唐・小 一〇 ホ 四 一八一〇

說文引經攷 二卷・補遺一卷 清・吳玉搢撰 唐・大・(思進齋叢書) 一 イ 四 二七三 四

說文音均表 一七卷 清・江沅撰 唐・中・(皇清經解續編) 八 ロ 一二 一四九—一五六 六九八

說文解字 一五卷・標目一卷 漢・許愼撰・宋・徐鉉等校 北宋刊本影印 唐・小・(四部叢刊) 四 イ 四 一二三一 四六—四九

說文解字 一五卷・標目一卷 漢・許愼撰・宋・徐鉉等校 唐・大・(汲古閣本) 五 ホ 四 二三

說文解字 一五卷・標目一卷 漢・許愼撰・宋・徐鉉等校 (嘉慶一二) 唐・大 二 ホ 四 二三八

說文解字 一五卷・標目一卷・附通檢一卷 黎永椿撰 同治一二 唐・大 一〇 ホ 四 二五

說文解字 一五卷・標目一卷・附通檢一卷 宋・徐鉉等校 同治一二 唐・大 二九

說文解字 一五卷・標目一卷 漢・許愼撰・宋・徐鉉等校 唐・大・(古經解彙函附刻 小學彙函) 四 ロ 一二 二八九〇 三七—四〇

說文解字一五卷・標目一卷 漢・許愼撰・宋・徐鉉等校 文政九 和・中・(官板) 一〇 ホ 四 四一〇

說文解字韻譜 一〇卷 同治三 宋・徐鉉撰 唐・大 四 ホ 四 七三五

同 說文解字篆韻譜 五卷・附錄一卷 南唐・徐鍇撰 唐・大・(古經解彙函附刻 小學彙函) 二 ロ 一二 二八九〇 四九—五〇

說文解字義證摭要 五〇卷・附再校增補 清・桂馥撰・高田忠周編校 手稿本 和・中 九 ホ 四 * 七四八

說文解字舊音 清・惠棟撰 (經訓堂叢書) 唐・小 一 イ 四 一四二九 一二

說文解字句讀 三〇卷 清・王筠撰 (道光三〇) 唐・大 一五 ホ 四 二七

說文解字繫傳 四〇卷 南唐・徐鍇撰 景宋寫本・宋刊本影印 唐・小 (四部叢刊) 八 イ 四 一一三一 一二九—一二六

說文解字繫傳 四〇卷・附校勘記 (清・祁寯藻) 三卷 南唐・徐鍇撰 (道光一九) 唐・大 八 ホ 四 一四七〇

說文解字繫傳 四〇卷・附校勘記 (清・祁寯藻) 三卷 南唐・徐鍇撰 唐・大 (古經解彙函附刻 小學彙函) 八 ロ 一二 四七八 一六—一七五

說文解字繫傳 四〇卷・附錄一卷 南唐・徐鍇撰 唐・小・(龍威秘書) 二 イ 四 六二〇 六二—六三

說文解字繫傳 四〇卷・附校勘記 (清・祁寯藻) 三卷 清・孔廣居撰 唐・大 (思進齋叢書) 八 イ 四 一二三四 四九—五〇

說文解字翼徵 四卷 朝鮮・朴瑄壽治・金晩植習 (明治四五) 和・大 六 ホ 四 一二四三

同 說文諧聲孳生述 清・陳立撰 (鄭齋叢書) 唐・大 二 イ 四 四五八 七—八

說文諧聲譜 九卷 清・張成孫撰 唐・中・(皇清經解續編) 二 ロ 一二 六九八 一四二—一四三

說文會臨時大會出品略目 明治四一 洋・小 一 ホ 四 九六九

說文管見 三卷 清・胡秉虔撰 唐・大・(聚學軒叢書) 一 イ 四 六二〇 六四

說文疑疑 二卷・補遺一卷 清・毛謨編 唐・小・(許學叢書) 二 ホ 四 六二一 三—四

說文檢字 二卷・補遺一卷 清・毛謨編 唐・大・(思進齋叢書) 一 イ 四 二七三 六

說文廣義 三卷 清・王夫之撰 唐・大・(船山遺書) 三 イ 四 七四二 五三—五五

說文古籀補 一四卷・附錄一卷 清・吳大澂撰 光緒二二 唐・小 四 ホ 四 四八四

說文五百四十部の次序に就いて 池田四郎次郎撰 (金澤博士還曆記念東洋語學乃研究) 洋・中 一 ホ 二 四四一八

說文字原韻表 二卷 清・胡重撰 唐・小・(許學叢書) 一 ホ 四 六二一 一六

說文解字索隱 一卷・附補例一卷 清・張度撰 唐・中・(靈鶼閣叢書) 一 イ 九 五八二一 三

說文解字述誼 二卷 清・毛際盛撰 唐・大・(寒學軒叢書) 二 イ 四 六二〇 八〇—八一

說文解字序 漢・許愼撰 和・大 一 ホ 四 三八〇

說文審音 一六卷 清・張行孚撰 唐・大・(觀澤堂叢書) 四 イ 四 六二四 五三—五六

說文新附字考攷正合編 岡井愼吾編 洋・中・(日本藝林叢書) 一 イ 四 一一三九 三

說文新坿攷 六卷・續考一卷・附札記一卷 唐・小 (許學叢書) 清・鈕樹玉撰 | 二冊 | 木 | 四 | 類 | 六二一 | 調 | 一九—二〇

說文聲系一四卷 (嘉慶九) 清・姚文田編 唐・大 | 二 | 木 | 四 | | 四六 | | 二八九 三三

說文聲系一四卷 洋・小 清・姚文田編 (粵雅堂叢書) | 一 | イ | 四 | | 六二一 | | 二三—二四

說文聲訂 二八卷・附札記一卷 唐・小 (許學叢書) 清・苗夔撰 | 二 | 木 | 四 | | 六九八 | | 二四—二五

說文聲讀表 七卷 唐・中 (皇清經解續編) 清・苗夔撰・高田忠周改訂 | 二 | 口 | 一二 | | 六二一 | | 一七—一八

說文聲讀表略 洋・中 (漢字詳解附錄) 清・苗夔撰・高田忠周改訂 | 一 | 木 | 四 | | 二七三 | | 五

說文聲類 一六卷 唐・中 (皇清經解續編) 清・嚴可均撰 | 一 | 口 | 一二 | | 六二一 | | 一七—一八

說文段注札記 唐・大 (觀古堂彙刻書) 清・徐松撰・劉肇隅編校 | 一 | イ | 四 | | 六九八 | | 八七

說文段注札記 唐・大 (觀古堂彙刻書) 清・龔自珍撰・劉肇隅編校 | 一 | イ | 四 | | 四六〇 | | 三

說文段注鈔 一卷・補鈔一卷 唐・大 (觀古堂彙刻書) 清・桂馥撰・劉肇隅校錄 | 一 | イ | 四 | | 四六〇 | | 三

說文段注提要 九卷 唐・小 (許學叢書) 清・馬壽齡撰 | 六 | 木 | 四 | | 六二一 | | 九—一四

說文通訓定聲 一八卷・附分部檢韻・古今韻準・說雅各一卷 清・朱駿聲撰 (道光二八) 唐・大 | 二四 | 木 | 四 | | 六二一 | | 二四—二五

說文提要 同治一二 重雕 唐・大 | 一 | 木 | 四 | | 六九八 | | 二二—二四

說文答問疏證 六卷 唐・小 (許學叢書) 清・薛傳均撰 | 二 | 木 | 四 | | 六二一 | | 一七—一八

說文答問疏證 六卷 唐・大 (恕進齋叢書) 清・薛傳均撰 | 一 | イ | 四 | | 二七三 | | 五

說文二徐箋異 二八卷 (宣統二) 民國・田吳炤編 唐・中 | 二 | 木 | 四 | | 一七一 | | 九

說文部首歌 清・馮桂芬撰 唐・小 (許學叢書) | 一 | 木 | 四 | | 六二一 | | 一六

說文辨疑 清・顧廣圻撰 唐・小 (許學叢書) | 一 | 木 | 四 | | 六二一 | | 一五

說文辨疑 清・顧廣圻撰 唐・大 (聚學軒叢書) | 一 | イ | 四 | | 六二〇 | | 八一

戩壽堂所藏殷虛文字 附考釋 (王國維) 民國七・八 唐・大 民國・姬佛陀編 | 二冊 | 木 | 四 | 類 | 二〇二四 | 讀 | 一九—二〇

草彙 筱崎廳道編 文化一四 和・大 | 四 | チ | 六 | | 三七二三 | | 三三

草字彙 一二集 (乾隆五二) 唐・大 清・石梁編 | 六 | チ | 六 | | 三七八二 | | 三三

草字彙 一二集 明治一三 和・小 清・石梁編 | 六 | イ | 一三 | | 一〇五〇 | | 二三—二四

草書韻會 明・張天錫編 慶安四 和・大 | 二 | チ | 六 | | 一九四七 | | 二四—二五

同 | 二 | チ | 六 | | 一九四八 | | 六

草書韻會 明・張天錫編 文政一一 和・大 | 二 | チ | 六 | | 三六九五 | | 八七

草書韻會 明・張天錫編 和・大 | 二 | チ | 六 | | 六八 | | 三

草書淵海 四卷 井出臥溪編 (延寶三) 和・大 | 二 | イ | 一三 | | 一〇五一 | | 九—一四

同 | 二 | イ | 九 | | 四八七 | | 三

同 | 二 | チ | 六 | | 三五一二 | | 四

同 | 二 | チ | 六 | | 三七八六 | | 四

草書狀 晉・索靖撰 唐・大 (玉函山房輯佚書) 清・馬國翰編 | 一 | 口 | 一二 | | 一三六 六四 | | 一七—一八

草書大字典 草露貫珠 大正二 中村義竹編・隆文堂刊 三版 洋・中 | 二 | チ | 六 | | 二四六三 | | 五

草書禮部韻寶 (延享四) 宋・陳文編 和・大 | 五 | 木 | 四 | | 七一七 | | 九

草露貫珠 二一卷・首一卷・拾遺一卷 岡谷義蹟重訂 (享保六) 中村義竹編・和・大 | 二三 | チ | 六 | | 三七八一 | | 一〇

俗書證誤 隋・顏愚楚撰 唐・大 (說郛) | 一 | イ | 一二 | * | 六 八二 | | 一七—一八

大系漢字明解 高田忠周撰 昭和一一 再版 洋・小 | 一 | 木 | 四 | | 一九七三 | | 一二

段氏說文注訂 八卷・附札記一卷 唐・小 (許學叢書) 清・鈕樹玉撰 | 二 | 木 | 四 | | 六二一 | | 二—三

中華の國字問題 民國・童振華撰・陳文彬譯 昭和一六 洋・小 | 一 | 木 | 四 | | 二〇五八

東南大學叢書中國文字學 民國・顧實撰 民國一九 四版 唐・大 | 一 | 木 | 四 | | 一八八一

中國文字學史 二卷 洋・小 民國・胡樸安撰 (中國文化史叢書) | 二 | リ | 八 | | 四八六四 | | 一二—一三

中國文字與書法 民國・陳彬龢撰 民國二四 洋・小 (國學小叢書本) | 一 | チ | 六 | | 三八〇一 | | 一二

朝陽閣字鑒 三〇卷・首一卷 明治三八 再版 高田忠周編 和・中 | 一六 | 木 | 四 | | 四五九 | | 九

補正朝陽字鑑精萃 縮本 補正朝陽字鑑 高田忠周編 昭和四 洋・大 | 一八 | 木 | 四 | | 一六九八 | | 一二

鐵雲藏龜 (光緒二九) 清・劉鐵雲編 唐・大 | 一 | 木 | 四 | | 二〇四二 | | 一二

鐵雲藏龜 清・劉鐵雲編 唐・大 | 六 | 木 | 四 | | 四九五五 | | 一二

鐵雲藏龜之餘 (民國四) 民國・羅振玉編 唐・小 (蓄古叢編) | 六 | 木 | 四 | | 二一一九 | | 一二

鐵雲藏龜零拾 民國二二 民國・李旦丘編 唐・大 (孔德圖書館叢書本) | 一 | チ | 一〇 | | 三六八〇 | | 一二

轉注古義考 清・曹仁虎撰 唐・小 (許學叢書) | 一 | 木 | 四 | | 二〇五二 | | 一二

轉注說 附識江抽齋評言・岡本保孝奧書 洋・中 (國語學大系) | 一 | 木 | 四 | | 六二一 | | 八

轉注說 附識江抽齋評言・岡本保孝奧書 狩谷棭齋 (望之) 撰 洋・中 (日本藝林叢書) | 一 | イ | 四 | | 四八六四 | | 二一—二二

轉注說 附識江抽齋評言・岡本保孝奧書 狩谷棭齋 (望之) 撰 洋・中 (國語學大系) | 一 | イ | 四 | | 六九八 | | 二二—二四

轉注說 附識江抽齋評言・岡本保孝奧書 狩谷棭齋 (望之) 撰 洋・中 (百家說林) | 一 | イ | 四 | | 二八九 | | 三三

篆隸文體 齊・蕭子良撰 京都昆沙門堂藏舊鈔本影印—昭和一〇 和・大 | 一 | 木 | 四 | * | 一九六〇 | | 一二

唐寫本說文解字木部箋異 附摸本 唐・小 清・莫友芝撰 (許學叢書) | 一 | 木 | 四 | | 六二一 | | 二

同文通考 新井君美撰 | 七 | 木 | 二 | | 一〇七 | | 一二

同文通考 四卷 洋・中 (新井白石全集) 新井君美撰 | 一 | 木 | 四 | | 二〇五八 | | 一二

同文通考 四卷 洋・中 (國語學大系) 新井君美撰・同祐登校補 | 一 | 木 | 四 | | 一八八一 | | 一二

讀說文雜識 清・許槤撰 唐・小 (許學叢書) | 一 | 木 | 四 | | 四八六四 | | 一二—一三

南漢文字略 清・梁廷枏撰 道光一〇 唐・中 (藤花亭十種) | 二 | イ | 四 | | 五四一 八—九 | | 一二

日本漢字學史 岡井愼吾撰 昭和九 洋・小 | 一 | 木 | 四 | | 二〇二六 | | 一二

柏根氏舊藏甲骨文字 附同考釋 民國・明義士編 和・大 | 一 | 木 | 四 | | 一九九九 | | 一二

復古編 二卷 宋・張有編 光緒一三 唐・小 (石印) | 二 | 木 | 四 | | 二九七 | | 一二

復古編 二卷 宋・張有編 宋精鈔本影印—民國二五 唐・小 (四部叢刊第三編) | 四 | イ | 四 二六五七 | | 一一三一 二六〇 | | 一二

文緯 三〇卷 昭和四 山梨治憲撰 洋・中 (山梨稻川集) | 三 | 木 | 四 | | 一八〇六 一一三 | | 一二

偏類六書通 七卷 古森厚孝重修 (嘉永元) 和・大 | 一〇 | 木 | 四 | | 九六七 | | 一二

卜辭通纂 一卷・敘釋三卷・索引一卷 昭和八 唐・大 民國・郭沫若撰 | 四 | 木 | 四 | | 二〇四六 | | 一二

補高郵王氏說文諧聲譜 民國・王國維撰 唐・小 (海甯王忠慤公遺書) | 一 | イ | 四 | | 一二六一 一八 | | 一二

本邦常用漢字の研究 第二問 洋・大 中村信夫撰 昭和一〇 (內閣印刷局研究報告本) | 一 | 木 | 四 | | 一九七二 | | 一二

名原 二卷 (光緒三一) 唐・大 清・孫詒讓撰 | 一 | 木 | 四 | | 一八八三 | | 一二

文字學概說 洋・中 (國語科學講座) 後藤朝太郎撰 | 一 | 木 | 二 | | 四四二八 | | 一二

文字から見た支那古代文化 洋・中 (金澤博士東洋語學乃研究 恩賜記念) 後藤朝太郎撰 | 一 | 木 | 二 | | 四四二八 | | 一二

文字系 八冊・附重理文字之我見一冊 民國二八 唐・大 民國・華實甫撰 | 九 | 木 | 四 | | 二〇一三 | | 一二

文字の沿革 大正一五 洋・小 後藤朝太郎撰 | 一 | 木 | 一 | | 一八四三 | | 一二

文字の研究 明治四三 洋・中 後藤朝太郎撰 | 一 | 木 | 四 | | 一〇八一 | | 一二

文字の研究	後藤朝太郎撰 昭和一〇	洋・中	一	ホ	四	一九五四
文字蒙求 四卷	清・王筠編 (道光一八)	唐・大	一	ホ	四	一八三八
六義圖解	宋・王應電撰	唐・大 (說郛)	一	イ	一二	*六八三
六書緣起	清・孫光祖編	唐・大 (篆學瑣著)	一	チ	一〇	一九二四 三
六書緣起	清・孫光祖編	唐・中 (篆學瑣著)	一	イ	九	四九七 三
六書正譌 五卷	元・周伯琦編注・明・胡正言訂篆	唐・大	五	ホ	四	二五六
六書正譌 五卷	元・周伯琦編注	唐・大 (朝鮮本)	五	ホ	四	一九三五
六書總要 五卷	明・吳元滿編	萬曆一二 唐・大	四	ホ	四	一〇八三
重訂六書通 一〇卷	清・畢弘述篆訂	光緒一九 唐・小	四	ホ	四	一八一一
六書轉注錄 一〇卷	清・洪亮吉撰	唐・大 (洪北江先生遺集)	四	イ	四	三六八 三八一四一
六書分類 一二卷・首一卷	清・傅世垚編・傳世磊訂・周天辰校	康熙四四 唐・大	一四	ホ	四	八三五
隸通 二卷	清・錢慶曾撰	唐・大 (鐵齋叢書)	二	イ	四	四五八 九一一〇
隸辨 八卷	清・顧藹吉撰・黃晟重校	乾隆八 重鐫 唐・大	八	チ	六	二〇三
聯珠篆文	外題篆書字引 池永道雲編	明治四三 求版 和・中	一	ホ	四	一二五七
倭楷正訛	大宇泰臺(純)撰	洋・中 (國語學大系)	一	ホ	二	四五五九 八

音韻 〔音引辭書參照〕

晏子春秋音義 二卷	清・孫星衍撰	唐・小 (經訓堂叢書)	一	イ	四	一四二九 一回
一切經音義 二五卷	附錄補訂新撰六方廣佛華嚴經音義二卷・同錄一卷	唐・玄應撰 (同治八) 唐・大	四	八	四	二四三
一切經音義 二五卷	唐・玄應撰	和・大 (大日本大藏經校訂)	二	八	五	二五五 三三三一三三回
諧韻瑚璉	中井積德撰	和・大 (崇文叢書第二輯)	一	イ	四	一二一六 一〇六
解經祕藏 三卷	寺尾正長撰	天明五 和・大	三	ホ	四	三七三
改訂韻鏡	大島正健撰	昭和二 訂正再版 洋・中	一	ホ	四	一七九四
漢音吳音の研究	大島正健撰	昭和六 洋・中	一	ホ	四	一九二〇
漢魏音 四卷	清・洪亮吉撰	唐・大 (洪北江先生遺集)	一	イ	四	三六八 五三
漢吳音圖 一卷・同徵一卷	太田方撰	(文化一二) 和・大	三	ホ	四	五二七
漢字音の系統	後藤朝太郎撰	明治四四 訂增三版 洋・中	一	ホ	四	一七一四
九經補韻	宋・楊伯嵓撰・清・錢侗考證	洋小 (鄂雅堂叢書)	一	イ	四	二八九 四九
九經補韻	宋・楊伯嵓撰・清・錢侗考證	文政三 和・大	一	ロ	一三	五五七
同			一	ロ	一三	一二八四
九經補韻	宋・楊伯嵓撰	唐・小 (學津討源)	一	イ	四	一四一二 三九
九經補韻	宋・楊伯嵓撰	唐・大 (說郛)	一	イ	一二	*六六
九經補韻	宋・楊伯嵓撰	和・大 (百川學海)	一	イ	四	五一六 二
屆宋古音義 三卷	明・陳第撰	唐・小 (學津討源)	一	イ	四	一四一二 四二
經典釋文 三〇卷・附孟子音義上	唐・陸德明撰	乾隆五六 唐・大	一〇	ロ	一三	二八一八
經典釋文 三〇卷	唐・陸德明撰・清・納蘭成德校	唐・中	一〇	ロ	一三	一三三三
經典釋文 三〇卷・校勘記三卷	唐・陸德明撰	唐・小 (四部叢刊)	一二	イ	四	一一三一 一六二六一一六三七
經典釋文 三〇卷・附攷證三〇卷	唐・陸德明撰	文化六 和・大	三〇	ロ	一三	二八一八
經典釋文 周易之部	唐・陸德明撰	唐・小 (津逮祕書)	一	イ	四	一一七〇 二八

韻鏡考	大矢透撰 大正一三	洋・大 (假名通考外編本)	一	ホ	四	一七六八 一
韻鏡考 附錄	隋唐音圖 大矢透撰 昭和七	洋・大	一	ホ	四	一七六八 二
韻鏡字子 三卷・附首一卷	韻鏡遡中鈔諺解一卷 長尾平兵衛撰 和・大		一	ホ	四	一八二三
韻鏡諸鈔大成 七卷	馬場信武編 寶永二 和・大		二	ホ	四	一八三九
韻鏡諸本展觀目錄	大谷大學圖書館刊 (昭和一四)	洋・中	一	ホ	四	二〇二九
韻鏡諸蜜祕傳集	寫本	和・中	一	ホ	四	一六四八
韻鏡新解 二編	大島正健撰 大正一五 (謄寫版)	和・中	二	ホ	四	一七七七
韻鏡と唐韻廣韻	大島正健撰 大正一五 (謄寫版)	和・中	一	ホ	四	一七六六
韻鏡の內外轉について	峯村三郎撰 (應神博士言語學論文集)	洋・中 (功勳記念)	一	ホ	一	一九一四
韻鏡發輝同音考 八卷 (卷六缺)	寫本 和・中	赤城先生撰	七	ホ	四	四六九
韻鏡祕事大全	小龜益英撰 寬文一〇	和・小	一	ホ	四	一一五二
韻鏡祕抄	寫本	和・小	一	ホ	四	一六四九
韻史	清・金諾撰	唐・中 (檀几叢書)	一	イ	四	三九八 一
韻目表	清・錢學嘉撰	光緒七 唐・大	一	ホ	四	二〇六
韻問	清・毛先舒撰	唐・中 (昭代叢書)	一	イ	四	一二四 九
易韻 四卷	清・毛奇齡撰	唐・大 (西河合集)	一	イ	四	九四六 一一
易音 三卷	清・顧炎武撰	唐・中 (皇清經解)	一	ロ	一二	四七八 二
音訓五經	佐藤坦校點	文化一〇 和・大	一一	イ	一三	八三六
音論	清・顧炎武撰	唐・中 (皇清經解)	一	ロ	一二	四七八 二

古韵研究 高畑彦炙郎撰 昭和一四 洋・大 (東方文化研究所研究報告本)
古韻總論 清・江有誥撰 (廣倉學窘叢書)
古韻通說 二〇卷 清・龍啓瑞撰 同治六 唐・大
古韻標準 四卷 清・江永編 洋・小 (粵雅堂叢書)
孝經音義 唐・陸德明撰 寶曆三 和・大
江氏音學敘錄 清・江有誥撰 唐・大 (廣倉學窘叢書)
交泰韻 明・呂坤撰 唐・大 (呂新吾司寇全集)
攷定中原音韻 石山福治撰 大正一四 洋・大 (東洋文庫論叢本)
同
古音系研究 民國・魏建功撰 民國二四 洋・大
中華國音新字典 民國・陸衣言編 民國一〇 洋・小
國語音 唐・大 (玉函山房輯佚書)
古今韵攷 四卷・附記一卷 唐・大 清・李因篤撰 (咫進齋叢書)
顧氏音學五書 五種三八卷 清・顧炎武撰・符山堂刊 唐・大 (清刊)
音論 (三卷)
易音 (三卷)
古音表 (二卷)
古代支那の吳語吳音に就いて 中村久四郎撰 洋・中 (白鳥博士還曆記念東洋史論叢)
詩經協韻考異 宋・輔廣撰 唐・小 (學海類編)
詩經叶韻辨 清・王夫之撰 唐・大 (船山遺書)

四聲彙辨 五卷 伊藤善韶編 寫本 和・大
四聲五音九弄反紐圖 唐・神洪撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
四聲國字通 四卷 牧田方毅撰 明和五 和・中
四聲圖 和・大 (溫故雜帖)
四聲切韻表 清・江永編 洋・小 (粵雅堂叢書)
四聲分例 清・孔廣森撰 唐・中 (皇清經解續編)
詩聲類 一二卷 清・孔廣森撰 唐・中 (皇清經解續編)
七音譜 三卷 民國・張祥晉撰 民國二五 唐・大
支那音韻斷 滿田新造撰 洋・中
支那古韻考 前編 大島正健撰 明治三一 洋・中
支那古韻史 附古韻三論 大島正健撰 昭和四 洋・中
日本に殘存せる支那古韻の研究 飯田利行撰 昭和一六 洋・中
指微韻鑑 醍醐寺藏嘉吉本複製 俊睿聞書 岡井慎吾氏藏 和・大 (帖)
指微韻鏡私抄略 別册解說添 舊鈔本複製—明治一一 和・大・小
詩本音 一〇卷 清・顧炎武撰 唐・中 (皇清經解)
釋毛詩音 清・陳奐撰 唐・中 (皇清經解續編)
周易王氏音 魏・王肅撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
周易徐氏音 晉・徐邈撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
周易李氏音 晉・李軌撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)

冊	函	號	頁
一	ホ	四	二〇〇一
一	イ	四	一〇七八 一八
四	ホ	四	四八
一	イ	四	二八九 一一
一	ロ	二	九九三
一	イ	四	一〇七八 一八
一	イ	四	五一四 三六
一	ホ	四	一八〇七
一	ホ	四	一八〇八
一	ホ	四	一九九二
一	ホ	四	一九六六
一	ロ	二	一二三六 八一
一	イ	四	二七三 七
一六	ホ	四	五三二
一	リ	七	四六四七
一	イ	四	一四二四 五
一	ロ	一	一二三六 六
一	ロ	一	一二三六 七
一	ロ	一	一二三六 七
一	イ	四	七四二 一八
一	チ	一	二七一 一五 * 一九
一	イ	四	二八九 一一
一	イ	四	一〇七八 一八
一	ロ	一二	六九八 四五
一	ロ	一二	六九八 一八八
二	ホ	四	二〇五四
一	ホ	四	一四〇八
一	ホ	四	五〇九
一	ホ	四	一八〇九
一	ホ	四	二〇四一
一	ホ	四	一九八四 * 帖
二	ホ	四	一九七四 *
二	ロ	一二	四七八 二一三
一	ロ	一三	六九八 一八八
一	ロ	一一	一二三六 六
一	ロ	一一	一二三六 七
一	ロ	一一	一二三六 七

十三經音略 一三卷 清・周春撰 洋・小 (粵雅堂叢書)
周秦漢三代の古紐研究 高畑彦炙郎撰 昭和一二 洋・大 (東方文化學院京都研究所研究報告本) (謄寫版)
周代古音考 (三枚) (乙丙丁) 附 國語調查委員會編 大正三 洋・大
周代古音考韻徵 國語調查委員會編 大正三
述均 一〇卷 清・當塗夏燮撰 咸豐三 唐・大
周禮徐氏音 晉・徐邈撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
周禮戚氏音 陳・戚袞撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
周禮聶氏音 聶氏撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
周禮鄭氏音 漢・鄭玄撰 清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
周禮李氏音 晉・李軌撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
周禮劉氏音 魏・劉昌宗撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
春秋左傳賈氏音 魏・賈康撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
春秋左傳徐氏音 晉・徐邈撰・清・馬國翰編 唐・大 (玉函山房輯佚書)
紹興重雕大藏音 三卷 宋・處觀編 和・大 (校訂大日本大藏經)
紹興重雕大藏音 三卷 宋・處觀編 和・中 (校訂大日本大藏經)
新集藏經音義隨函錄 三〇卷 後晉・可洪撰 (校訂大日本大藏經) 和・中 (昭和九至一一 後晉・可洪撰・增上寺所藏高麗本複製)
新集藏經音義隨函錄 三〇卷 後晉・可洪撰 和・大
新譯大方廣佛華嚴經音義 二卷 唐・慧苑撰 和・大 (校訂大日本大藏經)
新譯大方廣佛華嚴經音義 二卷 唐・慧苑撰 和・中 (校訂大日本大藏經)

新譯大方廣佛華嚴經音義 唐・慧苑撰 洋・小 (粵雅堂叢書)
聲韵考 四卷 清・戴震撰 唐・大
聲韻叢說 清・毛先舒撰 唐・小 (學海類編)
聲韻叢說 清・毛先舒撰 唐・中 (昭代叢書)
正字類音集覽 二卷 契沖撰 洋・中 (契沖全集)
聲類表 九卷・首一卷 清・戴震撰 寫本 唐・大
切韻考 六卷 清・陳澧撰 唐・大 (東塾叢書)
切韻指掌圖 宋・司馬光撰 唐・小 影宋寫本影印—民國二三 (四部叢刊續編)
切韻射標 明・李世澤撰 唐・大 (說郛)
太和正音譜 二卷 明・朱權編 唐・小 (涵芬樓祕笈)
「中原音韻」中の八思巴字にて寫された漢字音に就いて 鴛淵一撰 洋・大 (小川博士史學地理學論叢)
大學叢書中國音韻學 二卷 民國・王力撰 民國二五・二六 洋・中
中國音韵學研究 瑞典・カールグレン撰・民國・趙元任等譯 民國二九 洋・大
中國音韻學史 二卷 民國・張世祿撰 民國二七 洋・中 (中國文化史叢書)
中國聲韻學通論 民國・林尹撰 民國二六 洋・中
朝鮮に於ける韻書と玉篇との關係 小倉進平撰 洋・中 (安藤博士還曆記念論文集)
通叶集覽 二卷 清・王鳴玉編 文化一三 和・中 (官板)

冊	函	號	頁
一	イ	四	二八九 三四
一	ホ	四	一九九四
一	ホ	四	四二
一	イ	四	一四二四 六二
一	イ	四	一一二四 九
一	ヘ	二	四二四四 七
一	ホ	四	四三
二	イ	四	一〇八九 五—六
一	イ	四	一一三一 二一八七
一	イ	一二	* 大 一四七
二	イ	四	一〇二六 六九—七〇
一	リ	七	四六四九
一	ホ	四	一九九一
一	ホ	四	二〇四三
二	リ	八	四八六四 三九—四〇
一	ホ	四	二〇〇五
一	ホ	二	四七二八
二	ホ	四	三七四

| | | |

漢文志彀	附十八史抄外三項 明治三八 洋・中	菊池三九郎編	一	木四	一八九三	一九〇六	
漢文釋義	牧野謙次郎講（明治四〇年度早稻田中學講義）	洋・中	一	木四	一六三二	一九〇七	
同	牧野謙次郎講（明治四一年度早稻田中學講義）	洋・中	一	木四	一六三三	一九三六	
漢文釋義			一	木四	一八九八	一九三七	
漢文蒐選	卷一至三 昭和三	明善社編輯部編 初・再版 洋・中	三	木四	一八〇二	一八九四	
漢文蒐選	卷三 昭和四	明善社編輯部編 洋・中	一	木四	一八五九	一七一七	
同			一	木四	一八六〇	一七三七	
中等漢文新讀本	卷一至一〇 明治三四	笹川種郎編 訂正再版 和・中	一〇	木四	四〇六	一七五九	
服部漢文新讀本	卷一 明治四五	再版 和・中	一	木四	一九三四	一九二二	
漢文新編		松平康國・牧野謙次郎編 大正三 洋・中	一	木四	一九〇四	一九四七	
同			一	木四	一九〇五	一九三一	
漢文速通	二卷 明治四五	松平康國・牧野謙次郎編 和・中	一	木四	一八七八	一九二三	
同			一	木四	一九四九	一九四七	
同			一	木四	一九〇八	一九八四	
大學豫科漢文大觀		早稻田大學編輯部編 大正六 洋・中	一	木四	一九〇九	一八〇七	
同	邦譯註解漢文大觀	早稻田漢學會編 大正六 洋・小	一	木四	一八〇三	一九三四	
同	新定漢文讀本 五卷 明治三四	伊藤允美・高原操編 和・中	五	木四	四〇七	一九〇五	
同			五	木四	四〇八	一九〇四	

大學豫科漢文讀本		早稻田大學編輯部編 大正四 洋・中	一	木四	一八九三	一九〇六	
同	中等漢文讀本	卷一・二 明治三二	岡部新三郎編 和・中	二	木四	一六三三	一九三六
中等教科漢文讀本	一〇卷・附入門二卷 明治三一	宮本正貫編 訂正再版 和・中	一二	木四	一八九八	三二八	
高等漢文	五卷 明治四一	島田鈞一・安井小太郎編 洋・中	五	木四	一八〇二	一八九四	
高等漢文講義		久保得二編 明治四二 洋・中	一	木四	一八五九	一七一七	
高等漢文讀本	八卷 明治三二至六	那珂通世等編 版 洋・中	八	木四	一八六〇	一九三七	
高等國文學教科書	甲編 唐・大	清・程光甲編	一	木四	四〇六	一七五九	
日本支那語譯小學教科書	原文添 昭和七	岡井二良譯 洋・中	一	木四	一九三四	一九二二	
三島女子漢文讀本	四卷・附入門一卷 明治四四	國語漢文會編 訂正再版 和・中	五	木四	一九〇四	一八四七	
新撰漢文講本	五卷・附入門一卷 明治三三	重野安繹・竹邨鋭編 初・訂正版 和・中	六	木四	一九〇五	三三一	
新編漢文讀本	卷一・四	簡野道明編 訂正版 和・中	二	木四	一八七八	一九二三	
中學漢文教科書	五卷 明治三六	國語漢文研究會編 訂正再版 和・中	五	木四	一九四九	四七四	
新體中學漢文教程	一〇卷 明治三二	藤田豐八・水月哲英編 和・小	一〇	木四	一八六一	三八三	
新體中學漢文教程	一〇卷 明治三三	藤田豐八・水月哲英編 訂正版 和・中	一〇	木四	一九〇八	三二九	
第一中學漢文讀本	一〇卷 明治三三	秋山四郎編 訂正 和・中	一〇	木四	一九〇九	三二六	
訂正中等漢文讀本	五卷 明治三五	深井鑑一郎訂正 三版 和・中	五	木四	一八〇三	四七五	
中等漢文讀本	一〇卷 明治三一	遊佐謙甫・富永岩太郎編 和・中	一〇	木四	四〇七	三三五	
標註漢文教科書	三卷 明治二四	深井鑑一郎・堀捨二郎編 和・中	三	木四	四〇八	一八八八	

模範漢文選	四卷 昭和六	牧野謙次郎編 和・中	四	木四	一九一七	一九四五	
模範漢文選	四卷・附入門編一卷 昭和六・七	再・五版 牧野謙次郎編 和・中	五	木四	一九四五	一九四四	
模範漢文選編纂趣意書		牧野謙次郎撰（昭和六） 洋・中	一	木四	一九四四	一九〇五	
歷代漢文讀本	三篇 明治三八	松平康國編 和・中	三	木四	七三〇	一九〇七	
同			三	木四	一七八六	一八八八	
錬文捷路		菊池三九郎編 大正七 洋・中	一	木四	一八五三	一九〇九	

文典〔文學ノ漢文・文話附作文用書參照（二〇）〕

應用支那文典	（早稻田大學文學科明治四〇年度講義錄）	洋・中	一	木四	一〇七八	一九一七	
應用支那文典	（早稻田大學文學科明治四三年度講義錄）	洋・中	一	木四	一〇七九	一九四五	
支那應用文典	（早稻田大學文學科明治四三年度講義錄）	洋・中	一	木四	一二四六	一九四四	
支那應用文典	（早稻田大學文學科明治四三年度講義錄）	洋・中	一	木四	一四一八	一九四四	
支那應用文典	（早稻田大學文學科第二〇回講義錄）	洋・中	一	木四	一五七二	一二五七	
支那應用文典	（早稻田大學文學科第二一回講義錄）	洋・中	一	木四	一五七三	五一六	
支那應用文典	（早稻田大學文學科第二二回講義錄）	洋・中	一	木四	一五七四	三八四	
應用支那文典	（早稻田大學文學科第二三回講義錄）	洋・中	一	木四	一五七五	四四〇	
應用支那文典	（早稻田大學文學科第二四回講義錄）	洋・中	一	木四	一五七六	四四一	
同			一	木四	一六二二	一〇三五	
支那文典	明治四二	廣池千九郎撰 三版 洋・中	一	木四	四〇五	一〇三六	
同	附廣池東洋諸國語學書大正一四訂正五版	廣池千九郎撰 洋・中	一	木四	二〇六四	一七七二	

虛字解	二卷（天明三）	皆川淇園（愿）詮譯 和・小	一	木四	七一		
虛字重語套	二卷	岡本保孝撰寫本 和・中	二	木四	一八六三		
虛字詳解	一五卷	皆川淇園（愿）撰 和・中	一五	木四	一八四〇		
虛字註釋備考		清・張文炳點定 明治一四 和・小	一	木四	一九三八		
經傳釋詞	一〇卷	清・王引之撰 道光二七 唐・大	一	口一二	四八二		
古書虛字集釋		民國・裴學海撰 民國二四 再版 洋・小	一	木四	二〇六〇		
古文兩可		岡本保孝撰 寫本 和・大	一	木四	一八二九		
三語字解	三卷	奈流芳於藝編 明治一四 和・小	三	木四	一八一二		
G・K音系統の虛字に就きて		財津愛象譯（大槻博士史學論叢） 洋・大	一	リ	四六七八		
詞詮		民國・楊樹達撰・方毅校 民國二一 洋・小	一	木四	二〇四〇		
實字解	初編三卷・二編三卷	皆川淇園（愿）撰 寬政三 和・中	六	木四	一八六九		
實用文字便覽		藤田篤編 明治四四 洋・小	一	木四	一二五七		
支那文典		廣池千九郎講（早稻田大學文學科明治三六年度講義錄） 洋・中	一	木四	五一六		
支那文典		廣池千九郎講（早稻田大學文學科明治三七年度講義錄） 洋・中	一	木四	三八四		
支那文典		廣池千九郎撰 明治三八 洋・中	一	木四	四四〇		
同			一	木四	四四一		
支那文典		廣池千九郎撰 三版 洋・中	一	木四	一〇三五		
同			一	木四	一〇三六		
支那文典	附廣池東洋諸國語學書大正一四訂正五版	廣池千九郎撰 洋・中	一	木四	一七七二		

漢文法と復文の研究		野本薰陽撰 昭和一六 洋・小	一	木四	二〇六四		
漢文典		兒島獻吉郎撰 明治三五 洋・中	一	木四	四〇五		
誤り易き漢字の讀み方と正し用字法		久保得二編 大正七 五版 洋・小	一	木四	一六二二		
支那文典		廣池千九郎撰 明治四二 三版 洋・中	一	木四	一五七六		
同			一	木四	一五七五		
支那文典		廣池千九郎撰 明治三八 洋・中	一	木四	一五七四		
支那文典		廣池千九郎講（早稻田大學文學科第二三回講義錄） 洋・中	一	木四	一五七三		
支那文典		廣池千九郎講（早稻田大學文學科第二一回講義錄） 洋・中	一	木四	一八五三		

支那文法書披閱目錄 廣池千九郎編 寫本 和・大 一 木 四 七三
鼇頭助語辭 明・盧以緯撰・毛利瑚珀註 天和三 和・大 一 木 四 一八六
重訂冠解助語辭 明・盧以緯撰・毛利瑚珀註 享保二 和・大 一 木 四 一四
助語審象 三卷 三宅邦口授・海定等筆錄 文化一四 和・小 一 木 四 一四
同 一 木 四 一四
同 助語審象 三卷 三宅邦口授・海定等筆錄 明治九 求板 和・小 一 木 四 五六
同 助字雅 三宅緝明撰 和・小（甘雨亭叢書本） 三 木 四 一五三
助字雅 三宅緝明撰 和・小（甘雨亭叢書） 一 木 四 五
助字雅 三宅緝明撰 寫本 和・中（觀瀾三種） 一 イ 四 一三〇
助字雅 三宅緝明撰 寫本 和・中 一 木 四 五一
雅訓助字解 三宅緝明撰 明治一〇 和・小 一 木 四 七
助辭考 二卷 伊藤東涯（長胤）編 享保元 和・大 一 木 四 一八六
助字考證 外題新刊助字考 二卷・附補・助語義 伊藤東涯（長胤）撰 寬延四 和・大 二 木 四 一八五
助字考證 外題新刊助字考 二卷・附補・助語義 伊藤東涯（長胤）撰 寬政八 補刻 和・大 一 木 四 一九〇
助字詳解 三卷 皆川淇園 撰 明治九 和・中 三 木 四 一八六
助字辨略 清・劉淇撰 唐・小（文學叢書教科部本） 五 木 四 一三一
助辭譯通 三卷 岡白駒撰（寶曆一二） 和・中 三 木 四 一八四

同 一 木 四 二〇三四
同 助字用法 馬瀏會通口授・平類長校並補 寫本 和・中（同訓字解附錄） 一 木 四 八六三
先秦時代文法研究 新樂金橋撰 昭和七 洋・中 一 木 四 一九二六
操觚字訣 一〇卷 伊藤長胤述・同善留編 明治一一 和・中 一〇 木 四 二〇三〇
受驗增補漢學知要 附訓點活法 大沼善次郎撰 應用 明治三六 五版 和・中 一 木 四 一四六六
續机上便覽 山岸華岳編 明治四三 洋・小 一 木 四 二〇九
太史公助字法 二卷 皆川洪園（愚）論定 寶曆一〇 和・小 二 木 四 一七八五
中國文法語文通解 民國・楊伯峻撰 民國二五 洋・中 一 木 四 二〇六一
中等漢文法 西脇玉峰撰 大正四 再版 洋・小 一 木 四 一六〇二
中等國文典 民國・章士釗編 民國一七 一五版 洋・小 一 木 四 一八七九
同訓字解 七卷・附助字用法 一卷 馬瀏會通口授・中島元寬筆授・平類長校並補 寫本 和・中 七 木 四 八六三
文法應用 東文漢譯軌範 門馬常次撰 明治三九 洋・中 一 木 四 二〇三九
馬氏文通 一〇卷（卷六缺） 光緒二四 唐・小 清・馬建忠編 九 木 四 七八一
馬氏文通 一〇卷 民國一八 二〇版 洋・中 清・馬建忠編 二 木 四 一八八二
標準漢文法 松下大三郎撰 昭和二 洋・中 一 木 四 一七九二
標準漢文法 松下大三郎撰 昭和五 洋・中 一 木 四 一九二九
復文の系統的練習 山下賤夫撰 昭和四 三版 洋・小 一 木 四 一三二四
文語解 五卷（卷一缺） 明和九 和・中 宇野鼎編・顯常補 四 木 四 八七五

文語解 五卷 宇野鼎撰・顯常補（明和九）—後刷 和・中 五 木 四 一七八八
文語解 五卷 宇野鼎撰・顯常補 弘化三 和・中 五 木 四 一八五七
文筌小言 服部元喬撰 享保一九 和・中 一 木 四 一八六六
文法學講義 卷上 岡三慶撰 明治二四 洋・小 一 木 四 一八六二
文法綱要 五卷 土屋弘編 明治一八 和・中 一 木 四 三〇三
文法授幼鈔 六卷 元祿八 和・中 三 木 四 三八八
文法詳論 續共 石川英撰 明治二六 再版 和・中 四 木 四 三〇
評註 文法津梁 民國・宋文蔚編 民國一二 一一版 洋・小 三 木 四 三六二〇
共和國教科書 文法要略 民國・莊慶祥編 民國一六 一二・一五版 洋・小 二 木 四 二七四一
譯筌 外題譯文筌蹄 初編六卷・首一卷 荻生雙松口授・聖默・吉有鄰筆受 正德五 和・中 二〇 イ 四 一三
譯文須知 虛字部 五卷 松本愚山（愼）撰 文化五 和・中 五 木 四 一
同 五 木 四 一八五七
譯文須知 實字部 四卷 松本愚山（愼）撰 明治四 和・中 三 木 四 一
同 一 木 四 一〇九
譯文筌蹄 附用字格 荻生雙松述・小泉秀之助校 明治四一 三版 洋・小 一 木 四 一八五八
譯文要訣 一卷・附錄一卷 其齋主人評 天明四・五 和・大 二 木 四 一八六四
新刊校正 用字格 三卷 伊藤東涯（長胤）撰 享保一九 和・中 四 木 四 二一三
訓蒙用字格 三卷 伊藤東涯（長胤）撰（竹村鍛補）（漢籍國字解全書） 洋・中 一 イ 四 一五一
同 一 木 五 一八五四
現代支那語學 後藤朝太郎撰 明治四一 洋・中 （帝國百科全書） 一 イ 四 一六〇
現代支那語科學 波廼・カー撰・魚返善雄譯 昭和一四 洋・中 一 木 五 一八九七
最新支那語解釋法 隅田直則撰 昭和一六 洋・小 一 木 五 一八九七
用字便覽 國語漢文研究會編・簡野道明增訂 大正一五 六版 洋・小 一 木 四 一九七五
類聚助語二百義 九卷 小幡儼太郎撰 明治二〇 和・中 二 木 四 三〇七

雜書

應用漢文學 大和田建樹撰 明治二六 洋・中（通俗文學全書本） 一 木 四 一九七五
中漢文熟語詳解 一・三學年 河村北溟（定靜）撰 明治三六 洋・小 二 木 四 三三二
支那語教育の理論と實際 倉石武四郎撰 昭和一六 洋・小 一 木 四 一八七八
漢文提要 附官立諸學校入學試驗漢文問題・備考 福田重政編 明治四〇 三版 洋・小 一 木 四 一七八七
筌蹄集 二卷 中根元圭撰 元祿八 和・中 二 木 四 二〇三七
同 一 木 四 二〇三八
中學校に於ける漢文講讀 田口福司朗撰 洋・中（師範學校講座） 一 木 二 四四四九七（五）
中等學校に於ける國語・漢文教育 岩井良雄撰（師範大國語教育） 洋・中（師範學校講座） 一 木 二 四四四七（五）
漢文速成 白文訓點解釋法 河村北溟（定靜）撰 明治三六 洋・小 一 木 四 一六三〇

五 近代支那語（附滿洲語・蒙古語・西藏語）

總記

印度支那語族に於ける支那語 高畑彥次郎撰（高瀨博士還曆記念 支那學論叢） 洋・大 一 イ 四 一四一三
現代支那語科學 波廼・カー撰・魚返善雄譯 昭和一四 洋・中 一 木 五 一八五四
現代支那語學 後藤朝太郎撰 明治四一 洋・中 （帝國百科全書） 一 イ 四 一五一（一六〇）
最新支那語解釋法 隅田直則撰 昭和一六 洋・小 一 木 五 一八九七

支那言語學概說 民國・王力撰・佐藤三郎治譯 昭和一五 洋・小 一冊 木五類 一八二〇號

支那言語學概論 民國・王力撰・猪俣庄八・金坂博譯 昭和一六 洋・小（語學文庫本） 一 木五 一八四二

支那言語學概論 羅典・カールグレン撰・岩村忍・魚返善雄譯 昭和二一 洋・中 一 木五 一八七〇

支那言語學概論 羅典・カールグレン撰・岩村忍・魚返善雄譯 昭和一五 再版 洋・中 一 木五 一八七四

支那言語組織論 吳主惠撰 昭和一六 洋・中 一 木五 一八三一

支那現代文 青柳篤恒講（早稻田大學文學科講義錄） 洋・中 一 木五 一八二一

漢文基準 支那現代文捷徑 附支那現代文常用字便覽 實藤惠秀撰 昭和八 洋・小 一 木五 一八一九

同 支那語總說（哲學館講義錄） 金井保三講 洋・中 一 木五 一八二三

日英對照 支那語學速修案內 川邊德三郎譯述 明治三七 一〇版 洋・小 一 木五 四九六

支那語教育の理論と實際 倉石武四郎撰 昭和一六 洋・小 一 木五 二五三

支那語の系統 宮越健太郎撰 昭和一一 洋・中（岩波講座 東洋思潮） 一 ロ一〇 二九三七一

支那語教典 法本義弘撰 昭和一三 洋・小 一 木五 一八七八

支那語の現在と將來 民國・曹欽源撰 洋・中（東亞論叢） 一 リ七 四七五〇二

支那語講義 清水董三撰 大正一一 洋・大 一 木五 一八四八

支那語獨案內 石山福治撰 明治三八 洋・小 一 木五 三三五

支那語講義 青柳篤恒・宮島吉敏講（明治三九年度早稻田中學講義） 洋・小 一 木五 八一三

支那の國語統一問題 支那の方言（林語堂） 新支那の言語（ダントン） 新支那の文學（ヒューズ） 大陸の人と言葉（魚返善雄） 魚返善雄譯並撰 昭和一五 洋・小 一 木五 八一四

大陸の言語と文學 支那の方言（林語堂） 飜譯論（林語堂） 一 木五 一八七五

同 支那語講義 青柳篤恒・宮島吉敏講（明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中 一 木五 一〇六九

同 支那語講義 青柳篤恒・宮島吉敏講（明治四〇年度早稻田中學講義） 洋・中 一 木五 一〇七〇

支那語講義 青柳篤恒・宮島吉敏講（明治四一年度早稻田中學講義） 洋・中 一 木五 二一七四

同 支那語講義 青柳篤恒・宮島吉敏講（明治四二年度早稻田中學講義） 洋・中 一 木五 一二八七

支那語講座 附滿蒙語會話 宮越健太郎等撰 昭和九 洋・小 一冊 木五類 一八二〇號

標準 支那語講座 二卷 大學書林刊 昭和七・一二 初・五版 洋・小 二 木五 一八四二

支那語四週間 附會話篇外二篇 宮島吉敏撰 昭和一一 一二版 洋・小 一 木五 一八四〇

支那語四週間 附會話篇外二篇 宮島吉敏撰 昭和一三 一九版 洋・小 一 木五 一八六二

支那語第一步 民國・徑仁怡撰 昭和一五 洋・中（支那語入門叢書本） 一 木五 一八六六

第一步からの 支那語獨習書 有馬健之助撰 昭和一三 洋・小 一 木五 一八四一

初步 支那語獨修書 原口新吉撰 明治三八・三九 洋・小 二 木五 六〇四

支那語獨習書 宮島大八撰 明治三三 洋・小 一 木五 三二四

支那語讀本 附常用發音字典 日本評論社編 昭和三 洋・小（日本評論昭和三年三月號附錄） 一 木五 一八四四

支那語の系統 宮越健太郎撰 昭和一一 洋・中（岩波講座 東洋思潮） 一 ロ一〇 二九三七一

支那語の現在と將來 民國・曹欽源撰 洋・中（東亞論叢） 一 リ七 四七五〇二

支那語獨案內 石山福治撰 明治三八 洋・小 一 木五 三三五

支那の國語統一問題 清水董三撰 大正一一 洋・大 一 木五 一八四八

大陸の言語と文學 魚返善雄譯並撰 昭和一五 洋・小 一 木五 一八七五

新支那の言語（ダントン） 新支那の文學（ヒューズ） 大陸の人と言葉（魚返善雄） 支那の方言（林語堂） 飜譯論（林語堂）

中國語文概論 民國、王力撰 民國二八 洋・小（國學小叢書本） 一 木五 一八六七

白話與文言之關係 民國・章太炎講 民國二三 洋・小（章氏星期講演會記錄） 一 イ四 一三三二

辭書（華歐・歐華辭書ハ洋書ノ語學辭書（P）ヲ參照）

華語大辭典 附百家姓外七項 昭和八 洋・小 權寧世編 一 木五 一八一五

華語發音字典 權寧世編 昭和八 洋・小 一 木五 一八一四

國語辭典 第一册 民國二六 中國大辭典編纂處編 洋・小 一 木五 一八五八

支那語假名字引 善隣書院編 大正四 洋・小 一 木五 一四〇四

支那語辭彙 石山福治編 明治三七 洋・小 一 木五 二九三

同 井上翠編 昭和三 洋・小 一 木五 四〇四

井上支那語辭典 井上翠編 昭和七 七版 洋・小 一 木五 一八一二

井上支那語辭典 井上翠編 昭和七 洋・小 一 木五 一八一三

倘文堂 支那語辭典 宮島吉敏・矢野藤助編 昭和七 洋・大 一 木五 一七八九

支那語大辭彙 石山福治編 大正三 洋・小 一 木五 一三四五

支那語大辭彙 石山福治編 大正一〇 五版 洋・小 一 木五 一五九八

最新支那語大辭典 石山福治編 昭和一〇 洋・小 一 木五 一八三〇

最新支那語大辭典 石山福治編 昭和一三 四刷 洋・小 一 木五 一八五六

最新支那語大辭典 石川福治編 昭和一五 五刷 洋・小 一 木五 一八七六

支那四聲字典 權寧世編 昭和二 洋・小 一 木五 一七八八

象胥家言 六卷・序目一卷 寫本 堀季雄撰 和・中 七 木五 二一〇

漢文教程 時文之部（明治三七） 川田鐵彌・柴田晃編・北條直方訂 改訂再版 和・中 一 木五 一八一六

現代文選 民國・蕭迭山編 民國八 再版 洋・中 一 木五 一八二一

新支那大辭典 索引共 石山福治編 昭和八・九 洋・大・中 二 木五 一一三四

同 澄衷蒙學堂字課圖說 四卷・附拔字類字一卷 光緒三〇 唐・大 清・劉樹屏撰 五 木五 一一三五

連成 日語輯要 渡俊治撰 昭和九 洋・小 一 木五 一八二四

日華辭典 民國・金秉藩・武田欣三編 昭和一五 五版 洋・小 一 木五 一八一九二

日華辭典 湯山昇編 昭和一四 洋・小 一 木五 一八六三

井上翠編 日華新辭典 昭和一五 九刷 洋・小 一 木五 一八八九

日華大辭典 三卷 宮島吉敏等編 昭和一三 初・再版 洋・大 三 木五 一八三七

同 日華大辭典 三卷 宮島吉敏等編 昭和一一至一三 洋・大 三 木五 一八四七

同 日華大辭典 三卷 宮島吉敏等編 昭和一一至一三 洋・大 三 木五 一八五一

同 日華大辭典 三卷 宮島吉敏等編 昭和一一至一三 洋・大 三 木五 一八三三

日漢辭彙 石山福治編 明治三八 洋・小 一 木五 一七八二

日支大辭彙 石山福治編 大正八 三版 洋・小 一 木五 一五九九

同 日支大辭彙 石山福治編 大正八 三版 洋・小 一 木五 一九四九

國音標準 白話詞典 民國・方賓觀編 民國一五 三版 洋・小 一 木五 一七八五

標準語大辭典 民國・全國國語教育促進會審詞委員會編 民國二五 三版 洋・小 一 木五 一八六九

讀本

龜頭訓點 支那時文 革命始末 關口精一編 明治四五 洋・小 一 木五 一七九七

同 一 木五 一七九八

漢文教程 時文之部（明治三七） 川田鐵彌・柴田晃編・北條直方訂 改訂再版 和・中 一 木五 二八五

現代文選 民國・蕭迭山編 民國八 再版 洋・中 一 木五 一八六一

冠註 高等支那時文讀本 附官場概覽 大野德孝編註 明治三八 洋・中 一 木五 七二一

時文類纂　支那時文評釋　早稻柳爲田大學文學科第二回講義（續）　洋・中　一
詳解簡易支那商業文　支那時文評釋　早稻柳爲田大學文學科第三回講義（續）　洋・中　一
明達三書院編　支那時文評釋　早稻柳爲田大學文學科第四回講義（續）　洋・中　一
支那時文寶鑑　附大時文五冤一研究　支那時文評釋　早稻柳爲田大學文學科第五回講義（續）　洋・中　一
近代支那語附滿洲語・蒙古語・西藏語　會話　北京官話支法　阿部大編　赤松正一・小澤洋癡二著　一
官話篇　明宮島三六編　洋・大　官話應酬新篇　明渡治俊四〇編　洋・小　一
官話篇　明宮島三六編　洋・大　官話應酬新篇　明渡治俊四〇編　洋・小　一
唐譯便覽五享保一岡一後彫　唐語便用六卷　岡島一〇撰　和・中　三
唐譯便覽五享保一岡一後彫　唐語便用六卷　岡島一〇撰　和・中　三
支那文典　支那語文法　明石治山編　洋・小　一
支那文典　支那語文法　明石治山編　洋・小　一
明名家文學一〇書音點並解釋　支那語動詞形容詞用法　明岩治川秀四孝撰　洋・小　一
明名家文學一〇書音點並解釋　支那語動詞形容詞用法　明岩治川秀四孝撰　洋・小　一
支那文典　支那語文法　明石治山編　洋・小　一
支那文典　支那語文法　明石治山編　洋・小　一
支那文典　支那語文法　明石治山編

唐話纂要 六卷 岡島璞撰 享保三 和・中 — 同 — 冊 ホ 一 類 一八五二
唐話纂要 卷一 寫本 岡島璞撰 和・中 — 同 — ホ 五 一八五二
日華會話筌要 平岩道知撰 明治三八 洋・小 — 同 — ホ 五 一五一三
日清會話 參謀本部編 明治三七 洋・小 — 同 — ホ 五 一七八三
北京官話日清會話捷徑 甲斐靖撰 明治三九 洋・小 — 同 — ホ 五 二三八
日華對譯福州語 北原癸巳男等編 昭和一五 洋・小 — 同 — ホ 五 一七九四
滿洲語【滿洲國語ヲ含ム】 — 同 — ホ 五 一八七二
女眞語研究の新資料 附靜嘉堂文庫本華夷譯語中女眞譯語 石田幹之助撰 洋・大 (羽田博士東洋史論叢 羽田博士還曆記念) — 一 — リ 七 四六八七
女眞譯語 二篇 民國・羅福成編・大庫舊檔整理處刊 唐・大 — 二 — ホ 五 一九〇一
清文彙書 一二卷 清・李延年撰 乾隆一六 唐・中 — 一二 — ホ 五 七九四
重刻清文虛字指南編 二卷 光緒二〇 唐・大 — 二 — ホ 五 七九三
滿漢清文啓蒙 四卷 清・舞格撰・程明遠校 (雍正八) 唐・中 — 四 — ホ 五 一七七一
滿漢清文啓蒙 四卷(卷三缺) 清・舞格撰・程明遠校 (雍正八) 唐・中 — 三 — ホ 五 九六四
清文指要 三卷・續編 滿漢清文指要 二卷 嘉慶一四 重刻 唐・中 — 四 — ホ 五 七九五
清文補彙 八卷 唐・大 — 八 — ホ 五 七九二
成語輯要 二卷 光緒一七 唐・大 — 一 — ホ 五 七九一
ソロン語の研究 上牧瀧三郎撰 昭和一五 洋・小 (ソロン族の社會) — 一 — ニ 一六 三三一四
高橋景保の滿州語學 新村出撰 洋・中 (東方言語史叢考) — 一 — ホ 一 一八五二
長崎唐通事の滿洲學語 新村出撰 洋・中 (東方言語史叢考) — 一 — ホ 一 一七九六
翻譯類編 四卷 清・冠菊窓編 (乾隆一四) 唐・中 — 四 — ホ 五 一八二三
本邦滿洲語學史料斷片 新村出撰 洋・中 (東方言語史叢考) — 一 — ホ 一 九六六
滿語文典 渡部薰太郎編 大正七 (謄寫版) 和・中 (滿語學叢書本) — 一 — ホ 五 一七八三
滿字隨筆 高橋景保撰 和・大 (謄寫版) (珍書刊行會叢書) — 一 — イ 四 二三八
滿洲語學史料補遺 新村出撰 洋・中 (東方言語史叢考) — 一 — ホ 一 一七九四
增修滿洲文研究錄 別冊普請及反切考添和・中 (滿洲地之略沿革記ト同刊) 再版滿洲文研究錄 小山愛司撰 昭和一〇 (謄寫版) — 二 — リ 七 四七〇二 二一三
滿洲文研究錄 小山愛司撰 昭和七 和・中 (滿洲地之略沿革記ト同刊) (謄寫版) — 一 — リ 七 四六八〇 二
滿蒙言語の系統 石濱純太郎撰 昭和九 洋・中 (岩波講座東洋思潮) — 一 — ロ 一〇 二九三七 一
滿和辭典 羽田亨編・京都帝國大學滿蒙調査會刊 昭和一二 洋・中 — 一 — ホ 五 一八四五
蒙漢滿文三合 正蒙印書館刊 民國二 唐・小 — 一二 — ホ 五 一八四三

○

滿洲實錄 八卷 (滿・漢・蒙文) 滿洲國務院刊 唐・小 (大清歷朝實錄) — 八 — リ 八 四八六九 一一一八
滿和對譯 滿洲實錄 漢譯文附 八卷 今西春秋譯註 昭和一三 洋・大 — 一 — リ 七 四七三四
記憶するに易く實用に適する日滿會話 富山誠一撰 大正九 二三版 洋・小 — 一 — ホ 五 一八三六
日滿會話辭典 附滿洲事情 宮越健太郎撰 昭和一〇 五版 洋・小 — 一 — ホ 五 一八三四
同 — 一 — ホ 五 一八三五
日滿語會話 青柳篤恒撰 (第四九回早稻田商業講義) 洋・中 — 一 — ネ 一 三八四五 四

「至元譯語」に就いて 石田幹之助撰 洋・中 (東洋學叢編) — 一 — リ 七 四六九〇
滿洲語基礎 吉野美彌雄撰 昭和一〇 洋・小 — 一 — ホ 五 一八二九

蒙古語

華夷譯語 明・火源潔・馬沙亦黑編 明經廠刊本影印 唐・小 (涵芬樓祕笈) — 二 — イ 四 一〇二六 二六一二七
高麗史中之蒙古語 佛・ペリオ撰・民國・馮承鈞譯 洋・小 (西域南海史地考證譯叢續編) — 一 — リ 七 四七一二 二
日本語と蒙古語 大藪鉦太郎撰 大正九 洋・中 — 一 — ホ 五 一七八一
同 — 一 — ホ 五 一八七四
滿蒙言語の系統 石濱純太郎撰 昭和九 洋・中 (岩波講座東洋思潮) — 一 — ロ 一〇 二九三七 一
蒙漢滿文三合 正蒙印書局刊 民國二 唐・小 — 一二 — ホ 五 一八四三
標準蒙古語會話 小島武男編 昭和一三 洋・小 — 一 — ホ 五 一八九三
蒙古語四週間 竹内幾之助・出村良一撰 昭和一四 再版 洋・小 — 一 — ホ 五 一八五五
蒙古語大辭典 蒙和之部 昭和八 洋・大 三卷 下永憲次撰・陸軍省編 — 二 — ホ 五 一八一八
蒙古語文語の起源について 服部四郎撰 洋・中 (言語研究) — 一 — ホ 一 一八七三 三
蒙古語文典 小島武男撰 昭和一三 洋・中 — 一 — ホ 五 一八四六
蒙文讀本 三卷 喀喇沁王府編 明治四〇 洋・中 — 三 — ホ 五 一六九〇
最新標音蒙露日大辭典 石田喜與司・ヒオーニン撰・滿鐵調査部編 昭和一六 洋・大 — 一 — ホ 五 一八七九
蒙和辭典 蒙古・韓穆精阿・鴛淵一編 昭和三 (謄寫版) 洋・小 — 一 — ホ 五 一八一七
蒙和辭典 同辭典編纂會編 昭和一六 四版 (謄寫版) 洋・中 — 一 — ホ 五 一八九六
改訂蒙和辭典 — 一 — ホ 五 一八八二

西藏語

西藏文典 河口慧海撰 昭和一一 洋・中 — 二 — イ 四 四九〇 六七一六八
西番譯語 唐・小 (龍威祕書) — 一 — ロ 一〇 二九三七 一
西藏語の系統 山口益撰 昭和一〇 洋・中 (岩波講座東洋思潮) — 一 — ホ 五 一八二二 一
西藏語文法 寺本婉雅撰 大正一一 洋・中 — 一 — ホ 五 一八八二 一
西番譯語 唐・小 (龍威祕書) — 二 — イ 四 四九〇 六七一六八
西藏語の系統 山口益撰 昭和一〇 洋・中 (岩波講座東洋思潮) — 一 — ロ 一〇 二九三七 一
西藏語文法 寺本婉雅撰 大正一一 洋・中 — 一 — ホ 五 一八八二 一
西藏文典 河口慧海撰 昭和一一 洋・中 — 一 — ホ 五 一八九〇

欽定同文韻統 六卷・首一卷 乾隆二重刊 唐・大 冊 五 木 類 五 號 一八八三

蠻語 清・盛繩祖撰 唐・小（衞藏圖識） 一 ル 五 一五一五 四

○

西藏蒙古喇嘛教史 西藏・ナムカ撰・橋本光寶編 昭和一五 洋・中 一 八 八 二三一七

蒙古喇嘛教史 西藏・ナムカ撰・橋本光寶譯 昭和一五 洋・中 一 八 八 二三一六

○

纂文叢刻 甲編 洋・大 民國・丁文江編 民國二五（中央研究院歷史語言研究所專刊本） 一 木 五 一八六五

西夏國書字典音同 庫籍整理處刊 宋刊本寫影印—民國二四 唐・大 蘇聯亞洲博物館藏 一 木 五 一九〇〇

西夏助辭攷略 洋・大 露・ネフスキー撰（內藤博士史學論叢） 一 リ 一 四六七八

雜書

厦門音系 洋・大 民國・羅常培撰 民國一九（國立中央研究院歷史語言研究所單刊本） 一 木 五 一八九九

粵東俗字便蒙解 明治三三 柳澤信夫撰 一 木 五 一二三二

燕音集 明治三三 牧相愛氏編 和・大 一 木 五 八七〇

關中入聲之變化 洋・大 民國・伯滕洲撰（慶祝蔡元培先生六十五歲論文集） 一 イ 四 一四七四 二

現代吳語的研究 洋・大 民國・趙元任撰 民國二四 再版（清華學校研究院叢書本） 一 木 五 一八八七

支那現代文の所謂新式標點符號の得失を論じ併せて最新式標點符號の採用を提唱す 洋・中 原田季清撰（安藤教授記念論文集） 一 折 木 二 四七二八

支那語國音表 注音符號・國語羅馬字・假名及ウエード式羅馬字對照 神谷衛平編 昭和六 洋・中 一 木 五 一八五三

支那語正音發微 大正四 伊澤修二撰 洋・大 一 木 五 一四六五

六 英語

總記

〔英話教授法・學附教育法（下二）參照〕

愛蘭英語と蘇格蘭英語 洋・中 勝田孝興撰（昭和一五 英米文學語學講座） 一 ヘ 三 五三六九 五五

アメリカ英語歷史的及び地方的研究 洋・中 （英語英文學講座） 重見博一撰 一 木 六 一九〇四 二

アングリックとベイシック 英語の國際補助語化運動 洋・中（英語英文學講座） 岡倉由三郎撰 一 木 六 一九〇四 四

アングロ・アイリッシュ 洋・中（英語英文學講座） 勝田孝興撰 一 木 六 一九〇四 二

英語 時事應用 長谷川康撰 大正八 洋・小 一 木 六 一五二五

英語英文學講座 一〇卷 昭和八・九 洋・中 同講座刊行會刊 一〇 木 六 一九〇四

第一至四卷 語學篇（一至四）

言語學概論（小林淳男） 一 英文法概論（市河三喜） 一

形容詞・冠詞の研究（鈴木重威） 一 動詞・助動詞の研究（大塚高信） 一

單語の研究（長澤英一郎） 一 前置詞の研究（小林光） 一

英語構文の研究（南石福二郎） 一 名詞・代名詞の研究（法邑清三） 一

副詞・接續詞の研究（岩崎民平） 一 英文法用語の解說（神保格） 一

和文英譯の研究（增田綱） 二 古代英語（廚川文夫） 二

中世英語（同上） 二 近代英語の成立（上・下）（中島文雄） 二

大戰後の英語（久野朔郎） 二

アメリカ英語（歷史的及び地方的研究）（重見博一） 二

アングロ・アイリッシュ（勝田孝興） 二 英語と米語（富田義介） 二

新聞英語（花岡兼定） 二 トーキー英語（佐々木能理男） 二

ラヂオ・トーキー・蓄音器による英語學習（黑田巍） 二

商業英語の研究（伊地知純正） 三 英語手紙の書き方（岡田六男） 三

現代英語のシンタックス（山本忠雄） 三 英語音聲學（雜弘正雄） 三

英語の類語について（石井三郎） 三 慣用語の研究（堀英四郎） 三

海洋語の研究（須藤肇吉） 三 英詩韻律の研究（佐藤清） 三

修辭法（英文學に於けるその實踐の跡）（石黑魯平） 三

英詩の語彙と語法（佐々木達） 三

アングリックとベイシック（岡倉由三郎） 四

英語俚諺集（秋鹿重彥） 四 英語名句集（上）（本多顯彰） 四

英語名句集（下）（神吉三郎） 四 日本英學史（竹村覺） 四

英譯された謠曲（野上豐一郎） 四 國語に及ぼした英語の影響（棟垣實） 四

飜譯論（澤村寅二郎） 四 譯詩論（山宮允） 四

飜譯の理論と實際（森田草平） 四 飜譯の研究（伊藤整） 四

英語教育論（小日向定次郎） 四 英語教授法（寺西武夫） 四

希臘語初步（水野清太郎） 四 ラテン語初步（關口存男） 四

第五至七卷 文學篇（一至三）

イギリス文學史（發端より Shakespeare 逝去に至る）（竹友藻風） 五

イギリス文藝批評史（その成立から十八世紀まで）（工藤好美） 五

イギリス文學史（十七・八世紀）（平田秀木） 五

イギリス文學史（十九世紀）（上・下）（本間久雄） 五

イギリス文學史（二十世紀）（西脇順三郎） 五

アイルランド文學史（矢野峰人） 五

アメリカ文學史（十九世紀中葉まで）（高垣松雄） 五

アメリカ文學史（南北戰爭以降）（同上） 五

イギリス小說史（寺井邦男） 五

イギリスのプロレタリア文學（阪井德三） 五

アメリカのプロレタリア文學（征不二夫） 五

植民地文學について（木村毅） 五

精神分析とイギリス文學（長谷川誠也） 五

神話文學（松村武雄） 六 アメリカ大衆小說（大江專一） 六

現代英國大衆文學（松本泰） 六 英文學と大陸文學（田部重治） 六

イギリス散文文體の發達（舟橋雄） 六 英詩發達史（上）（大和資雄） 六

英語發達史（下）（井上思外雄） 六 英國劇大觀（日高只一） 六

アメリカ劇の大觀（同上） 六 イギリス短篇小說（阿部知二） 六

英文學研究法（福原麟太郎） 六

現代英米文學雜誌の紹介（西川正身） 六

英・米・文藝年表（英語英文學刊行會編輯部編） 六

文學としての欽定英譯聖書（齋藤勇） 七

アメリカの社會的批評論（高垣松雄） 七
英國の社會的批評論（深瀬基寛） 七
ギリシア・ローマ文學概說（關口存男） 七
イギリス現代風俗誌（市河晴子） 七
アメリカ現代風俗誌（石川欣一） 七
アメリカの制度風俗研究（金子尚一） 七
イギリス近世制度風俗研究（森野龜之助） 七
中世英國文化に關する二三の考察（加藤猛夫） 七
英文學の社會的背景（木村毅） 七
イギリス宗教史（陶山務） 七
英國哲學思想（廣池利三郎） 七

第八至一〇卷 名著解說篇（一至三）

ヂョイス・ヂェイムズ作「ユリシーズ」（名原廣三郎） 八
ヂョン・バニヤンの「天路歷程」（倉長眞） 八
リトン・ストレイチの「ヴイクトリア女王」（戸川秋骨） 八
フランク・ノリスの「オクトパス」（杉木喬） 八
チャールズ・ラム作「エリヤ隨筆集」（平田禿木） 八
コウルリヂの文學論（工藤好美） 八
ホイツトマン「草の葉」（長沼重隆） 八
サミユエル・バトラーの「萬人の路」（中野好夫） 八
テイー・エス・エリオツトの「荒地」（井上思外雄） 八
ヘミングウェイと「武器よさらば」（佐久間原） 八
シエイクスピアの「ハムレット」と「ヘンリ四世」（本多顯彰） 八
エミリ・ブロンテの「嵐が丘」（大和資雄） 八
ヴアヂニア・ウルフの「ダロウエイ夫人」（原一郎） 八
オニールの「奇妙な幕間狂言」（清野鶴一郎） 八
バアナード・ショーの「人と超人」（市川又彦） 八
オールダス・ハックスレの「戀愛曲對位法」（佐山榮太郎） 八
シンクレア・ルイスの「エルマ・ギャントリ」（佐藤東四郎） 八
ジエイン・オースチンの「自負と偏見」（小山順） 八
ヂョウゼフ・コンラッドの「水仙丸の黒ん坊」と「偶然」（岩荷幸也） 八
シャーウッド・アンダスンの「ワインズバーグ・オハヨ」（吉田甲子太郎） 八
チャールズ・ディツケンズの「デェヴイツド・カツパフイールド」（森田草平） 八
メレヂイスの「エゴイスト」（百瀬甫） 九
ロレンスの「息子と愛人」（安藤一郎） 九
ウインダム・ルイスの「神を眞似る猿」（南條勝代） 九
バリイの「メアリ・ロウズ」（山本修二） 九
ロバート・ブリツヂズの「美の遺言」（酒井善孝） 九
ハーマン・メルヴイルの「白鯨」（豐田實） 九
トマス・ハーデイの「ダーバヴイル家のテス」（高見顯治） 九
ギヤスケル夫人の「メアリ・バートン」（村山英太郎） 九
セオドア・ドライサアの「ジェニイ・ゲルハアト」（陶山務） 九
チヨウサの「キヤンタベリ物語」（中山竹二郎） 九
ロバート・ルイス・スティーブンソンの「寶島」（上田義雄） 九
アーノルド・ベネットの「老妻物語」（富田彬） 九
スペンサーの「フェアリ・クヰイン」（大和資雄） 九
アアノルドの「批評論」（荒川龍彦） 九
ウオルター・ペイターと「享樂主義者マリウス」（堀大司） 九
マーク・トウエインの「ハックルベリ・フイン」（秤不二夫） 九
デヨーヂ・エリオツトの「サイラス・マーナー」（片山俊） 九
ウエルズの「トーノ・バンゲイ」（稻村松雄） 九
ゴオルズワアジイの「フオーサイト物語」（鹽谷榮） 九
ホプキンズの詩（福永和利） 九
シエイクスピアの「リア王」と「嵐」（中西信太郎） 一〇
オウフラハーテイの「密告者」（菊池重三郎） 一〇
ハアバアト・リイドの「英國詩歌の諸相」（土居光知） 一〇
ワーヅワスの「序詩」（北村常夫） 一〇
ニューマンの「わが生涯の辯」（石田憲次） 一〇
ポウの短篇集（島田謹二） 一〇
アプトン・シンクレアの「ボストン」（彭口三津雄） 一〇
ミルトンの「失樂園」（佐藤清） 一〇
トマス・ハーデイの「ザ・デイナスツ」（澤村寅二郎） 一〇
ヂョーヂ・ムアの「一青年の告白」（田邊慶治） 一〇
ナサニエル・ホーソーンの「緋文字」（志賀勝） 一〇
ローレンス・スターンの「トリストラム・シャンデイ」（野上豐一郎） 一〇
ゴールドスミスの「ウェークフイールドの牧師」（老田三郎） 一〇
オスカア・ワイルドの「サロメ」（菊池裕） 一〇
デイツケンズ作「二都物語」（森田草平） 一〇
フロイド・デルの「野薇薔の茂み」（高垣松雄） 一〇
ヂョン・ドス・パソスの「北緯四十二度」と「一九一九年」（杉本喬） 一〇
ブラウニングの「指輪と本」（曾根保） 一〇
サツカレの「虛榮の市」（西崎一郎） 一〇
C・ブロンテイの「ジェイン・エウ」（十一谷義三郎） 一〇
英語英文學講座 同講座刊行會刊 昭和八・九 洋・中 九五 ホ 六 一九八八
英語往來 橋爪貫一編 明治五 和・小 一 ホ 六 四六二
英語學 研究と文獻 昭和一一 市河三喜撰 洋・小 一 ホ 六 一九二八
英語學概要 小林淳男撰 洋・中（英語教育叢書） 一 ホ 六 一九一八 七
英語學研究史 佐々木達撰 昭和一六 洋・中（英米文學語學講座） 一 ヘ 二二 五三六九 三九
英語學研究方法論 中島文雄撰 昭和一六 洋・中（英米文學語學講座） 一 ヘ 二二 五三六九 三七
英語學將來の問題 奥・ルーイック撰・坂東省譯 洋・中（英語學パンフレット） 一 ホ 六 一八九九 六
獨修英語學全書 前篇 片山清太郎・堀江章一撰 明治一九 洋・小 一五
新法英語學 英語學概論 中島文雄撰 洋・中（言語・文學論叢） 一 ホ 一 一八五七
英語學とは何か 岡倉由三郎撰 昭和一二 洋・中 一 ホ 六 一九三六
英語學の周邊 古典と標準外一二篇 佐々木達撰 昭和一五 洋・小 一 ホ 六 一九九〇
英語學パンフレット 第一至二六編 市河三喜編 昭和八・九 洋・中 一 ト 二 一七五二 八
英語教育 岡倉由三郎撰 洋・中（英語教育科學） 二六 ホ 六 一八九九
英語教育叢書 研究社刊 昭和一〇至一二 洋・中 三一 ホ 六 一九一八
現代英語の文法的變化（瑞典・サクリソン撰・久野朔郎譯） 一
頭韻と近代英國文化（獨・シユワルツ撰・前島儀一郎譯） 二
音調と強調（英・コウルマン撰・岩崎民平譯） 三
英語教授法の言語學的基礎（神保格） 一
英語の史的考察（獨・モールスバツハ撰・中島文雄譯） 四
文のリズムと語の配置（諾・ウエステン撰・大塚高信譯） 五
英語學將來の問題（瑞・ルーイック撰・坂東省譯） 六
强意的直喩の研究（瑞典・スヴアルデングレン撰・佐々木達譯） 七
人名の普通名詞化（獨・エストベルク撰・鈴木重威譯） 八
複合詞の音聲變化（獨・クライン撰・重見博一譯） 九
英語の形態と機能（獨・ホルン撰・山本忠雄譯） 一〇
混成語の考察（米・パウンド撰・若林秀善譯） 一一
他動性表現の種々相（瑞典・ローデ撰・北畠經夫譯） 一二
シンタクスの短路的傾向（米・スミス撰・高谷信一譯） 一三
韻律論（T・イエスペルセン撰・清水護譯） 一四
品詞の機能（獨・フンケ撰・中島文夫譯） 一五
動詞附名詞の發達（米・カーム撰・小林淳男譯） 一六
形容詞と韻律（ドラート撰・中山竹二郎譯） 一七
單語と文化史（米・マックナイト撰・久野朔郎譯） 一八
定冠詞論（佛・ビアール撰・廚川文夫譯） 一九
名詞構文と英語（獨・ドイチバイン撰・東田千秋譯） 二〇
Stevenson の文體（英・チヤーマーズ撰・岩崎民平譯） 二一
運動の動詞とその意義的分岐（獨・コリツツ撰・須貝清一譯） 二二
スラング・古語及び方言（獨・シュピース撰・眞鍋義雄譯） 二三
シエークスピア聖書の語法（英・サクリソン撰・前島儀一郎譯） 二四
英語構造論（獨・ウエーベル撰・市河三喜譯） 二五
Shall, Will の研究（丁・ダール撰・中內正利譯） 二六

話方・聽方・書取及び習字（寺西武夫）　三
學藝會の指導（上井磯吉）　三
英語教育に關する文部法規（櫻井役）　六
譯讀と飜譯（澤村寅二郎）　六
標準語・方言及び俗語（中島文雄）　八
我國に於ける英語教授法の沿革（片山寛）　九
歐米に於ける外國語教育とその制度（金子健二）　一〇
英作文の教授（青木常雄）　一一
英文學の教養と英語教育（小日向定次郎）　一三
風物知識（福原麟太郎）　一三
日本英學小史（勝俣銓吉郎）　一五
初學年の教授とローマ字（村岡博）　一七
英語と米語（上田畊甫）　一九
試驗と學習（永原敏夫）　二一
教室・圖書室・研究室の設備と管理（石黒魯平）　二三
日英國語發音差異の實驗的研究（兼弘正雄）　二四
文體論（大和資雄）　二四
英語教育の目的と價値（岡倉由三郎）　二六
英文法の教授と問題（岩崎民平）　二七
口語と文語（西脇順三郎）　二九
英語教育と理論と問題（石川林四郎）　三一

英語教育の目的と價値　岡倉由三郎撰　洋・中（英語教育叢書）　一　木　六　一九一八　二六
英語教育の理論と問題　石川林四郎撰　洋・中（英語教育叢書）　一　木　六　一九一八　三一
英語教育論　英語教師の教養に就て　小日向定次郎撰　洋・中（英語英文學講座）　一　木　六　一九〇九　四〇
英語教授法書誌　赤祖父茂德編　昭和一三　洋・中　一　木　六　一九五〇
英語研究の手引　橋本無想講（明治四三年度早稻田商業講義）　洋・中　一　木　六　一二六五

英語講義　岸本能武太講（明治三九年度早稻田中學講義）　洋・中　一　木　六　九四〇
英語講義　岸本能武太講（明治四一年度早稻田中學講義）　洋・中　一　木　六　一一〇五
英語講義　岸本能武太講（第五回早稻田中學講義）　洋・中　一　木　六　一二七〇
英語講義　熊本謙二郎・横地良吉講（第一一回早稻田商業講義）　洋・中　一　ネ　一　三八四四　三
英語講話　前田定之助講（第四九回早稻田商業講義）　洋・中　一　ネ　一　三八四五　五
英語講話　附英語研究の心得（村井知至）外二篇　增田藤之助・佐久間信恭講　明治四〇　洋・中（早稻田通俗講話本）　一　木　六　七三〇
同　一　木　六　七二一
英語史概說　市河三喜撰　昭和一六　洋・中（英米文學語學講座）　一　ヘ　三　五三六九　四〇
初學獨習英語速成　渡邊修二郎撰　明治三七　再版　洋・小　一　木　六　八三二
英語と外國語との相互影響　關係用語論　昭和一六　木坂千秋撰　洋・中（英米文學語學講座）　一　ヘ　三　五三六九　五九
英語と米語　上田畊甫撰　洋・中（英語教育叢書）　一　木　六　一九一八　一九
英語と米語　富田義介撰　洋・中（英語英文學講座）　一　木　六　一九〇四　二
英語の形態と機能　獨・ホルン撰・山本忠雄譯　洋・中（英語學パンフレット）　一　木　六　一八九九　一〇
英語の現在と過去　米・エイケン撰・鵜飼盈治譯　昭和七　洋・小　一　木　六　一八七四
英語の語彙及造語法と語源　久野朔郎撰　昭和一六　洋・中（英米文學語學講座）　一　ヘ　三　五三六九　五二
英語の史的考察　獨・モールスバッハ撰・中島文雄譯　洋・中（英語學パンフレット）　一　木　六　一八九九　四
英語の類語研究　井上義昌撰　昭和二　洋・小　一　木　六　一八〇四
英語の類語について　石井三郎撰　洋・中（英語英文學講座）　一　木　六　一九〇四　三
英語發達史　金子健二撰　昭和七　洋・中　一　木　六　一八七三

英語獨案內　渡邊修二郎撰　明治三九　洋・小　一　木　六　八三三
表解英語力の基礎　住友彥太郎撰　大正三　四版　洋・小　一　木　六　一六一三
英米文學語學講座　第一至八回（未完）　昭和一五・一六　研究社刊　洋・中　四一　ヘ　三　五三六九

英文學研究方法論（土居光知）　一
英文學主潮史（一―十六世紀まで）（福原麟太郎）　一四
英文學主潮史（三―十九世紀より）（矢野峰人）　六
英國隨筆史（福原麟太郎）　一三
英國批評史（成田成壽）　一七
米國小說史（佐久間原）　一九
英國藝術史（新規矩男）　二三
日本英文學史（本間久雄）　二四
ギリシャ・北歐神話とその文明（小日向定次郎）　二五
キリスト教思潮（齋藤勇）　二七
寫實主義と審美主義（大和資雄）　三〇
英國史（平田秀木）　三三
新聞雜誌及出版事業（齋岳文章）　三六
英語學研究史（佐々木達）　三九
古代英語（廚川文夫）　四一
近代英語（後期―一八・一九世紀）（齋藤靜）　四一
品詞及語形論（一―名詞・代名詞・形容詞・冠詞）（鈴木重威）　四四
品詞及語形論（二―動詞）（須貝清一）　四七
品詞及語形論（三―副詞・接續詞・前置詞・感歎詞）（南石福二郎）　四九
英語文章法（山本忠雄）　五一
英語の語彙及造語法と語源（久野朔郎）　五三
英語辭書研究（須貝清一）　五三
標準語と方言及スラング（眞鍋義雄）　五五
慣用語（佐藤正治）　五七
英語と外國語との相互影響（附借用語論）（木坂千秋）　五九

英語學研究方法論（土居光知）　一　木　六　八三三
英文學主潮史（一―十六世紀まで）（福原麟太郎）　一四　木　六　一六一三
英文學主潮史（三―十九世紀より）（矢野峰人）　六　木　六　一六一三
英國隨筆史（福原麟太郎）　一三　木　六　一六一三
英國批評史（成田成壽）　一七　木　六　一六一三
米國小說史（佐久間原）　一九　木　六　一六一三
英國藝術史（新規矩男）　二三　木　六　一六一三
日本英文學史（本間久雄）　二四　木　六　一六一三
ギリシャ・北歐神話とその文明（小日向定次郎）　二五　木　六　一六一三
キリスト教思潮（齋藤勇）　二七　木　六　一六一三
寫實主義と審美主義（大和資雄）　三〇　木　六　一六一三
英國史（平田秀木）　三三　木　六　一六一三
新聞雜誌及出版事業（齋岳文章）　三六　木　六　一六一三
英語學研究史（佐々木達）　三九　木　六　一六一三
古代英語（廚川文夫）　四一　木　六　一六一三
近代英語（後期―一八・一九世紀）（齋藤靜）　四一　木　六　一六一三
品詞及語形論（一―名詞・代名詞・形容詞・冠詞）（鈴木重威）　四四　木　六　一六一三
品詞及語形論（二―動詞）（須貝清一）　四七　木　六　一六一三
品詞及語形論（三―副詞・接續詞・前置詞・感歎詞）（南石福二郎）　四九　木　六　一六一三
英語文章法（山本忠雄）　五一　木　六　一六一三
英語の語彙及造語法と語源（久野朔郎）　五三　木　六　一六一三
英語辭書研究（須貝清一）　五三　木　六　一六一三
標準語と方言及スラング（眞鍋義雄）　五五　木　六　一六一三
慣用語（佐藤正治）　五七　木　六　一六一三
英語と外國語との相互影響（附借用語論）（木坂千秋）　五九　木　六　一六一三

日本語と英語の比較（澤村寅二郎）　六〇　木　六　一六一三
文法論（大塚高信）　六三　木　六　一六一三
一般音聲學（神保格）　六三　木　六　一六一三
言語と思考（中島文雄）　六四　木　六　一六一三

英米文學語學講座　第一至八回（未完）　昭和一五・一六　研究社刊　洋・中　四一　ヘ　三　五三六九

外國語之研究　內村鑑三撰　明治三二　洋・小　一　木　六　二〇〇二
海洋語の研究　須藤兼吉撰　洋・中（英語英文學講座）　一　木　六　一九〇四　三
慣用語　佐藤正治撰　昭和一六　洋・中（英米文學語學講座）　一　ヘ　三　五三六九　五七
慣用語の研究　堀英四郎撰　洋・中（英語英文學講座）　一　木　六　一九〇四　三
強意的直喩の研究　端典・スヴアルデングレン撰・佐々木達譯　洋・中（英語學パンフレット）　一　木　六　一八九九　七
近代英語の成立　中島文雄撰　洋・中（英語英文學講座）　一　木　六　一九〇四　二
近代英語　後期（一八・一九世紀）　昭和一五　齋藤靜撰　洋・中（英米文學語學講座）　一　ヘ　三　五三六九　四四
語彙及び綴字の問題　市河三喜撰　洋・中（英語教育叢書）　一　木　六　一九一八　四四
口語と文語　西脇順三郎撰　洋・中（英語教育叢書）　一　木　六　一九一八　二九
國語問題と英語科問題　藤村作撰　昭和一五　洋・中　一　木　二　四六八〇
國語と文學（英）　洋・中　市河三喜撰（岩波講座世界文學）　一　ヘ　一　四三八四　一
古代英語　洋・中　廚川文夫撰（英語英文學講座）　一　木　六　一九〇四　二
古代英語　廚川文夫撰　洋・中（英米文學語學講座）　一　ヘ　三　五三六九　四一
古代中世英語初步　市河三喜撰　昭和一〇　洋・小　一　木　六　一九一七
混成語の考察　米・パウンド撰・若林秀善譯　洋・中（英語學パンフレット）　一　木　六　一八九九　一一
今日の英語と米語　附米語字彙　富田義介撰　大正一四　洋・小　一　木　六　一七八三

實用英語	相良左撰 洋・中 (英語教育叢書)	一	木 六	一九一八 一一八	日本英學史の研究	英和及び和英辭書の發達外九篇 豐田實撰 昭和一四 洋・中
同	ヂョーヂ・エリオツトの作品に用ひられたる英國中部地方言の研究	一	木 六	一九一九	日本英學小史	勝俣銓吉郎撰 昭和一一 洋・中 (英語教育叢書)
同	細江逸記撰 昭和一一 再版 洋・中	一	木 六	一九七六	日本英學小史	勝俣銓吉郎撰 昭和一一 洋・中 (英語教育叢書本)
新英語自修書	註解竝原文 土屋詮教編 大正四 一二版 洋・小	二	木 六	一九四四	日本英學發達史	竹村覺撰 昭和八 洋・中
增訂新語學獨案內	英・ブリンクリー撰 明治四四 再版 洋・中	一	木 六	一四三〇	日本英語學書志	荒木伊兵衞撰 昭和六 洋・中
同		一	木 六	一二〇六	日本近世英學史	重久篤太郎撰 昭和一六 洋・中
新聞英語	花園兼定撰 洋・中 (英語英文學講座)	一	木 六	一六〇九	標準語と方言及スラング	眞鍋義雄撰 昭和一六 洋・中 (英米文學語學講座)
新聞英語の讀み方と書き方	北野吉內撰 大正一三 洋・小	一	木 六	一九〇四 二	標準語・方言及び俗語	中島文雄撰 洋・中 (英語教育叢書)
人名の普通名詞化	獨・エストベルク撰・鈴木重威譯 洋・中 (英語學パンフレット)	一	木 六	一七六二	ベーシック英語	高田力撰 昭和一六 洋・中 (英米文學語學講座)
スラング・古語及び方言	獨・シュピース撰・眞鍋義雄譯 洋・中 (英語學パンフレット)	一	木 六	一八九九 二三	洋學指針	英學部初編 慶應三 柳河春三撰 和・小
聖書の英語	市河三喜撰 昭和一一 洋・小	一	木 六	一九三三		辭書
大戰後の英語	久野朔郎撰 洋・中 (英語英文學講座)	一	木 六	一九〇四 二	英語辭書研究	須貝清一撰 昭和一六 洋・中 (英米文學語學講座)
單語と文化史	米・マックナイト撰・久野朔郎譯 洋・中 (英語學パンフレット)	一	木 六	一八九九 一八	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
中世英語	厨川文夫撰 洋・中 (英語英文學講座)	一	木 六	一九〇四 二	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 九州帝國大學法文哲學史學文學論文集 文學部十周年記念 洋・中
中世英語	中山竹二郎撰 洋・中 (英米文學語學講座)	一	ヘ 二三	五三六九 五三	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
トーキー英語	佐々木能理男撰 洋・中 (英語英文學講座)	一	木 六	一九〇四 三	英和及び和英辭書の發達	明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
日英語比較研究	中村小次郎撰 明治三八 洋・小	一	木 六	一三六	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
同		一	木 六	一三七	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
日本英學史	竹村覺撰 洋・中 (英語英文學講座)	一	木 六	一九〇四 圖	英語辭書研究	須貝清一撰 昭和一六 洋・中 (英米文學語學講座)
辭書を中心とせる日歐文化交涉史料展覽會陳列品目錄	勝俣教授記念觀賞會刊 (昭和一四) 洋・小	一	木 一	一八七六	洋學指針	英學部初編 慶應三 柳河春三撰 和・小
日本英語學書誌	附年表 荒木伊兵衞撰 昭和六 洋・中	一	木 六	一八六一		辭書
	○				英語辭書研究	須貝清一撰 昭和一六 洋・中 (英米文學語學講座)
研究社 英語學辭典	市河三喜編 昭和一五 洋・中	一	木 六	一九六六	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
同		一	木 六	一九六三	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 九州帝國大學法文哲學史學文學論文集 文學部十周年記念 洋・中
同		一	木 六	一九六四	英和及び和英辭書の發達	明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
	○				同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
新らしい英字	岩堂保・森濱五郎撰 大正三 三版 洋・小	一	木 六	一三七〇	英和及び和英辭書の發達	明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
英和雙解隱語彙集	村松守義編 明治二〇 洋・中	一	木 六	一八四三	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
英華和譯字典	二卷・正誤一册 津田仙等譯・中村正直校 明治一二至一四 洋・大	三	木 六	一八〇八	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
訂英華和譯辭典	二卷 津田仙等編・米・イーストレーキ訂正 明治二七 再版 洋・大	二	木 六	二〇三三	英和及び和英辭書の發達	明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
英語正確使用法	高橋五郎編 明治四二 洋・小	一	木 六	一〇三一	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
同		一	木 六	一二一三	英和及び和英辭書の發達	明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
英語發音辭典	市河三喜撰 大正一五 一四版 洋・小	一	木 六	一七九四	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
英語類語辭典	井上義昌編 昭和一四 七版 洋・中	一	木 六	一九五七	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
英和活用大辭典	勝俣銓吉郎編 昭和一四 洋・小	一	木 六	一九五二	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
同		一	木 六	二〇〇〇	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
英和記憶辭典	佐久間信恭編 大正八 再版 洋・小	一	木 六	二〇一〇	同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
					英語辭書研究	須貝清一撰 昭和一六 洋・中 (英米文學語學講座)
					同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
					同	英和及び和英辭書の發達 明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)
					英和及び和英辭書の發達	明治二一年迄 豐田實撰 洋・中 (日本英學史の研究)

附音插圖	英和字彙	柴田昌吉・子安峻編・日就社刊 (明治六) 洋・大	一	木 六	一九七三	
增補訂正	英和字彙	柴田昌吉・子安峻編 明治一五 再版 洋・大	一	木 六	二〇三〇	
新譯	英和辭典	神田乃武等編 明治四二 二四版 洋・小	一	木 六	二〇三一	
新譯雙	英和辭書	棚橋一郎編 明治二三 洋・小	一	木 六	二〇二四	
研究社	英和商工辭典	藤田仁太郎編 昭和一六 洋・小	一	木 六	二〇〇三	
コンパニオン	英和新辭典	研究社辭書部編 昭和一四 洋・小	一	木 六	一九五八	
同			一	木 六	一九八三	
英和雙解字典		棚橋一郎編 明治一九 再版 洋・小	一	木 六	二〇一七	
井上十吉編	英和大辭典	大正五 二四版 洋・小	一	木 六	二〇三五	
井上十吉編	英和大辭典	大正一三 復興初版 洋・小	一	木 六	二〇三四	
雙解	英和大辭典	島田豐編 明治三二 九版 洋・大	一	木 六	二〇二八	
雙解	英和大辭典	島田豐編 明治四〇 增訂二五版 洋・小	一	木 六	二〇二七	
英和對譯袖珍辭書		「開成所辭書」 文久二 洋・小 堀達之助等編・洋書調所刊	一	木 六	*一九五五	
改正增補	英和對譯袖珍辭書	「開成所辭書」 堀越龜之助訂 堀達之助等編 慶應三 再版 和・中	一	木 六	一二一八	
改正增補	英和對譯袖珍辭書	「開成所辭書」 堀越龜之助訂 堀達之助等編・和・中	一	木 六	一三一〇	
熟語本位	英和中辭典	齋藤秀三郎編・日英社刊 大正七 改訂版 洋・小	一	木 六	二〇二三	
熟語本位	英和中辭典	齋藤秀三郎編・日英社刊 大正八 再訂版 洋・小	一	木 六	二〇一二	
熟語本位	英和中辭典	齋藤秀三郎編・日英社刊 昭和七 再訂一九〇版 洋・小	一	木 六	一八七五	
熟語本位	英和中辭典	齋藤秀三郎編・岩波書店刊 昭和八 洋・小	一	木 六	一八八〇	

熟語本位英和中辭典	齋藤秀三郎編・豊田實補・岩波書店刊 昭和一一 増補新版 洋・小	一冊	木 六	一九三三	裝
簡約英和辭典	岩崎民平編 昭和一六 洋・小	一	木 六	一九九五	
同		一	木 六	一九九六	
研究社時事英語辭典	英語研究編輯部編 昭和一二 洋・小	一	木 六	一九三一	
研究社時事英語辭典	英語研究編輯部編 昭和一五 一三版 洋・小	一	木 六	一九八二	
和英語林集成	米・ヘボン編 明治一九 洋・中	一	木 六	一九六一	
三省堂英和大辭典	三省堂編輯所編 昭和三 洋・小	一	木 六	一八一九	
三省堂英和大辭典	三省堂編輯所編 昭和五 一八版 洋・小	一	木 六	一八四八	
英和熟語慣用句辭典	米・イーストレーキ編 明治四一 再版 洋・小	一	木 六	二〇一八	
英和雙解熟語大字彙	英學新誌社編 明治三二 洋・中	一	木 六	二〇一九	
英和雙解熟語大字彙	英學新誌社編 明治三六 四版 洋・中	一	木 六	二〇二〇	
英和雙解熟語大辭典	神田乃武・南日恒太郎編 明治四二 洋・小	一	木 六	二〇一三	
英和雙解熟語大辭典	神田乃武・南日恒太郎編 大正三 二五版 洋・小	一	木 六	二〇一一	
新英和大辭典	岡倉由三郎編 昭和二 洋・小	一	木 六	一八一九	
新英和大辭典	岡倉由三郎編 昭和二 二五版 洋・小	一	木 六	一八一〇	
新英和大辭典	岡倉由三郎編 昭和八 増訂一〇一版 洋・小	一	木 六	一八〇五	
新英和大辭典	岡倉由三郎編 昭和八 増訂一〇三版 洋・小	一	木 六	一九〇〇	
新英和大辭典	岡倉由三郎編 昭和九 増訂一二五版 洋・小	一	木 六	一九〇一	
新英和大辭典	岡倉由三郎編 昭和一一 新版 洋・小	一	木 六	一九一五	
新英和大辭典	岡倉由三郎編 昭和一二 新版一〇版 洋・小	一	木 六	二〇〇九	
同		一	木 六	一九二三	裝
新英和大辭典	岡倉由三郎編輯 昭和一四 新版四五版 洋・小	一	木 六	一九五六	
模範新英和大辭典	神田乃武等編 大正八 一三版 洋・小	一	木 六	二〇一六	
模範新英和大辭典	神田乃武等編 大正九 一七版 洋・小	一	木 六	二〇三六	
新コンサイス英和辭典	三省堂編輯所編 昭和七 五〇版 洋・小	一	木 六	一八八二	
大英和辭典	市河三喜等編 昭和六 洋・大	一	木 六	一八一九	
同		一	木 六	一八五八	
大英和辭典	二巻 藤岡勝二編 昭和七 初・訂正再版 洋・小	二	木 六	一八七七	
同		二	木 六	一九〇五	
大英和辭典	第一卷（A—L） 大正一一 九版 洋・小 藤岡勝二編	一	木 六	二〇二一	
中學標準英單語	菅沼太一郎撰 昭和一〇 六版 洋・小	一	木 六	一九三〇	
英和法政經濟商業辭典	附錄株式取引所標語表他七表 南信好編 昭和四 三版 洋・小	一	木 六	二〇一三	
英和例解要語大辭典	A—L 勝俣銓吉郎編 明治四四 洋・中	一	木 六	一九五九	
再訂増補和譯英字彙	島田豐編 明治二九 一三版 洋・小	一	木 六	二〇一五	
増補改正和譯英辭書	「薩摩辭書」 前田正穀・高橋良昭編 明治二一 洋・大	一	木 六	一二一九	
大正和譯英辭林	「薩摩辭書」（明治四四） 前田正穀・高橋良昭編 洋・中	一	木 六	一九六〇	
増補和譯英辭林	「薩摩辭書」 前田正穀・高橋良昭編・弘卷七十郎刊 明治二〇 洋・中	一	木 六	二〇三二	
明治新撰和譯英辭林	傍木哲二郎編・小栗栖香次校 明治一八 洋・中	一	木 六	二〇一四	

和英大辭典	齋藤秀三郎編 昭和五 縮刷版 洋・大	一	木 六	一八二五	
同		一	木 六	一九六二	
和英大辭典	武信由太郎編 大正一五 訂正五八版 洋・小	一	木 六	一八〇六	
和英大辭典	英・アリンクリー等編 明治二九 洋・中	一	木 六	二〇三二	
和英大辭林	佐久間信恭・廣瀬雄編 明治四二 洋・小	一	木 六	一八三七	
○					
英國單語字類	外川正明譯 明治六 和・小	一	木 六	四六一	
英語箋	二卷 石橋政方撰 萬延二 和・小	二	木 六	一二二四	
英單語篇増譯	卷一 松岡昇（子保）譯 明治四四 和・小	一	木 六	一三〇九	
飛良奈英米通語	元治改板 和・小	一	木 六	一三三三	
增訂華英通語	清・子卿撰・福澤諭吉譯 萬延元 和・中	一	木 六	一三二一	
發音・習字					
發音					
英語アクセント早わかり	長谷川康撰 大正一一 訂正一三版 洋・小	一	木 六	一八一三	
英語音聲學	兼弘正雄撰 洋・中（英語英文學講座）	一	木 六	一九〇四 三	
最新英語音聲學	神保格撰 昭和二 洋・小	一	木 六	一八〇一	
同		一	木 六	一九〇六	
英語音聲學概說	豐田實撰 洋・中（英語教育叢書）	一	木 六	一九一八 二八	
英語階梯	開成所刊 應慶二 和・小	一	木 六	一八三三	
英語の發音	村瀨圭編 明治三七 再版 洋・小	一	木 六	八九四	

和英大辭典	齋藤秀三郎編 昭和三 再版 洋・中	一	木 六	一八二六	

英語發音學 英・マツケロー・片山寛撰 明治三五 洋・中 | 一 | ホ六 | 一七八四
英語發音學大綱 岡倉由三郎撰 明治四〇 再版 洋・小 | 一 | ホ六 | 一八八三
音調と強調 英・コウルマン撰・岩崎民平譯 洋・中（英語學パンフレット） | 一 | ホ六 | 一九八七
實驗英語音聲學 籾弘正雄撰 昭和七 洋・中 | 一 | ホ六 | 一九〇七
日・英兩國語發音差異の實驗的研究 籾弘正雄撰 洋・中（英語教育叢書） | 一 | ホ六 | 一九一八（二三）
複合詞の音聲變化 獨・クライン撰・重見博一譯 洋・中（英語學パンフレット） | 一 | ホ六 | 一八九九（九）
和英發音原理 附英語綴字法 池田伴庚編 明治一九 洋・小 | 一 | ホ六 | 五二

習字

英習字講義 岸本能武太講（第五回早稻田中學講義） 洋・中 | 一 | ホ六 | 一二七二
話方・聽方・書取及び習字 寺西武夫撰 洋・中（英語教育叢書） | 一 | ホ六 | 一九一八（二）

譯解

彼等（アイラ） 英・キップリング撰・平田秀木譯註 原文附 大正一五 四版 洋・小 | 一 | ホ六 | 一八八六
明日への戰 原文附 野口勇譯 昭和一六 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 二〇〇六
明日來りなば 原文附 野口勇譯 昭和一五 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 一九八五
あはゝのアンナ 原文附 英・コンラッド撰・岡倉由三郎譯註 大正一五 三版 洋・小 | 一 | ホ六 | 一八八八
雨ぞ降る 原文附 野口勇譯 昭和一六 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 二〇〇五
アルセスチスの操 英譯文附 金港堂刊 明治三六 洋・小（希臘戲曲物語本） | 一 | ホ六 | 七〇
英文對照イソップ獨習 英語獨習會編 大正九 一二版 洋・小 | 一 | ホ六 | 一六三五
イソップ物語講義 石原益治撰 大正四 三版 洋・小 | 一 | ホ六 | 五四八

ウヰルソン氏第三リードル直譯三卷 栗野忠雄撰 明治一七 洋・小 | 一 | ホ六 | 四八四（號）
英語譯解 增田藤之助講（明治三九年度早稻田中學講義） 洋・中 | 一 | ホ六 | 二〇四
英語譯解 增田藤之助講（明治四一年度早稻田中學講義） 洋・中 | 一 | ホ六 | 一二七七
同 | 一 | ホ六 | 一二七八
英語譯解 增田藤之助講（第五回早稻田中學講義） 洋・中 | 一 | ホ六 | 二二七四
會話作文應用自在英文暗記法 本多孝一撰 明治四二 洋・小 | 一 | ホ六 | 一〇五三
英文解釋研究 解答篇添 山崎貞撰 五版 洋・小 | 二 | ホ六 | 一六一〇
英文組織的解釋法 鬼島熊之助撰 大正一三 洋・小 | 一 | ホ六 | 一七五一
英文註釋 增田藤之助講（東京專門學校講義錄） 洋・中 | 一 | ホ六 | 一三
英文評釋 坪内雄藏講（東京專門學校講義錄） 洋・中 | 一 | ホ六 | 三三
英文評釋 增田藤之助講（東京專門學校講義錄） 洋・中 | 一 | ホ六 | 四七九
英文和譯法 南日恒太郎撰 大正六 洋・小 | 一 | ホ六 | 一六一二
英文和譯法 南日恒太郎撰 大正七 二四版 洋・小 | 一 | ホ六 | 一五二一
英雄崇拜論 原文附 英・カーライル撰・增田藤之助譯註 昭和八 洋・小（英文譯註叢書本） | 一 | ホ六 | 一八九三
邂逅 原文附 野口勇譯 昭和一六 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 二〇〇八
影 原文附 英・ハアデイ撰・平田秀木譯註 昭和三 三版 洋・小 | 一 | ホ六 | 一八八七
消え行く灯 原文附 野口勇譯 昭和一六 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 一九九九
銀行盜賊 原文附 英・ドイル撰・佐川春水譯註 明治四〇 洋・小 | 一 | ホ六 | 一八四
近代英文學鑑賞 澤村寅二郎撰 昭和四 洋・小 | 一 | ホ六 | 一八九一

高等學校專門學校 入學準備英語解釋自在 中村八郎撰 大正一四 洋・小 | 一 | ホ六 | 一七八四
珍談がうな物語 原文附 岡倉由三郎譯註 大正一三 洋・小（洋々塾文庫本） | 一 | ホ六 | 一八八三
心の青春 原文附 野口勇譯 昭和一五 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 一九八七
悟道 原文附 岡倉由三郎・寺西武夫譯註 大正一四 洋・小（洋々塾文庫本） | 一 | ホ六 | 一八八四
最近英文學研究 平田秀木撰 昭和二 六版 洋・小 | 一 | ホ六 | 一八九二
最近英文傑作集 原文附 井上十吉譯註 明治三一 洋・中 | 一 | ホ六 | 三九
三人の仲間 原文附 野口勇譯 昭和一五 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 一九七八
サンダース・ユニオン第四讀本註釋 二卷 關貢米撰 明治三二 洋・小 | 一 | ホ六 | 一八〇
城砦 原文附 野口勇譯 昭和一六 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 二〇〇七
ワシントン・アービングスケッチブック註釋 卷一・二 明治二六・二七 初・再版 洋・小 | 二 | ホ六 | 三五
スコット湖上之佳人詳解 上 岡村柔藏撰 明治三六 洋・小（英文學註釋本） | 一 | ホ六 | 九五
スミス都へ行く 原文附 野口勇譯 昭和一六 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 二〇〇四
正義の鐘 外一〇篇 原文附 横地良吉譯註 明治四二 洋・小（英語世界叢書本） | 一 | ホ六 | 二三五
聖書の英語 マタイ傳の研究外三篇 市河三喜撰 昭和一二 洋・小 | 一 | ホ六 | 一九三三
青年英文學叢書 第一・三至五編 原文附 金澤久等譯註 明治三九・四〇 初・再版 洋・小 | 四 | ホ六 | 一七六
黃金娘（米・ホウソン） | 一 | 三人姫（米・アービング） | 二
ヴエニスの商人（英・ラム） | 三
小九郎次大九郎次（丁・アンデルセン） | 四
着道樂（同上） | 四
英和對照 青年餘暇集 第一卷（英國の譯） 明治三七 洋・小 | 英語青年社編 | 一 | ホ六 | 一〇七

戰爭文學 第一至三集 池田憲之助・喜内又之助編 明治三七・三八 和・小（和文英譯叢書本） | 三 | ホ六 | 二六〇
戰爭文學 第一集 池田憲之助編 明治三七 和・小（和文英譯叢書本） | 一 | ホ六 | 一八七二
太平原 原文附 野口勇譯 昭和一五 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 一九八六
英和對譯タゴールの神祕劇 英語補習社編輯部譯註 大正五 三版 洋・小（英語多讀叢書本） | 一 | ホ六 | 一五九〇
智環啓蒙塾課初步 英漢對譯 慶應三 英華書院譯・柳川春三訓點 和・小 | 一 | ホ六 | 一二四
同 | 一 | ホ六 | 一五三三
翼の人々 原文附 野口勇譯 昭和一五 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 一九七九
喜劇「妻は知る」 原文附 英・ベリ撰・澤村寅二郎譯註 大正一五 洋・小 | 一 | ホ六 | 一八八九
英文自在手八丁 岩堂保撰 大正四 四版 洋・小 | 一 | ホ六 | 一九一七
傳記叢談講義 山崎貞撰 大正四 洋・小 | 一 | ホ六 | 一九〇八
正則獨修英語讀本 卷二・三 石川辰之助撰 明治三九 洋・小 | 二 | ホ六 | 六〇二
ナショナル第三讀本講義 下卷 長谷川康撰 大正三 訂正四版 洋・小 | 一 | ホ六 | 一九〇四
ナショナル第四讀本研究 上卷 熊本謙二郎・喜安璣太郎編 大正元 洋・小 | 一 | ホ六 | 一九〇五
英日本文學名著選 日本書紀外二四種 渡邊藤吉撰 昭和八 洋・小 | 一 | ホ六 | 一九一〇
如意の郷 外二篇 原文附 岡倉由三郎・武井亮吉譯註 大正一四 洋・小（洋々塾文庫本） | 一 | ホ六 | 一八八五
ノートルダムの傴僂男 原文附 野口勇譯 昭和一五 洋・小（トーキー英語研究叢書本） | 一 | ホ六 | 一九九一
ハーキューリースの最後 英譯文附 金港堂刊 明治三六 洋・小（希臘戲曲物語本） | 一 | ホ六 | 七一
評釋ハアデイ小曲集 原文附 平田秀木撰 昭和五 洋・小 | 一 | ホ六 | 一八九四
原文對照ヴィガー物語 英・ゴールドスミス撰・若月保治譯註 大正一〇 洋・小 | 一 | ホ六 | 五六二

新語學獨案内　明治四二　三卷　三冊　ソーン　洋・中・クリ　撰
英語正確使用法　明治四五　高橋二郎撰　洋・小
英語熟語考　森村豐撰　洋・中・山岡梅士　二冊　（記念論文集）
英語構文の研究　洋・南・中・石福二郎　英郎撰　英文學講座
英語構造論　洋・獨・中・ウュー　（英語學フレット）　ベル　市河三喜譯
英語句讀法　明治四二　洋・高橋五郎譯
英語構造論　洋・獨・中・ウュー　（英語學フレット）　ベル　市河三喜譯
英語句讀法　明治四二　洋・高橋五郎譯
英語構文の研究　洋・南・中・石福二郎　英郎撰　英文學講座
英語熟語考　森村豐撰　洋・中・山岡梅士　二冊　（記念論文集）
英語正確使用法　明治四五　高橋二郎撰　洋・小
Shall, Will の研究　洋・丁・中・ダール　（英語學フレット）　ベル　内田正利譯
自修英文典　大山正崎貞撰　三冊　再版　洋・小
自修英文典　大山正崎貞撰　五冊　八版　洋・小
克扇文典直譯　上　洋・小撰　男英一ユック　都筑直吉譯
古代英語文法　昭和脇一順　一〇三郎　洋・商・中川文夫撰
高等英文法　大宮正非　安吾撰　洋・小
英文典　ラーム氏沙翁文粹註解　明岡治村　明岡二愛・ケル　洋・ナー　撰
ユニオン第四讀本抜抄細註　明治三純　五夫撰　洋・小
ゆにをん第四讀本直譯譯義　明治三六　四冊　千代田　増訂　洋・小
ユニオン第四讀本講義　二卷　大正五　山田巖　初撰　六版　洋・小
ユース・オブ・ライフ講義　大正四　一讀　三版　洋・小　（北星堂講義叢書本）
修自リーダー研究　四卷　正則　再英語　研　洋客　編
リーダー直譯　明三・四　一齋藤　洋・小　八郎　撰
マロンヂリーダー直譯　明治三・四　一齋藤　洋・小　八郎　撰
和震感的研英文　マーデンのハッピー・ゲットの註解　高橋良一　大正四　三版　洋・小
レコード氏へスチングス傳註釋　佐藤三龜太郎　洋・小

文典

ニューマン直譯　明三・四　一齋藤　洋・小　八郎　撰
リーダー研究　四卷　正則　再英語　研　洋客　編
ラーム氏沙翁文粹註解　明岡治村　明岡二愛・ケル　洋・ナー　撰
ユニオン第四讀本抜抄細註　明治三純　五夫撰　洋・小
ゆにをん第四讀本直譯譯義　明治三六　四冊　千代田　増訂　洋・小
ユニオン第四讀本講義　二卷　大正五　山田巖　初撰　六版　洋・小
ユース・オブ・ライフ講義　大正四　一讀　三版　洋・小　（北星堂講義叢書本）
和震感的研英文　マーデンのハッピー・ゲットの註解　高橋良一　大正四　三版　洋・小
レコード氏へスチングス傳註釋　佐藤三龜太郎　洋・小

運動の動詞とその意義的分岐　洋・獨・中・コリッツ　（英語學叢バンフレーツト）　ベル　市河三喜譯　一冊　六版　一九先　二三四
イディオムの研究　昭和寺田　一政　小撰　洋・中　慶應三阿部次郎　小道編　一冊　六版　一九三　二八三
英吉利文典　三集
英語の研究　洋・長澤・中・愛一　（英語學叢）　單語の研究　一冊　六版　一九四　二六
自修英文典　大山正崎貞撰　再版　洋・小　一冊　六版　一九四　二六
自修英文典　大山正崎貞撰　五冊　八版　洋・小　一冊　六版　一九三　二六
克扇文典直譯　上　洋・小撰　男英一ユック　都筑直吉譯　*一冊　六版　一九三　二六
古代英語文法　昭和脇一順　一〇三郎　洋・商・中川文夫撰　一冊　六版　一九六　二六
高等英文法　大宮正非　安吾撰　洋・小　一冊　六版　一九二　二六
現代英語の文法的變化　洋・獨・中・ヤクリッツ　（英語學叢バンフレーツト）　ベル　久野甚郎譯　一冊　六版　一九先-二　二六
現代英語のシンタックス　洋・山本忠雄撰　（英語英文學講座）　一冊　六版　一九〇-四　二六
形容詞・冠詞の研究　洋・鈴木重威撰　（英語英文學講座）　一冊　六版　一九〇-四　二六
ユニオン第四讀本講義　二卷　大正五　山田巖　初撰　六版　洋・小　一冊　六版　一九三　二六
ユース・オブ・ライフ講義　大正四　一讀　三版　洋・小　（北星堂講義叢書本）　一冊　六版　一九三　二六

Kuni o Horobosu Kyôiku 1　大向正軍　一治　五撰　洋・小　一冊　六版　一九三　二六

的組織基本動詞大典　昭和齋藤八秀三　洋郎・小撰　一冊　六版　一九四　二六
轉英作文應用英文法　大立川八長谷　洋撰　小　一冊　六版　一九〇　二六
例英解和要語大辭典　A L　明治四　勝俣銓吉郎　中　編　一冊　六版　一九三　二六
英文法論考批判と實驗　昭和二三　三版　洋・小撰　一冊　六版　一九二　二六
英文法論考批判と實驗　昭和二三　三版　洋・小撰　一冊　六版　一九二　二六
英文法用語の解說　洋・神保格　中　撰　（英語英文學講座）　一冊　六版　一九四　二六
英文法汎論　大淵正江　六逸　記　洋・小撰　一冊　六版　一九先　二六
新選英文法汎論　大淵正江　六逸　記　洋・小撰　一冊　六版　一九先　二六

新編會話文法　明治酒井　治雲　一郎　撰　洋・小　一冊　六版　一九三　二六
トスウキンス氏英文典直譯　明治齋藤八　一郎　譯　洋・小　一冊　六版　一九〇　二六
前置詞及び動詞の講義　昭和齋藤五秀三　四郎商・鯨岡中岐治　編　一冊　六版　一九二　二六
前置詞の意義と用法　大高正末　三向介　撰　洋・小　一冊　六版　一九二　二六
前置詞の研究　洋・小・林・光撰　（英語英文學講座）　一冊　六版　一九〇-四　二六
前置詞活用法　明治高野　三禮　五太郎　撰　版　一冊　六版　一九〇-四　二六
前置詞　同
大英文典　前置詞　明治三　八平・井金三・中・平井廣五郎　編　洋・小　一冊　六版　一九二　二六
他動性表現の種々相　洋・端・中・典・ロ　（英語學叢バンフレーツト）　デ　雲北昌夫譯　一冊　六版　一九二　二六
單語の研究　洋・長澤・中・愛一　（英語學叢）　一冊　六版　一九二　二六
中等英文法教本　大四正五　四年　數　（英語學叢）　本　夢　撰　一冊　六版　一九二　二六
英文法講義　（參二・五）　大正末千年　同　早稻田中學講義　洋・中　一冊　六版　一九二　二六
英文法講義　（勇二・五）　大正末千年　同　早稻田中學講義　洋・中　一冊　六版　一九二　二六
英文法講義　大山正崎三巖　撰　四版　洋・小　一冊　六版　一九〇　二六
英文法作文　大宮正非　安吾　講　早稻田中學講義　洋・小　一冊　六版　一九四　二六
英文法詳解　續　明治二・五　酒井安吉　撰　洋・小　一冊　六版　一九四　二六
英文法總覽　昭和齋藤一米　四造　撰　洋・小　一冊　六版　一九七　二六
英文法通論　昭和伊藤ケ八　ア　洋・小　撰　一冊　六版　一九七　二六

同

英語文章法　洋・山本忠雄　中　撰　（英語英文學講座）　一冊　六版　一九四　二六
分解式英文解剖法　昭和吉田　一周　四平　撰　洋・小　一冊　六版　一九四五　二六
英文漢訳　大正繩原　三復　三撰　洋・小　一冊　六版　一九六　二六
英文指針　明治原　一衆　七撰　洋・小　一冊　六版　一九六　二六
補修英文指針　明治原　三衆　三撰　洋・小　一冊　六版　一九二　二六
新式英文典教科書　明治齋藤　治雲　三郎　編　洋・小　一冊　六版　一九二　二六
詳説例解英文典新釋　大正末　四起　訂撰　洋・小　一冊　六版　一九二　二六
英文法概論　昭和河　一衆　四撰　洋・中　一冊　六版　一九七-一　二六
英文法概論　洋・市・中三喜　（英語英文學講座）　一冊　六版　一九〇-四　二六
英文法研究　大正河　三喜　撰　前　六版　洋・小　一冊　六版　一九七　二六
英文法講義　（二・末千年講）　明治四一年　度早稻田中學講義　洋・中　一冊　六版　一九〇七　二六
英文法講義　（參二・五）　大正末千年　同　早稻田中學講義　洋・中　一冊　六版　一九〇七　二六
英文法講義　大山正崎三巖　撰　四版　洋・小　一冊　六版　一九〇　二六
英文法作文　（明）宮井安吉　講　早稻田中學講義　洋・小　一冊　六版　一九四　二六
英文法詳解　續　明治二・酒井安吉　撰　洋・小　一冊　六版　一九四　二六
英文法總覽　大米・正元　一造　四撰　洋・小　一冊　六版　一九七　二六
英文法十講　比較和英　（明治五年）　度早稻田中學講義　洋・小　一冊　六版　一九四　二六
英文法論　大中正村　三郎　二撰　洋・小　一冊　六版　一九〇　二六
英文法論考批判と實驗　昭和二三　三版　洋・小撰　一冊　六版　一九二　二六
英文法論考批判と實驗　昭和二三　三版　洋・小撰　一冊　六版　一九二　二六
英文法用語の解說　洋・神保格　中　撰　（英語英文學講座）　一冊　六版　一九四　二六
英文法汎論　大淵正江　六逸　記　洋・小撰　一冊　六版　一九先　二六
新選英文法汎論　大淵正江　六逸　記　洋・小撰　一冊　六版　一九先　二六

動詞狀名詞の發達 米・カーム撰・小林淳男譯 洋・中（英語學パンフレット） 一冊 ホ 六 一八九一六
動詞・助動詞の研究 大塚高信撰 洋・中（英語英文學講座） 一 ホ 六 一九〇四一
動詞叙法の研究 細江逸記撰 昭和八 洋・中 一 ホ 六 一九〇三
品詞及語形論一（名詞・代名詞・形容詞・冠詞） 昭和一六 洋・中（英米文學語學講座） 鈴木重威撰 一 ヘ 二三 五三六九四七
品詞及語形論二（動詞） 昭和一五 洋・中（英米文學語學講座） 須貝清一撰 一 ヘ 二三 五三六九四八
品詞及語形論三（副詞・接續詞・感嘆詞） 昭和一五 洋・中（英米文學語學講座） 南石福二郎撰 一 ヘ 二三 五三六九四九
品詞の機能 獨・フンケ撰・中島文雄譯 洋・中（英語學パンフレット） 一 ホ 六 一八九一五
副詞・接續詞の研究 岩崎民平撰 洋・中（英語英文學講座） 一 ホ 六 一九〇四一
文のリズムと語の配置 諾・ウェステルン撰・大塚高信譯 洋・中（英語學パンフレット） 一 ホ 六 一八九九五
文法論 大塚高信撰 昭和一五 洋・中（英米文學語學講座） 一 ヘ 二三 五三六九四八
邦語英文典 畔柳都太郎編 明治三一（帝國百科全書） 一 イ 四 一五一一五
邦語英文典 畔柳都太郎編 明治三三 洋・中（帝國百科全書本） 一 ホ 六 四四八
邦語英文典 畔柳都太郎編 明治三六 七版 洋・中（帝國百科全書本） 一 ホ 六 四四八
邦語英文典 畔柳都太郎編 明治三六 八版 洋・中（帝國百科全書本） 一 ホ 六 三四四
名詞構文と英語 獨・ドイチベイン撰・東田千秋譯 洋・中（英語學パンフレット） 一 ホ 六 一八九九二〇
名詞・代名詞の研究 法邑清三撰 洋・中（英語英文學講座） 一 ホ 六 一九〇四一
英語研究譯解の原理 松浦政泰撰 明治四三 洋・小 一 ホ 六 一〇六五
解り易き英文法 前田定之介撰 大正一一 洋・小 一 ホ 六 一六六五

作文〔商業英語ハ商業總記ノ商業文參照〕

自問自答自修英作文通解 正則英語研究會編 大正四 洋・小 一 ホ 六 一六一九
實用英作文教本 藤井新一撰 大正一三 洋・小 一 ホ 六 一七五八
實用英作文教本 藤井新一撰 大正一四 三版 洋・小 一 ホ 六 一七八二
普通英語作文 品川卯一講（明治四二年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ホ 六 一二八〇
和英慣用法比較 宇高兵作撰 大正二 洋・小 一 ホ 六 一二六三
和文英譯壹千題 宮井安吉撰 大正八 洋・小 一 ホ 六 一五七〇
同
和文英譯教材 勝俣銓吉郎編 大正五 三版 洋・小 一 ホ 六 一六六一
和文英譯自修書 勝俣銓吉郎撰 大正四 四版 洋・小 一 ホ 六 一五九三
和文英譯熟達ノート 實業之日本社刊 大正三 洋・小 二 ホ 六 一四〇七
和文英譯新研究 山崎貞撰 大正一三 六〇版 洋・小 一 ホ 六 一三一九
和文英譯の研究 增田綱撰 洋・中（英語英文學講座） 一 ホ 六 一九二一
和文英譯法 南日恒太郎撰 明治三七 五版 洋・小 一 ホ 六 一九〇四二
和文英譯法 南日恒太郎撰 明治三八 訂正六版 洋・小 一 ホ 六 四四七
和文英譯法 南日恒太郎撰 大正五 一四版 洋・小 二 ホ 六 四四七
改訂和文英譯法 南日恒太郎撰 大正五 一四版 洋・小 二 ホ 六 一三一八
笑ひながら覺えられる中等英文和譯第一至五卷 中村八郎撰 大正一三・一四 洋・小 五 ホ 六 一六一一
英語會話 米・イーストレーキ講（講義錄） 洋・中 一 ホ 六 一二一五

ホ 語學 六 英語 會話 雜書

會話

英吉利會話篇 アンデルピル撰 明治四三版 和・小 一 ホ 六 一二一
英語會話 米・イーストレーキ講（講義錄） 洋・中 一 ホ 六 三
英語會話 岸本能武太講（明治三九年度早稻田中學講義） 洋・中 一 ホ 六 九四一
英語會話 岸本能武太講（明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ホ 六 一〇六七
英語會話 岸本能武太講（明治四一年度早稻田中學講義） 洋・中 一 ホ 六 一一〇九
社交必携英語會話術 芝染太郎撰 大正一一 洋・小 一 ホ 六 一六七七
正しく覺えられる英語會話入門 千葉英雄撰 昭和五 洋・小 一 ホ 六 一九二六
英語時事會話 三卷 頭本元貞撰 明治四四 洋・小 三 ホ 六 一三〇六
實用英語對話 斯波貞吉編 明治三八 洋・小 一 ホ 六 三六一
英和社交用會話 二篇 富田源太郎撰 大正二・一三 初・再版 洋・小 二 ホ 六 一七〇一
英和通信 初篇 生産會社刊 明治五 和・小 一 ホ 六 一二一六
英和日用會話 渡邊修二郎撰 明治三八 洋・小 一 ホ 六 八三〇
華英學生會話 上海廣智書局編 光緒三〇 洋・小 一 ホ 六 三二四
英語會話口八丁 岩堂保撰 大正四 一四版 洋・小 一 ホ 六 一九一六
公用會話 岩野泡鳴（美衞）編 明治三五 洋・小 一 ホ 六 二三六
同
コロキュアル・ジャパニーズ (Colloquial Japanese) ブラウン編 註解對照最新英語會話作文（望洋書屋版後編） 洋・小 二 ホ 六 八〇〇
鈴木功撰 大正六 洋・小 一 ホ 六 一五〇〇
日米俗語會話篇 米・ノルトン・中島直吉撰 明治四〇 洋・小 一 ホ 六 七六四
普通英語會話 今井友次郎講（明治四二年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ホ 六 一二六九

井上英文手紙の書き方 井上嘗藏撰 昭和九 洋・小 一 ホ 六 一九一四
英語作文教本 二卷 佐々木文美撰 明治三九 三版 洋・小 二 ホ 六 七三一
同
英語作文講義 宮井安吉講（明治四一年度早稻田中學講義） 洋・中 一 ホ 六 二一〇八
英語手紙の書き方 岡田六男撰 洋・中（英語英文學講座） 一 ホ 六 一九〇四三
英作文講義 一木千年講（第五回早稻田中學講義） 洋・中 一 ホ 六 二七八
英作文の教授 青木常雄撰 洋・中（英語教育叢書） 一 ホ 六 一九一八一一
英文軌範解說 武信由太郎講（第五回早稻田中學講義） 洋・中 一 ホ 六 二七三
英和比較英語修辭學講義 附スペンサー氏文章哲學 大正三 洋・小 增田藤之助撰 一 ホ 六 一三五〇
商業公用社交短信英文書翰の要訣 英和對譯 昭和一三 林慧撰 洋・中 一 ホ 六 一九四〇
英文尺牘活法 檜林建三郎撰 明治三四 五版 洋・小 一 ホ 六 一七〇九
英文手紙の書き方 前田定之介撰 大正一三 洋・小 一 ホ 六 一七五五
同
英文の構成と解剖 吉田周平撰 明治一四 洋・小 一 ホ 六 一七五六
英文配語法 一名作文要義 村井知至・岡田市治撰 明治四〇 洋・小 一 ホ 六 一九四六
初學英和尺牘必携 遠藤愛藏撰 明治一九 和・中 一 ホ 六 七六一
面白き英語の手紙 附西洋郵便切手の話 大正五 再版 洋・小 桑田春風撰 一 ホ 六 一九六
自修英作文 石原益撰 大正五 洋・小 一 ホ 六 一四四七
自問自答自修英作文通解 正則英語研究會編 大正四 洋・小 一 ホ 六 一六八八

英語と英國氣質の研究 日英兩文 ロバートソン・スコット編 大正六 洋・大 | 一冊 | 一 | リ | 類九 | 四二七二 | 號
英民族の言語的貪食性と消化力 石崎政治郎譯 (臺北高商創立廿周年記念論文集) 洋・中 | 一 | イ | 四 | 一四三七
英和俗語活法 荒木和一撰 明治二九 洋・小 | 一 | ネ | 一 | 一七九三
受驗基礎單語集 長沼直兄編 大正一四 四版 洋・小 | 一 | ホ | 六 | 一七八五
校正再刻 世界商賣往來 繪入 橋爪貫一撰・加藤雷洲圖 明治六 和・小 | 一 | ホ | 六 | 一八三四
童解英語圖會 初帙 弄月亭陳人抄・蕙齋閑人圖 (明治三) 和・小 | 一 | ホ | 六 | 一八三五
ニユー・センチユリー・チヨイス讀本字引 五卷 明治四〇 洋・小 | 一 | ホ | 六 | 九六一

雜誌

英學新報 卷一號一至卷二號一 英學新報社刊 明治三四年一一月至三五年一一月 洋・大 | 一 | サ | ホ | 七
英語學研究 輯二至二八 富山房刊 昭和八年一月至一四年九月 洋・中 | 七 | サ | ホ | 四五
英語青年 卷一二號一(明治三七年九月)ヨリ 英語青年社刊 洋・大 | 一二 | サ | ホ | 二三
英語青年 卷二二號一至卷七二號四(有缺) 英語青年社刊 明治四二年一〇月至昭和九年一一月 洋・大 | 二二 | サ | ホ | 四八
英語世界 卷一〇號一〇至卷一四號一一(有缺) 英語世界社刊 明治三六年四月至三八年四月 洋・大 | 五 | サ | ホ | 一〇
英語世界 卷一號一至卷一二號一四(有缺) 博文館刊 明治四〇年四月至大正七年一二月 洋・中 | 二二 | サ | ホ | 一五
英語中學 卷二號一至九 ヘラルド社刊 大正一三年三至一二月 洋・中 | 一 | サ | ホ | 三一
英語と英文學 卷二號二至卷五號二 英文學社刊 昭和三年八月至五年二月 洋・中 | 四 | サ | ホ | 五
英語之友 卷一號一至卷七號一二(有缺) 博文館刊 明治四二年一二月至大正四年一二月 洋・中 | 五 | サ | ホ | 一七
英語之日本 卷一號一三至卷一一號八(有缺) 建文館刊 明治四一年一二月大正六年一〇月 洋・中 | 六 | サ | ホ | 一八
英語文學 卷一號一至卷五號一 英文學社刊 大正七年一月至一〇年一二月 洋・小 | 六 | サ | ホ | 二七

七 佛語

E Mnet の脫落 新里榮造撰 洋・中 (臺北高商創立廿周年記念論文集) | 一 | イ | 四 | 一四三七
基礎フランス語 鷲尾猛撰 昭和一五 洋・小 (紙上ラヂオ講座本) | 一 | ホ | 七 | 一六七三
基礎フランス語 鷲尾猛撰 昭和一五 再版 洋・小 (紙上ラヂオ講座本) | 一 | ホ | 七 | 一六七〇
佛文和譯・和文佛譯・佛文法基礎佛蘭西語の研究 桃井鶴夫撰 昭和一二 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六六七
國語と文學 (佛) 洋・中 河合太郎撰 (臺北高商創立廿周年記念論文集) | 一 | ヘ | 一 | 四三八四
上級佛語學 舊稱中級佛語 明治三五 曉星中學校刊 | 一 | ホ | 七 | 一六五九
新式佛語提要 瀧村立太郎撰 大正一四 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六三二
政治經濟佛蘭西讀書文法 木下半治撰 昭和九 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六五一
獨習佛蘭西語 和英對照 由本直文撰 昭和八 洋・中 | 一 | ホ | 七 | 一六五〇
獨習フランス語捷徑 丸山順太郎撰 昭和一二 三版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六六六
入門佛蘭西語 由本直文撰 昭和一六 洋・小 (現代學藝全書本) | 一 | ホ | 七 | 一六八〇
佛語學研究 佛・Leemroy 撰・井上源次郎譯 洋・中 (佛蘭西科學) | 一 | イ | 四 | 一二八八
佛語初步 曉星中學校刊 明治三四 增訂四版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六五七
佛語初步 曉星中學校刊 大正一二 改訂一二版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六五八
佛語動詞時法考 關根秀雄撰 昭和八 洋・中 | 一 | ホ | 七 | 一六七七
新式佛語文法 安藤忠義撰 大正八 洋・中 | 一 | ホ | 七 | 一七五七
同 | 一 | ホ | 七 | 一五二八
增訂 佛蘭西廣文典 目黑三郎・德尾俊彥撰 昭和一四 八版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六七八
フランス語學新考 中平解撰 昭和一〇 洋・中 | 一 | ホ | 七 | 一六五六
最新式實際的 佛蘭西語獨修 賀川哲夫撰 大正七 訂正三版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一五五二
同 | 一 | ホ | 七 | 一六三六
佛文和譯・和文佛譯・佛文法基礎佛蘭西語の研究 佛・ジュ・ブスケ撰 大正七 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一五一四
佛蘭西語發音講話 鷲尾猛撰 昭和一〇 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六五五
組織的 佛蘭西語發音法 井上源次郎撰 大正一四 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六三一
佛蘭西語不規則動詞逆引辭典 野口洪基編 昭和二 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六三五
フランス語要理 落合太郎撰 昭和四 洋・中 | 一 | ホ | 七 | 一六三八
實用 初學 佛蘭西文典 福田富治撰 明治三一 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六四〇
邦語 佛蘭西文典二卷 (明治三五) 松井知時編 洋・中 (帝國百科全書) | 二 | イ | 四 | 一五一 (一八一二)
和文佛譯の研究 田島清撰 昭和一四 四版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六七二
改訂 和文佛譯の根柢より 德尾俊彥撰 昭和一三 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六七四

○

新佛和辭典 野村泰亨編 大正二 六版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六九六
增訂 新佛和辭典 野村泰亨編 大正五 三版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六九七
增訂 新佛和辭典 野村泰亨編 大正九 一二版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六八三
增訂 新佛和辭典 野村泰亨編 大正一〇 一三版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六八二
新佛和中辭典 井上源次郎・田島清編 昭和一三 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六七五
新和佛辭典 松井知時・上田駿一郎編 明治四〇 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六四五
同 | 一 | ホ | 七 | 一六四四
Dictionnaire francais japonais 佛・アリヴエー編 明治二七 再版 洋・小 | 一 | ホ | 七 | 一六三七
標音佛和辭典 山本直文編 昭和六 洋・中 | 一 | ホ | 七 | 一六八五
同 | 一 | ホ | 七 | 一六四四

標音佛和辭典 山本直文編 昭和七 一六版 洋・小 木 七 一六四七 一
佛語明要 村上英俊編 元治元 和・大 木 七 二五三 四
同 木 七 一二二 四
佛和會話大辭典 白・ラゲ・小野藤太編 明治三八 洋・大 木 七 一六八八 一
和佛大辭典 中江篤介・野村泰亨編 明治二六 洋・小 木 七 一六九一 一
同 木 七 一六七一 一
和佛字彙 好樹堂編 明治四 洋・大 木 七 一六九三 一
同 木 七 一六九四 一
佛和小辭典 白・ラゲ編 明治三八 洋・小 木 七 一六八四 一
佛和辭林 野村泰亨等編 明治二〇 洋・大 木 七 一六九〇 一
同 木 七 一六九五 一
佛和新辭典 野村泰亨等編 明治二四 再版 洋・大 木 七 一六八九 一
佛和大辭典 野村泰亨等編 明治三五 再版 洋・小 木 七 一六九二 一
模範佛和大辭典 柳川勝二等編 大正一一 八版 洋・小 木 七 一六九八 一
模範佛和大辭典 柳川勝二等編 昭和四 復興二六版 洋・小 木 七 一六四一 一
模範佛和大辭典 柳川勝二等編 昭和八 改增三一版 洋・小 木 七 一六四八 一
同 木 七 一六九五 一
模範佛和大辭典 柳川勝二等編 昭和九 改增三五版 洋・小 木 七 一六五二 一
模範佛和大辭典 柳川勝二等編 昭和一三 改增四二版 洋・小 木 七 一六六八 一
增訂和佛辭書 織田信義等編・佛・アリヴェー補正 明治三八 洋・小 木 七 一六六〇 一
白水和佛辭典 丸山順太郎編 昭和二 洋・小 木 七 一六三六 一
白水和佛辭典 丸山順太郎編 昭和一二 二七版 洋・小 木 七 一六六五 一
和佛大辭典 佛・セスラン編 昭和一五 洋・大 木 七 一六七九 一
同 木 七 一六八一 一
和佛大辭典 佛・ルマレシャル編 明治三七 洋・大 木 七 一六八六 一
同 木 七 一六八七 一

○

佛語獨習誌 卷一號一至一二 鈴松堂刊 明治三〇年五月至三一年三月 洋・中 サ ホ 八 一
佛蘭西語雜誌 卷一號一至卷三號二(有缺) 東京佛文社刊 大正六年三月至八年二月 洋・大 サ ホ 四九 一

八 獨語

改新獨逸文典 早川文哉編 大正一三 四版 洋・中 木 八 一七三一 一
活用獨逸文法 鼓常良撰 昭和九 再版 洋・小 木 八 一七六三 一
獨文和譯・和文獨譯・獨逸文法基礎獨逸語の研究 桃井鶴夫撰 昭和一二 洋・小 木 八 一八〇二 一
グリムお伽噺講義 上卷 小笠原昌齋撰 大正三 洋・小 木 八 四一四 一
系統的獨逸文典 春樹進撰 昭和二 洋・小 木 八 一七三八 一
高級獨文解釋法 橋本文夫撰 昭和一四 洋・小 木 八 一八一一 一
國語と文學(獨) 奥津彦重撰 岩波世界文學 洋・中 ヘ 一 四三八四 一

獨逸文法詞學詳論 三溝信三編 明治三七 洋・中 木 八 三〇四 一
同 木 八 四三一 一
同 木 八 一四六四 一
實用日獨會話 ハリール撰 大正九 訂正四版 洋・小 木 八 一六八三 一
日本學生用實用獨逸文法書 司馬亨太郎・藤山治一編 明治三七 洋・小 木 八 九六 一
獨逸語研修 上卷 橋本忠夫撰 大正五 洋・中 木 八 一四八三 一
實用獨逸語自修會話 箱谷眞洋撰 大正三 洋・小 木 八 一三四一 一
獨逸語自修自在 箱谷眞洋撰 四版 洋・小 木 八 一五五一 一
獨逸語自修自在 箱谷眞洋撰 大正一〇 六版 洋・小 木 八 一六二九 一
獨逸語自修自在 箱谷眞洋撰 大正一一 九版 洋・小 木 八 一七〇四 一
獨逸語自修自在 箱谷眞洋撰 昭和二 一五版 洋・小 木 八 一七二九 一
獨逸語自修書 二編 水野繁太郎撰 明治四一 初・四版 洋・小 木 八 一七四〇 二
新式獨逸語自修の根柢 藤崎俊茂撰 昭和二 訂正四版 洋・小 木 八 一七二七 一
獨逸語精講 坂本忠恕撰 大正三 洋・小 木 八 一三五九 一
獨逸語接頭語接尾語例解 藤田廣撰 昭和三 洋・小 木 八 一七八三 一
獨逸語手ほどき 附强變化・混合變化動詞表外二表 松岡敏幸撰 昭和九 洋・小 木 八 一七六二 一
正則獨逸語獨修 八木光貫撰 明治四一 洋・小 木 八 八八三 一
獨逸語の語源 附英獨の語源的比較 渡邊格司撰 昭和一〇 洋・小 木 八 二六 一
獨逸語獨案內 渡邊修二郎撰 明治四〇 洋・小 木 八 八三一 一
獨逸語變化全表 小原靜人撰 昭和一〇 洋・小 木 八 一七四 一

木 語學 八 獨語 總記

獨逸作文教科書 三並良・清水藏四郎撰 明治三六 洋・小 冊一 ホ八 一二八
獨逸作文教科書 三並良・清水藏四郎撰 大正二 四版 洋・小 冊一 ホ八 一二八
獨逸新文典 三潴信三・多久安美撰 明治四三 洋・中 冊三 ホ八 一七三四
現代獨逸短篇小說 第一・二輯 大正元・三 柏谷眞洋譯註 洋・中 冊二 ホ八 三一一
獨逸文學叢書 第一至九・一一編 有朋堂刊 明治四二至大正五 初至三版 洋・小 冊一〇 ホ八 五三七
あぎふ王物語（水野繁太郎・奥野七郎譯註） 一
雪姫（水野繁太郎・纐田保之助譯註）一 兄と妹（同上） 二
俸人ペリクレス（同上） 三 天の鍵（同上） 三
一寸法師ムック（一名侏儒物語）（水野繁太郎・山崎愿譯註） 四
ステーエンフオルの窟（水野繁太郎・奥野七郎譯註） 五
大倉造と小倉造（水野繁太郎・小高玄譯註） 六
獨逸新聞の研究（水野繁太郎・昌忠次譯註） 七
食用の寶石（水野繁太郎・外山高一譯註） 八
大法螺男爵冒險奇談（纐田保之助譯註） 九
一口噺百廿題（同上） 一〇
獨逸文學叢書 第一・二・四至七編 有朋堂刊 大正元至四 初至七版 洋・小 六 ホ八 一七四五
ドイツ文章論 歷史的・心理的把握 相良守峯撰 昭和一六 洋・中 一 ホ八 一八三一
詳解獨逸文典 附例外文法 鼓常良撰 大正一〇 洋・中 一 ホ八 一六三三
綜合獨逸文法解說 角英祐撰 昭和一一 洋・小 一 ホ八 一七八七
再訂獨逸文法教科書 前編 大村仁太郎等撰 明治四四 四三版 洋・小 一 ホ八 一三五〇
實用獨逸文法講義 龜井藤太郎撰 明治四一 洋・中 一 ホ八 九七七
標準獨逸文法 附名詞の性に關する知識 關口存男撰 昭和八 洋・中 一 ホ八 一六九〇
邦語獨逸文章論 青木昌吉編 明治三五 洋・中 （帝國百科全書） 一 イ四 一五一 八四
邦語獨逸文典 青木昌吉編 明治三四 洋・中 （帝國百科全書本） 一 ホ八 二一二
邦語獨逸文典 青木昌吉編 明治三五 再版 洋・中 （帝國百科全書） 一 イ四 一五一 八四
日獨譯準 水野繁太郎撰 大正七 洋・小 一 ホ八 一六六二
標準獨逸語第一步 附日用會話外三篇 多田基撰 昭和九 洋・小 一 ホ八 一七六一
標準獨逸語第一步 附日用會話外三篇 多田基撰 昭和一二 洋・小 一 ホ八 一八〇〇
標準獨逸文法 附名詞の性に關する知識 關口存男撰 昭和八 洋・中 一 ホ八 一七六〇
邦語獨逸文章論 青木昌吉編 明治三五 洋・中 （帝國百科全書） 一 イ四 一五一 八〇
邦語獨逸文典 青木昌吉編 明治三四 洋・中 （帝國百科全書本） 一 ホ八 二一二
邦語獨逸文典 青木昌吉編 明治三五 再版 洋・中 （帝國百科全書） 一 イ四 一五一 八四
模範獨逸語講座 谷口秀太郎撰 昭和一六 洋・中 一 ホ八 一八三四
私の獨逸語講座 岡田俊一撰 昭和一一 洋・中 一 ホ八 一七八四

○

獨逸語 他國語 完全熟語集 伴治編 明治二九 洋・中 一 ホ八 一八四八
新撰和獨字彙 平塚定二郎等編 明治二八 洋・小 一 ホ八 一八四四
新撰和獨字彙 平塚定二郎編 明治三一 增訂五版 洋・小 一 ホ八 一八四三
新獨和辭典 井上哲次郎等編 明治三九 二一版 洋・小 一 ホ八 一八三六
新和獨辭典 登張信一郎編 明治三六 九版 洋・小 一 ホ八 一八三八
大獨日辭典 登張信一郎編 昭和八 洋・大 一 ホ八 一七五六
大獨日辭典 登張信一郎編 昭和九 普及版 洋・小 一 ホ八 一七六八
同 一 ホ八 一七九一

新譯註解和獨辭典 小田切良太郎・獨・ウオールフアールト編 大正七 一七版 洋・小 一 ホ八 一八四〇
新譯註解和獨辭典 小田切良太郎・獨・ウオールフアールト編 大正九 一九版 洋・小 一 ホ八 一八三九
獨逸熟語新辭典 登張信一郎・藤井信吉編 明治三八 洋・小 一 ホ八 一八三七
獨逸文法辭典 片山正雄編 大正五 再版 洋・小 一 ホ八 一七四一
改新獨逸文法辭典 片山正雄編 昭和六 洋・小 一 ホ八 一八〇八
新獨和辭典 片山正雄編 昭和一五 洋・小 一 ホ八 一八四四
明解獨和辭典 石原質編 昭和一五 洋・小 一 ホ八 一八四八
袖珍獨和辭典 三浦吉兵衛・權田保之助編 大正一一 二五版 洋・小 一 ホ八 一七四八
獨和字典大全 福見尙賢・小栗栖香平編 明治三四 一一版 洋・中 一 ホ八 一八四六
挿圖獨逸辭典大全 福見尙賢・小栗栖香平編 明治四三 一七版 洋・中 一 ホ八 一八四九
挿圖獨逸辭典大全 福見尙賢・小栗栖香平編 大正三 一九版 洋・中 一 ホ八 一八五〇
雙解獨和小辭典 片山正雄編 昭和八 改訂八版 洋・小 一 ホ八 一七五一
袖珍獨和新辭典 大島宗治編 大正七 再版 洋・小 一 ホ八 一八三五
新獨和大辭典 登張信一郎編 大正四 一三版 洋・小 一 ホ八 一八五二

新式獨和大辭典 登張信一郎編 大正七 二五版 洋・小 | 一冊 | 木 八 | 類 一八四二 | 號
同 | 一 | 木 八 | 一八五一
解雙獨和大辭典 片山正雄編 昭和二 再版 洋・小 | 一 | 木 八 | 一七二六
解雙獨和大辭典 片山正雄編 昭和四 六版 洋・小 | 一 | 木 八 | 一七三九
解雙獨和大辭典 片山正雄編 昭和五 七版 洋・小 | 一 | 木 八 | 一七四七
解雙獨和大辭典 片山正雄編 昭和七 第一次改訂版 洋・小 | 一 | 木 八 | 一七五三
解雙獨和大辭典 片山正雄編 昭和八 第一次改訂二版 洋・小 | 一 | 木 八 | 一七五四
解雙獨和大辭典 片山正雄編 昭和九 改增一三版 洋・小 | 一 | 木 八 | 一七六五
解雙獨和大辭典 片山正雄編 昭和一一 改增一五版 洋・小 | 一 | 木 八 | 一七八九
同 | 一 | 木 八 | 一七九八
獨和他國字書大全 恩田重信編 明治三三 洋・中 | 一 | 木 八 | 一八四七
普語箋 (明治四) 中村雄吉譯 和・小 | 一 | 木 八 | 一〇三二
新撰和獨字彙 平塚定二郎等撰・エーマン補正 明治三一 增訂五版 洋・小 | 一 | 木 八 | 一七三三
和獨大辭典 木村謹治編 昭和一二 一二版 洋・小 | 一 | 木 八 | 一七九九
同 | 一 | 木 八 | 一七九八

○

初等獨逸語研究 年一號一至年五號八 明治四二年一一月至大正三年六月 請華書院刊 洋・中 | 五 | サ ホ | 一六 一一五
獨逸語研究 年五號九至年六號一二 大正三年七月至四年一〇月 請華書院刊 洋・中 (初等獨逸語研究ノ改題) | 二 | サ ホ | 一六 六一七
獨逸語 卷五號三至卷九號九(有缺) 大正七年四月至一一年一〇月 獨逸語發行所刊 洋・大 | 四 | サ ホ | 二六

獨逸語學雜誌 年五號八至年二四號一〇 明治三六年五月至大正一一年一〇月 獨逸語學雜誌社刊 洋・大・中 | 二〇 | サ ホ | 類 二 號

九 露語

俄羅斯學考 清・何秋濤撰 唐・大(朔方備乘) | 一 | ル 五 | 一〇三 六
俄羅斯學考 清・何秋濤撰 唐・小(朔方備乘) | 一 | ル 五 | 八二 三
ヲロシャノ言 小栗重吉板 和・中 | 一 | 木 九 | 五一四
活用露西亞文法 佐藤勇・山本二郎撰 昭和一一 再版 洋・小 | 一 | 木 九 | 一六一四
東察加方言 安藤次郎刊 複製—昭和一三 和・中 | 一 | 木 九 | 一六一九
紙上ラヂオ講座 基礎ロシヤ語 八杉貞利撰 昭和一四 再版 洋・小 | 一 | 木 九 | 一六二〇
希臘語と露西亞語との關係 八杉貞利・井桁貞敏撰 (ギリシヤ・ラテン講座) 洋・中 | 一 | 木 一〇 | 一七五六 二
軍用日露會話 瀨沼格三郎編 明治三八 增補四版 洋・小 | 一 | 木 九 | 三九二
國語と文學 (露) 八杉貞利撰 (岩波講座世界文學) 洋・中 | 一 | ヘ 一 | 四三八四 一
最新露語讀本 文典・露・スミルニツキイ撰・野村二郎譯 昭和一二 洋・小 | 一 | 木 九 | 一六一七
時事露語辭典 昭和一六年版 滿鐵弘報課編刊 昭和一六 洋・小 | 一 | 木 九 | 一六二五
新集初等ロシア語讀本 八杉貞利撰 昭和一一 三版 洋・小 | 一 | 木 九 | 一六三二
トルストイ露語讀本 松本苦味編 大正七 洋・小 | 一 | 木 九 | 一四九九
露語發音解說 露・メドロキチ撰・八杉貞利譯 大正三 洋・小 | 一 | 木 九 | 一五五三
露語文法詳說 井桁貞敏撰 昭和九 洋・小 | 一 | 木 九 | 一六〇七
魯西亞言語 和・小 (蝦夷語彙附錄) | 一 | 木 二 | 七一五

露西亞語學階梯 八杉貞利編 大正五 再版 洋・小 | 一 | 木 九 | 一四四〇
露西亞語學階梯 八杉貞利編 大正七 訂正五版 洋・小 | 一 | 木 九 | 一五〇三
露西亞語學階梯 八杉貞利編 大正九 訂正八版 洋・小 | 一 | 木 九 | 一五五六
露西亞語學捷徑 鈴木於菟平・中小路龜次郎撰 明治三七 洋・小 | 一 | 木 九 | 三二七
改訂增補 露西亞語學捷徑 鈴木於菟平・中小路龜次郎撰 大正元 三版 洋・小 | 一 | 木 九 | 一四一五
獨修 露西亞語研究 清水安次郎撰 大正四 洋・小 (外國語研究叢書本) | 一 | 木 九 | 一四一六
同 | 一 | 木 九 | 一五九四
ロシヤ語講座 一〇號・教科書・習字帖添 昭和三至六 洋・大・中・小 白揚社刊 | 一四 | 木 九 | 一五九七
露西亞語四週間 岡澤秀虎撰 昭和一五 一五版 洋・小 | 一 | 木 九 | 一六二三
ロシア語第一步 除村吉太郎撰 昭和一五 洋・中 (露西亞語入門叢書本) | 一 | 木 九 | 一六三一
ロシヤ語入門 昇曙夢等撰 昭和九 洋・中 | 一 | 木 九 | 一六〇六
ろしやのいろは 露・マホワ撰 萬延版複製—大正一四 和・中 (稀書複製會刊行書本) | 一 | 木 九 | 一六〇九
ろしやのいろは 露・マホワ撰 萬延版複製—大正一四 和・中 (稀書複製會刊行書) | 一 | イ 四 | 一〇九四 一九
增訂改版 露西亞文法 露・グレーボフ編・岩澤丙吉譯 大正九 五版 洋・中 | 一 | 木 九 | 一五五五
グレー露西亞文法 岩澤丙吉譯 昭和七 洋・中 | 一 | 木 九 | 一六〇四
ボフ
露西亞文法教科書 莊司鐘五郎撰 明治二九 洋・大 | 一 | 木 九 | 三七
露西亞文法教科書 柚珍 高須治輔編 明治三七 再版 洋・小 | 一 | 木 九 | 二三四

○

岩波版 大形露和辭典 八杉貞利編 昭和一一 洋・大 | 一 | 木 九 | 一六一五

岩波版 露和辭典 八杉貞利編 昭和一〇 洋・小 | 一 | 木 九 | 一四四〇
同 | 一 | 木 九 | 一六一六
最新露和辭典 附中國及滿洲地人名表外三表 直井武夫編 昭和九 洋・小 淡德三郎・ | 一 | 木 九 | 一六〇八
露西亞語常用單語六千 井上敬一編 昭和一〇 洋・小 | 一 | 木 九 | 一六一〇
露西亞語動詞圖辭典 金田常三郎編譯 昭和八 洋・中 | 一 | 木 九 | 一六〇五
露和辭典 滿鐵東亞經濟調查局編 昭和三 洋・大 | 一 | 木 九 | 一五九九
同 | 一 | 木 九 | 一六〇〇
新譯 露和大辭典 鈴木於菟平譯 大正九 五版 洋・小 | 一 | 木 九 | 一六二四
和露新辭典 松田衛編 大正一四 洋・小 | 一 | 木 九 | 一五九五

一〇 其他諸國語

希臘語初步 水野清太郎撰 昭和九 洋・中 (英語英文學講座) | 一 | 木 六 | 一九〇四 四
ギリシヤに於ける言葉と教育 石山脩平譯 洋・中 (言語文化體系) | 一 | 木 一 | 八七一
ギリシア語文典 田中秀央撰 昭和二 洋・中 | 一 | 木 一〇 | 一七五〇
ギリシア語文法 附名詞の變格表等 鳴瀨恒太郎撰 昭和八 洋・小 | 一 | 木 一〇 | 一七五九
ギリシア引用語辭典 ギリシア・ラテン 田中秀央・落合太郎編 昭和一二 洋・小 | 一 | 木 一〇 | 一七七七
同 | 一 | 木 一〇 | 一七七九
ギリシア・ラテン講座 六卷 プラトン・アリストテレス學會編 昭和六・七 洋・中 | 六 | 木 一〇 | 一七五六

第一部 ギリシヤ

ギリシヤ文法提要（田中美知太郎）　一—三
アリストパネス（關口存男）　一　パウサニアス（木下正路）　一
歷史—ヘロドトス・ツキュヂデス・クセノポン・ポリュビオス（寺澤保之）　一—二
アリストテレス（岩崎勉）　一　ギリシヤ社會思想（松本潤一郎）　一
ヘシオドス（井上增次郎）　二　アイスキゥロス（野上豐一郎）　二
古典文獻學史（菊池憲一郎）　二
希臘語と露西亞語との關係（八杉貞利・井桁貞敏）　二
プロチノス（田隆）　デオゲネス・ラエルチオス（岩崎勉）　三
プルタルコス（山田吉彥）　三
プラトンのイデアの本質（西田幾多郎）　三
英佛獨語とギリシア＝ラテン語（神保格）　三

第二部　ラテン語

ラテン文法概要（臭茂一）　四—六　ウエルギリウス（宇多五郎）　四
ホラチウス（黒田正利）　四　セネカ（關口存男）　四
拉丁語系と日耳曼語系（同上）　四　ダンテと中世文化（中山昌樹）　四
プラウツスとテレンチウス（新關良三）　五
キケロ（黒田正利）　五　ユウェナリス（關口存男）　五
トマス・アクィナス（高桑純夫）　五　ローマ法（原田慶吉）　五
テキストの文法的分析（關口存男）　六
カエサル（鈴木成高）　六　リウィウス（井上智男）　六
ラテン語系（泉井久之助）　六　格言と其の解說（關口存男）　六

ヘレニスト時代のギリシア語　神田盾夫撰（藤岡博士言語學論文集）　洋・中　一　ホ一　一八九四
ラテン語階梯　若目田武次撰　昭和一〇　洋・小　一　ホ一〇　一七六五
羅甸語四週間　附練習問題解答外四篇　村松正俊撰　昭和一一　洋・小　一　ホ一〇　一七七〇
ラテン語初步　關口存男撰　昭和八　洋・中（英語英文學講座）　一　ホ　六　一九〇四四
羅典語の研究　附羅典語變化表　神宮德壽撰　昭和一二　洋・小　二　ホ一〇　一七五一

標準スペイン會話　佐藤久平撰　昭和一三　洋・小　一　ホ一〇　一七八八
伯剌西爾會話編　東洋移民合資會社刊　大正三　洋・小　一　ホ一〇　一四五九
同　一　ホ一〇　一七四八
標準ブラジル語　附動詞變化要覽外一篇　友田金三撰　昭和一二　洋・小　一　ホ一〇　一七三三
ブラジル用語手ほどき　海外興業株式會社編　大正一二　洋・小　一　ホ一〇　一七四七
葡萄牙語四週間　星誠撰　昭和九　再版　洋・小　一　ホ一〇　一七六〇
ラテン語系　泉井久之助撰　洋・中（ギリシヤ・ラテン講座）　一　ホ一〇　一七五六
羅日辭典　羅・フロンドール・根津憲三等編　昭和一五　洋・小　一　ホ一〇　一七九五

○

和蘭語四週間　附强變化及混合變化動詞表　朝倉純孝撰　昭和一一　洋・小　一　ホ一〇　一七六七
和蘭語文典未定稿　日蘭通交調査會編　大正七　洋・小　一　ホ一〇　一五〇四
和蘭辭彙　一名長崎ハンマ寫　坪井肇譯　和・大　八　ホ一〇　＊一七四九
和蘭字彙　蘭・ヅーフ譯・桂川甫周校刻　安政二至五　和・大　五　ホ一〇　三七九
和蘭字彙A至D・U至Z　蘭・ヅーフ譯・桂川甫周校刻　安政二至五　和・大　二　ホ一〇　一三三
和蘭文典字類　前編　飯泉土讓撰　安政三　和・小　一　ホ一〇　一三三五
和蘭文字略考　青木敦書撰（謄寫版）　和・大　（珍書同好會刊行書）　一　イ　四　八六八　四二
和音唐西音發微　附西洋字原考　大槻茂槙撰　文政九　和・大　二　ホ一〇　五一〇
同　一　ホ一〇　一三一七
增補改正譯鍵　五卷　廣田憲寬編校　安政四至元治元　和・大　五　ホ一〇　一七五三

日蘭辭典　蘭・スタット編　昭和九　洋・小　一　ホ一〇　一七六三
ハルマ辭書E之部　高野長英譯　影印　洋・中（高野長英全集）　一　イ　四　一八三　三
繙卷得師章稿　高野長英撰　洋・中（高野長英全集）　一　イ　四　一八三　四
譯和蘭文語　前編二卷・後編三卷　大庭恣譯　（安政二至四）　和・大　五　ホ一〇　七一四
蘭學階梯　二卷　大槻茂質撰　（天明三）　和・中　二　ホ一〇　一七五四
蘭學階梯　二卷　大槻茂質撰　（天明八）　和・中　二　ホ一〇　五一一
蘭學階梯　二卷・大槻茂質撰　洋・中（國書刊行會叢書ノ內文明源流叢書）　一　イ　四　七六五　四七
蘭學階梯　二卷　大槻茂質撰　洋・中（磐水存響）　一　イ　四　八二六　一
蘭學逕　藤林淳道撰　洋・中（國書刊行會叢書ノ內文明源流叢書）　一　イ　四　七六五　四七
蘭學事始　杉田翼撰　洋・中（國書刊行會叢書ノ內文明源流叢書）　一　イ　四　七六五　四七
蘭學佩觿　大槻茂質撰　洋・中（磐水存響）　一　イ　四　八二六　一
蘭文尺牘　西勃兒篤・宇多川榕庵尺牘　枚　六　ホ一〇　＊四八〇
蘭譯梯航　二卷　大槻茂質撰　洋・中（磐水存響）　一　イ　四　八二六　一
實用蘭和辭典　蘭・スタット編　大正一一　洋・小　一　ホ一〇　一七五三

○

ケルト語學　佛・Dottin撰・市河三喜譯　洋・中（佛蘭西科學）　一　イ　四　二八八　二

○

西南亞細亞言語の系統　松本重彥撰　昭和一一　洋・中（岩波講座東洋思潮）　一　ロ一〇　二九三七　一
日土大辭典　日土協會編　昭和一一　洋・小　一　ホ一〇　一七七二

トルコ語教本 日土協會編 昭和九 洋・小 — 一冊 ホ一〇 一七六四號
ヒブル語原典入門 小辻節三撰 昭和一一 洋・中 — 一 ホ一〇 一七七八
同 — 一 ホ一〇 一七八九
日本に傳はれる波斯文に就て 羽田亨撰 洋・中 (史學研究會講演集) — 一 リ一 四六二五 三

○

印度言語の系統 福島直四郎撰 昭和一〇 洋・中 (岩波講座東洋思潮) — 一 ロ一〇 二九三七 一
印度語研究 野村佐一郎撰 昭和九 洋・小 (初等) — 一 ホ一〇 一七六二
擬聲語 (Gargara) の轉訛と妙音の問題 本田義英撰 洋・中 (佛典の内相と外相) — 一 ハ 四 二七二五
寄傳教大師請質悉曇疑書 空海撰 洋・中 (弘法大師全集) — 一 ハ 五 三二一 六
近代詩に表れた梵語・巴利語・佛教語 後藤八重子撰 洋・中 (現代詩の新研究) — 一 ヘ 六 四四二〇
近代詩に表れた梵語・巴利語・佛教語 後藤八重子撰 洋・中 (現代詩講集) — 一 ヘ 六 四三九二
古代印度に於ける語源的說明法に就いて 福島直四郎撰 洋・中 (佛教學の諸問題) — 一 ハ 四 二六二〇
實習梵語學 附字書一卷 荻原雲來撰 昭和七 一二版 洋・中 — 二 ホ一〇 一七八六
悉曇建立私記 無等撰・法住刪補 寫本 和・大 — 一 ハ 四 二〇二八
悉曇口訣 寶空撰 文久二 和・大 — 一 ハ 四 四〇九
悉曇藏續聞書私記 秋元淨眞撰 寫本 和・小 — 一 ハ 四 二〇二九
悉曇三密鈔 三卷 淨嚴編 天和二 和・中 — 八 ハ 四 六〇四
悉曇字記 唐・智廣撰 洋・大 (大正新修大藏經) — 一 ハ 五 二一六四 五四

悉曇字記 唐・智廣撰 和・中 (大日本大藏經) — 一冊 ハ 五 一八七四號
悉曇字記講義 寶空撰 文久二 和・大 — 一 ハ 四 四一〇
悉曇字記捷覽 周覺撰 元祿一二 和・大 — 二 ハ 四 六八六
悉曇字記註玄義 瑞鳳撰 安永三 和・大 — 二 ハ 四 三三七四
悉曇撰書目錄 高楠順次郎編 洋・中 (大日本佛教全書) — 一 ハ 四 一五三四 三〇
悉曇藏 八卷 寬政元 和・中 — 八 ハ 四 六三四
悉曇藏 卷第八 寫本 和・大 安然撰 — 一 ハ 四 二〇二七
悉曇藏 八卷 洋・中 (大日本佛教全書) 安然撰 — 一 ハ 四 一五三四 三〇
悉曇竝聲明等書目錄 赤堀又次郎編 洋・中 (大日本文學者年表附錄) — 一 ヘ 三 四二四七
悉曇の解說 荻原雲來・久野芳隆撰 洋・中 (佛教大學講座) — 一 ハ 四 二五二二
悉曇反音和解抄 性善撰 寫本 和・中 — 一 ハ 四 二〇三〇
悉曇摩多體文 澄正註 寫本 和・大 — 一 ハ 四 二〇三一
殺三磨娑釋未詳訣辯誤 基辨撰 洋・中 (日本大藏經) — 一 ハ 五 一六六四 三〇
殺三磨娑釋未詳訣辯誤 快道撰 洋・中 (日本大藏經) — 一 ハ 五 一六六四 三〇
大悉曇章 二卷 空海撰 洋・中 (弘法大師全集) — 一 ハ 五 二二一一 三
大正新修大藏經 悉曇部 (梵字悉曇字母釋義 (空海) 外三〇篇) 高楠順次郎等編 洋・大 — 一 ハ 五 二一六四 八四
陀羅尼字典 附文殊門經字母品 明治三一 訂正再版 和・中 圓山達晉編 — 一 ハ 四 七九一
欽同文韵統 六卷・首一卷 宣統二 唐・大 西藏・章嘉胡土克圖等奉勅撰 — 五 ホ 五 一八三
唐梵文字 唐・全眞編 洋・大 (大正新修大藏經) — 一 ハ 五 二一六四 五四

唐梵兩語雙對集 唐・僧怛多薩多・波羅羶那彌拾沙編 洋・大 (大正新修大藏經) — 一 ハ 五 二一六四 五四
如法經現修作法 宗快撰 洋・大 (大正新修大藏經) — 一 ハ 五 二一六四 八四
巴利(パリー)語とは何ぞや 長井眞琴撰 洋・中 (南方所傳佛典の研究) — 一 ハ 四 二七〇六
巴利語に就いて 長井眞琴撰 洋・中 (根本佛典の研究) — 一 ハ 四 二七〇五
巴利語佛教文學講本 高楠順次郎編 明治三三 洋・中 — 一 ハ 四 二五四
巴利語文典 立花俊道撰 大正一三 再版 洋・中 — 一 ホ二〇 一七八五
巴利語文法 立花俊道撰 洋・中 (佛教大學講座) — 一 ハ 四 二五五二 二
翻梵語 一〇卷 洋・大 (大正新修大藏經) — 一 ハ 五 二一六四 五四
分別六合釋 法住撰 寬政九 和・大 — 一 ハ 四 二三九四
同 — 一 ハ 四 二三六四

分別六合釋 法住撰 洋・中 (日本大藏經) — 一 ハ 五 一六六四 三〇
梵學講義 南條文雄講 (哲學館講義錄) 洋・中 — 二 ハ 四 三二四
梵漢對譯佛教辭典 荻原雲來編 大正四 洋・中 — 一 ハ 四 一六七七
梵漢對譯佛法語籔 井上哲次郎・有賀長雄編 洋・小 (哲學字彙附錄) — 一 ロ 一 二一八四
解說 梵語學 榊亮三郎撰 明治四〇 洋・中 — 一 ホ一〇 一〇六六
梵語雜名 唐・禮言編 洋・大 (大正新修大藏經) — 一 ハ 五 二一六四 五四
梵語字典 本名釈橘易土集 二六卷・索引四卷 慧晃編 明治三八 洋・中 (哲學館講義錄本) — 一 ハ 四 二九五
同 — 一 ハ 四 八二一
梵語千字文 別本共 唐・義淨撰 洋・大 (大正新修大藏經) — 一 ハ 五 二一六四 五四

梵語千字文 一名梵唐千字文 唐・義淨撰・寂明考訂 享保一二 和・大 — 一 ハ 四 一九三三
梵語千字文 一名梵唐千字文 唐・義淨撰・寂明考訂・敬光再考 安永二 和・大 — 一 ハ 四 四一一
同 — 一 ハ 四 二三二六
梵語文典 福島直四郎・田中於菟彌撰 洋・中 (佛教大學講座) — 一 ハ 四 二五五二 二
梵字悉曇字母竝釋義 空海撰 洋・中 (弘法大師全集) — 一 ハ 五 二一一一 三
梵字悉曇章 賢賀校 (享保一九) 和・大 — 一 ハ 四 九六八
梵字十八道 空海撰 洋・中 (日本大藏經) — 一 ハ 五 一六六四 四四
梵字十八道 空海撰 洋・中 (弘法大師全集) — 一 ハ 五 二二一一 三
梵文學教科書 高楠順次郎編 明治三一 洋・中 — 一 ハ 四 一八〇
同 — 一 ハ 四 二六六
翻譯名義集 七卷 唐・小 宋・法雲編 (四部叢刊) — 七 イ (一一三一 七五八一七六四) 一一
翻譯名義集 七卷 宋・法雲編 寬永五 和・大 — 一 ハ 四 二三七四
翻譯名義集 七卷 宋・法雲編 明治二四 和・小 — 二 ハ 四 七四
翻譯名義集 七卷 宋・法雲編 洋・大 (大正新修大藏經) — 一 ハ 五 二一六四 五四
翻譯名義集 二〇卷 宋・法雲編 康熙年間重刻 唐・大 — 四 ハ 四 七四〇
翻譯名義集 二〇卷 宋・法雲編 和・中 (大日本校訂大藏經) — 一 ハ 五 一八七四 三七七
梵藏漢和四譯對校 翻譯名義大集 上冊 關亮三郎編 大正五 洋・大 (京都帝國大學文科大學叢書) — 一 イ 四 九九〇 一〇
漢譯對照 梵和大辭典 第一至三冊 荻原雲來編 昭和一五・一六 洋・大 — 三 ホ一〇 一七九八
六合釋三部章 快道撰 洋・中 (日本大藏經) — 一 ハ 五 一六六四 三〇

書名索引

六合釋章疏標目	快道撰 洋・中（日本大藏經）	一冊	ホ	二	四七二八號	一六六四 三〇	一	八五
六合釋精義 二卷	快道撰 洋・中（日本大藏經）	一	ホ	二	四六三三 七	一六六四 三〇	一	八五
六合釋節要	融光撰 享保元 和・大	一	ホ	一〇	一七九七	二三六六	一	八四
同	融光撰 洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一七九七	二三六七	一	八四
六合釋節要	宥範撰 洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一七九八	二三六八	一	八四
六離合釋法式通關注	明・智旭撰 天和三 和・大	一	ホ	一〇	一七九九	二三六九	一	八四
六離合釋法式略解	明・智旭撰 唐・中（金陵刻各種經論）	一	ホ	一〇	一八〇〇	二三七〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八〇一	二三七一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八〇二	二三七二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八〇三	二三七三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八〇四	二三七四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八〇五	二三七五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八〇六	二三七六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八〇七	二三七七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八〇八	二三七八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八〇九	二三七九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八一〇	二三八〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八一一	二三八一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八一二	二三八二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八一三	二三八三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八一四	二三八四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八一五	二三八五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八一六	二三八六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八一七	二三八七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八一八	二三八八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八一九	二三八九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八二〇	二三九〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八二一	二三九一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八二二	二三九二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八二三	二三九三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八二四	二三九四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八二五	二三九五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八二六	二三九六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八二七	二三九七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八二八	二三九八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八二九	二三九九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八三〇	二四〇〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八三一	二四〇一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八三二	二四〇二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八三三	二四〇三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八三四	二四〇四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八三五	二四〇五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八三六	二四〇六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八三七	二四〇七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八三八	二四〇八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八三九	二四〇九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八四〇	二四一〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八四一	二四一一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八四二	二四一二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八四三	二四一三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八四四	二四一四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八四五	二四一五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八四六	二四一六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八四七	二四一七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八四八	二四一八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八四九	二四一九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八五〇	二四二〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八五一	二四二一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八五二	二四二二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八五三	二四二三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八五四	二四二四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八五五	二四二五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八五六	二四二六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八五七	二四二七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八五八	二四二八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八五九	二四二九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八六〇	二四三〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八六一	二四三一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八六二	二四三二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八六三	二四三三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八六四	二四三四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八六五	二四三五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八六六	二四三六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八六七	二四三七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八六八	二四三八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八六九	二四三九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八七〇	二四四〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八七一	二四四一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八七二	二四四二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八七三	二四四三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八七四	二四四四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八七五	二四四五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八七六	二四四六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八七七	二四四七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八七八	二四四八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八七九	二四四九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八八〇	二四五〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八八一	二四五一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八八二	二四五二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八八三	二四五三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八八四	二四五四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八八五	二四五五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八八六	二四五六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八八七	二四五七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八八八	二四五八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八八九	二四五九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八九〇	二四六〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八九一	二四六一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八九二	二四六二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八九三	二四六三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八九四	二四六四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八九五	二四六五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八九六	二四六六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八九七	二四六七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八九八	二四六八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一八九九	二四六九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九〇〇	二四七〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九〇一	二四七一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九〇二	二四七二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九〇三	二四七三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九〇四	二四七四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九〇五	二四七五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九〇六	二四七六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九〇七	二四七七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九〇八	二四七八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九〇九	二四七九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九一〇	二四八〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九一一	二四八一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九一二	二四八二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九一三	二四八三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九一四	二四八四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九一五	二四八五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九一六	二四八六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九一七	二四八七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九一八	二四八八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九一九	二四八九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九二〇	二四九〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九二一	二四九一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九二二	二四九二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九二三	二四九三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九二四	二四九四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九二五	二四九五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九二六	二四九六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九二七	二四九七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九二八	二四九八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九二九	二四九九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九三〇	二五〇〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九三一	二五〇一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九三二	二五〇二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九三三	二五〇三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九三四	二五〇四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九三五	二五〇五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九三六	二五〇六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九三七	二五〇七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九三八	二五〇八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九三九	二五〇九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九四〇	二五一〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九四一	二五一一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九四二	二五一二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九四三	二五一三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九四四	二五一四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九四五	二五一五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九四六	二五一六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九四七	二五一七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九四八	二五一八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九四九	二五一九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九五〇	二五二〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九五一	二五二一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九五二	二五二二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九五三	二五二三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九五四	二五二四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九五五	二五二五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九五六	二五二六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九五七	二五二七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九五八	二五二八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九五九	二五二九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九六〇	二五三〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九六一	二五三一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九六二	二五三二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九六三	二五三三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九六四	二五三四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九六五	二五三五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九六六	二五三六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九六七	二五三七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九六八	二五三八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九六九	二五三九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九七〇	二五四〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九七一	二五四一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九七二	二五四二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九七三	二五四三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九七四	二五四四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九七五	二五四五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九七六	二五四六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九七七	二五四七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九七八	二五四八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九七九	二五四九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九八〇	二五五〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九八一	二五五一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九八二	二五五二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九八三	二五五三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九八四	二五五四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九八五	二五五五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九八六	二五五六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九八七	二五五七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九八八	二五五八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九八九	二五五九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九九〇	二五六〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九九一	二五六一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九九二	二五六二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九九三	二五六三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九九四	二五六四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九九五	二五六五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九九六	二五六六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九九七	二五六七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九九八	二五六八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	一九九九	二五六九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇〇〇	二五七〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇〇一	二五七一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇〇二	二五七二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇〇三	二五七三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇〇四	二五七四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇〇五	二五七五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇〇六	二五七六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇〇七	二五七七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇〇八	二五七八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇〇九	二五七九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇一〇	二五八〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇一一	二五八一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇一二	二五八二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇一三	二五八三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇一四	二五八四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇一五	二五八五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇一六	二五八六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇一七	二五八七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇一八	二五八八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇一九	二五八九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇二〇	二五九〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇二一	二五九一	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇二二	二五九二	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇二三	二五九三	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇二四	二五九四	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇二五	二五九五	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇二六	二五九六	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇二七	二五九七	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇二八	二五九八	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇二九	二五九九	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇三〇	二六〇〇	一	八四
六離合釋法式略解注	洋・中（日本大藏經）	一	ホ	一〇	二〇三一	二六〇一	一	八四
六離合釋法式略解注

本館使用假名遣表

イ	十	ヴィ・ヰ
エ	エ	ビ ヴ
オ	ヲ	ビュウ ビウ
オウ	アウ・アフ・オフ・オホ・ワウ	ヒョウ ヒヤウ・ヘウ
カ	クワ	ブ ヴ
カイ	クワイ	ベ ヱ
カク	クワク	ホウ ハウ・ハフ・ホホ
カツ	クワツ	ミョウ ミヤウ・メウ
カン	クワン	モウ マウ・マフ・モフ
キュウ	キウ・キフ	ユウ イウ・イフ
キョウ	キヤウ・ケウ・ケフ	ヨウ エウ・エフ・ヤウ
コウ	カウ・カフ・クワウ・コフ	リュウ リウ・リフ
ジ	ヂ	リョウ リヤウ・レウ・レフ
シュウ	シウ・シフ	ロウ ラウ・ラフ
ジュウ	ジウ・ジフ・ヂュウ	
ショウ	シヤウ・セウ・セフ	
ジョウ	ジヤウ・ゼウ・ヂョウ・デウ・デフ	
ズ	ヅ	
ソウ	サウ・サフ	
チュウ	チウ・チフ	
チョウ	チヤウ・テウ・テフ	
トウ	タウ・タフ	
ニュウ	ニウ・ニフ	
ニョウ	ネウ・ネフ	
ノウ	ナウ・ナフ	
バ	ヴァ・ヴ	

書名索引

ア

	頁
アアノルドの「批評論」	二三
アーノルド・ベネットの「老妻物語」	二三
愛あるところ神あり	五
埃漢文字同源考	四・八六
愛兒の爲の正しい國語の教へ方	八
アイスキウロス	二三四
アイヌ・英・和辭典	六七
アイヌ語會話字典	六六
アイヌ語辭典	六六
アイヌ語で見た日本地名	五六・六六
アイヌ語とアイヌ文學	六六
アイヌ語と國語	一三・二七・五八・六六
アイヌ語の所謂前置詞の問題	六六
アイヌ語の本質	六六
アイヌ語法概説	六六
アイヌ叙事詩ユーカラの研究	六七
彼等	一一〇
愛蘭英語と蘇格蘭英語	一一〇・一二五
アイルランド文學史	一一一
敢て天下の教育者諸君に訴ふ	四九
青森・秋田兩縣方言に於ける P音の研究	一四・四九・六五
赤城南麓方言の分布	六四・六六
秋長夜話	六五
秋長夜話拔抄	六八
あぎふ王物語	一三〇
アクセントと方言	二七・四九・六三
アクセントについて	一一・四九
アクセント早わかり	一九
足利時代の言語に就いて	四二
明日への戰	一三〇
明日來りなば	一三〇
明日の日本語	一七
「あそぶ」の語義について	六〇
新らしい英字	一二七
新らしい外來語の字引	一八
新しい語原解釋の字引	五六
新しい言葉遣な言葉故事熟語	二〇
新らしい言葉の字引	一八
新しい語法	一八
新しい時代語の字引	一八
新しい文章への考察	一〇
新しい文法意識を持て	三一
兄と妹	一三〇
姉小路家手似葉傳	二八・三一
あはゝのアンナ	一三〇
アプトン・シンクレアの「ボストン」	一一三
天草版金句集の研究	一三
天草本金句集考	一三
雨ぞ降る	一三〇
天兩屋島考	一四
「天のみかげ・日のみかげ」の解釋・	六〇
アメリカ英語	一一
アメリカ戯曲史	一一五
アメリカ劇の大觀	一一
アメリカ現代風俗誌	一一三
アメリカ大衆小説	一一
アメリカの社會的批評論	一一三
アメリカの制度風俗研究	一一三
アメリカのプロレタリア文學	一一
アメリカ文學史	一一
厦門音系	一一〇
誤りたる文字の讀方	七〇
誤り易き漢字の讀み方と正し き用字法	一〇一
脚結玄義	三一
あゆひ抄	三一
脚結抄について	三一
脚結翼草稿	三一
アリストテレス	一三四
アリストパネス	一三四
アルセスチスの操	一三〇
アルタン・トプチ	一〇九
Alphabet を論じL音を我假字にて表はすべき方法を述ぶ	四
アングリックとベイシック	一一一
アングロ・アイリッシュ	一一一
晏子春秋音義	九四
安藤教授還曆祝賀記念論文集	一三
安南語會話	一三六
安南史料に表はれたる印度支那山地民族	一四
安寧天皇御陵名義私考	一五・六〇
イエスペルセン氏言語進歩論	三
活きた英語獨習	一一
壹岐島方言集	六五
伊京集	一八
英吉利會話篇	一三五
イギリス近世制度風俗研究	一三三
イギリス現代風俗誌	一三三
イギリス散文文體の發達	一三三
イギリス宗教史	一三三
イギリス小説史	一三三
イギリス短篇小説	一三三
イギリスのプロレタリア文學	一三三
イギリス文學史	一三三
イギリス文藝批評史（その成立から十八世紀まで）	一一
英吉利文典	一三三
生川正香翁遺稿解題	一八
Isaac Titsingh, Eenige Japansche Woorden	一四・六五
異字	八四・八六
石塚龍麿の萬葉研究	一四
石原式横書キ片假名文字ニ就テ	四七
維新前後外國語圖書目錄	六
偉人ペリクレス	一三〇
いすくはし・くぢらの語釋	六一
伊豆母廼美多麻	四九
イソップ獨習	一三〇
イソップ物語講義	二三〇
異體字辨	八七
イタリー語第一歩	一三四
伊太利廣文典	一三四
伊太利語四週間	一三四
伊太利語辭典	一三四
一國の文字の輕々しく更ふべからざるを論ず	四六
一切經音義	九四
一切經音義索引	九四
一寸法師ムック	一三〇
一九三一年に於ける我國外來語の總記錄	五九
一般音聲學	四・一二五
一般文法成立の可能性について	三
一般文法の原理	一
一歩	二八・五三
イデイオムの研究	一三三
伊日辭典	一三四
井上英文手紙の書き方	一三四
井上英和大辭典	一一七
井上支那語辭典	一〇五
井上日華新辭典	一〇五
井上和英大辭典	一一九
異名分類鈔	二四
意味論	一
伊豫松山方言集	六五

色葉歌作者考　四三
以呂波音訓傳　四三
以呂波考　二六・四三
以呂波字考錄　二七・四三
いろは辭典　一八
以呂波釋　四三
以呂波釋可有事等　四三
伊呂波字類抄　一八
色葉字類抄　一八
いろは節用集大成　四三
伊呂波探玄抄　四三
以呂波天理鈔　四三
伊呂波童蒙鈔　四三
以呂波之傳　四三
いろは萬年艸　四三
以呂波問辨　二七・四三
以呂波略釋　四三
異論のある單語　六〇
岩波講座國語教育　八
岩波版大形露和辭典　一三
所謂「ヲ」に通ずる助詞「ガ」に就いて　一五・三一
所謂音韻學と音聲學　二
所謂カ行延言に關する諸說の批判　三一
所謂日本式ローマ字論者に質す　四九
韻英　八四
印歐語母音變化の研究と Laryngales の發見　二
韻學口訣　九四
韻學指要　九四
韻學筌蹄　九四
韻學要指　九四
韻學餘說　九四
韻鏡　九四
韻鏡易解改正　九四
韻鏡考　九四
韻鏡字子　九五
韻鏡遮中鈔諺解　九五
韻鏡諸鈔大成　九五
韻鏡諸本展觀目錄　九五
韻鏡諸蜜祕傳集　九五
韻鏡新解　九五
韻鏡と唐韻廣韻　九五
韻鏡の內外轉について　二・九五
韻鏡發揮同音考　九五
韻鏡祕事大全　九五
韻鏡祕抄　九五
殷虛書契　八七
殷虛書契考釋　八七
殷虛書契菁華　八七
殷虛書契續編校記　八七
殷虛書契待問編　八七
殷虛文字待問編　八七
殷虛文字の年代　八七
殷虛文字類編　八七
殷偶大成　七九
殷契遺珠　八七
殷契粹篇　八七
殷契粹篇考釋　九四
隱語彙集　九四
隱語の話　九四
韻史　九四
韻集　九四
殷商貞卜文字考　九四
因數分解式英文解剖法　九五
韻銓　九五
インドゲルマン言語族一覽　九五
印度言語の系統　九五
印度語研究　九五
印度支那言語の系統　九五
印度支那語族に於ける支那語　九五
韻府一隅　九五
韻府群玉　九五
韻府古篆彙選　九五
韻文と句讀　九五
韻補　九五
韻補正　九五
韻目表　八七
韻問　八七
隱喩の性質　八七
韻律學の基本問題　八七
韻律法と修辭法　八七
韻律論　八七
韻略　八七
韻略條式　七九

ウ

ウキルソン氏第三リードル直譯　二二〇
ウインダム・ルイスの「神を眞似る猿」　二三
上田秋成の「冠辭考續貂」について　四・六二
上田秋成の靈語通と德川宗武の假名遣說　五三
上田氏論難之辨　五〇
ウエブスター氏新刊大辭書和譯字彙　二九
ウエルギリウス　二三四
ウエルズの「トーノ・バンゲイ」　二二
ウオルター・ペイターと「享樂主義者マリウス」　二二
浮世風呂浮世床の語法　四二・六五
ウタの語原諸說　五八
H. Muet の脫落　二六
浦鹽斯德大學教授オヴイデイエフ氏の問に答ふ　三二・五七
「宇禮牟曾」考　一五・六〇
運動の動詞とその意義的分岐　一三・二三

エ

英學新報　二六
英學部初編　二六
英華和譯字典　一七
英語　二一
英語アクセント早わかり　一九
英語英文學講座　二二・二三
英語往來　二三
英語音聲學　二二・二九
英語音聲學概說　二四・二九
英語階梯　一九
英語會話（イーストレーキ）　二五
英語會話（岸本能武太）　二五
英語會話口八丁　二五
英語會話術　二五
英語會話入門　二五
英語學　二三
英語學概要　二三・二四
英語學研究　二六
英語學研究史　二三・二五
英語學研究と文獻　二三
英語學研究方法論　二三・二五
英語學辭典　一七
英語學將來の問題　二三
英語學全書　二三
英語學とは何か　三・二三
英語學の周邊　二三
英語學パンフレット　二三
英語教育　二三
英語教育叢書　二三
英語教育に關する文部法規　二四
英語教育の目的と價値　二四
英語教育の理論と問題　二一・二四
英語教育論　二一・二四
英語教師の教養に就て　二四
英語教授法　二一
英語教授法概論　二四
英語教授法書誌　二四
英語教授法の言語學的基礎　二三
英國藝術史　二五
英國劇大觀　二一
英國國民性　二四
英國史　二五
英國小說の傳統を迎る　三
英國隨筆史　二五
英語單語字類　一九
英國中部地方言の研究　二六
英國哲學思想　二三
英語句讀法　二三
英國の社會的批評論　二三
英國の諺　三
英國批評史　二五
英國文化史概論　二四
英語研究の手引　二四
英語研究譯解の原理　二四
英語講義（岸本能武太）　二四
英語講義（熊本謙二郎・槻地良吉）　二四
英語構造論　二三・二三
英語構文の研究　二一・二三
英語講話（增田藤之助・佐久間信恭）　二四
英語講話（前田定之助）　二一・二四
英語作文教本　二四
英語作文講義　二四
英語史概說　二四・二五
英語時事會話　二五
英語辭書研究　二五・二六
英語熟語考　二三
英語正確使用法　一七・二三
英語青年　二六
英語世界（英語世界社）　二六
英語世界（博文館）　二六
英語羹　二九
英語速成　二四
Eigo Daigaku　二六
英語對話　二五
英語中學　二五
英語綴字法　二五
英語手紙の書き方　二三
英語と英國氣質の研究　二六
英語と英文學　二六
英語と外國語との相互影響　二四・二五
英語と來語（上田耕甫）　二四
英語と來語（富田義介）　二一・二四
英語の形態と機能　二三・二四
英語の現在と過去　二四
英語の語彙及造語法と語源　二四・二五
英語の國際補助語化運動　二一
英語の史的考察　二三・二四
ABCびき日本辭典　二三
影寫宋蜀大字本爾雅　八三
英佛單語便覽　五
英佛獨語とギリシア・ラテン語　二四
英文暗記法　二〇
英文解釋研究法　二〇
英文學研究方法論　二七
英文學主潮史　二四
英文學と大陸文學　二五
英文學の教養と英語教育　二六
英文學の社會的背景　二五・二三
英文漢詁　二一
英文軌範解說　二〇
英文自在手八丁　二一
英文指針　二五
英文少年世界　二七
英文書翰の要訣　二三
英文世界時潮　二三
英文尺牘活法　二四・二四
英文組織的解釋法　二一
英文對照イソップ獨習　七四
英文註釋　二一
英文手紙の書き方　二一
英文典教科書　二〇
英文典新釋　八
英文の構成と解剖　二九
英文配語法　二三
英文評釋（坪內雄藏）　三〇
英文評釋（增田藤之助）　二九
英文法概論（市河三喜）　二三
英文法概論（河合茂）　二一・二三
英文法研究　二三
英文法講義（二木千年）　二三
英文法講義（山田巖）　二三
英文法作文　二三
英文法詳解　二三
英文法總覽　二三
英文法對照新訂獨逸文法　二九
英文法對照獨逸文法書　二〇
英文法通論　二三
英文法の教授と問題　二四
英文法汎論　二三
英文法用語の解說　二一・二三
英文法論考　二三
英文和譯法　二三
英米思想史　二〇
英米文學語學講座　二五
英米文藝年表　二五
英民族の言語的貪食性の消化力　二一
英譯された謠曲　二六
英譯日本文學名著選　二一
英雄崇拜論　二三
英和及び和英辭書の發達　二〇
英和活用大辭典　二六
英和記憶辭典　二三
英和字彙　二七
英和辭書　二七
英和辭典　二七

英和社交用會話　一三五
英和熟語慣用句辭典　二八
英和商工辭典　一二七
英和新辭典　一二七
英和尺牘必携　一二四
英和雙解隱語彙集　一二七
英和雙解字典　一二七
英和雙解熟語大字彙　一二八
英和雙解熟語大辭典　一二六
英和俗語活法　一二六
英和大辭典（井上十吉）　一二七
英和大辭典（島田豐）　一二七
英和對照青年餘暇集　一三一
英和對譯袖珍辭書　一二七
英和中辭典　一二七
英和通信　一二五
英和日用會話　一二五
英和比較英語修辭學講義　一二四
英和比較文法十講　一三一
英和法政經濟商業辭典　一二八
英和例解要語大辭典　二八・二三
易譯　九五
易音　九五
エスペラント　六
エスペラント研究用書解題　五
エスペラント講習書　六
エスペラント捷徑　六
エスペラント全程　六
エスペラントの基礎　六
エスペラントの話　六
似而非ローマ字論者に教ふ　四九
圓圃のぬき菜　六七
延命字學集　六七

オ

大分縣方言の研究　六五
大倉造と小倉造　六五
王氏音略　二一〇
歐洲に於ける國語競爭　三二
歐洲のアルファベット文字起原說に就て　四二・六五
奥州本義經記の考察　一八
オーストロアジア語に關する諸問題　一三一
O SHKVCHNIH BHTOB KHTOAOBCKAGO CKAGAHIICHHX HSBECKOB　二
應聲考　一三五
王朝時代に於ける「かも」　一九
王朝時代に於ける博士家使用ヲコト點譜　五三・五六
オウフラハーテイの「密告者」　一三
オールダス・ハックスレの「戀愛曲對位法」　六
沖繩考　一四・六七
沖繩語の研究　六七
沖繩對話　四一
御國詞活用抄　二六・六五
御國通辭　五七
送假名法（國語調査委員會）　五七
送假名法（內閣官報局）　五七
送假名法（三矢重松）　五七
送り假名用法　五〇
於乎輕重義　五七
乎古止點譜　五七
オスカア・ワイルドの「サロメ」　六〇
おつとつて・さしわたし　六〇
オニールの「奇妙な幕間狂言」　一三
オブライエンの讀方教育研究　五
面白き英語の手紙　一四
おもろさうし選釋　六七

カ

ガーデイナー氏の文の定義　一・一四
カーレント・オブ・ザ・ワールド　一三六
諧韻瑚璉　九五
海外外地日本語讀本の紹介　七一
海外に於ける國語教育　八・九
海外に於ける日本語教育　一一
開化早引新撰字林玉篇　七七
會議指南　六八
解經祕藏　九五
會議論法　六八
開元文字音義　八四
邂逅　一一〇
外國語研究者の爲めに　六
外國語研究法　六
外國語研究要論　六
外國語雜誌　六
外國語の寫し方　四九
外國語之研究　六・一五
外國語の問題　二八
外國固有名詞及外來語發音整理表　七〇
解字小記　八七
解釋學序說　二七
解釋學と國語教育の問題　八
解釋主義への一つの批判　一五
解釋の心理過程　二
開進國語讀本　四七
改新獨逸文典　一二八
海圖と日本式ロオマ字綴り方是非　四八
開成所辭書　二一七
諧聲圖　八七・九
諧聲品字箋　九
改正增補英和對譯袖珍辭書　二一七
諧聲補逸　八七・八八
會席演說模範　六八
解說批評日本文典　三六
解說麥語學　二七
海藏略韻　八〇
外地に於ける國語教育　一四
改訂韻鏡　九五
改訂中等國文讀本　三〇
海東諸國記附載の古琉球語の研究　六七
開發新式日本文典　三八
改併五音集韻　一〇五
改併五音類聚四聲篇　五三
海篇心鏡　一〇五
海篇大全　一〇六
海篇朝宗　一九
甲斐方言稿本　八七
魁本大字類苑　六〇
魁本對相四言雜字　六〇
華夷譯語　二七・三一
海洋語の研究　四〇
外來音の寫し方　一九
外來語　八
外來語研究　六五
外來語辭典（荒川惣兵衛）　六三
外來語辭典（藤屋英造）　八五
外來語と俳句　三三
外來語の研究　九
外來語の問題　一四
會話應用發音添附華語文法　四七
會話作文應用自在英文暗記法　二七・三五
華英學生會話　三三
華英通語　九
カエサル　三三
かたはみ艸　三三
學校論　三三
各國の母國語教育　三三
活語雜話　三三
活語自他捷覽　三三
活語指南　三三
活語新論　三三
華語大辭典　二六・三五
雅語綴字例　三五
華語發音字典　一〇五
華語文法研究　一〇六
雅語譯解　一九
瓦劍文字譜　八七
かさし抄　二七・三一
歌詞考　六〇
歌詞三格例　四〇
歌辭要解　一九
歌人必携世界的日本語　八
鹿角方言集　六五
雅俗語識別の時期　六三
雅俗故事新編　八五
雅俗俗雅日本小辭典　三三
雅俗幼學新書　一九
片假名及平假名ノ見エ方ニ就イテ　四七
片假名の研究　二七・四三
片假名平假名讀ミ書キノ難易　四六
ニ關スル實驗報告　二七・三五
片假名ワとンとの字源說附言　四三
かたこと　二八・六五
かたはみ艸　三三
學校論　九
各國の母國語教育　一四
活語雜話　三三
活語自他捷覽　三三
活語指南　三三
活語新論　三三
加賀なまり　二八・六五
下官集　七九
書方教授體系　八二
蝸牛異稱分布圖　八三
蝸牛考　六五
學藝會の指導　一四
格言と其の解說　一三四
學習論　一〇九
格と時稱との一つの場合について　二
書引增字分韻便覽　二五・七四
雅訓助字解　七一
影　一〇二
懸詞の語學的考察とその表現美　一一〇
雅言解　一九・一五九
雅言覺非　五九
雅言假字格　一七
雅言考　七
雅言集覽　六八
雅言成濛　三六
雅言俗語類檜　二七
雅言通載抄　一三四
雅言童喰　一四
雅言問答　八〇
雅言略解　五〇
雅語捷歩　一〇七
華語捷歩總譯　一九
華語月刊　二八
和蘭文典字類　三三
和蘭文字略考　一三五
俄羅斯學考　一三一
ヲロシヤノ言　一三三
尾張方言　二八・六五
音韻及反切考　一〇八
音韻啓蒙　五〇
音韻史上より見たる「カ」「クワ」の混同　五〇
音韻日月燈　七八
音韻授幼文選字引　二五・七四
音韻新論　四
音韻調査報告書　五〇・六三
音韻取調ニ關スル事項　五〇
音韻分布圖　五〇・六三
音韻漫錄　五〇
音韻論　四
音義全書　五〇
音義本末考　五〇
音訓五經　九五
音訓國字格　五三・五六
音訓故知新書　一九
On the designation-problem of the so-called Tokharian language　二
「音圖及手習詞歌考」を讀む　五〇
音圖大全　五〇
音圖大全解　五〇
音聲學協會々報　五・六六

音聲學史　五・六六
音聲口語法　二七・四二
音聲心理學　五・六六
音聲心理學と國語　五〇
音聲生理學　五・六六
音聲的描寫による語構成　二・六
音聲の研究　五
音聲物理學　五・六六
音調と强調　一三三・一三〇
音同義異辨　八四
諺文のローマ字表記法　七三
音論　九五

カ

ガーデイナー氏の文の定義　一・一四
カーレント・オブ・ザ・ワールド　一三六
諧韻瑚璉　九五
海外外地日本語讀本の紹介　七一
海外に於ける國語教育　八・九
海外に於ける日本語教育　一一
開化早引新撰字林玉篇　七七
會議指南　六八
解經祕藏　九五
會議論法　六八
開元文字音義　八四
邂逅　一一〇
外國語研究者の爲めに　六
外國語研究法　六
外國語研究要論　六
外國語雜誌　六
外國語の寫し方　四九
外國語之研究　六・一五
外國語の問題　二八
外國固有名詞及外來語發音整理表　七〇
解字小記　八七
解釋學序說　二七
解釋學と國語教育の問題　八
解釋主義への一つの批判　一五
解釋の心理過程　二
開進國語讀本　四七
改新獨逸文典　一二八
海圖と日本式ロオマ字綴り方是非　四八
開成所辭書　二一七
諧聲圖　八七・九
諧聲品字箋　九
改正增補英和對譯袖珍辭書　二一七
諧聲補逸　八七・八八
會席演說模範　六八
解說批評日本文典　三六
解說麥語學　二七
海藏略韻　八〇
外地に於ける國語教育　一四
改訂韻鏡　九五
改訂中等國文讀本　三〇
海東諸國記附載の古琉球語の研究　六七
開發新式日本文典　三八

活語圖說　三
活語大成圖　三
學古發凡　八九
活語本因圖・詞辭全圖　三
活字ノ間隔ハ如何ニスベキカ　四六
活字ノ字割ニ關スル研究　四七
活字優劣批判法　四六
カツシラア言語學　一
活用獨逸文法　二八
活用露西亞文法　一三
桂本萬葉集の文字の考察　一三・四三
Katei no Romaji　七一
家庭用支那語便覽　一〇七
「がてら」と「がてり」に就いて　三一
歌道と教育　八
「假名書論語」の言語について　三三
假名源流考　四三
假名考　二八・四四
假字考　二八・四四
假名國字論の殘壘　四九
金澤博士還曆記念東洋語學乃研究　一五
假名字例　三三
假字頌　三六
假字新說　四四
假字づかひ　五六
假名遣　五三
假字遣「お」・「を」の混同　五三
假名遣奧山路・　四四・五〇・五三
假名遣及假名字體沿革史料　四四・五三・五四・五七
「假名遣及假名字體沿革史料」を讀む　五四
假名遣概說　五四
假名遣活法　五四
假名遣記憶便覽　五四・五六
假名遣教科書　五四
假名遣研究史　五四
假名遣新書　五四
假名遣ちかみち　五四
假名遣近道　五四
假字遣提要　五四
假名遣と奚假名　五四・五七
假名遣に關する意見　五四
假名遣の研究　五四
假名遣の歷史　五四
假名遣早引　五四
假名遣要覽　五四
假字大意抄　五四
假名の沿革　五四
假名の會の問答　四六
假名の書方　四四
假名の研究　四四
かなのしをり　六
假名の發生に關する考察　四四
カナノヒカリ　七一
假名の表音能力　四九
假字の本末　二八・四四
假名發達史序說　四四
假字本義考　五〇・五四
假名交文典　五七
假名交り文の起源　五七
假名名稱考　五九
カナモジ運動　二八・四六
假名文字遣　二八・四六
假名文字使蜆縮涼鼓集　二八・五四
假名文字ノ縱書キト橫書キニ就テ　四六
假名類纂　二八・四四
假名論とローマ字論　四八
かにかくに欲しきままに考　一四・六一
鐘廼比備起　六一
歌舞伎　四四
歌文假字格　四四
鎌倉和歌史上の二三の問題　一三
東奈加方言　一三
龜田次郎氏所藏泰西人の日本語研究書展觀目錄　一三
鴨と哉　一三
歌謠　一三
「か」より「や」へ　一三
烏丸本異本悅目抄　一三
Calamian 語と Agotaya 語　一四・二四
歌林樸樕　一三
蝦和英三對辭書　一三
漢英對照いろは辭典　一三
漢音吳音の研究　一三
漢字字原系譜　八七
漢字詳解　九七・八八
漢字制限の基礎調査及びこれに基く漢字制限案の研究　四六
漢字と逆假名の遣ひ方　八・九七
漢字と假名　四六
漢字に代はる新日本の文字と其の綴字法　四六
漢字の訓解と校勘の學　五七
漢字ノ研究（安達常正）　八八
漢字の研究（岡井愼吾）　二七・八八
漢字の原理　八八
漢字ノ四隅番號化檢字法　八九・九〇
漢字の書法　一〇
漢字の性質を論じて對句の發生に及ぶ　一五・八八
漢字の整理と漢字教育の改善　一四
漢字の日本化　二八・四四
漢字の話　九・八八
漢字の問題　二八・四六
漢試必第　九九
漢字問題　四六
官場概覽　一〇五
漢字要覽　八八
冠辭例　六二
漢音眞蹟字鑑　六二
漢清文指要　八八
觀世元清の假名遣　一〇
漢代古文考　一〇五
漢字三音考に就いて　八八
顧經四分律古點　五四
漢魏音　九五
環境と言語の發達　一・一〇
成鏡南道及黃海道の方言　七二
官許佛和辭典　三八
刊行方言書目　一八・六三
官語廳酬新篇　一〇七
漢吳音圖　九五
韓國重要地名及里程　七二
漢語字類　二五・七四
韓語大成　七二
韓語通　七二
韓語獨習誌　七二
漢語と國語　七二・七七・七三
漢語二重引　八一
韓語文典　七二
漢字　八七
漢字音の系統　九五
漢字書取能力の測定　四四
漢字からローマ字へ　四八
漢試關鍵　九九・二九
漢字起原の研究　八七
漢字形聲譜　八七
漢字系譜　八七
漢字系譜講義　四四・二六
冠辭考　一九
冠辭考續貂　六七
漢字雜話　八七
漢字三音考　二七・五三

間投詞の意味論的考察　三
關東地方の方言分布　六五
關東方言の區劃　六五
神奈備考　六一
神名書　四四
漢文學　九九
漢文漢語の影響によりて生じたる國語の諸相　一六
漢文基準支那現代文捷徑　一〇四
漢文教程（石村貞一）　九九
漢文教程（川田鐵彌・柴田晃）　一〇五
漢文教程（丸山正彥・西村豐）　九九
漢文訓讀と國文法　二七・三二・五七
漢文講義　九九
漢文綱要　九九
漢文志假　九九・一〇〇
漢文釋義　一〇〇
漢文新編　一〇〇
漢文速通　一〇〇
漢文提要　一〇三
漢文典　一〇一
漢文讀本　一〇〇
漢文の訓讀によりて傳へられたる語法　三二・五七
漢文の訓讀法　一〇・五七
漢文の國語化　一六
漢文法と復文の研究　一〇一
漢文和讀例　五七
簡約英和辭典　一〇三
漢譯對照梵和大辭典　二八
慣用語　一一五
慣用語の研究　二一・二五
官立諸學校入學試驗漢文問題　一〇三
翰林重攷字義京本大板海篇心鏡　八二
漢隸字源　八八
漢隸分韻　八八
干祿字書　七四・八八
官話急就篇　一〇七
漢和新字典　七四
漢和大辭典（古川喜九郎）　七四
漢和大字典（三省堂編輯所）　七四
漢和大辭林　七四
官話篇　一〇七

キ

G・K 音系統の虛字に就きて　一〇一
キーツの特徵　三
消え行く灯　一三〇
記憶するに易く實用に適する日滿會話　一〇八
喜界島方言集　六五
機械的讀方の心理的意義竝に教育的價値　一二
戲曲の言葉　二九
菊池俗言考　一〇一
キケロ　五七
紀元節所感　二八
龜甲獸骨文字　一二七
綺語抄　二四
議事演說討論傍聽筆記新法　四九
疑字纂要　八五
疑字篇　四四
擬聲語 Gargara の轉訛と妙音の問題　八二
基礎イタリー語　八八
犧倉　七四・八八
基礎スペイン語　一〇七
基礎獨逸語の研究　七四
基礎日本語　七四
基礎日本語の試み　七四
基礎フランス語　七四
基礎佛蘭西語の研究　一〇七
基礎ロシヤ語　九
北飛騨の方言　一一
寄傳教大師諸質悉曇疑書　一三
着道樂　一三
基本語彙學　一三
基本語彙の調査　一三〇
疑問假名遣　一〇八
義門と活用研究の展開　三
ギヤスケル夫人の「メアリ・バートン」　一〇
九經補韻　一〇三
汲古閣說文訂　九五
急就章　八八
九州の方言　一三四
急就篇　六一
急就篇殘簡　八八
九州方言及び琉球方言に於ける代名詞の研究　一五・五〇・六五・六七
九州方言通信調査概要　六五
教育音聲學　五・五〇
教育上から見たローマ字　四七
教育勅語字源考釋　八八
教育的言語學序說　五
教育並學術上より見たる日本文法史　三九
強意的直喰の研究　一三・一五
教科參考日本文典要義　三九
教科適用國文叢書　二九
教行信證の訓點は坂東語か　五〇・六五
教室英語　一一四
教室・圖書室・研究室の設備と管理　一一四
教室論　九
行書類纂　八八
教師論　七
郷土體驗の構造と郷土讀本　一〇
郷土地名新研究アイヌ語で見た日本地名　五八・六六・七四・八五
匡謬正俗　七四・八五
共和國教科書文法要略　一〇三
許學叢書　九五
曲亭馬琴の著述生活と思想の傾向　八八
玉篇　三
玉篇佚文　七四・八五
玉篇の研究　一〇七
虛字韻藪　八〇
虛字解　一〇一
虛字重語套　一〇一
虛字詳解　一〇一
虛字莊釋備考　一〇一
居住習俗語彙　六四
御定奎章全韻　七二・七八
御本聖語藏唐鶖阿毗達磨雜集論の古點について　一三
吉利支丹敎義の研究　一三
吉利支丹文學　一三
希臘語初步　二一・一三
希臘語と露西亞語との關係　一三・一四
ギリシア語文典　一三
ギリシア語文法　一三
ギリシヤ社會思想　一三
ギリシヤに於ける言葉と教育　三・一三
ギリシヤ文法提要　一三
ギリシヤ・北歐神話とその文明　一五
ギリシア・ラテン引用語辭典　一三
ギリシア・ラテン講座　一三
希臘・羅甸・佛蘭西・獨逸・露西亞・朝鮮六外國語講義　五
ギリシア・ローマ文學概說　一三
キリスト教思潮　一五
ギリヤク族に於ける外來語及び外來文化について　六八

禁忌習俗語彙　六四
銀行盜賊　二一〇
今古假字遣　吾
金壺字考　公五
近古の國語　三・二七
近古文學　九
近古文抄　二九
錦字箋　公二
「近世江戶語の語法」抄　四二・六五
近世解釋學　二七
近世國語文典　三
近世に於ける敬讓の一表現形式四二　三・二七
近世の國語（佐藤鶴吉）　三
近世の國語（中島唯一）　九
近世文學　五九
近世輸入服飾品と其名稱　八九
金石大字典　八九
金石文字辨異　二五
近代英語　二一・二五
近代英語の成立　二一・二五
近代英文學鑑賞　二一〇
近代英文教科書　二九
近體國文韻統　一三六
近代詩に表れた梵語・巴利語・佛教語　二九
近體文編　二九
欽定同文韻統　一三六
金文編　八九
金文餘釋　八九
金文餘釋之餘　八九
訓蒙用字格　一〇三

ク

草野氏日本文法　三
葛の根　四七
句雙紙抄について　一四・四一
奎章全韻　公五
敬讓表現　九五
經籍纂詁　六一
Kuni o Horoboru Kyôiku　一三三
蜘のすかき　三三
グリムお伽噺講義　二八
グレーボフ露西亞文法　三三
黑川眞頼全集「日本語學篇」　一四
軍記　九
群經音辨　七五
訓纂篇　公五
軍人青年討論演說五千題　六九
訓點復古　三七
訓點話法　一〇二
軍用日露會話　一三二

ケ

桂菴和尙家法倭點　三七
桂苑珠叢　八五
慶應年中漢字御廢止の儀に付き慶喜公に上る書　四六
敬語法及び敬辭法の研究　三・三二
敬語法と新語の心理　一九
敬語法の研究　一九
經史摘語　六九
形狀言五種活用圖　三
敬讓語について　四七
敬讓表現　一四・四一
經籍纂詁　九五
契沖の文獻學の發展と假名遣說の成長及びその交涉について　六一
經傳釋詞　五四
經典釋文　二八
經典熟字辨　三三
經典文字辨證書　一四
系統的獨逸文典　九
騶蕃語集　七五
桂本萬葉集の文字の考察　公五
形容詞・冠詞の研究　一三七
形容詞考　三七
形容詞と韻律　三七
形容詞の近世史　三七
形容詞の論（折口信夫）　二・六
形容詞の論（武田祐吉）　二・六
悲林一切經音義引用書索引　二
雞林類事麗言攷　三
ゲシタルトの社會理論　三
結詞例　三
下列を意味する琉球語の研究　三・二六
ケルト語學　三・二六
言苑　一四
言海　一九
現下の諸問題是非對抗熱辯集　六九
研究社英語學辭典　一一七
研究社英和商工辭典　一一七
研究社時事英語辭典　一一八
劍狂人上田秋成評同辨抄　二七・五
劍狂人抄　二七・五
言元梯　五九
言語（イエスペルセン）　一
言語（落合太郎）　一
言語（カツシラア）　一
言語（東北帝國大學言語學談話會）　一
言語一元說　一六
現行普通文法改定案調査報告ノ一　三
言語運動性と言語表象過程とに就いて　一
言語及び言語學　二
言語及び讀書の心理　一九
言語學概說（藤岡勝二）　一
言語學（保科孝一）　一
言語學（ミューラー）　一
言語學（メイエ）　一
言語學概說　一・二六
言語學概論（安藤正次）　一
言語學概論（小林淳男）　一・二二
言語學概論（神保格）　一九
言語學概論（新村出）　一
言語學概論（ヴアンドリエス）　一
言語學原論　一
言語學講話　二
言語學史（小林淳男）　二・二六
言語學史（トムセン）　二
言語學史上におけるシーボルト先生　二
言語學大意　二
言語學通論　二
言語學に於ける目的論　二
言語學方法論考　二
言語學より見たる日本語の地位　一六
言語學論文集　二
言語活動の諸相　二
言語活用抄　三
言語過程說の成立とその展開　七
言語形象學　二・七
言語形象學の成立　二
言語研究（金田一京助）　二・六七
言語研究（小林英夫）　二
言語研究（日本言語學會）　二・六
言語史綱要　二
言語史講話　三・二六
言語四種論　二七・三
言語社會學　三・二六
言語進步論　三
言語心理學（神保格）　三・二六
言語心理學（波多野完治）　三・九

諺語大辭典　一・三
言語地理學（江實）　三・二七
言語地理學（泉井久之助）　三
言語地理學（東條操）　三・一〇
源語梯　一九
言語的歷史　三
言語哲學（池上鎌三）　三
言語哲學（小林淳男）　三・九
言語哲學（濱田健次郎）　七・五九
言語哲學（與水實）　三
言語哲學の諸問題　三
言語と教育　三
言語と思考　三・二五
言語取調所報告　七〇
言語に映じたる原人の思想　六七
言語における水準轉移　三
原語による臺灣高砂族傳說集　七三
「言語の起源」附記　三
言語の教育的環境に就いて　三
言語の世界と思惟の世界　三・七・二六
言語美學（金原省吾）　三・九
言語美學（小林英夫）　三
言語美論　三
言語・文學論纂　三
言語文化體系　三
言語文化と國語教育　一四
原始言語に於ける意味の問題　一
元始日本語　二三・五九
源氏物語　二六
源氏物語から見た平安朝時代の形容詞　三三
源氏物語の價値　三三
源氏物語の敬語小考　三三
現代英國大衆文學　二一
現代英語のシンタックス　二一・二三
現代英語の文法的變化　二三・二三
現代英米文學雜誌の紹介　二一
現代教育と國語教育　九
現代高等國文選　二九
現代晃語的研究　二〇
現代語大辭典　一九
現代語の表現　二・四二
現代語法概論　四三
現代詩　九
現代支那語科學　一〇三
現代支那語學　一〇三
現代支那語公式會話　一〇七
現代支那語の發音指導　一〇七
現代詩の歷史的概觀　二九
現代社會と國語教育　九
現代獨逸短篇小說　一三〇
現代に活用すべき演說と式辭　六八
現代日語會話　一〇七
現代日本語法の研究　四二
現代日本語法の自律性　一〇
現代日本語の表現と語法　四二
現代の國語　七
現代文　九
現代文學　九
現代文學新選　九
現代文學讀本　三三
現代文新抄　三三
現代文選　三三
現代文典　二八・四二
現代文と外來語　七二・七八
現代文讀本　二一・四〇
現代名演說集　七八
現代名士大討論集　一三〇
元朝祕史　六八
元朝祕史續集　語彙　九
語彙及び綴方の問題　二四・二五
語彙活語指掌　一〇三
語彙考　一〇七
語彙正續索引　一〇七
語彙の研究　二
語彙の變遷　二
語彙別記　二
語彙論集　二
古韻研究　一〇七
古韻三論　四二
五韻次第　一〇
五音集韻　四二
古韻總論　七
古韻通說　九
古韻標準　九
興亞新辭典　九
廣韻　二九
廣韻指　二九
廣韻校勘記　一〇五
廣益會玉篇　三三
廣益字彙重實記綱目　一四
廣益正字通　二九
廣雅　七〇
公會演說法　七〇
廣雅疏證　一〇九
廣雅疏證補正　一〇九
皇漢歷代字音一斑　三
校譌異體字辨　二五
康熙字典　二五
高級獨文解釋法　二四・二五
孝經音義　三三
廣金石韻府　二七・五七
皇國小文典　三六
皇國文典　三・二七
口語辭典　二八・五九
口骨學　三三
口骨學商史編　六二
口骨學文字編　六二
口骨學書錄解題　九六
口骨地名通檢　九六
口骨年表　二七・五二
口骨文斷代研究例　七九
口骨文編　九六
口骨文字研究　九六
口骨文字理惑　九六
口語と文語（安藤正次）　一九
口語と文語（西脇順三郎）　二四・二五
口語の研究　四二
口語文の發達　二八
口語法　四二
口語法精說　二七・四二
口語法調査報告書　六三
口語法取調に關する事項　四二
口語法分布圖　六三
更始一新の秋聽け！この主張　六九
この卓見　九六
江氏音學敍錄　公五
校松江本急就篇　公五
廣辭林　一九
候鯖一臠　二四・八二
合聲易字　八九
攷正字彙　七六
考聲韻徵　八九・九九
廣蒼　公五
交泰韻　九六
攷定中原音韻　九六
鼇頭韻學圖機活法　八〇
高等英文法　二三
鼇頭音釋康熙字典　七五
高等學校專門學校入學準備英語解釋自在　二三
高等漢文　一〇〇
高等漢文講義　一〇〇
高等漢文讀本　一〇〇
鼇頭訓點支那時文革命始末　一〇五
高等國文　二九

図書館と民衆教育（渡辺徹）　二六
図書館と図書館史（和田万吉）　一〇
図書館と和歌　一九
図書館と学校　一九
図書館と家庭（久保猪之吉）　一九
図書館と児童読物（鈴木三重吉）　一九
図書館と児童読物（巌谷小波）　一九
図書館と児童読物（石井研堂）　一九
図書館と児童読物（楠山正雄）　一九
図書館と児童読物（佐々木指月）　一九
図書館と児童読物（佐藤義亮）　一九
図書館と児童読物（佐藤義亮）　一九
図書館と児童読物（佐藤義亮

國語文化講座　二八
國語文化より見た江戸文學　二九
國語文章論　二七
國語文法　一〇六
國語文法篇　一五
國語便覽　八
國語法概說　三四
國語法階梯　三四
國語方言概說　六四
國語法講說　九・三四
國語法調査報告書　四二
國語法に於けるsyntaxの發達について　三四
國語法分布圖　四二
國語法要說　二七・三四
國語法論攷　三四
國語問題覺書　一七・二六
國語問題正義　一七
國語問題と英語科問題　一七・二五
國語問題と國語教育　二一・一七
國語問題と綴り方教育　一四
國語問題について　二六
國語問題年表　二六
國語問題の展望　二六
國語問題篇　一七・二六
國語略史　一三
國際語エスペラント　六
國際語エスペラント講義　六
國字及び國文に關する論說　一七・四六
國辭解便蒙　五九
國字改良意見　四六
國字改良ノ順序トシテ左橫書ノ實行ニ就テ　四六
國字改良卑見　四六
國字改良論纂　四六
國字研究　四六
國字考　二八・四四・八九
國字國語改良論年表　一七・四六
國字國語問題文獻目錄　一七・一八・四六
國字國文改良建議書　一七・四六
國字としてのカナ　一四
國字ニ關スル眼科學上ノ二三ノ研究　四七
國字ニ關スル眼科學的研究講演錄　四六
國字の將來　四七
國字ノ縱書キ橫書キニ關スル小實驗　四六
國字問題　二七・四七
國字問題の解決　四七
國字問題の研究　四七
國字用法變摩音符　五五
國書辭典　二〇
國體觀念の消長　一四
國定小學讀本につきて　三一
國定讀本文章の研究　三一
國定標準ローマ字綴方決定ニ就イテ　四七・四九
國定ローマ字綴り方創定の目標　四六
國風暗黑時代に於ける女子をめぐる國語上の諸問題　三四
國文　七六
國文解釋法　四六
國文學史要　四六
國文學書目要解　四六
國文學讀本　四六
國文學の文藝學的研究（關根正直）　四六
國文教科書（吉田彌平）　八五
國文教科書（國語研究會）　一七・四六
國文句讀法　一四
國文講義　五九
國文國語の話　五一
國文釋義　三四
國文成語辭典　三四
國文選　四六
國文叢話　四六
國文叢書　四六
國文提要　五一
國文讀本（國語研究會）　七五
國文讀本（新保寅次等）　一〇一
國文法解義　一四
國文法講義　三四
國文法と音象徵　九六
國文法要義　三一
國寶古鈔本玉篇　四四・五五
國民言語文化の統一性　八五
國民生活と國語教育　二七
國民精神と綴方教育　一一
國民性の反映としての國語　一六
小九郎次太九郎次　一三
吾訓悉曇秘書　七一
語形と語音　五一
語原學式假名遣新書　五四
語源研究　七一
語原雜話　五九
古言清濁考　八一
古言梯　五一
古言譯通　二〇・五五
古言類韻　三〇
古語の新研究尊稱篇　五〇・五五・六一
古語の清濁に就きて　六一
心の青春　五一
古今韻會擧要　三
古今韻會擧要小補　七九
古今韻準　九六
古今韻略　九二
古今訓點抄　七九
古今字詁　五一
古今圖書集成理學彙篇字學典　八五・八九
古今文字表　七三
古今類聚歌林　八九
顧氏音學五書　九六
古事記歌謠に於ける假名の通用に就ての一試論　四四・五五
古事記に於ける特殊なる訓法の研究　八三
故事釋義　七六
故事熟語字典　八一
故事熟語詳解　八一
故事熟語大辭典　二〇
故事新編　八一
故事成語大辭典　八五
故事大辭典　八一
故事本辭經　八一
誤似明辨新案漢字典　八五
五車韻瑞　二〇
胡沙考　六一
誤寫の話　五九
五十音義訣　五一
五十音小說　三四
五十音圖　五一
五十音圖說　五一
五十音圖といろは歌　二八・五一
五十音圖に於ける「エ」の音價　五一
五十音圖の歷史　五一
古鈔本玉篇　七五
古書虛字集釋　一〇一
古聲調　九九
古代印度に於ける語源的說明法に就いて　一三六
古代英語　二一・二五
古代英語文法　一三
古代解釋學　二七
古代國語語源論と古傳說　五九
古代國語の研究　一三
五體字書　八九
古代支那の吳語吳音に就いて　九六
古代釀酒雜考　五九
古代中世英語初步　二五
古代の國語　一三
古代文化論　一三六
古簡彙編　八九
古簡篇　八九
古簡篇建首檢字　八九
語調の心理的表出　五一
國會論法　六八
國家語の問題について　三
國華集　八二
國漢　二四
克屈文典直譯　七一
古典及古典教育について　一三
古典式ローマ字に依る國語の綴方分類表　四七
古典註釋に現れた語學的方法　一六
古典と古語　一五
古點譜　五八
古典文獻學史　一二四
悟道　一三
語頭グライド臆說　一三・五九
言靈開書　五一
言靈信仰と上代文藝意識　一六
言靈傳開書　七一
言靈德用　一五
言靈しるべ　一三
言靈妙用論　八九
言靈或問　九六
詞遣合鑑　五九
ことはの泉　一三
言泉　一三六
ことばのいのち　八九
言葉の意味と理解　八九
詞之緒　八九
詞のかけはし　八九
詞通路　五一
詞の經緯圖解　六八
ことばの講座　三
詞の栞　八二
詞の栞打聽　七一
詞の重波　一三
詞葉新雅　一三
言葉の園　九
詞直路　一三
辭玉襷　四七
古典註釋に現れた語學的方法　一六
古典と古語　一五
詞玉橋　一五
詞捷徑　五八
詞乃橋立　一二四
ことばのはやし　一三
詞のもとすゑ　一三
詞のやちくさ　五一
詞八衢　一六
詞の八衢講義　七一
詞八衢語釋　三五
詞の意味の體系的組織は可能であるか　三五
詞の本意と語感　一六
古文官書　八五・八九
古文雨可　一〇一
語文論叢　三
五方元音　七九
語法指南　三五
語法の心理と文章の口語化　一一
語法の任務に就いて　三五
語法の變遷史　一一・三五
こぼれ松葉　一四
古本節用集の研究　一八
古名錄　二四
誤用の文法　三
コリヤード日本文典の成立　三五
語林集成　一八
語林類葉　一〇
コロキュアル・ジヤパニーズ　二三五
婚姻習俗語彙　六四
混効驗集　三五
混効驗集に就きて　二六・六七
金剛寺藏實筏印陀羅尼を因由とする平安朝時代の草假名文學との關係　四四
金光明最勝王經註釋の古點について　五八
作業教育と國語教育　二四
溯源語彙　一二三・一二五
今日の英語と米語　一二五
コンパニオン英和新辭典　二一七
根本的革命之日本語法　四〇
Communication and Interpretation　一四

サ

在外第二世の國語教育　一四
最近英文學研究　一三
最近英文傑作集　一三
最近韓國起業案內　一四
最近の國語運動　一四
歲時習俗語彙　六四
最新英語會話作文　一三五
最新支那語解釋法　一〇三・一〇七
最新支那語大辭典　一〇五
最新百科社會語辭典　一三
最新露語讀本　一三三
最新露和辭典　一〇
西大寺本金光明最勝王經の白點について　五八
財團法人帝國ローマ字クラブを設ける趣意書　四七
齋藤新標準英文典　一三三
在留第二世の日本語教育　一四
The Psycology of Language　一三五
鮭喜艸　一〇
作業教育と國語教育　一二八
溯源語彙　三三
作品の持つ生理　一二
作文筌諦　一二
サツカレ「虛榮の市」　一三
雜字　八五
雜字解詁　八九
雜字指　二四
撮壤集　一〇・八一
雜字類編　一一八
薩摩辭書　一〇
The Treatment of *ea* before *l*+Consonant, in the South-Eastern Dialects of English　三
サミュエル・バトラーの「萬人の路」　一三
The youth　一三六
三韻聲彙　七九
三韻通考　二四・七九
「三韻通考」及び「增補三韻通考」に就いて　二・七四
三音四聲字貫　二五・七六
山響册子　六三
參考古語辭典　一〇
參考書目（石黑修）　二六
參考書目（眞下三郎）　二六
三語字解　一〇一
三語便覽　五
三宅典引得　七四
三省堂英和大辭典　一二八
三著　八五

サンダースユニオン第四讀本　註釋　一三
三段式練磨式國語讀本の學習　三
三段式練磨式讀方の自習と準備　三
三人の仲間　三
三人姫　八五
纂文　一〇
纂文叢刻　八五
纂要　二・六七
蠶蛹の琉球語

シ

詩　二九
字彙　七六
詩歌のリズム　一〇
字彙數求摩　六七
C・ブロンテイの「ジェイン・エウ」　一三
西勃兒篤・宇多川榕庵尺牘　一三五
シーボルト先生とアイヌ語學　六七
シーボルト先生のアイヌ語研究　六七
シーボルトとアイヌ語學　六七
詩韻異同辨頭書　八〇
詩韻合璧　八〇
詩韻含英　八〇
詩韻集成　八〇
詩韻珠璣　八〇
詩韻精英　八〇
シェークスピア聖書の語法　一三・一三
シェイクスピアの「ハムレット」と「ヘンリ四世」　一三
シェイクスピアの「リア王」と「嵐」　一三
ジェイン・オーステンの「自負と偏見」　一三
詩脈　八〇
辭苑　八〇
デオゴネス・ラエルチオス　一三四
字音假名遣便法　三五
字音假名遣問題　三五
字音假名便覽　三五
字音假字用格　三五
字音假字用格辨誤　三五
字音新假名遣に就いて　三五
字音問答案　三五
爾雅　八三
辭海　七六
爾雅音義　八三
爾雅漢注　八三
爾雅義疏　八三
爾雅匡名　八三
字格　八三
字學舉隅　八五
四角號碼檢字法　八九
字學七種　九〇
詞格對照　三三
視覺文法と聽覺文法　八〇
爾雅經注集證　二〇・八一
爾雅箋爲文學注　九六
滋賀縣方言集　九六
爾雅校勘記　九六
爾雅古義　九六
爾雅顧氏音　九六
爾雅釋地四篇注　九六
爾雅謝氏音　九六
爾雅小箋　八〇
爾雅新義　八〇
爾雅圖贊（瓶古堂彙刻書）　八〇
爾雅圖讚（玉函山房輯佚書）　三五
爾雅正義　三五
爾雅施氏音　三五
爾雅疏　三五
爾雅草木蟲魚鳥獸釋例　三五
爾雅孫氏音　三五
爾雅注疏　八三
爾雅郭注　八三
爾雅裴氏注　八三
爾雅樊氏注　八三
爾雅補郭　八三
爾雅蒙求　八三
爾雅翼　八五
爾雅李氏注　八九
爾雅劉氏注　八九
史漢字類　九〇
枳橘易土集　三三
字鑑　九六
詩經協韻考異　二五・二六
詩經叶韻辨　九六
字鏡集　二五・二六
時局下の綴方教育　九六
時局と國語教育　九六
字源　九六
辭源　九六
試驗と學習　一四
至元譯語に就いて　一〇九
思考と言語との發生的研究　三
詩語解　八五
字志　四四
字指　八五
「侍」字訓義考　六一
子史精華言語部　八三
自修英作文　一三四
自修英作文通解　一三四・一三五
自修英文典　一三三
辭書　一八・二八
紙上ラジオ講座基礎ロシヤ語　一三三
辭書を中心とせる日歐文化交涉史料展覽會寫眞　六
辭書を中心とせる日歐文化交涉史料展覽會陳列品目錄　六・一七
四書五經脣補文選字引　二六・七七
字書誤讀　八五
字子列位　九四
時事鎔語辭典　一三
靜岡縣方言誌　六五
四聲彙辨　九六
四聲解環　九六
四聲五音九弄反紐圖　九六
四聲國字通　九六
四聲圖　九六
四聲切韻表　九六
詩聲分例　九六
詩聲類　九六
四聲聯珠　一〇七
詞詮　一〇一
地藏十輪經元慶點　三四
詞艸小苑　六一
詞草正採鈔　六一
四體書勢　九〇
七音譜　九六
史籀篇　九〇
史籀篇敍錄　九〇
史籀篇疏證　九〇
辭通　七六
實業學校漢文教材備考　九九
實業學校國語教科書　二九
實業教育文法教科書　四〇
實業新讀本　三〇
實驗英語音聲學　一一〇
實驗雄辯學　六六
實字解　一〇一
實習炙語學　一三六
悉曇口訣　一三六
悉曇建立私記　一三六
悉曇藏續開書私記　一三六
悉曇三密鈔　一三六
悉曇字記　一三六
悉曇字記講義　一三六
悉曇字記捷覽　一三六
悉曇字記註玄義　一三六
悉曇撰書目錄　一三六
悉曇藏　一三六
悉曇相通說と活用研究に及ぼせる其の影響　一五・三一
悉曇竝摩明等書目錄　一三六
悉曇の解說　一三六
悉曇反音和解抄　一三六
悉曇摩多體文　一三六
實地活用通俗スパニシ（イスパニヤ）會話　一二四
集注爾雅　八三
實用英語　一二四・一二六
實用英作文教本　一二五
實用演說法　六九
實用沖繩語便覽　六七
實用韓語學　七二
實用國文講義　七一
實用獨逸文法書　二九
實用日獨會話　二九
實用日本文典　三六
實用本位新しい時代語の字引　一八
實用馬來語辭典　一三六
實用文字便覽　一〇一
實用和英新辭典　一二九
史的言語學語學に於ける比較の方法　四
辭典　二
字統　八五
兒童語彙　四・一
兒童語に於ける「言ひ誤り」について　一一
兒童語の發達段階について　一〇
兒童語の表現　四・七
兒童詩概說　一〇
兒童における時間的・論理的關係をあらはす語の用法について　三六
兒童論　九
支那應用文典　一〇一
支那音韻斷　九六
支那學　一一〇
支那今體文讀本　一〇六
支那言語學概說　七三・一〇四
支那言語學概論（王力）　七三・一〇四
支那言語學概論（カールグレン）　七四・一〇四
支那言語組織論　一〇四
支那現代文　一〇四
支那現代文釋義　一〇六
支那現代文捷徑　一〇四
支那現代文の所謂新式標點符號の得失を論じ併せて最新式標點符號の採用を提唱す　一四・一一〇
支那語　一〇四
支那語異同辨　一〇四
支那古韻考　一〇四
支那古韻史　一〇四
支那語會話讀本　一〇四
支那語會話篇　一〇四
支那語假名字引　一〇
支那語教育における ローマ字の利用　九
支那語教育の理論と實際　一〇三・一〇四
支那語教典　九六
支那語原研究法の一考察　一〇四
支那語原研究法の一試察　一〇四
支那語現代文の解釋　一〇四
支那語講義　一〇四
支那語講座　一一〇
支那語國音表　一〇六
支那語辭彙　一〇四
支那語四週間　一〇五
支那語辭典（井上翠）　一〇六
支那語辭典（宮島吉敏・矢野藤助）　一〇四
支那語助辭用法　一〇四
支那語正音發徵　一〇四
支那語第一步　一〇六
支那語大辭彙　一〇四
支那語大辭典　一〇四
支那古代文字研究　一〇四
支那語讀本　一〇四
支那語中の西洋語　一一〇
支那語動詞形容詞用法　一〇六
支那語獨習書（有馬健之助）　一〇四
支那語獨修書（原口新吉）　一〇四
支那語獨習書（宮島大八）　九六
支那語の系統　一〇四
支那語の現在と將來　一〇七
支那語發音篇　一〇五
支那語獨案内　一〇四
支那語文法　一四
支那語文法詳解　一〇四
支那語文法科書　一〇四
支那四聲字典　一〇四
支那語文教科書　七四
支那語文講義　一〇四
支那語文講義全集　一〇六
支那語文速知　一〇四
支那語文讀本　一〇四
支那語文評釋（青柳篤恒）　一〇六
支那語文評釋（青柳篤恒・宮島吉敏）　一〇四
支那時文寶鑑　一〇五
支那商業文　一〇五
支那の國語統一問題　一〇六
支那の小學教科書　一〇〇
支那の方言　一〇四
支那の文字及び言語に現れたる倫理思想　九〇
支那文典（大槻文彦）　一〇五
支那文典（廣池千九郎）　九〇
支那文法書拔閱目錄　一〇四
支那文字解說　一一〇
支那文字學　一〇六
支那文字の研究　九〇
支那文字の創作者と其の製作の法則　九〇
詩に關する三つの問題　一〇
自邇集平仄編四聲聯珠　一〇七
詩の藝術學的研究　一〇
司馬溫公切韻　七九
師範大學講座國語教育　九
指徵韻鏡　九六
指徵韻鏡私抄略　九六
志不可起　二八・六六
志布志方言の研究と鹿兒島方言文獻目錄　六六
事物異名　八三
事物異名類編　二〇・八一
事物異名錄　八三
時文研究資料　一〇六
時文類纂　八〇
詩法掌韻大成　九六
詩本音　九六
シャーウッド・アンダスンの「ワインズバーグ・オハヨ」　一一三
社會學より見たる言語　四・九　八五
釋常談　一〇七
釋否定詞弗不　一〇七
釋名　七四・八四
釋名疏證　八四
釋毛詩音　九六
借用語論　一一四
社交上の談話と演壇上の雄辯　六九

實用和英新辭典　一二九
史的言語學語學に於ける比較の方法　四
辭典　二
字統　八五
兒童語彙　四・一
兒童語に於ける「言ひ誤り」について　一一
兒童語の發達段階について　一〇
兒童語の表現　四・七
兒童詩概說　一〇
兒童における時間的・論理的關係をあらはす語の用法について　三六
兒童論　九
支那應用文典　一〇一
支那音韻斷　九六
支那學　一一〇
支那今體文讀本　一〇六
支那言語學概說　七三・一〇四
支那言語學概論（王力）　七三・一〇四
支那言語學概論（カールグレン）　七四・一〇四
支那言語組織論　一〇四
支那現代文　一〇四
支那現代文釋義　一〇六
支那現代文捷徑　一〇四
支那現代文の所謂新式標點符號の得失を論じ併せて最新式標點符號の採用を提唱す　一四・一一〇
支那語　一〇四
支那語異同辨　一〇四
支那古韻考　一〇四
支那古韻史　一〇四
支那語會話讀本　一〇四
支那語會話篇　一〇四
支那語假名字引　一〇
支那語教育における ローマ字の利用　九
支那語教育の理論と實際　一〇三・一〇四
支那語教典　九六
支那語原研究法の一考察　一〇四
支那語原研究法の一試察　一〇四
支那語現代文の解釋　一〇四
支那語講義　一〇四
支那語講座　一一〇
支那語國音表　一〇六
支那語辭彙　一〇四
支那語四週間　一〇五
支那語辭典（井上翠）　一〇六
支那語辭典（宮島吉敏・矢野藤助）　一〇四
支那語助辭用法　一〇四
支那語正音發徵　一〇四
支那語第一步　一〇六
支那語大辭彙　一〇四
支那語大辭典　一〇四
支那古代文字研究　一〇四
支那語讀本　一〇四
支那語中の西洋語　一一〇
支那語動詞形容詞用法　一〇六
支那語獨習書（有馬健之助）　一〇四
支那語獨修書（原口新吉）　一〇四
支那語獨習書（宮島大八）　九六
支那語の系統　一〇四
支那語の現在と將來　一〇七
支那語發音篇　一〇五
支那語獨案内　一〇四
支那語文法　一四
支那語文法詳解　一〇四
支那語文法科書　一〇四
支那四聲字典　一〇四
支那語文教科書　七四
支那語文講義　一〇四
支那語文講義全集　一〇六
支那語文速知　一〇四
支那語文讀本　一〇四
支那語文評釋（青柳篤恒）　一〇六
支那語文評釋（青柳篤恒・宮島吉敏）　一〇四
支那時文寶鑑　一〇五
支那商業文　一〇五
支那の國語統一問題　一〇六
支那の小學教科書　一〇〇
支那の方言　一〇四
支那の文字及び言語に現れたる倫理思想　九〇
支那文典（大槻文彦）　一〇五
支那文典（廣池千九郎）　九〇
支那文法書拔閱目錄　一〇四
支那文字解說　一一〇
支那文字學　一〇六

社交用語の字引　二〇
寫實主義と審美主義　二一五
Japan Esperanto　六
Japan Times Student Edition　二三六
Shall, Will の研究　二三・二三
シャルルバイイ生活表現の言語學　四
洒落本に現れたる方言の考察　六四
集韻　七九
集殷虚文字楹帖　九〇
集韻考正　七九
周易王氏音　九六
周易徐氏音　九六
周易李氏音　九六
集會演說法　六九
集會條例類纂　六九
宗教學上の言靈私考　二五
集古印纂　九〇
集古印纂增補六書通　九〇
十三經音略　九〇
十三門部分音訓正誤いろは節用集大成　一八
修辭法（英文學に於けるその實踐の跡）　二二
周秦漢三代の古紐研究　九七
修正增補朝鮮語辭典　七三
周代古音考　九七
周代古音考韻徵　九七
袖中抄　六二
袖珍英和節用集　二九
袖珍石版和漢雅俗いろは辭典　一八
袖珍獨和辭典　一三一
袖珍獨和新辭典　一三一
袖珍略韻大成　二四・八〇
重訂冠解助語辭　一〇三
修訂大日本國語辭典　三一
重訂六書通　九四
聚分韻略　二四・七九
祝賀弔祭文例　六九
熟語慣用句辭典　二八
熟語構成法から觀察した語根論の斷簡　三六
熟語集成漢和大辭典　七四
熟語の研究（特に身體の部分的名稱を應用したるものに就て）　二・六二
熟語本位英和中辭典（岩波書店）　二七・二八
熟語本位英和中辭典（日英社）　二七
熟語六萬六千辭典　八
縮刷大字源　七六
縮刷大字典　七七
祝辭演說一千題　六九
祝辭演說法　六九
縮本補正朝陽字鑑精萃　九三
受驗應用增補漢學知要　一〇二
受驗者練習用獨文和譯例題集　一三〇
受驗基礎單語集　一三六
種々ナル活字（漢字）書體ノ可讀性ニ就イテ　一七・一八
首書大廣益四學玉篇和訓大成　二五・七六
常語叢　六二
聖語藏御本中觀論の古點について　九七
聖語藏御本唐寫阿毗達磨雜集論の古點について　五八
上古の國語　一三・一七
上古文學　九
城砦　三二
匠材集　二二
使用雜字全書　八四
ヂヨーヂ・エリオットの「サイラス・マーナー」　一三
ヂヨージ・エリオットの作品に用ひられたる英國中部地方言の研究　一二六
小爾雅　八三
小爾雅義證　八三
小爾雅訓纂　八三
小爾雅疏證　八三
ヂヨーヂ・ムアの「一青年の告白」　一三
尚書及び日本書紀鈔本に加へられたる乎古止點に就て　五八
象脊家言　一〇五
小說　二九
ヂヨウゼフ・コンラッドの「水仙丸の黒ん坊」と「偶然」　一三
上代假名遣の解說と其應用　五五
衙口發抄　二七・五〇
尚古假字用格　五五
常語叢　二〇・八〇
聖語藏御本中觀論の古點について　五八
授幼難字訓　一〇三
周禮徐氏音　三六
周禮戚氏音　九四
周禮聶氏音　三六
周禮鄭氏音　三六
周禮李氏音　三六
周禮劉氏音　三六
俊寧開書　三六
純漢文習得の準備について　一三
春秋左傳徐氏音　三六
純正國語讀本　二四・八〇
純正國語讀本編纂趣意書　三〇
小學中等讀本　三〇
小學讀本編纂史　九・三一
小學に就いて　一五・七四
小學日本文典（大槻修二）　三六
小學日本文典（田中義廉）　三六
小學日本文典入門　三六
小學文法書　三六
證歌釋義　八
小學科用日本文典　三六
小學校高等科に於ける讀方指導　一〇・三一
小學校に於ける書方教育　一〇
小學校に於ける聽方　一〇
小學校に於ける高學年綴方　一〇
小學校に於ける高學年讀方　一〇・三一
小學校に於ける國語教育　一〇
小學校に於ける中學年讀方　一〇・三一
小學校に於ける綴方（低學年）　一〇
小學校に於ける低學年讀方　一〇・三一
小學校に於ける話方　一〇
上級佛語學　三七
商業英語（商業英語社）　三六
商業英語（有朋堂）　三六
商業英語の研究　二一
商業公用社交短信英文書翰の要訣　二四
捷見　二六・九七
疊語　七
紹興重雕大藏音　九

上代國語概說　一三
上代國語法の分化性の一考察　三六
上代に於ける假名遣　五五
上代に於ける漢字の用法　四四
上代に於ける「所」字の特殊的用法に就いて　一四・四四
上代に於ける特殊假名遣の本質　五五
上代の國語國文學　一五
上代文法史概說　三六
小タイムス　二六
詳注小學入門　七一
象徵と言語的表現　一一
詔勅類纂觀辭演說一千題　六九
莊內語　四二・六六
莊內語及語釋　四二・六六
莊內方言攷　四二・六六
小北京人　一〇七
抄物の語法　四三
常用漢字・新假名遣及び文體統一問題について　一〇
逍遙子の朗讀說　五
淨瑠璃　九
淨瑠璃語の特異性　二九
昭和の濱荻　六五
昭和名演說集　七
初學實用佛蘭西文典　二七
初學獨習英語速成　二四
初學日本文典　三六
初學年の教授とローマ字　二四
初學必携故事釋義　七六
諸家國語教育論叙說　九
諸家點圖　五
書紀に見えてゐる「之」字について　三六
初期耶蘇教徒編述日本語學書研究　一八
職業指導と國語教育　一〇
植民地文學に就いて　五五
食用の寶石　二四・八三
書契淵源　二六
舒言三轉例　二一
書言俗解　六九
助言例　三六
諸國語の系統　四
諸國方言索引　六四
助語辭　一〇二
助語辭象　一〇二
女子英語教育論　一一四
助辭音義考　五〇・六二
助字雅　一〇二
助辭考　一〇二
助字考證　一〇二
助辭頌　三六
助字詳解　一〇二
助詞と助動詞の研究　三六
助詞の考察　三六
助詞の未決定性に就て　三六
助字辨略　一〇二
助辭本義一覽　三六
助辭譯通　八四
助字用法　八四
女眞語研究の新資料　四七
女眞譯語　四四
初等印度語研究　八三
助動詞「き」の連體形　八
初等支那語作文　三六
初等獨逸語研究　三
初等獨逸語講話　一〇七
初等獨逸文法　八
初等日本文典　二七
初等佛蘭西語獨修書　一八
初步支那語獨修書　五八
初步の泰國語　四四
諸名家大熱辯集　七七
ヂヨン・ドス・パソスの「北緯四十二度」と「一九一九年」　二
ヂヨン・パニヤンの「天路歷程」　二
字林　一一四
辭林　三六
詞林韻釋　一〇七
詞林三知抄　一〇七
詩林典腋　一〇七
詩林典腋頭書　三六
シルレルの言語觀　一〇七
詩聯大成以呂波韻　三六
字鑑　一〇七
史話　三六
視話應用音韻論　一〇四
視話應用清國官話韻鏡音字解　四四
視話音字發音學　一〇五
視話法　一〇五
新案漢字典　一〇八
新案文法正誤法　四〇
新英語自修書　一〇六
新英和大辭典（岡倉由三郎）　一一八
新英和大辭典（神田乃武等）　一一八
新乙姫字　四四
新加九經字樣　七四・七六・七七
新假名ずかい　五五
新假名遣と常用漢字の字引　五五
新假名遣に就いて　五五
新刊校正增補圖機韻學活法全書　一〇二
新刊助字考　七〇
新刊節用集大全　二一
新刊多識編　二四
新刊倭玉篇　一〇九
成吉思汗實錄　一〇九
成吉思汗實錄續編　一〇九
眞行草大辭典　九〇
シンクレア・ルイスの「エルマギヤントリ」　一一三
新興國語學序說　八
新興日本大熱辯集　七〇
新語及神話小解　一九・五九
新語學獨案內　一一六・一三
新古今集歌風に於ける感傷性と象徵性とに就いて　一四
新刻事物異名　八三
清國時文類纂　一〇六
新刻釋名　八四
新國字論　四七
神國神字辨論　四四
新刻增校切用正音鄉談雜字大全　八三
新國文法　三六
新語辭典　三
清語讀本　一〇七
新語篇　八
新語論　二七
新コンサイス英和辭典　一一八
眞言宗の乎古止點　五八
神字彙　四四
新字鑑　七七
新式いろは引節用辭典　三
新式辭典　二
新式獨和大辭典　一三・一三二
新式日本文典原理　三六
新式日本文法　三六
新式日本ローマ字論　四七
新式佛語提要　一一七
新時代式辭挨拶例　六九
新時代卓上演說集　七〇
新字典　七七
新支那語會話捷徑　一〇五
新支那大辭典　一〇四
新支那の言語　一〇四
新支那の文學　一〇四
神字日文傳　四四

新修漢和大字典　七
新集古文四聲韻　九
新集初等ロシア語讀本　一三
新集蔵經音義隨函錄　九
新修龍龕手鑑　大
尋常小學自習讀本　三
尋常小學讀本　三
清人適用日本語典　四
新制中等國語讀本　三
眞正能辯精法　六
新撰大阪詞大全　二六・六六
新撰假字遣　五
新撰漢文讀本　一〇
新選現代文　三
新鐫校正增補字林玉篇大全　二六
新撰國語讀本　三
新撰國法　三
新撰國文典　三
新撰國文講本　三
新撰字鑑　二五・二六・七
新撰實業讀本　三
新撰字林玉篇　七
新撰中等國文讀本　三
新選獨逸文典　三
新撰日本文法教科書　四
新撰大和詞　三
新撰和英辭書　一九
新撰和獨字彙　三
新增說文韻府群玉　八
新增大和詞大成　二
眞草倭玉篇　九
新體國語學史　二
新體國語教本　一三
新體支那時文綱要　九
神代字辨　大
新體中學漢文教程　三
新體中學國文教程　三
シンタクスの短路的傾向　四一
新定教科日本文典　三
新定中等國語讀本　三
寢殿造殿舍考　六
人名の普通名詞化　三
新撰英和辭典　一九
新撰漢和大辭典　一〇
新撰大方廣佛華嚴經音義　一〇
新撰註解和獨辭典　三
新撰無雙英和辭書　一〇
新撰和英辭典　三
親鸞上人の寫語法　三
人類と言語　一三
神話　一
新和英大辭典　一〇
新和獨辭典　一〇
新和佛辭典　一〇
神話文學　一〇

ス

水上語彙　一〇
隋唐音圖　一〇
スウヰントン英文典直譯　一〇
數詞から見たアイヌ民族　七
數詞に就いて　二
すうちうき　一四・六七
圖解辭典　五
スケッチブック註釋　三
スコット湖上之佳人詳解　三
スタンダード和英大辭典　一〇
ステーエンフォルの窟　一〇
Stevenson の文體　三
ストロング氏言語史綱要　二
スパニシ（イスパニヤ）會話　一四
西班牙語會話　一四
西班牙語會話篇　一四
西班牙語四週間　一四
西班牙語動詞字彙　一四
スペンサー氏文章哲學　二四
スペンサーの「フェアリ・クヰイン」　一三
スミス都へ行く　三
スラヴ語比較文法　五
スラング・古語及び方言　一二・一六

セ

聲韻考　九
聲韻叢說　九
正音　七
清音・濁音の本質　一〇
西夏國書字典音同　一〇
西夏助辭攷略　一〇
生活表現の言語學　四
靜嘉堂文庫本華夷譯語中女眞譯語　一〇
正義の鏡　一三
正誤假名遣　五
正語假字編　四
成語辭要　一〇
誠齋殷虛文字　九
誠齋殷虛文字考釋　三
政治學術演說達辯法　六
政治經濟佛蘭西讀書文法　七
正字通　五
誠實論天長點　五
聖書の英語　二六・三
正字類音集覽　九
精神分析とイギリス文學　二
清石問答　六
正俗字辨　九
正則ローマ字講習錄　四
清濁音　五
齊東俗談　四
西南亞細亞言語の系統　一三
西日辭典　一四
青年英文學叢書　三
青年討論大會　六
青年雄辯集　七
西番譯語　七
生命の日本字　一〇
西洋演說軌範　六
西洋假字必讀　三

西洋語と國語　二七・五九
西洋字原考　一五
西洋思想と教育　八
西洋人によつて蒐集せられた早い時代の朝鮮語彙　七二
西洋討論軌範　六九
西洋郵便切手の話　一四
聲類　八五・八五
聲類表　九七
西和辭典　一四
セオドア・ドライサアの「ジェニイ・ゴルハアト」　一二
世界語　六
世界語讀本　六
世界商賣往來　一六
世界大雄辯物語集　六九
世界的日本語　八
世界に於ける日本語の發展　一四
世界文字學　四
切韻考　九七
切韻指掌圖　九七
切韻表標　九七
說雅　九二
殺三魔娑釋考詳訣　一五
殺三魔沙釋未詳訣義談　一五
節々深義を含んで全體はさりと就いて　九
說文易檢　九〇
說文引經攷　九〇
說文音均表　九〇
說文解字　七四・九〇・九
說文解字韻譜　九
說文解字斠詮　九
說文解字義證舉要　九
說文解字舊音　九
說文解字句讀　九
說文解字繫傳　九
說文解字詁林　九
說文解字詁林補遺　九
說文解字索隱　九
說文解字述証　九
說文解字序（許愼）　九
說文解字序（章大炎）　九
說文解字注　九
說文解字通正　九
說文解字篆韻譜　七四・九
說文解字翼徵　九
說文諧聲孳生述　九
說文諧聲譜　九
說文會臨時大會出品略目　九
說文管見　九
說文疑疑　九
說文檢字　九
說文廣義　九
說文古籀補　九
說文五百四十部の次序に就いて　一五・九
說文字原韻表　九〇・九
說文釋例　九
說文審音　九
說文新坿攷　二六・七七
坿修故事成語大辭典　八
總主語說覺書　三六
草書韻會　九
草書淵海　九
草書朮　九
草書大字典　九
草書禮部韻寶　九
插圖增訂獨立字典大全　一三
坿續廣益字函　七
坿續大廣益會玉篇大全　二六・七七
插頭抄坿補　二七・三
操風瑣錄　八六
坿補伊呂波韻集成　八
坿補改正譯鍵　一三五
坿補下學集　二四
坿補雅言集覽　一九
坿補冠辭例　六二
坿補古言梯標注　二〇・五五
坿補國華集　八四
坿補語林　二
坿補字林玉篇大全　二六・七七
坿補新令字解　二・八二
坿補大成正譌假名遣　五五
坿補訂正漢和大辭林　七四
坿補訂正大字典　七七
坿補日本古語大辭典　三二・六〇
坿補標註詞八衢　三五
坿補六書通　九〇

増補俚言集覽　二三・六三
「さふらふ」か「さうらふ」か　一四・五五
「ソウロウ」と「サムロウ」　四三
草露貫珠　九二
副假字法規　五七
續壹岐島方言集　六五
續一切經音義　九四
促音考　五二
續冠辭考　六三
續机上便覽　一〇二
俗語考　二二・六三
俗語辭海　八六
俗呼小錄　八四
俗語譯義　七七
俗語註釋　一〇七
續字袖珍略韻大成　二四・八〇
續釋常談　八六
俗書證誤　九二
速成實驗應用速記法　四九
速成日語輯要　一〇五
俗談大辭典　七三
續日本文典　三七
續編珠　八四
續方言　八六
續方言又補　八六
續勞働用語集　六三
俗用語彙　四一
組織的基本動詞大典　一三三
ソシュールの言語理論について　二
速記術　四九
速記大日本字　四九
ソヴエート言語學の輪廓　一
そほ考　一五・六二
ソロン語の研究　一〇八
孫氏爾雅正義拾遺　八四

タ

第一文字之教　四七
第一歩からの支那語獨習書　一〇四
大英文典　一三三
大英和辭典（市河三喜）　一一八
大英和辭典（藤岡勝二）　一一八
大學豫科漢文講本　九九
大學豫科漢文大觀　一〇〇
大學豫科漢文讀本　一〇〇
大系漢字明解　九二
大言海　三・三三・五九
體驗としてのことば　一〇一
體言眞澄鏡解　三七
大廣益會玉篇　七四・七七
太史公助字法　一〇三
大悉曇章　一三六
大字典　七七
大辭典　三三
貸借と賣買　一四四
大正國語讀本　三〇
大正新修大藏經悉曇部　一三六
大正增補和譯英辭林　一一八
大清文典　四九
泰西人の日本語研究書展觀　四九
目錄　一
大成正字通　一五・六二
泰西辯談典型　一〇八
泰西名家演說集　八四
大戰後の英語　一
大全早引節用集　四七
大藏經悉曇部　一〇四
大宋重修廣韻　一三
大タイムス　一三
大東韻府羣玉　一〇九
大唐益會玉篇　一〇九
大唐三藏玄奘法師表啓の訓點　一〇九
大獨日辭典　一一〇
臺日大辭典　一七・一三
大日本改良文字　一四
大日本國語辭典　一四
大日本語之學　一一二
大日本古文書の奴婢帳に現はれたる年齡の錯誤　一一二
大日本方言地圖　八
第二文字之教　一一〇
「邸」の字音と「問」の語原　一一三
太平原　一一三
對譯清語活法　一一六
大雄辯家名演說集　一一六
中學英文法教本　一一三
中學漢文教科書　一〇九
單語の研究　二一・二三
段氏說文注訂　八九・九二
男信質疑　一七・一三
ダンテと中世文化　一四
丹波通辭　六六

チ

近松語彙　三三
近松の國語學的研究　一三
智環啓蒙塗課初步　一一三
西藏語の系統　一〇九
西藏語文法　一〇九
西藏文典　一一〇
西藏文蒙古喇嘛教史　一一〇
地名字音轉用例　一七・一三
地名傳說について　一四
チャールズ・デイツケンズの「デエヴイツド・カツパフイールド」　一一二
チャールズ・ラム作エリヤ「隨筆集」　一一二
茶道と教育　八
注音符號詳解　一一〇
註解和獨辭典　一一三
中外英字新聞　一一六
中學英語　一一六
中學英文法教本　一一三
中學漢文教科書　一〇九
臺灣高砂族傳說集　七三
臺灣の人種及言語　七三
臺灣番語の數詞用法の二例　一五・七三
臺灣番語文書　七三
多賀爾考　六一
高橋景保の滿州語學　一〇八
濁點源流考　一三
武信和英大辭典　一九
タゴールの神祕劇　一三
正しい國語の教へ方　八・一七
正しい國語の知識　八・一七
正しい使ひ方假名遣と送假名　一四・一七
多都可豆惠　三一・一五
縱書キト橫書キノ場合ニ於ケル文字ノ連絡　四六
縱書橫書ニ關スル小實驗　四六
他動性表現の種々相　二三・二三
玉あられ　六一
玉震附論　六一
玉震窓の小篠　六一
玉緒繰分　三五
玉の小琴　五五
玉緒變格考　一四・三五
玉の緒變格辨　三五
たむけの說　一七
足土根記　六一
陀羅尼字典　一三六
短歌　一三六
單語と文化史　二三・二六

中學漢文熟語詳解　一〇三
中學漢文讀本　一〇〇
中學國語讀本　二九
中學國文教科書　二九
中學國文教程　三〇
中學國文熟語詳解　七一
中學標準英單語　二八
中華國音新字典　九六
中華古今注　八六
中華大字典　七七・七八
中學校に於ける漢文講讀　九・一〇三
中學校に於ける國文法　九・一〇三
中華の國字問題　九三
中級獨逸語　二九
中級佛語　三七
中原音韻中の八思巴字にて寫されたる漢字音に就いて　九七
中國音韻學　九七・一〇
中國音韻學研究　九七・一〇
中國音韻學史　九七
中國現代文獨修必携　一〇六
中國國音語篇　一〇
中國語文概論　七四・一〇四
中國聲韻學通論　九七
中國文法學初探　一〇七
中國文法語文通解　一〇一
中國文字學　九三
中國文字學史　九三
中國文字與書法　九三
中古の國語（土井忠生）　一三
中古の國語（安田喜代門）　一三・二七
中古文鑑　三〇
中山大辭典一字長編　七八
中州音韻　七九
中世以降に於ける國語教育の發達　九
中世英語（廚川文夫）　一一・一二六
中世英語（中山竹二郎）　一二五・一二六
中世英國文化に關する二三の考察　一一三
中世解釋學　一一七
中世の國語　一一三
中世文化　一二五
中等英文和譯　一二五
中等學校國語法教授改善案　九
中等學校に於ける講讀教授　一二四
中等學校に於ける國語・漢文教育　九・一〇三
中等學校に於ける作文（高學年）　一〇
中等學校に於ける作文（低學年）　一〇
中等學校の國語教育に對する要望　九
中等漢文新讀本　一〇〇
中等漢文讀本（岡部新三郎）　一〇〇
中等漢文讀本（深井鑑一郎）　一〇〇
中等漢文讀本（遊佐誠甫・富永岩太郎）　一〇〇
中等漢文法　一〇一
中等教育國語讀本　七三
中等教科漢文讀本　七三
中等教科現代文典　七三
中等教科明治讀本訂正字解　七一
中等國語漢文讀本　七一
中等國語讀本　七一
中等國文教科書　七一
中等國文典（章士釗）　七一
中等國文典（三土忠造）　七一
中等國文讀本　七七
中等讀本漢文辭典　七七
中等讀本國語辭典　七三
懲狂人　一二五
調査會式ロオマ字綴リ案を排撃す　一二五
チヨウサのキヤンタベリ物語二二　二・七三
朝鮮漢字音の一特質　四九
朝鮮語（洪奭鉉）　一四
朝鮮語（川邊德三郎）　一四
朝鮮語會話獨習　一四
朝鮮語蝸牛名義考　一〇
朝鮮語學史　一〇
朝鮮語辭典　一〇
朝鮮語綴字法統一案　一〇
朝鮮語動詞の使役形と受身・可能形　二・七三
朝鮮語と日本語　一三・七・七三
朝鮮語に於ける讓譲法・尊敬法の助動詞　七三
朝鮮の學政當局はなぜ朝鮮語を度外視するか　七三
朝鮮語の系統　七三
朝鮮語の濃音に就て　七三
朝鮮に於ける韻書と玉篇との關係　一四・七四・七七
朝鮮の國語教育について　一一
朝鮮の國名に因める名詞考　一五・七三
朝鮮の眞言集　三
朝鮮のユーモア　七三
朝鮮文字及語學史　一〇七
超速度修得支那語の會話　一〇五
澄衷蒙學堂字課圖說　九三
朝陽閣字鑑　九三
朝陽字鑑精萃　八三
陳明卿大史考古詳訂遵讀　四九

ツ

通叶集覽　九七
通俗講話の理論及方法　六九
通俗文　八六
通略延約辨　一五三
筑紫方言　一三
綴方教育の根本原理　一〇
綴方教育論　二七
綴方教授體系　九
綴方の科學・序說　一〇
綴方の心理學的研究　一〇
綴る心理　一一
鼈鼇　二七
綱の綱手　三
翼の人々　一三
妻は知る　一三
都良久・去良久などについての考　一七
徒然草に於ける創作の心理と鑑賞の心理　二

テ

「デアル」と「デアリマス」と　一五・四三
テイー・エス・エリオツトの「荒地」　一一三
定家卿假名遣　一八
定家卿假名遣少々　五五
定家卿口傳　五五
定家の假名遣　五五
定冠詞論　二三・二三
訂譌雜錄　八六
Dictionnaire français japonais　一七
帝國大辭典　三三
帝國讀本　三〇
訂正字音假字便覽　五六
訂正增補外來語辭典　五六
訂正增補日本大辭典ことはの泉　一〇
訂正中等國文典　一七
デイツケンズ作「二都物語」　一三
テキストの文法的分析　一三

鐵雲藏龜　九三
鐵雲藏龜之餘　九三
鐵雲藏龜零拾　九三
豆爾乎波　三七
天爾遠波鏡　三七
氏遲乎波義慣鈔　二六・三七
豆介乎波係辭辨　三五
てにをは童訓　三七
てにをはの研究　三七
テニヲハの心理學的研究　一〇・三七
てにをは廢止論　三七
天爾遠波飛母鏡　三七
手爾葉大概抄並手爾葉大概抄之抄　二六・三七
傳記叢談講義　二三
篆字釋名疏證　八四
天字讀法考　四五
篆書字引　四四
傳說　九
轉注假借說　八九
轉注古義考　八九・九三
轉注說　二六・九三
轉注說大概　九三
天の鍵　一三〇
天平時代の國語　一三
篆文詳註日本大玉篇　七八
點本書目　三六
點例　三六
篆隸文體　九三
篆隸萬象名義　七八

ト

獨逸會話文典　二九
獨逸學捷徑　二九
獨逸語　二三
獨逸語一般之誤用　二九
獨逸語ヲ研究スル人ニ　二九
獨逸語會話　二九
獨逸語學講話　二九
獨逸語學雜誌　二三
獨逸語學三ヶ月自修書　二九
獨逸語研究　二九
獨逸語研修　二九
獨逸語自修會話　二九
獨逸語自修自在　二九
獨逸語自修書　二九
獨逸語自修の根柢　二九
獨逸語精講　二九
獨逸語接頭語接尾語例解　二三
獨逸語他國語完全熟語集　二九
獨逸語手ほどき　二九
獨逸語獨修　二九
獨逸語の語源　二九
獨逸語獨案内　二九
獨逸語變化全表　二九
獨逸作文教科書　一三〇
獨逸熟語新辭典　一三一
獨逸新聞の研究　一三〇
獨逸新文典　一三〇
獨逸文學叢書　七八
ドイツ文章論　三一
獨逸文典　九九
獨逸文法解說　二九
獨逸文法教科書　二九
獨逸文法教授史概要　二三
獨逸文法講義　二九
獨逸文法講話　二九
獨逸文法詞學詳論　二九
獨逸文法自修書　二三
獨逸文法辭典　二九
獨逸文法初步　二三
獨逸文法整理ノート　二九
獨逸文法大系　二九
ドイツ文法の根本問題　二九
東亞語原誌　二九
東亞日本語辭典　二九
唐韻佚文　二九
唐韻攷　二九
唐韻四聲　二三
頭韻と近代英國文化　二九
唐韻別考　二九
同音異義の語をどうするか　二九
同音語類音語　二九
唐音十八考　二九
唐音の意義功用及び「華音之名師」岡冠山について　一三〇
東音譜　一三一
東雅　一三〇
童解英語圖會　一三〇
頭書字彙　七八
頭書大成節用集　三一
稻川先生と其著述　九九
稻川の學問　九九
稻川の人物學問の大觀　九九
東南大學叢書中國文字學　九三
動物名に因んだ古代の人名　五九
同文韻統　一一〇・一三六
東文教科書　四一
同文新辭典　七三・八八
同文通考　二八・四五・九三
東文讀本　三〇
東方言語史叢考　四・一五
唐梵文字　一五
唐梵兩語雙對集　一三七
童蒙頌韻　七九
答問雜稿　六一
唐譯便覽　一〇七
童謠　九
東洋言語學の研究　六〇
東洋言語學の建設　四・一三・一五
東洋語學乃研究　一五
童幼語篇（分布圖附）　六五
東洋ロセッタ石　四・八六
董理文字之我見一册　九三
當流人名辭書　六三
當流比較言語學　六六
討論指南　六六
童話　九
唐話纂要　一〇八

トーキー英語　二一・二六
東京語批判　二一・六六
同訓字解　一〇三
東語會話大成　一〇七
東國方言沿革考　六六
東語初階　四一
唐語便用　一〇七
東語法教科書　四一
東語例　六六
東西兩京の言葉戰ひ　二・三七
動作態と國語の文法的範疇　九八
同字異讀語集　八〇
頭字韻　三七
動詞から出た名詞　三七
童子字盡安見　三三
動詞時制の研究　一三三
動詞狀名詞の發達　二三・二四
動詞・助動詞の研究　七九
動詞叙法の研究　一三四
童子通　七四
動字分類大全　一〇七
唐寫阿毗達磨雜集論の古點について　五八
唐寫本切韻殘卷　七九
唐寫本說文解字木部箋異　八八・九三
唐寫本唐韻　七九
唐寫本唐韻校記　六五
動植物篇（分布圖附）　二四
動植名彙　二四
頭書國文提要　二六

童話の心理　一〇
獨學韓語大成　七三
德川時代刊行節用集展觀書目錄　一八
德川時代言語の研究上方篇　四二・六六
德川前期の珍しい言ひ方　二一・四二
獨作文教程　一三〇
讀詩捫言　九七
獨修英語讀本　一三
獨修自在國際語エスペラント講義　六
獨習者の獨逸語　一三〇
獨習佛蘭西語　一三七
獨習フランス語捷徑　一三七
獨習羅典語の研究　一三四
獨習露西亞語研究　一三三
讀書語心編　九八
讀說文楔識　八九・九三
Doctrina christan 原本複製　三
並國字音譯　一三〇
獨文解釋法　一三〇
獨文和譯法（箱谷眞洋）　一三〇
獨文和譯法（小柳篤二）　一三〇
獨文和譯・和文獨譯・獨逸文法基礎獨逸語の研究　二八
讀法を興さんとする趣意　五
讀本中心國語教育概說　一〇
獨和教場會話　一三〇
獨和言林　一三三
獨和辭彙　一三三

獨和辭書　一三三
獨和字典大全　一三三
獨蘇字典大全　一三三
獨和大辭典（片山正雄）　一三三
獨和大辭典（登張信一郎）　一三三・一三三
獨和他國字書大全　一三三
徒杜字彙　二六・七八
登古路言葉　二八・六六
土佐方言集　六六
登陀流血垂考　六〇
突厥語における數詞の組織について　二
トマス・アクイナス　一三四
トマス・ハーデイの「ザ・デイナスツ」　一三三
トマス・ハーデイの「ダーバヴイル家のテス」　一三三
友鏡底の影について　一三
ともゝと　七
杜陵方言考　六六
Trindex　六四
トルコ語教本　一三六
トルストイ露語讀本　一三三
燉煌出土漢藏對音の材料と韻鏡との比較　九八
頓要集　二四・四五

ナ

內鮮勞働用語集　七三
內地雜居に使用すべき言語　一七
南部朝鮮の方言　七三
南島方言資料　六七

ニ

新潟縣用斯民讀本　三〇
ニクブン語文典　六八
ニクブン文典　六八
ニ十一部諧聲表　九八
二十世紀清語讀本　一三一
二十世紀獨和辭書　六六
日英語比較研究　一二六
日英對照支那語學連修案內　一〇四
日英獨佛圖解辭典　五
日英兩國語發音差異の實驗的研究　一二四・一三〇
日語活法　四一
日語漢譯讀本　一〇七
日語古徵　七七
日語指南　四一
日語辨要　一〇五
日語大文典　六二
日語用法彙編　九三
日獨新會話　一三〇
日獨譯準　三一
日土土日大辭典　二三五
日日家庭辭典　三三
日文補充讀本　三〇

日米俗語會話篇　二三五
日滿會話辭典　一〇八
日滿語會話　一〇八
日蘭辭典　一三五
日華會話筌要　一〇八
日華作文軌範　一一〇
日華辭典（金秉藩・武田欣三）　一〇五
日華辭典（湯山昇）　一〇五
日華新辭典　一〇五
日華大辭典　一〇八
日華對譯福州語　一〇八
日漢會話　七三
日漢辭彙　一〇五
日韓兩國語同系論　一三・七三
日記・紀行・隨筆　九
日支英對照興亞新辭典　一九
日支大辭彙　一〇五
日清英語學教科書　五
日清會話　一〇八
日清會話捷徑　一〇八
日鮮同祖論　一三・七三
日臺大辭典　七三
去通都考　三七
日本一鑑　三五
日本韻文組立法　五〇
日本英學史　二一・二六
日本英學史の研究　二六
日本英學小史　一一四・一一六
日本英學新誌　二六

日本英學發達史　二六
日本英語學書志　二六・二七
日本英文學史　二五
日本演說討論方法　六九
日本歐米新編演說集　六九・七〇
日本音聲學　五二
日本外來語辭典　三三・六〇
日本學生用實用獨逸文法書　二九
日本學の體系と國民教育　八
日本學の樹立　八
日本片假名及平假名ノ縱列式ト橫列式ノ場合ニ於ケル讀ミ書キノ難易　四六
日本活語法　三七
日本漢字學史　九三
日本寄語　三五
日本擬人名辭書　六三
日本基本漢字　二五・四七・七四
日本近世英學史　二六
日本組合ホテル支配人各位ニ呈セル同文照會狀及回答書　四八
日本言語學（松岡靜雄）　八
日本言語學（宮澤甚三郎）　八
日本言語說　八
日本口語文典　四二
日本口語法（保科孝一）　四二・四三
日本口語法（吉岡郷甫）　四三
日本口語法講義　四三
日本語音の構音に關する二三考察　五二
日本語かアイヌ語か　六〇
日本語學史　三
日本語學新論　八
日本國字論　七七
日本語原（井口丑二）　六〇
日本語源（賀茂百樹）　六〇
日本語原學　六〇
日本語原の研究　六〇
日本語原の心理的解釋　三一・六〇
日本語大辭典　四九
日本語速記術　一三・五二
日本古代語音組織考　一三
日本古代語と國民精神　四五
日本古代文字考　四一
日本語典（井上友吉）　三八
日本語典（前波仲尾）　八・一五
日本語讀本　三〇
日本語となつた英語　六〇
日本語と蒙古語　一〇九
日本語に於ける助詞の位置　一〇
日本語に於ける南方要素管見　一三
日本語に及ぼした和蘭語の影響について　二・六〇
日本に殘存せる支那古韻の研究　九六
日本語—日本語教育—日本語學　一四
日本語のアクセント　一〇・五二
日本語の音聲學的研究　五二
日本語の系統——特に數詞に就いて　一三
日本語の研究　八
日本語の原始形態　七七
日本語の構造　六〇
日本語の根本的研究　六〇
日本語の純粹性　六〇
日本語の世界的書き方　六〇
日本語の特質　六〇
日本語の問題　三一・六〇
日本語の論理的表現　四九
日本語法　一三
日本語法文字　一三
日本語母音のフオルマント及その感情による影響　四五
日本語譯支那の小學教科書　四一
日本語より見たる國語及國語教育　一〇
日本詩歌と上代語の相關　四五
日本式ローマ字綴方の改定を勸める　一六
日本式ローマ字の末期　一四
日本式羅馬字の論　二七
日本式羅馬字の現實と理想　三六
日本式章史　三六
日本式章法初步　三六
日本式體文字新論　三六
日本辭典　一七・四七
日本釋名　三六
日本儒教と教育　三六
日本小辭典　三六
日本小文典（大宮宗司・星野三郎）　三六
日本小文典（岡崎遠光）　三六
日本小文典（黒川眞頼）　三六
日本小文典（チヤンブレン）　三六
日本諸學振興委員會研究報告　一五
日本書紀古訓攷證　一四
日本書紀神代卷本文に現はれたる合理主義　一四
日本書紀に見える假字用法に就て　一四・一五
日本諸方言に於ける血緣語彙の展望　六四
日本辭林　三三
日本神學考　四五
日本新字速記法　四九
日本新辭林　三三
日本人と南洋　三六
日本新文典　三六
日本神話の性質　一〇
日本精神と教育　一〇
日本精神の闡明　一六
日本俗語文典　四三
日本速記法　四九
日本速記法詳解　四九
日本大辭書編纂に就きて　一八
日本大辭典（大和田建樹）　三三
日本大辭典ことばのはやし　二〇
日本大辭林　二三
日本大文典　三六
日本的な國語教材　一四
日本に於ける英文學研究　一四
日本に殘存せる支那古韻の研究　五三・九六
日本に傳はれる波斯文に就て　一三六
日本の敬語について　三六
日本の言葉　一五・六〇
日本の言葉と唄の構造　五三
日本の將來と國語教育　一四
日本の羅馬字と其の綴字法　四六
日本標準口語法　四三
日本標準語音及アクセント　五三
日本佛教と教育　八
日本文學史　〃
日本文學と個性　九
日本文學に於ける用字の意義・特に記紀歌謠に就て　一〇
日本文學の言語學的考察　四五
日本文獻學　一六
日本文藝學の再建　九
日本文語　一四
日本文章史　三六
日本文章法初步　三六
日本文體文字新論　三六
日本文典（落合直文）　一七・四七
日本文典（佐々政一）　三六
日本文典（藤井籛）　三六
日本文典原理　三六
日本文典講義（德田尋）　三六

日本的な國語教材　一四
日本に於ける英文學研究　一四
日本に殘存せる支那古韻の研究　五三・九六
日本に傳はれる波斯文に就て　一三六
日本の敬語について　三六
日本の言葉　一五・六〇
日本の言葉と唄の構造　五三
日本の將來と國語教育　一四
日本の羅馬字と其の綴字法　四六
日本標準口語法　四三
日本標準語音及アクセント　五三
日本佛教と教育　八
日本文學史　〃
日本文學と個性　九
日本文學に於ける用字の意義・特に記紀歌謠に就て　一〇
日本文學の言語學的考察　四五
日本文獻學　一六
日本文藝學の再建　九
日本文語　一四
日本文章史　三六
日本文章法初步　三六
日本文體文字新論　三六
日本文典（落合直文）　一七・四七
日本文典（佐々政一）　三六
日本文典（藤井籛）　三六
日本文典原理　三六
日本文典講義（德田尋）　三六
日本文典講義（和田萬吉）　三六
日本文典初步（黒川眞頼）　三六
日本文典初步（馬場辰猪）　二七・三九
日本文典大意　三九
日本文典大綱（岡倉由三郎）　三九
日本文典大綱（鈴木忠孝）　三九
日本文典の兩種　三九
日本文典問答　三九
日本文典要義　三九
日本文法（阿保友一郎）　三九
日本文法（金澤庄三郎）　三九
日本文法概說　三九
日本文法學　三九
日本文法學概論　三九
日本文法機構論　三九
日本文法教科書（手島春治）　三九・四三
日本文法教科書（木野崎吉辰）　四一
日本文法講義（金澤庄三郎）　三九
日本文法講義（山田孝雄）　三九
日本文法史　九・二七・三九
日本文法新論　三九
日本文法摘要　三九
日本文法てにをはの研究　三七
日本文法文章法大要　四〇
日本文法問題　三九
日本文法要論　三九
日本文法論　三九
日本母音の構造に關する實驗的研究　五三
日本盲人用點字の起原　四
日本文字學概說　四五
日本譯語　二五
日本類語大辭典　三三
日本ローマ字會パンフレット　四八
ニュー・センチュリー・チョイス讀本字引　二六
ニューマンのわが生涯の描　二三
入門佛蘭西語　三七
如意の郷　三二
如法經現修作法　三七
人間と言葉　四
人間の進化と言語の進化　四
ノ
能と教育　八
ノートルダムの佩傷男　三三
野上君の假名論を嗤ふ　四九
のろはれたる漢字　四九
ハ
ハーキューリースの最後　三三
ヴアヂニア・ウルフの「ダロウエイ夫人」　三三
ハアデイ小曲集　三三
パーナード・ショーの「人と超人」　三三
ハアバアト・リイドの「英國詩歌の諸相」　三三
濱荻（堀季雄）　四二・六六
濱口雄幸氏大論辯集　五〇
濱千鳥　九
早引永代節用集　三九・四〇
捷見　八
「腹ゐ（い）る」とその關係語　二九
巴利（パリー）語とは何ぞや　八六
巴利語に就いて　八〇・八一
巴利語佛教文學講本　三三四
巴利語文典　三五
巴利語文法　三七
バリイの「メアリ・ロウズ」　八四
鉄嚢　八二
春樹顯祕抄　一〇五
春樹顯祕增抄　一〇四
ハルマ辭書　一〇三
反音作法　一四・六二
反音抄　二七・三五
繙卷得師草稿　五
バンクチュエーション　七八
繁語　九七
Hand in Hand　九七
ハーキューリースの最後　三三
ヴアヂニア・ウルフの「ダロウエイ夫人」　三三
ハアデイ小曲集　三三
パーナード・ショーの「人と超人」　三三
ハアバアト・リイドの「英國詩歌の諸相」　三三
濱荻（堀季雄）　四二・六六
濱口雄幸氏大論辯集　五〇
濱千鳥　九
早引永代節用集　三九・四〇
捷見　八
「腹ゐ（い）る」とその關係語　二九
巴利（パリー）語とは何ぞや　八六
巴利語に就いて　八〇・八一
巴利語佛教文學講本　三三四
巴利語文典　三五
巴利語文法　三七
バリイの「メアリ・ロウズ」　八四
鉄嚢　八二
春樹顯祕抄　一〇五
春樹顯祕增抄　一〇四
ハルマ辭書　一〇三
反音作法　一四・六二
反音抄　二七・三五
繙卷得師草稿　五
バンクチュエーション　七八
繁語　九七
Hand in Hand　九七
ヴアンドリエス言語學概論　一
伴信友校閲倭訓栞　二三
班馬字類　七九
班馬字類附補遺　九九
ヒ
P音考　五三
ハーマン・メルヴイルの「白鯨」　二三
梅園讀法　二五
俳諧（岩田九郎）　二三
俳諧（富士谷御杖）　八四
俳諧天爾波抄　八〇
俳諧道と教育　二六
俳句　四・六六
佩鐮　四九
佩文韻府　二三
パウサニアス　二三
波行輕唇音沿革考　二七
博雅　四
博雅音　二三〇
白文訓點解釋法　四九
白話詞典　四九
白話與文言之關係　六二
馬氏文通　四〇
はすはの考　一三六
撥韻假字攷存疑　七二
發音學　七二
發音發　三七
發音錄　三七
柏根氏舊藏甲骨文字　三七
柏根氏舊藏甲骨文字考釋　三七
發字四聲便蒙解　三七
發字便蒙解　三七
服部漢文新讀本　三五
話方・聽方・書取及び習字　二四・二七
話方教授體系　四
濱荻（匡子）　一〇三
ヴイガー物語　八四
比雅　八四
埠雅　八四
比較言語　六〇
比較言語學　四・六六
非實用的な日本式　四九
尾州大須賀生院藏倭名抄殘篇　三五
非常時日本全國青年獅子吼集　七〇
埠著　八六
常陸方言　二八・六六
一口噺百廿題　一三〇
人の子を損ふ教育　四九
人丸祕鈔　二八・五四・五五
非なるべし　六二
ヒノモトノコトバノハグミ　四〇
ヒブル語原典入門　一三六
美文評釋　七二
飛毛鏡　三七
紐鏡うつし辭　三七
紐鏡中の心　三七
百六十年前の長崎方言資料　六五
百科社會語辭典　三三
比喩的形象主義之世界文字論　一
概要　一
標音佛和辭典　二七・一二八
表解英語力の基礎　一二五
表現學序說　四・二七
表出と言語及び其の研究　四
標準漢文法　一〇二
標準語大辭典　一〇五

標準語對照沖繩語の研究　宍七　二一・二七
標準語と國語教育　二一・二七
標準語と方言（東條操）　二一・二七・六四
標準語と方言（柳田國男）　二六
標準語と方言及スラング　二五・二六
標準語の發音について（神保格）　二一・二七
標準語の問題　二七・二七
標準語・方言及び俗語　二四・二六
標準式日本式ヘボン式ノ比較　四九
標準式＝日本式ロオマ字綴り　四八
どちらが讀み易いか　一四
標準支那語講座　一三五
標準スペイン會話　一三三
標準獨逸語第一歩　一三三
標準獨逸文法　一三三
標準日本口語法　四三
標準日本文法　四〇
標準ブラジル語　一三五
平仄附韻訓譯字義廣益正字通　二五・七五
標註漢文教科書　一〇〇
漂流民の比島方言記錄　一三六
飛良貝奈英米通語　一一九
平假名の研究　二七・四五
比律賓タガログ語會話　一三六
廣池東洋諸國語學書　一〇一
品詞及語形論　一二五・二四
品詞建設に關する二つの答　一四・八〇
品詞の機能　一二三・二四

フ

賦彙要錄　八〇
諷經の唐音に反映した鎌倉時代の音韻狀態　二・五二・九八
風物知識　一二四
附音挿圖英和字彙　一二七
フカダチ考　宍七
不可能を意味する「知らず」について　二
複合詞の音聲變化　一三二・一三〇
副詞・接續詞の研究　二一・二三四
福惠と筑波　一四
副詞表情の發生　四〇
福州語　一〇八
服裝習俗語彙　四四
復文の系統的練習　一〇三
符號言語と暗示言語　三
普語箋　一三三
藤岡博士功績記念言語學論文集　二
附釋文互註禮部韻略　七九
二つの「ばや」　一四・四〇
普通英語會話　一三五
普通英語作文　一三五
普通演說法　六九
普通教育の文字お假名とローマ字に　四七・四八
普通國文　三〇
普通語詳解　八六
普通人名詞に就きて　一〇二・一〇三
佛教演說達辯之術　二七・四〇
佛教辭典　一〇〇
佛語學研究　五五
佛語初步　一一
佛語動詞時法考　四〇
佛語獨習誌　一〇三
佛語文法　一三・八一・八三
復古編　一一四
佛語明要　七〇
佛獨文例　一〇
佛文和譯・和文佛譯・佛文法　一一四
物類稱呼　一三七
佛和會話大辭典　一〇三
佛和字彙　四〇・四三
佛和小辭典　二八・四〇
佛和新辭林　一〇三
佛和大辭典　一〇三
布斗廳通神字敎　四〇
ブラウツスとテレンチウス　四〇
ブラウニングの「指輪と本」　一〇三
伯剌西爾會話編　一〇三
ブラジル用語手ほどき　八四
プラトンのイデアの本質　三八
プランクノリスの「オクトパス」　一〇三
佛蘭西廣文典　四〇
フランス語學新考　四二
佛蘭西語雜誌　一二八
佛蘭西語獨習　一二七
佛蘭西語發音講話　一二七
佛蘭西語發音法　一二七
佛蘭西語不規則動詞逆引辭典　一二七
フランス語法・動詞篇敘法と時制の用ひ方　一二七
フランス語要理　一二七
佛蘭西文典　一二七
ふり分かみ　四〇
ふりわけ髪　一二四
プルタルコス　七〇
ブレーユ點字治革の概要　一二四
フロイド・デルの「野薇薔の茂み」　四
プロチノス　一二三
文緯　一二四
分韻文選題解擇要　七九・九二・九九
分韻文選題解擇要頭書　八〇
文學書官話　八〇
文學としての欽定英譯聖書　一〇七・一〇七
文化主義と民族主義　一一
文敎溫故　九
文敎溫故批考　八
文藝學の哲學　三
文藝主義と言語活動主義　九
文藝哲學　九
文獻學・言語學・語源學　九
文獻學的研究と考證學　二
文檢國語科について　一四
分毫字樣　一四
文語解　八六
文語法精說　一〇二・一〇三
文菟選　二七・四〇
文章假字用格　一〇〇
文章表現論　五五
文章法大要　一一
文窓小言　四〇
文漢行潦　一〇三
文體論　三・八一・八三
文壇大家演說集　一一四
文の表現　七〇
文のリズムと語の配置　一一
分別六合釋　一三・一四
文法應用東文漢譯軌範　一三七
文法及口語法　一〇三
文法概說　四〇・四三
文法學講義　二六・四〇
文法教育に關する調査　一〇三
文法敎科書　一
文法口授　四〇
文法綱要　一〇三
文法授幼鈔　一〇三
文鳳鈔　八四
文法上許容ニ關スル事項　三六
文法詳論　一〇三
文法津梁　一〇三
文法正誤法　四〇
文法的決定への疑問　四〇
文法適用東文敎科書　四一

文法に於ける意味　四〇
文法の原理　一四・一七
文法の立體的研究　四〇
文法本位の自習書獨逸文法　一三〇
初步　一〇三
文法要略　二七・二四
文法論（大塚高信）　四〇
文法論（芳賀矢一）　三
文法論上の根本問題　一五・四〇
文祿元年天草版吉利支丹敎義の研究　一三

ヘ

平安朝時代の敬讓語とその語法　四〇
平安朝時代の草假名の研究　四五
平安朝中期に於ける言語敎育　一
平安朝文法概說　四〇
平安朝文法史　四〇
平安南北道の方言　七三
平家物語考　四〇
平家物語につきての研究　四〇
平家物語の諤法　四〇
平家物語文章私見　一四
米國史　一五
米國小說史　一五
米國批評史　一五
米語字彙　一五

ベーシック英語　一五・一六
平他字類抄　二四
北京官話音韻經緯圖說明　一〇
北京官話家言類集　一〇七
北京官話日淸會話捷徑　一〇八
北京官話文法（赤松喬二）　一〇七
北京官話文法（荷盛三）　一〇七
北京語の發音　一一〇
ヘスチングス傳註釋　一三四
ヘスチングスの商人　一三
ヴエニスの商人
ヘミングウエイと「武器よさらば」　一三
ヘレニスト時代ギリシア語　二・三四
篇海　七八
駢雅訓纂　八四
辯士必讀演說學　六八
駢字分箋　八六
編珠　八四
駢字類編　八四
辨繆名　八四
辨玉篇論　七三
辨玉篇二論　四〇
便蒙纘字彙分韻略　四〇
偏類六書通　四〇

ホ

ホイットマン「草の葉」母音の混合の問題　一一三

方位名稱と民族移動竝に地形　一三・七三
方言（春陽堂）　七一
方言（東條操）　一八・六四
方言（揚雄）　八六
方言學　八六
方言學概說　八四
方言學概論　八四
方言據　八四
方言研究と方言文學　八四
方言研究の概觀　八四
方言雜集　二四・八〇
方言漢　九三
方言地理學の方法　一四・六四
方言讀本　六四
方言と方言學　六四
方言と和歌　六六
方言の成立　八四
方言の調べ方に關する注意　六四
邦語英文典　一二四
訪古見聖曩倉　八八
邦語獨逸文章論　六一
邦語獨逸文典　六一
邦字元服論　四七
方字五十音略圖　四三
法則中心國文新解釋　九三
法と言語　一一
ボウの短篇集　一一三
邦譯註解漢文大觀　一〇〇
梵字十八道　七九

北奥地名考　一五・六七
卜辭通纂　九三
卜辭通纂攷釋　九三
補刻集韻　七九
法華經音義　九八
法華經音義　九八
法華經音訓　九八
法華經單字　九八
法華經文字舉韻音訓篇集　九八
補高郵王氏說文諧聲譜　九三
母國語の力　一四
補正朝陽字鑑　九三
補訂新釋大方廣佛華嚴經音義　九四
ホプキンズの詩　一一三
ホラチウス　一四
葡萄牙語四週間　一四
梵學講義　一四
本願寺本敎行信證點注の筆者に就いて　五八
梵漢對譯佛敎辭典　一四
梵漢對譯佛法語鑰　一四
梵語學　一四
梵語雜名　一四
梵語字典　一四
梵語千字文　一四
梵語と國語　一四
梵語文典　一四
梵字悉曇字母竝釋義　一四
梵字悉曇章　一四
梵字十八道　一四

本州西部の方言　一七・六四
本州東部の方言　一七・六四
凡將篇　八六
翻切伐柯篇　九八
梵藏漢和四譯對校纘譯名義大集　一七
本草和名　一四
本朝辭源　六〇
梵唐千字文　一七
梵文學敎科書　五二
本邦音符考　九三
本邦常用漢字の研究　一四
本邦人と臺灣　一〇八
本邦滿洲語學史料斷片　一七
翻梵語　一一
纘譯の研究　二・六
纘譯の問題　一一
纘譯の理論と實際　一七
纘譯名義集　一〇八
翻譯類編　二九
纘譯論（新居格）　一一
纘譯論（澤村寅二郎）　六
纘譯論（野上豐一郎）　一〇四
纘譯論（林語堂）　一七
梵和大辭典　一四

マ

マーグ・トウエインの「ハックルベリ・フイン」　一三

マーデンの「ハウ・ツー・ゲット」の註解　一三三
毎日新語辭典　二
「末爲流」原義考　六三
前島密君國字國文改良建議書　一七・四六
枕詞集覽　六三
枕詞燭明抄　六三
枕詞增補詞艸小苑　六三
枕詞の研究と釋義　六三
磨光韻鏡　九八
磨光韻鏡口授記　四〇
「まし」の語法に就いて　四〇
末代無智御文和語說　四〇
馬來化した梵語と日本化した南洋語　六〇・二六
馬來語會話　二六
馬來語辭典　二六
馬來語四週間　二六
馬來語に就いて　二六
馬來語要諦　二六
マルテイの言語學　四
滿漢字淸文啓蒙　一〇八
滿語文典　一〇八
滿字隨筆　一〇八
卍字と巴の起源考　四五
滿洲語學史料補遺　一〇八
滿洲語基礎　一〇九
滿州事情　一〇八
滿洲實錄　一〇八
滿洲文研究錄　一〇八
滿蒙言語の系統　一二八・一二九
滿蒙語會話　一〇四
萬葉假名遺　五五
萬葉假名の研究（遠藤嘉基）　二七・四五
萬葉假名の研究（森本健吉）　四五
萬葉卷十四「於可禮」私解　六三
萬葉則以前の國語研究に關する卑見　一六
萬葉語と琉球語　六七
萬葉語法研究資料　四〇
萬葉時代の枕詞について　一五・六三
萬葉集字音辨證　四五
萬葉集と方言　六四
萬葉集に用ひられたる助詞ユリ・ユ・ヨリ・ヨについて　四〇
萬葉集の研究　四五
萬葉集の語釋と漢文の古訓點　五八
萬葉集の話法二つ　四〇
萬葉集の字訓假名に就いて　四五
萬葉集の助辭　四〇
萬葉集の「之」字の訓について　四一
萬葉集の叙卑表現の研究　四一
萬葉集の「難」「不勝」「不得」の訓について　四一
萬葉集の用字に關する一考察　四五
萬葉集の用字法　四五
萬葉集の「吾をねし泣く」「吾をねし泣くる」の一解釋　六三
萬葉集品詞概說　四一
萬葉集品物解　一〇八
萬葉集「不知」の訓について　一二八・一二九
萬葉集枕詞解　一〇四
萬葉集文字攷證　五五
萬葉集用字法概說　二七・四五
萬葉人の用字意識から見た「者」字の一研究　四五
萬葉用字格　四五
滿和辭典　一〇八
滿和對譯滿洲實錄　一〇八

ミ

ミクロネシア語の綜合研究　一三八
三島女子漢文讀本　一〇九
水穗傳　四
三宅島・御藏島方言全集　六六
ミルトンの「失樂園」　一一三
民衆と宣傳　六九
民族主義の言語哲學　一

ム

昔の國語教育　一
無垢衣考　一〇九
無言抄　一〇九
紫式部宮仕年代私考　八六
室町時代の言語研究　八六

メ

明解獨和辭典　一三一
名原　九三
明治以後の方言研究　一五・六四
明治演說史　六九
名詞構文と英語　一三・二四
明治字典　七八
明治新撰和譯英辭林　一八
明治大正國語學書目解說　一八
名詞・代名詞の研究　一二一・二三四
明治中期までの國語教育と國語學　一
明治讀本　三〇
明治文學と國語教育　一〇
明治維新集　七〇
名文評釋　七一
メレデイスの「エゴイスト」　一二三

モ

蒙雅　八四
蒙漢滿文三合　九一
蒙古黃金史　六二
蒙古源流（江實譯）　一〇八・一〇九
蒙古源流（文殿閣書莊刊）　一〇九
蒙古源流箋證　一〇九
蒙古語會話　一〇九
蒙古語四週間　一〇九
蒙古語大辭典　一〇九
蒙古語文語の起源について　二・一〇九
蒙古語文典　一〇九
蒙古史記　一〇九
蒙古年代記　一〇九
蒙古の祕史　一〇九
蒙古喇嘛歌史　一一〇
孟子音義上　九五
孟子音義　九八
毛詩古音攷　九八
毛詩古樂音　九八
毛詩徐氏音　九八
孟子張氏音義　九八
孟子丁氏手音　九八
蒙德合璧蒙古源流　一〇九
蒙文元朝祕史　一〇九
蒙文讀本　一〇九
毛利式日本速記法　四九
毛利式日本速記法詳解　四九
蒙露日大辭典　一〇九
蒙和辭典　一〇九
もこそ問答　四一
文字　三三
文字學音篇　九八
文字學概說　四・二七・九三
文字から見た支那古代文化　一五・九三
文字系　九三
文字指歸　八六
文字集略　八六
文字の移調性　二

文字の沿革　四・九五
文字ノ大サト其間隔ノ可讀性ニ及ボス影響　四七
文字之教　四七
文字之教附錄　四七
文字の研究　九三・二四
文字反　二六・三五
文字文章改良論　一七・四七
文字蒙求　九四
モダン用語辭典　二三
モダン流行語辭典　二三
本居宣長の音韻學　三五
本居宣長か書る玉あられを見てあけつくろふをち〳〵　六一
物語「ものゆゑ」といふ語の意義について　九
模範エスペラント獨習　六
模範解說讀方獨習　三
模範漢文選　一〇二
模範漢文選編纂趣意書　一〇二
模範故事熟語辭典　八
模範新英和大辭典　一八
模範獨逸語講座　一三
模範佛和大辭典　一八
もんぢやもんぢやない集　六六
文殊門經字母品　一三六
文選錦字錄　八四
文部省臨時ローマ字調査會へのお願　四七

ヤ

八重山語彙　六六・六八
八重山語總說　六七・六八
夜學讀本　三〇・三一　四
也哉抄　一二五
譯和爾文語　六
譯業必要之書籍目錄　六
譯詩論　一一一
譯筌　一〇三
譯讀と飜譯　一一四
譯文須知　一〇三
譯文筌蹄　一〇三
譯文要訣　一〇三
譯文章のさとし　五八
八雲御抄　六二
八衢大略　四
ヤペテ言語學　四
山口栗　四一
山下氏の假名國字論を讀む　四九
倭片假字反切義解　二七
やまとことは　二七
大和詞口義　三六
倭節用悉改袋　三三
山梨縣方言辭典　九八
山梨稻川集　二
山彦册子　二

ユ

ユウエナリス　一三
幽遠隨筆　九九
ユーカラの研究　九九
輶軒使者絕代語釋別國方言　九九
ユース・オブ・ライフ講義　六
雄辯　一一一
雄辯學講座　一〇三
雄辯學講話　一一四
雄辯活法　一〇三
雄辯術精習　一〇三
雄辯選手權大會全國青年熱辯集　一〇三
雄辯大家實地演說集　六六
雄辯大家集　四一
雄辯と文章　四
雄辯祕訣演說法　四
雄辯祕訣實用演說法　四九
雄辯美辭法　二七
雄辯法　六二
「ゆゑ」の古用について　三六
雪姬　二三
ユニオン第四讀本講義　六五
ユニオン第四讀本直譯講義　一一三
ユニオン第四讀本拔抄細註　一一三

ヨ

洋學指針　一二六
謠曲概觀　六七
謠曲・狂言　九
謠曲と狂言　二八
用言變格例　四一
用字格　一〇三
幼兒の言語　五二
幼兒の言語の發達　四
用字便覽　一〇三
幼稚園に於ける國語教育の可能性　一〇
「用」の活用　四一
要用字苑　八六
橫書縱書及活字ノ大サニ就テ　四六
橫濱方言洋語考　六〇
他所問答　二六・六六
四段活用動詞の構成について　四一
讀方教育論　二七・三一
讀方教材の個性について　一〇
讀方教授體系　九
讀方獨習　三一
讀方の自習と準備　三一
讀方の心理學に於ける注目すべき二三の問題　二
讀みと意味　二
讀みと心理　二
讀みの作用の構造原理　二
讀む心理　二
讀む・綴ることの精神作用　二
讀む・綴る心理と國語教育　二

ラ

ラーム氏沙翁文粹註解　一三
禮記音義隱　九九
禮記徐氏音　九九
禮記范氏音　九九
禮記劉氏音　九九
Rise and progress of Semitic philology　二
ラジオ・トーキー・蓄音器による英語學習　二一
ラジオと標準語　二一・一八
ラジオによる國語教育　九
ラテン語階梯　一三四
ラテン語系　一三四・一三五
拉丁語系と日耳曼語系　一三四
羅甸語四週間　一三四
ラテン語初步　二一・一三四
羅典語の研究　一三四
ラテン文法概要　一三四
羅日辭典　一三五
蘭學階梯　一三五
蘭學逕　一三五
蘭學事始　一三五
蘭學佩觿　一三五
蘭說辨惑　六〇

蘭文尺牘　一三五
蘭譯梯航　一三五
蘭例語典　一三三
蘭例節用集　一三三
蘭和辭典　一三五

リ

リーダー研究　一三三
リウイウス　一三四
陸海軍人送迎演說模範　六九
六合釋三部章　一三七
六合釋章疏標目　一三八
六合釋精義　一三八
六合釋節要　一三八
六義圖解　一四四
六書緣起　一四四
六書音均表　九一・九九
六書正譌　九四
六書總要　九四
六書通　九〇・九四
六書轉注錄　九四
六書分類　九四
六離合釋法式通關注　一三八
六離合釋法式略解　一三八
六離合釋法式略解注併諺　一三八
履軒古韻　九九
俚言集覽　二三・二三
俚諺大辭典　二三・二三
ローレンス・スターンの「トリストラム・シャンディ」　一三三
露語發音解說　一三三
露語文法詳說　六七・一三三
魯西亞言語　一三三
露西亞語學階梯　一三三
露西亞語學捷徑　一三三
露西亞語研究　一三三
ロシヤ語講座　一三三
露西亞語四週間　一三三
露西亞語常用單語六千　一三三
ロシア語第一步　一三三
露西亞語動詞圖辭典　一三三
ロシヤ語入門　一三三
ろしやのいろは　一三三
露西亞文法　一三三
露西亞文法教科書　一三三
ロバート・ブリッヂズの「美の遺言」　一三三
ロバート・ルイス・スティーブンソンの「寶島」　一三三
ロレンスの「息子と愛人」　一三三
露和會話　一三三
露和辭典（滿鐵東亞經濟調査局）　一三三
露和辭典（八杉貞利）　一三三
露和大辭典　一三三
論語を中心として觀たる訓點の變遷　天八
論集國語尊重の根本義　一三五
ロングマン氏リーダー直譯　一三三
論理學的見地より見たる國語の研究　一六
論理、主義と心理主義　八
論理的日本文典大意　四一

ワ

和愛愛和アイヌ語辭典　六六
ワーヅワースの詩語論　一四
ワーヅワスの「序詩」　一三
World Digest　一三六
猥褻慶語辭彙　一三三
和英英和語林集成　二八・二九
和英慣用法比較　一三五
和英辭書　一三九
和英辭典　一三九
和英大辭典（齋藤秀三郎）　一三九
和英大辭典（プリンクリー）　一三九
和英大辭林　一三九
和英對譯いろは字典　一三九
和英發音原理　一三〇
和音唐音對註西音發徽　一三五
和歌　九
倭楷正訛　一三三
若い日本　七
和歌枕詞補註　一三五
我國に於ける英語教授法の沿革　一三三
和歌吳竹集　一三三
我が國民國語の曙　一三三
我が國名の研究　一三三
わが古代國語におけるアウストロネジヤ語系要素の一例　五九
和歌新吳竹集　一三三
倭片假字反切義解　一三五
和歌童蒙抄　一三五
我がハングルの世界文字上の地位　一三五
和哥八重垣　一三五
和歌山方言集　一三五
解り易き英文法　一三五
和漢英對照文法　一三五
和漢音釋書言字考節用集　一三五
和漢字名錄　一三五
和漢獨英飜譯文例　一三五
和漢文對照　一三五
和歌大辭典　一三五
和訓精要抄　六三
和訓類林　一三三
倭語連聲集　二七・三三
和爾雅　一三三
和字解　一三四
和字義　一三五
倭字古今通例全書　一三五
和字正韻　四五・五三
和字正俗通　四七
和字正濫鈔　二六・二六・三六
倭字正濫通妨抄　三六
和字正濫要略　二六・三六
和字大觀抄　四五・三六
和字便覽　三六
早稻田中學講義難語註解　一三六
私の獨逸語講座　一三七
倭點法華經　一三七
和獨字彙　一三七
和獨大辭典　一三七
倭讀要領　一三七
和佛辭書　一三七
和佛辭典　一三七
和佛大辭典（セスラン）　一三七
和佛大辭典（ルマレシャル）　一三七
和英英譯壹千題　一三五
和英英譯教材　一三五
和英英譯自修書　一三五
和英英譯熟達ノート　一三五
和訓指掌略　一三五
和文英譯新研究　一三五
和文英譯の研究　二一・二三五
和文英譯法　二三一
和文教科書　四〇
和文獨案內　三一
和文讀本　二七
和文佛譯の研究　二七
和文佛譯の根柢より　二三五
和名類聚抄　一〇九
和蒙辭典　一八
和譯英字彙　一八
和譯英辭書　一八
和譯英辭林（傍木哲二郎）　一八
和譯英辭林（前田正毅・高橋良昭）　一八
蘇譯英文熟語叢　一九
和譯字彙　一九
和漢英對照文法　一三三
和漢音釋書言字考節用集　一三三
和漢字名錄　一三三
和漢獨英飜譯文例　一三五
和漢文對照　一三五
和歌大辭典　一三五
「わりなき」人・芭蕉　一五・六二
われらの主張　四八
和露新辭典　一三三

類聚助語二百義　四八
類聚名義抄　四八
類集文字抄　四八
類篇　七三

レ

靈感的英文和譯の研究マーデンの「ハウ・ツー・ゲット」の註解　一三三
黎錦熙氏・周有光氏の著書を基とせる支那語文法詳解　一〇六
靈語通　五五
靈語通砭錄　五五
黎氏支那語文法　一〇六
隷通　四九
禮部韻略　七三
禮部韻略七晉三十六母通攷　七三
隷辨　九四
隷法彙纂　四八
歷史——ヘロドトス・ツキュヂデス・クセノポン・ポリュビオス　一三四
歷代漢文讀本　一〇一
Réflexions sur le développement d'aspect du verbe slave　二
連歌俳諧概說　一四
聯珠篆文　四八
聯珠略韻　四八
驢想の書損ひに及ぼす影響の實例　五九
連文釋義　八四
鍊文捷路　一〇一
聯綿字譜　八六

ロ

壟嘔兒の國語教順　四
琅玕記　六〇
朗讀學　五
朗讀の理・法を見直す　五・一〇
朗讀法につきての爭　五五
朗讀法の理論と實際　五五・一〇
朗讀問題　五五
Romaji　七一
羅馬字意見　四八
羅馬字運動　二八・四八
羅馬字運動の歷史　一四
羅馬字會式と田中館式羅馬字化の原理特に日本語羅馬字化に就て　四八
羅馬字國字論　四八
羅馬字主張の百個條　四九
羅馬字正字法と國語內容の民族意識　四八
羅馬字世界　七二
羅馬字綴り方の研究　四八
羅馬字綴り方の進化　四八
羅馬字綴り方の目標　四八
羅馬字綴り方論　四八
羅馬字綴り座談會　四八
羅馬字綴りの優劣に就いて　四八
羅馬字綴論爭の末幕　四九
羅馬字で引く國語辭典　二〇
羅馬字轉寫日本語對譯喀喇沁本蒙古源流　一〇九
羅馬字ヂ・ドーシ　七一
羅馬字日本語の文獻　四八
羅馬字日本語文獻研究　四八
羅馬字年報　四八
羅馬字の研究（日下部重太郎）　二七・四八
羅馬字の研究（福永恭助）　四八
羅馬字の日本　七一
羅馬字の反對論を破る　四九
羅馬字のよしあし　四九
羅馬字排斥に付いて同派との論難　四八
羅馬字早學び　四八
羅馬字獨げいこ　四八
羅馬字ひろめ會略史　四八
羅馬字文の書き方　四八
羅馬字文の研究　四八
羅馬字マゼカエシ運動不滅の功績　四九
羅馬字論に對する中立者の意見　四八・四九
羅馬字論文集　四八
羅馬法　一三四

製本控

572 函	43 號	年 月 日
早稻田大學圖書館 和漢圖書分類目錄 ヤ5		
		1冊
備考		

昭和十七年十月廿六日印刷
昭和十七年十一月五日發行

非賣品

編輯兼發行者
早稻田大學圖書館
東京市淀橋區戸塚町

十嵐良晃
東京市牛込區榎町七番地

印刷者
十嵐良晃
東京市牛込區榎町七番地

印刷所
株式會社榎町工場
東京市牛込區榎町七番地

昭和十七年十月廿六日　印刷
昭和十七年十一月五日　發行

非賣品

編輯兼發行者　早稻田大學圖書館
東京市淀橋區戸塚町

印刷者（東東一）　五十嵐良晃
東京市牛込區榎町七番地

印刷所　大日本印刷株式會社榎町工場
東京市牛込區榎町七番地

562
43